

令和3年5月28日

「福島原発事故災害から 10年目」アンケート結果ご報告

季節は春から夏への変わり目となってまいりましたが、皆さまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

2021年日本全国の方々にご協力いただき、「福島原発事故災害から 10年目」大規模アンケートを実施しました。月日とともに薄れていくことのある記憶の中には、「忘れてはいけないこと」が必ずあります。その記憶を記録とし、後世へと語り継ぐことは、震災を体験した私たちの役割だと思います。

福島第一原発事故当時0歳だった子は10歳となり、10歳だった子は20歳となっています。「その子たちが生きる未来が、どのようになっていてほしいか」、この度のアンケートの集計を行なながら、より強く感じました。

今回ご協力いただいた方々からの貴重な情報を元に、「私たちは何をすべきか」を絶えず考えながら、活動を行って行きたいと思います。

今後とも、お見守りとお力添えをどうぞよろしくお願ひ致します。

一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、皆さまのご健康とご多忙をお祈り申し上げます。

福島原発事故災害から 10年目のアンケート 実行委員会

【賛同・協力一覧】

認定NPO法人 いわき放射能市民測定室たらちね

認定NPO法人 沖縄・球美の里

在イタリアNPO法人才ルト・ディ・ソーニ

未来の福島こども基金

非営利未来型株式会社 はは 乳歯保存ネットワーク

福島ぽかぽかプロジェクト

武藤類子・谷田部裕子

【連絡先】

福島県いわき市小名浜花畠町11番地の3カネマンビル3F

認定NPO法人いわき放射能市民測定室たらちね

福島原発事故災害から10年目のアンケート事務局

電話：0246-92-2526

アンケート回答数 1,136 名

(北海道 29 名、東北 72 名、福島 323 名、関東 430 名、中部 95 名、近畿 75 名、中国・四国 30 名、九州 32 名、福島→県外 19 名、県外→福島 18 名、海外→県外 2 名、地域不明 11 名)

○エリア分けの詳細（現在の居住地で分けています）

北海道 北海道

東北 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県

福島県 福島県のみ浜通り、中通り、会津の 3 つに分けています

関東 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部 新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、長野県、山梨県、静岡県、愛知県

近畿 三重県、滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、兵庫県

中国・四国 岡山県、広島県、山口県、鳥取県、島根県、香川県、徳島県、愛媛県、高知県

九州 福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、宮崎県、熊本県、鹿児島県、沖縄県

福島→県外 震災当時は福島県内に在住、現在は福島県外に在住

県外→福島 震災当時は福島県外に在住、現在は福島県内に在住

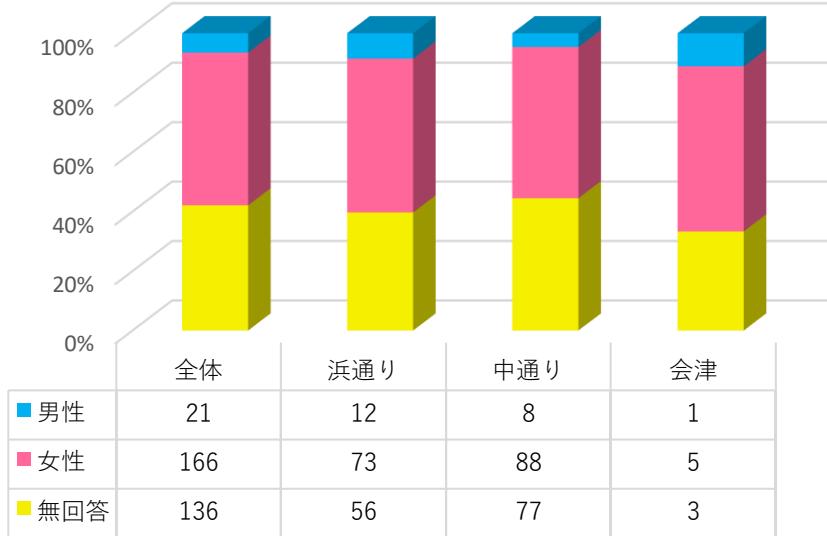
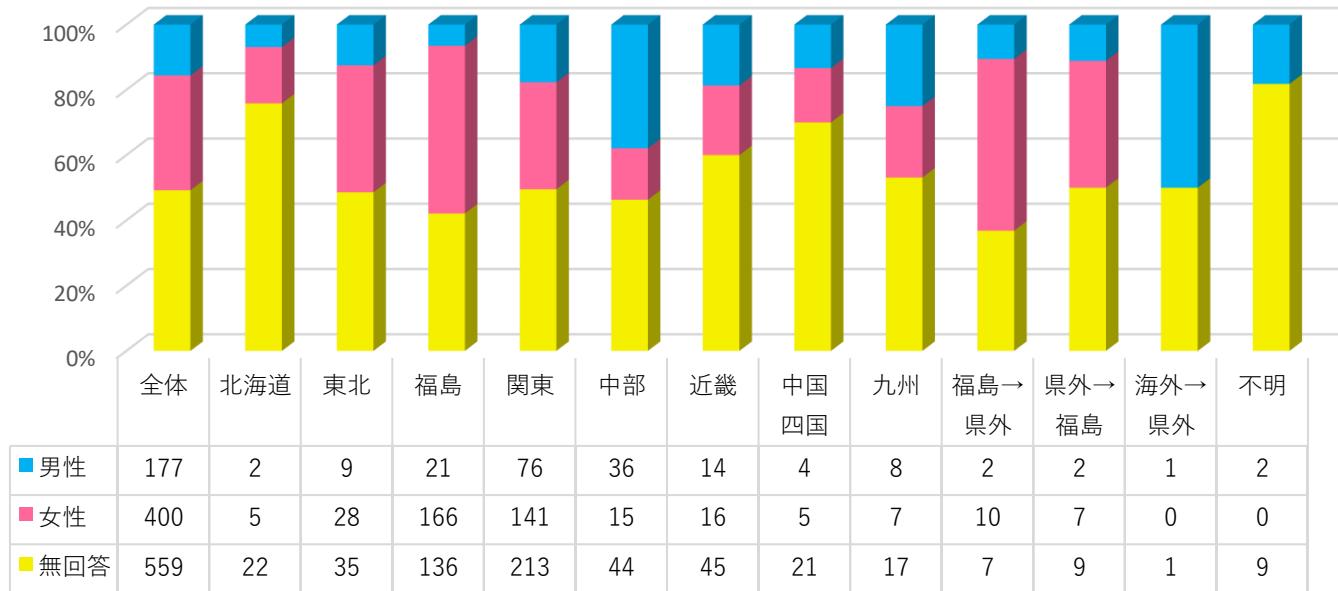
海外→県外 震災当時は海外に在住、現在は福島県外に在住

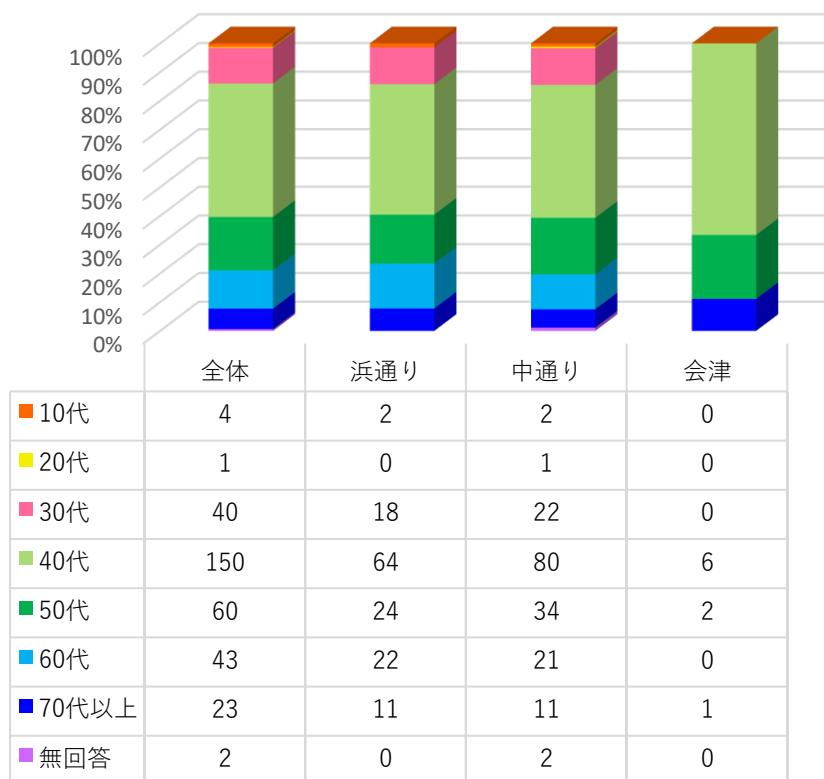
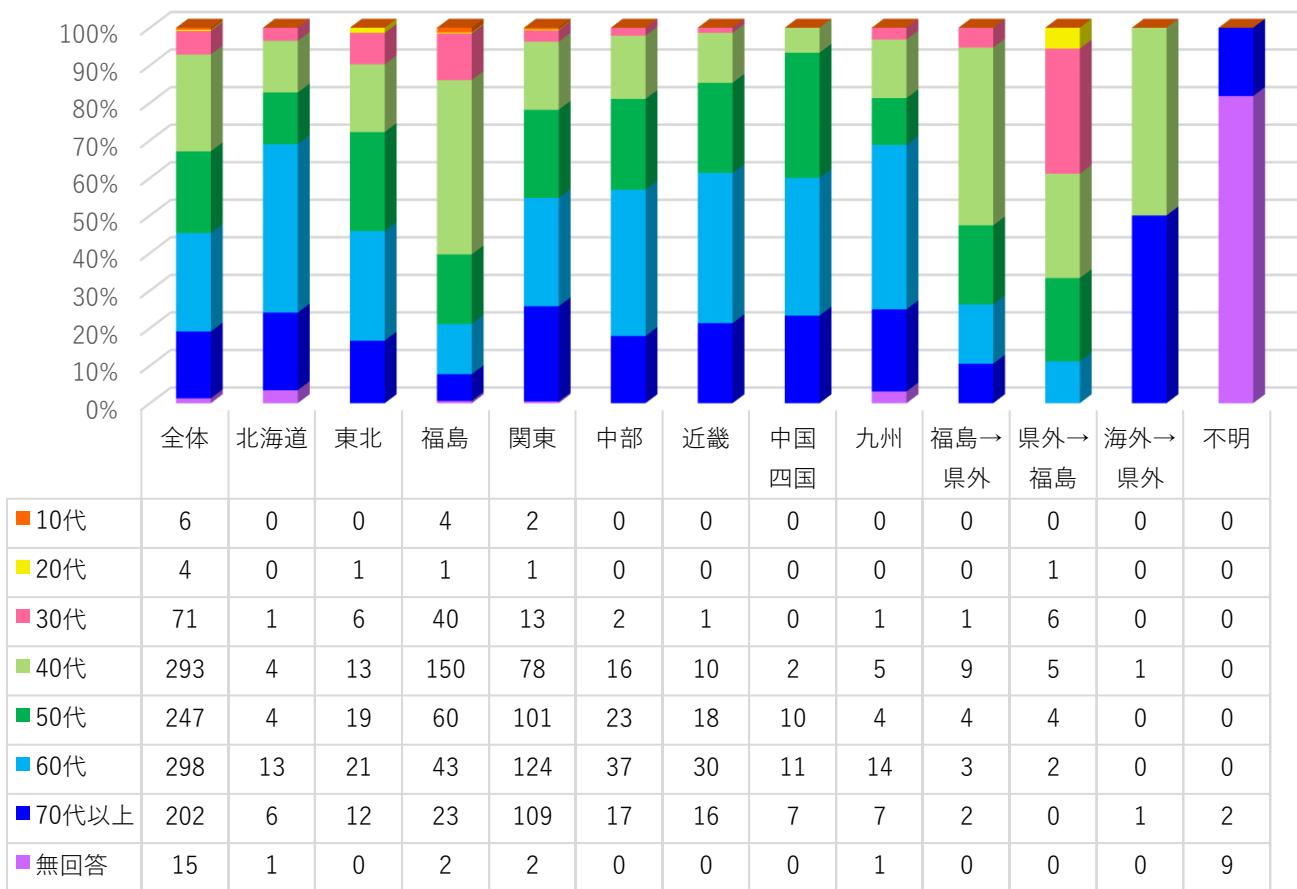
地域不明 居住地の記載無し

※回答者からのコメントは記載通りに掲載しています

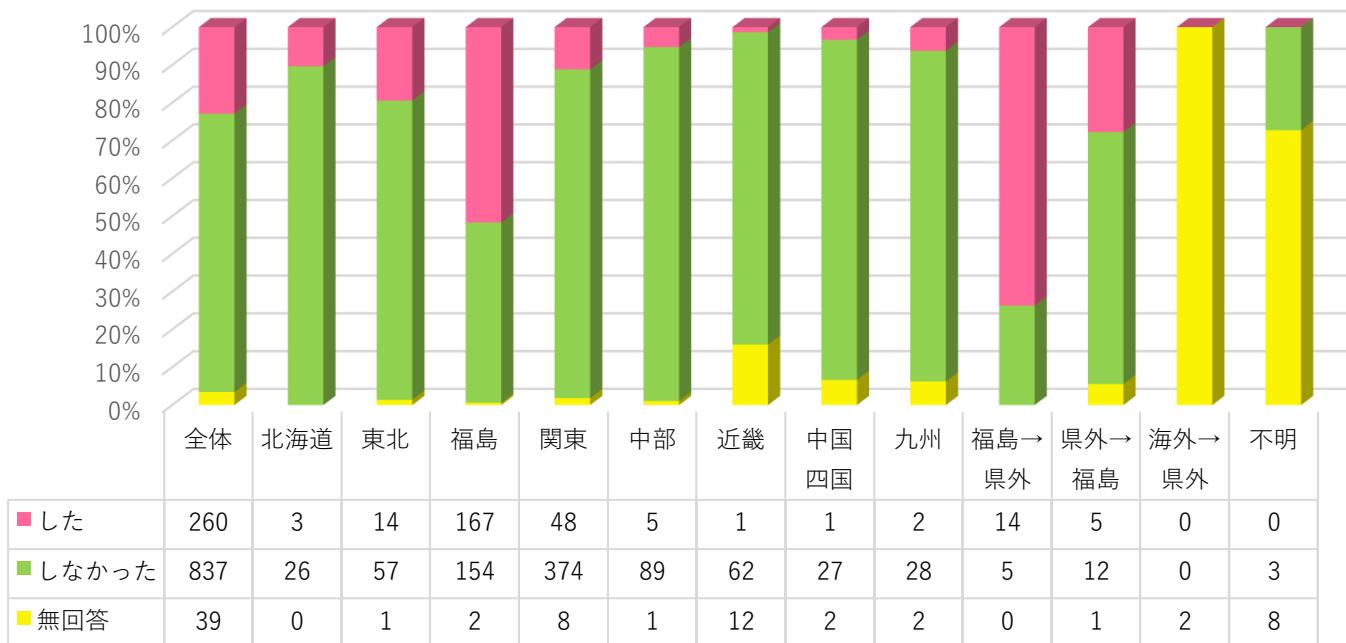
※回答項目以外の回答やコメントは「その他」として掲載しています

Q3. 本人(アンケートにお答えいただく方)の年代・性別についてお答えください。





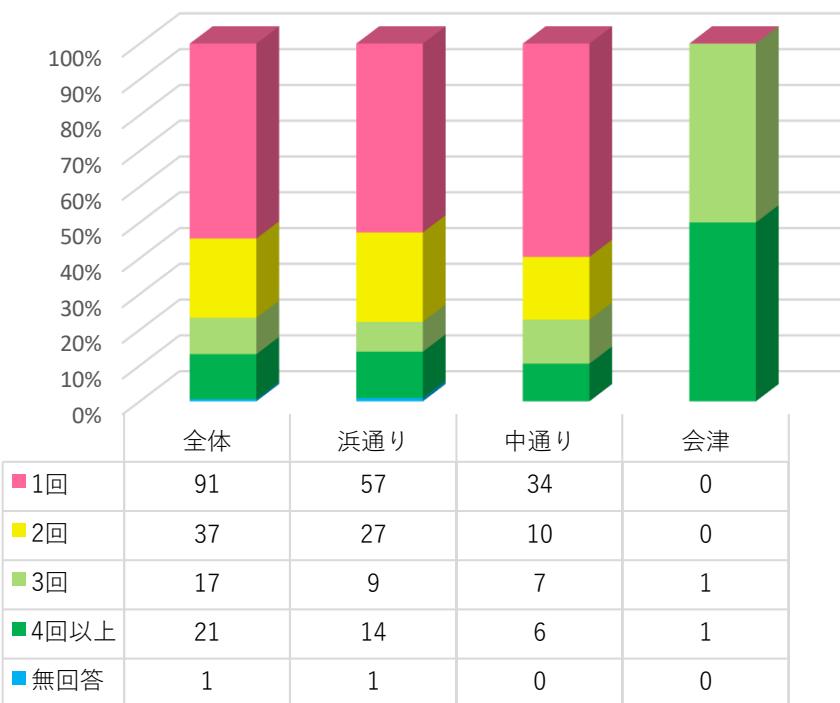
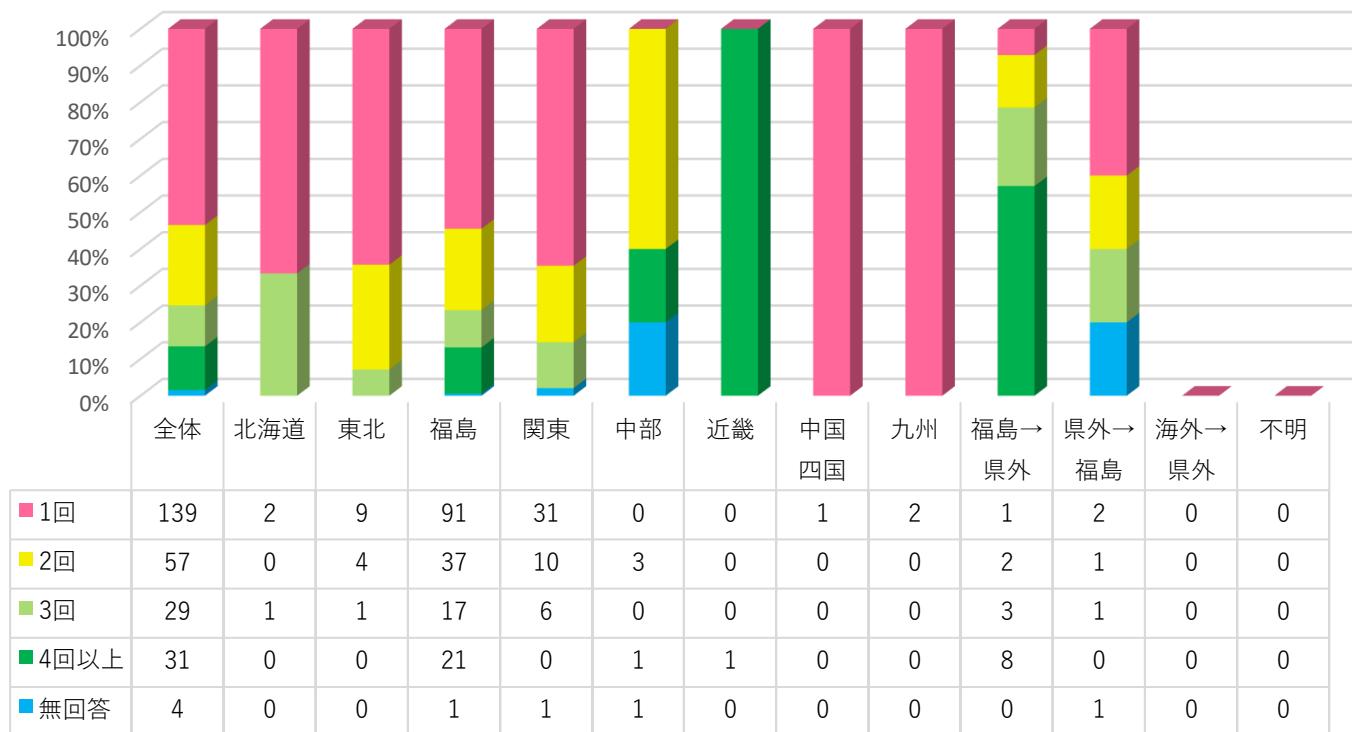
Q4. 震災があった時、避難をしましたか。



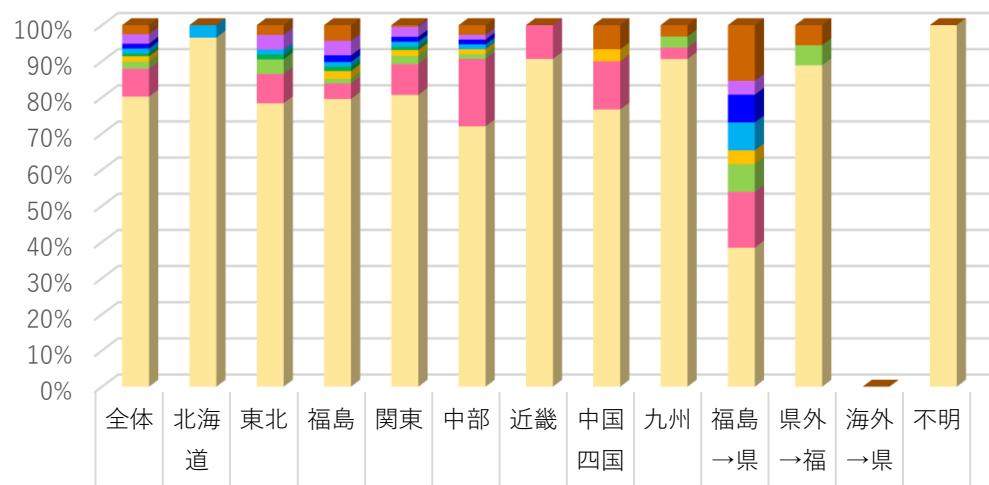
【浜通り】

- ・ずっといわきの自宅に戻るべきだったと後悔している(国がもっと早く放射能情報を出して欲しかった)職場の支店長より 14 日お昼から休業とする、福島、郡山方面に避難するように言われた。21 日より開業するので戻るよう言われた

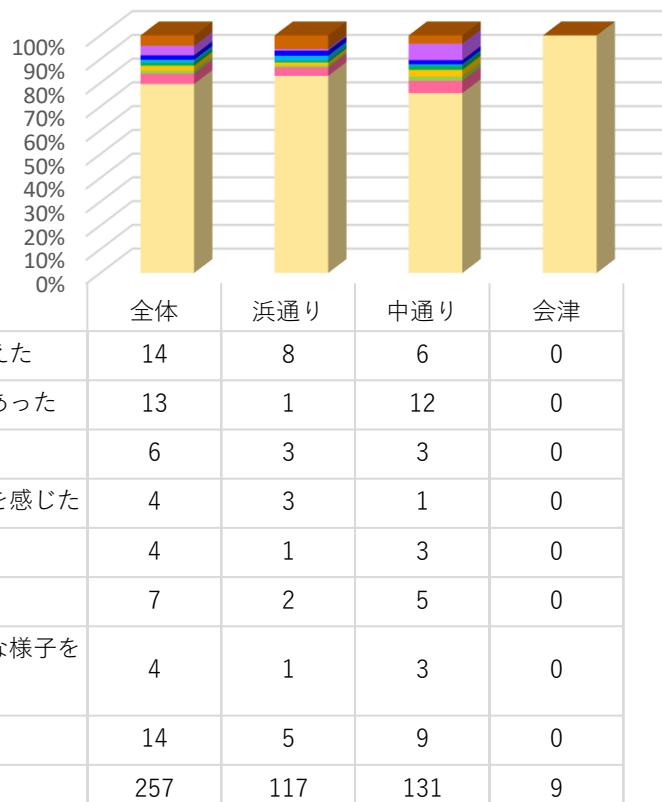
Q5. 「した」と答えた方、避難の時期と場所をお書きください。(避難回数のみ集計)



Q6. 福島原発事故発生から約10日間の間に見聞きしたり、感じたことがありますか。複数選択可



	全体	北海道	東北	福島	関東	中部	近畿	中国四国	九州	福島→県外	県外→福島	海外→県外	不明
■原発の方向に煙が見えた	28	0	2	14	2	2	0	2	1	4	1	0	0
■灰やその他降下物があった	30	0	3	13	12	1	0	0	0	1	0	0	0
■異臭がした	15	0	0	6	6	1	0	0	0	2	0	0	0
■舌に金属のような味を感じた	15	1	1	4	6	1	0	0	0	2	0	0	0
■植物が枯れた	9	0	1	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0
■皮膚に異常を感じた	17	0	0	7	7	1	0	1	0	1	0	0	0
■家畜やペットが異常な様子を示した	22	0	3	4	10	1	0	0	1	2	1	0	0
■その他	87	0	6	14	37	14	7	4	1	4	0	0	0
■無回答	905	28	58	257	351	54	68	23	29	10	16	0	11



その他（Q6の質問に対しての自由回答で答えられた内容とコメントを掲載しています）

【東北】

- ・放射能が心配でした
- ・柏に居たのでテレビだけ
- ・雨に当たらない様にとの噂があった
- ・喉が異常に痛かった
- ・変な花が咲いた

【浜通り】

- ・上空の雲の色がいつもと違っていた
- ・爆発音 2名
- ・県外へ向かう車列の大渋滞
- ・空気が止まった感じ

【中通り】

- ・子どもが熱を出した
- ・食料、ガソリン不足
- ・3/15 福島空港の外にペットと一緒に 3 時間いたとき喉がじりじり焼けるようだった
- ・交通規制
- ・恐怖感
- ・3月なのに異様な温かさと静けさを感じた
- ・野鳥や鳥を見なかった
- ・水道
- ・電気が三日ぐらい来ず、何も分からず知識もなく普通に暮らしていた

【関東】

- ・野鳥の動きが変だった、報道している知人から逃げるよう言われた
- ・心理的ストレス
- ・地震によるゆれを感じた
- ・のどが痛くなった
- ・外で飼っていた金魚 10 匹が全滅
- ・テレビ、ラジオの報道を見て、大変なことになったと思った
- ・飛行機が旋回していた
- ・余震のみ
- ・大変な事故がとうとう起きた
- ・鳥が騒いでた
- ・急激な冷気、黒い雲
- ・覚えていない
- ・放射性物質が拡散した
- ・眠気

- ・全てテレビ、新聞からの情報
- ・鼻血
- ・恐れていた事が起きた
- ・みかんの茎が丸くなった
- ・事故を恐く感じた
- ・不安感
- ・二級河川の堤防に小さなひび（これは地震ですね）
- ・ニュースを見ていましたが情報が錯そうしていました
- ・気持ちが不安定になった
- ・心の痛み
- ・報道
- ・大きな不安を覚えた
- ・情報操作
- ・子どもが鼻血

【中部】

- ・家周辺の放射線量が上がった
- ・遠くはなれていてわからない
- ・地ゆれ
- ・テレビ映像
- ・TV 新聞報道
- ・何か支援する事はないか？
- ・震災時、海外に行ったのでリアルタイムに情報を得ていなかった

【近畿】

- ・関西に住んでいるので直接はなかったが、心理的に大変動搖した
- ・放射線測定器の数値があがった

【中国・四国】

- ・水道水が危ないと感じた
- ・頭痛
- ・テレビなどで視聴した
- ・テレビなどで
- ・原因不明の体調不良
- ・庭などの下水の放射能計測したら高かった

【九州】

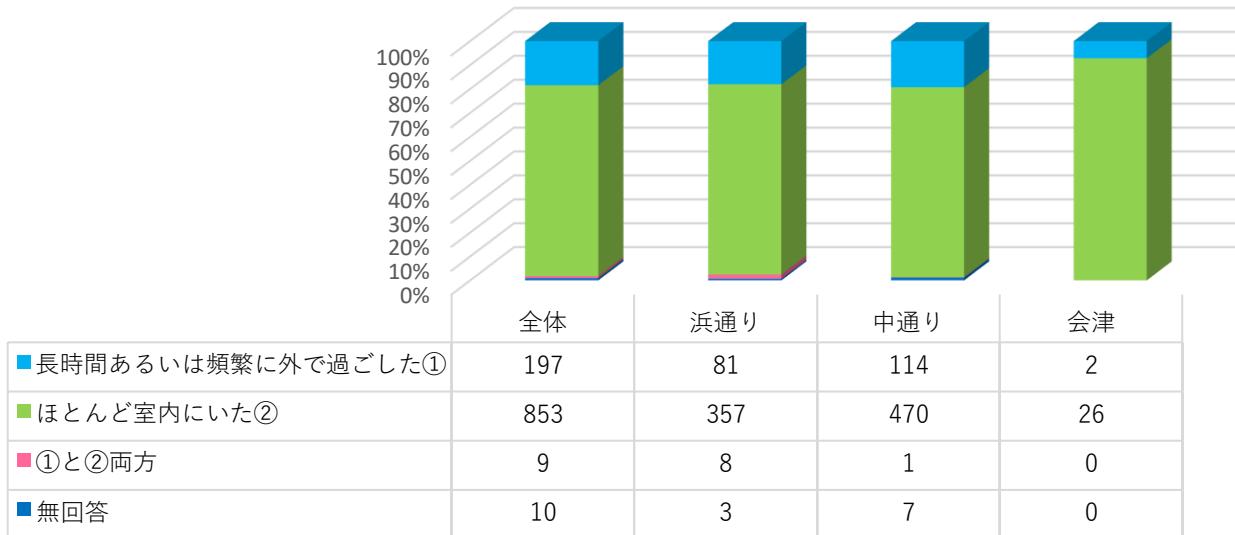
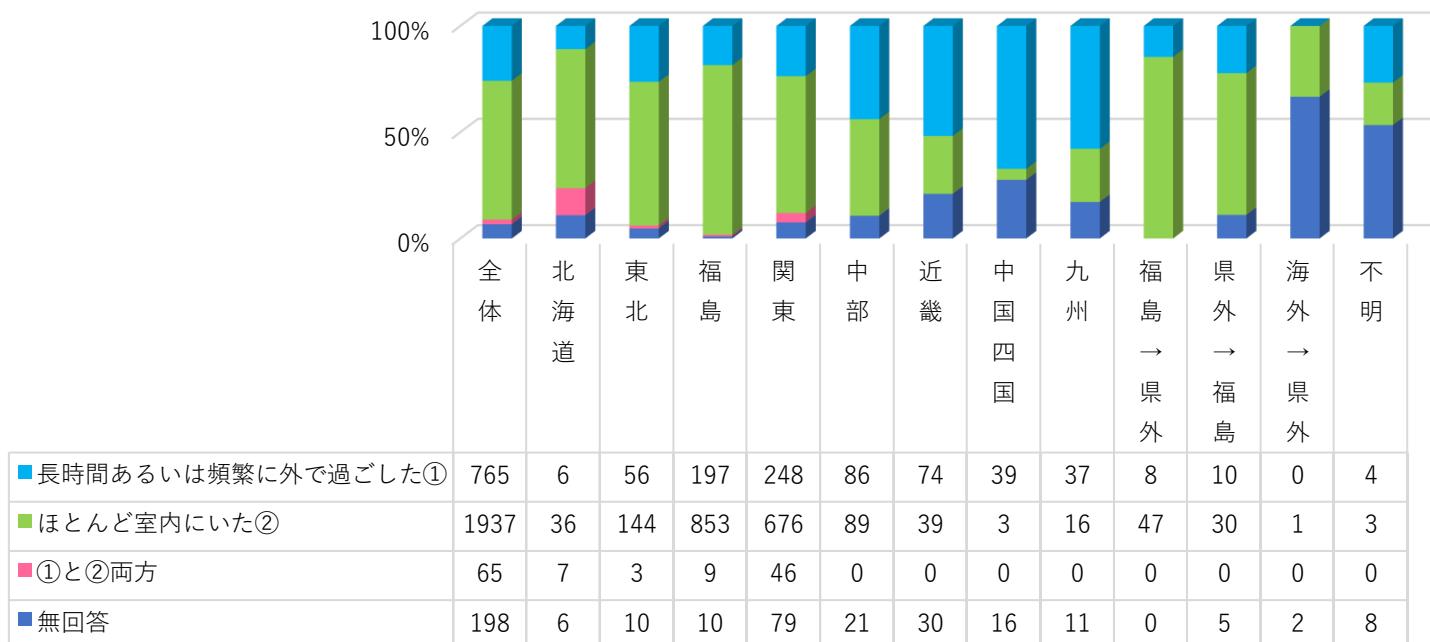
- ・海の臭いがほのかにした
- ・テレビで見ていた
- ・吐氣

- ・飲食低下

【福島→県外】

- ・すずめやカラスがいなくなった
- ・爆発音を聞いた人がいる

Q7. 福島原発事故後、約10日間の間にどう過ごしていましたか。複数選択可(回答者及び家族も集計に含む)



その他回答

【東北】

- ・食料が無かったので近所のスーパーに長時間ほぼ毎日並びました
- ・炊き出しの為ほぼ外に居た
- ・夫は東京

【浜通り】

- ・津波被害を見に行った

【関東】

長時間外で過ごした

- ・仕事などでは外に出ていましたが頻繁とはいえないです
- ・保育園 2名
- ・会社
- ・通勤
- ・仕事 3名
- ・本人は東京から帰宅せず他日普段どおり
- ・通常
- ・自動車教習所
- ・学校 2名

ほとんど室内にいた

- ・学校などが休みだったと思うので
- ・孫（小5）2日後雨がふったので濡れないように3人の孫に強くいった
- ・学校 3月くらい
- ・学校 3月くらいに登校
- ・都内に出勤
- ・のちに避難
- ・数日仕事に行った
- ・広島県に単身赴任
- ・埼玉草加市在住遠いから大丈夫と気にせず外にも出た
- ・高校休校
- ・中学に通っていた部活も外でやっていた。なるべくは家にいる様に言った

その他

- ・母の見舞いのみ外出、あとは窓を閉め換気扇も使わず外部への穴は全部ガムテープでふさいだ
- ・普通に生活した
- ・全く状況を分かっておらず意識せずに過ごしていた
- ・京都の娘の所に行った
- ・会社
- ・学校

【中部】

- ・ほとんど今まで通りの生活ですが、福島事故の心配は家族でしていました

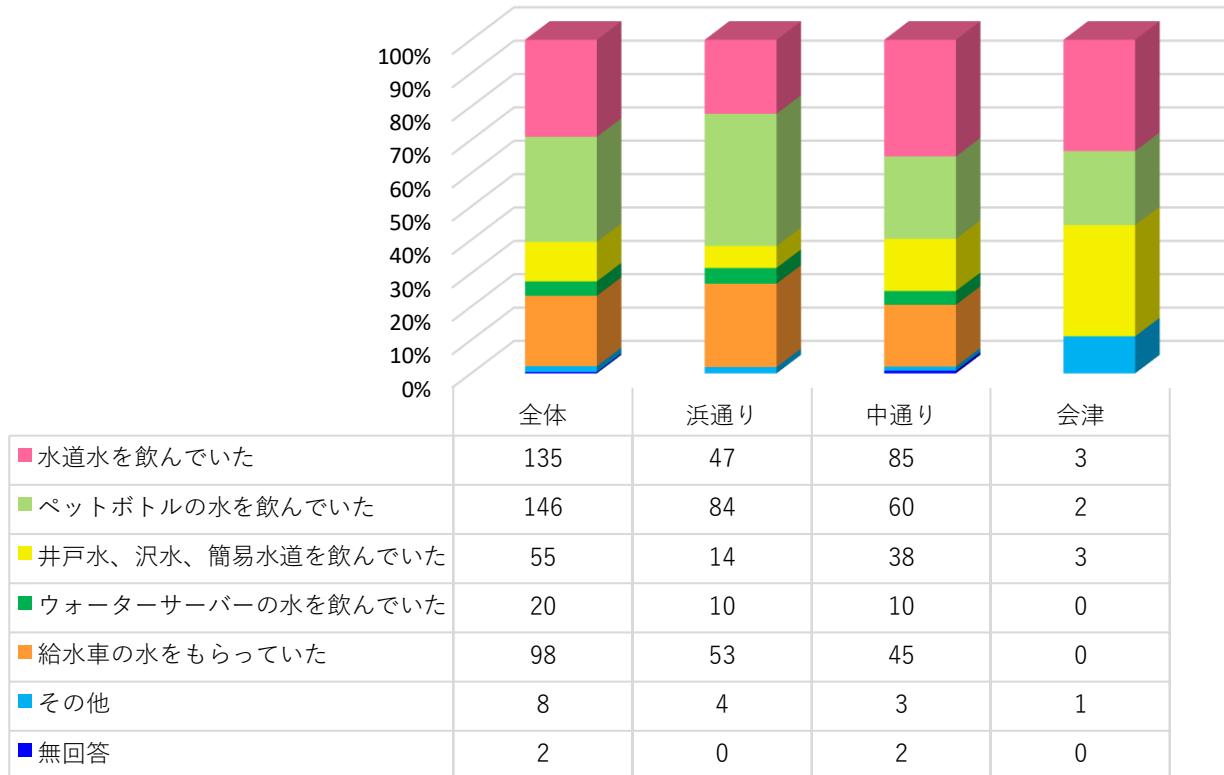
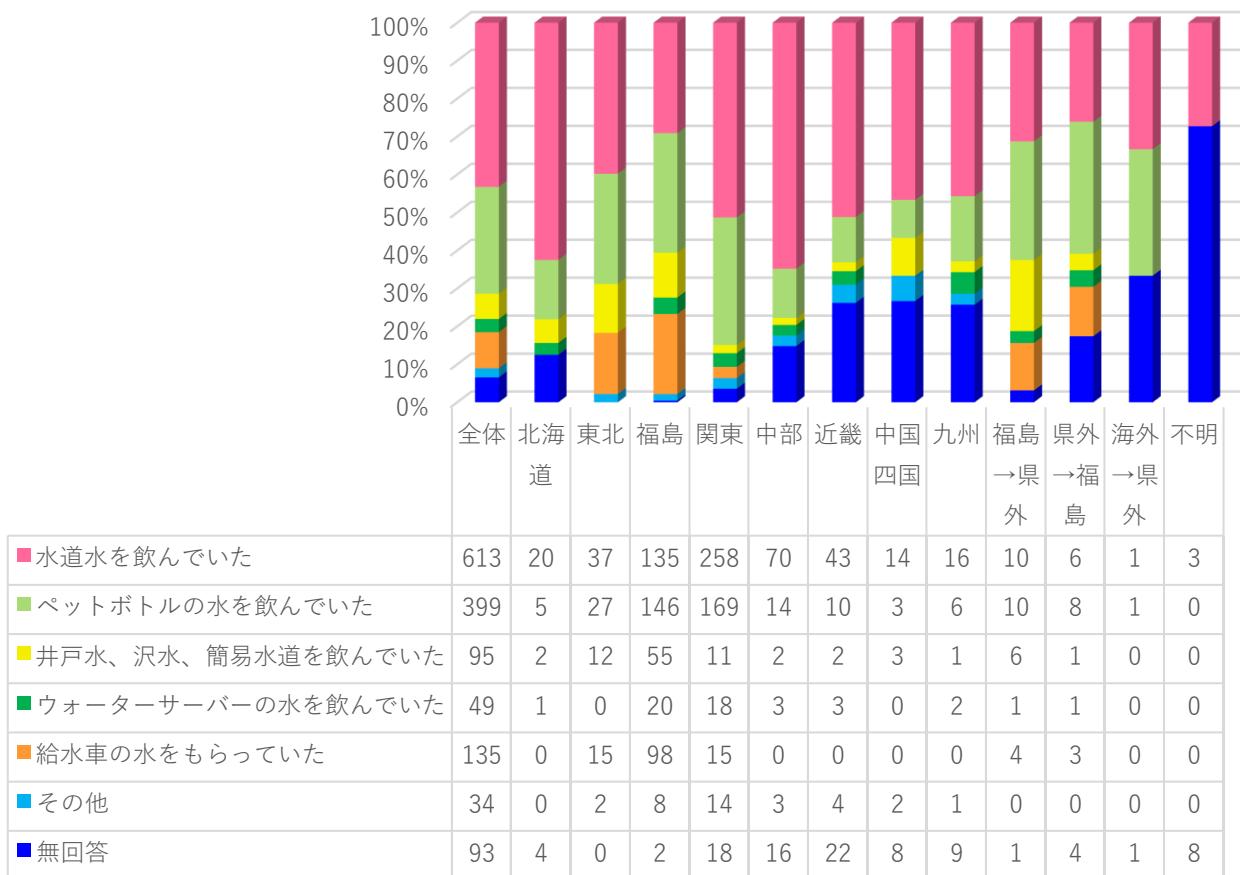
【近畿】

- ・救援に入る準備をしていた
- ・変わりなく仕事、生活をしていた
- ・普段通りだった

【福島→県外】

- ・3月12日から17日までは頻繁に出歩き、(飲み水)水の確保、食料品も人数制限でスーパーの前に並んだりして確保。トイレの水を近くの小学校のプールから供給するというのでこれを自転車で運ぶのが大変。井戸のあるお宅で水がもらえるということで長時間並んだ。

Q8. 福島原発事故後、約10日間の飲料水はどうしていましたか。複数選択可



その他回答

【東北】

- ・湧水を汲みに行って飲んだ
- ・浄水器の水

【浜通り】

- ・浄水場 3名
- ・水道がとまっていたので、水道局に水をもらいに行った
- ・貯水槽にあった水

【中通り】

- ・公園の水
- ・ペットボトルに溜めて時間を置いた水

【会津地方】

- ・家の浄水器

【関東】

- ・浄水器の水 24名
- ・事故前に汲み置きしていた沢の水
- ・ブリータで浄水した水
- ・汲み置きして3日ごとに交換
- ・NSF 許可の浄水器つけて
- ・多分(水道水)
- ・料理(水道水)
- ・山からの水
- ・鉛、濁り除去浄水器利用
- ・水が無くなり孫のミルク用水は沖縄の嫁の実家から大量に送ってもらい近所の赤ちゃん用に分け合った
- ・放射能に怯えた
- ・水道水も飲んでしまってやってしまったと思った たまには水道水を飲んだ
- ・静岡県の友人を訪ねて湧水を貰ってきた
- ・県外（横浜市）の水道水を飲んだ

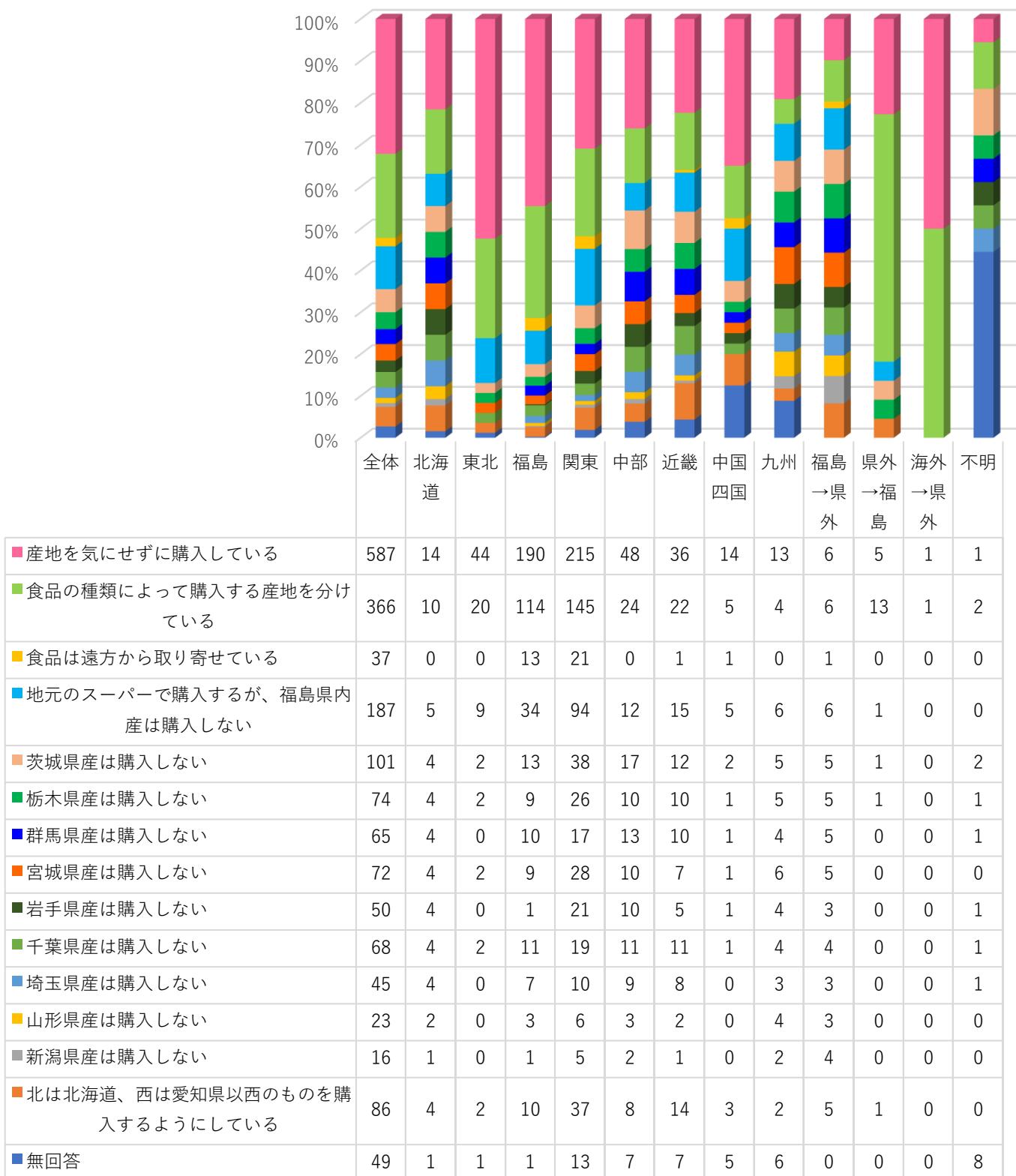
【中部】

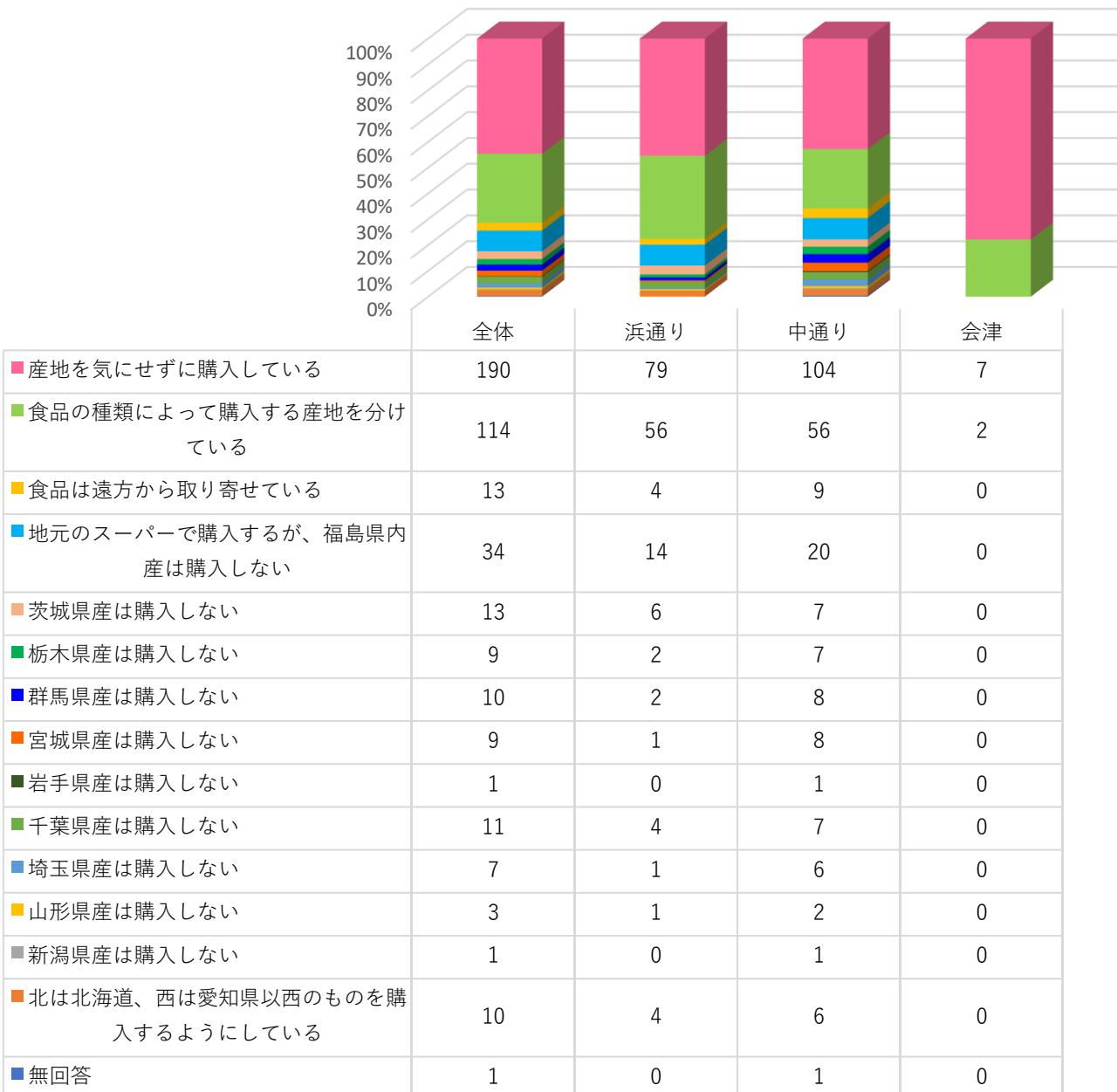
- ・富士山の伏流水が井戸水で上水道
- ・家庭用浄水器

【近畿】

- ・浄水用ブリタ使用
- ・浄水器使用

Q9. 現在、食品は産地を気にせずに購入していますか。複数選択可





【東北】

- ・ ほぼ生活クラブ生協の共同購入を利用している
- ・ 生活クラブで購入している

【浜通り】

- ・ 米は北海道産
- ・ 産地よりも品目と産地の組み合わせ、測定結果の3点で(東北の貝は買わない、シイタケなどのきのこも。福島以外は実はあまり測定されていない、逆にこわい)
- ・ 北は北海道、西は愛知県以西→なるべくそうしているが、ない場合は関東近県のものを購入している
- ・ お米は山形、北海道のものを購入しています
- ・ きのこ、ゆず、レンコンは遠方など

【中通り】

- ・茨城、栃木、群馬、宮城、千葉、埼玉は購入しないが、ここしかない事が多い困る…

【関東】

産地を気にせずに購入している

- ・但し、放射能検査している物を優先に購入
- ・但し放射能を測定したもの
- ・高齢なので福島産を買っている
- ・生協のもの
- ・生活クラブ生協を中心に
- ・物によっては福島県産を購入。応援したい
- ・福島産を購入するように心がけている(岩手、宮城)
- ・中国産は購入しない

食品の種類によって購入する産地を分けている

- ・店での購入
- ・あえて福島産を購入する
- ・中国産や米国産は買いません。国内は気にしません

食品は遠方から取り寄せている

- ・月に一回

地元のスーパーで購入するが、福島県内産は購入しない

- ・ネット等で測定数値を見て安心な物は買っている
- ・なるべく
- ・すみません、なるべくなのです。たまには買っています。

茨城県産は購入しない •なるべく避ける •レンコン

栃木県産は購入しない •なるべく避ける •きのこ

宮城県産は購入しない •海産物に限り

岩手県産は購入しない •レンコン 山菜など •海産物に限り

埼玉県産は購入しない •一部

北は北海道、西は愛知県以西のものを購入するようにしている

- ・魚は
- ・あれば
- ・牛乳のみ北海道
- ・お米は上記の通り
- ・なるべく
- ・出来るだけ心がけている

その他

- ・福島産をあえて購入している。頑張ってほしいから
- ・国内産は全て購入
- ・生活クラブ生協を中心、たまに福島の道の駅で購入
- ・食べる人によっても。孫には注意

- ・信頼できる測定値を公表しているものを購入している。福島のものも数値が下がっているものは購入している
- ・コープ商品で貰っています
- ・大地の宅配を利用、大地で西の農地のものがあればそちらを購入している

【中部】

- ・国産のものになるべく買う
- ・根菜類はなるべく東北、関東は買わない
- ・ほとんど地元のものしか食べない
- ・地産地消を心掛けている
- ・生協を通して買っているものが多い

【近畿】

- ・この県以外は安全ですか？原発だらけの日本国内では、多少差こそあれ、放射線汚染されてると思ってますが、地下水もやはり汚染地域によりますか？
- ・福島県産は買わない。心が痛いです。
- ・2011～もも・梨を福島から送ってもらい購入している

【中国・四国】

- ・海外、中国産を避ける(農薬)
 - 産地を気にせずに購入している
 - ・放射能の汚染の程度の低い食品
- 北は北海道、西は愛知県以西のものを購入するようにしている
- ・しいたけなど今でも放射能レベルが高い食品

【九州】

- ・グリーンコープ
- ・なるべく九州産を購入
- ・主に生協からのものでどこの産地かよくわからない

【福島→県外】

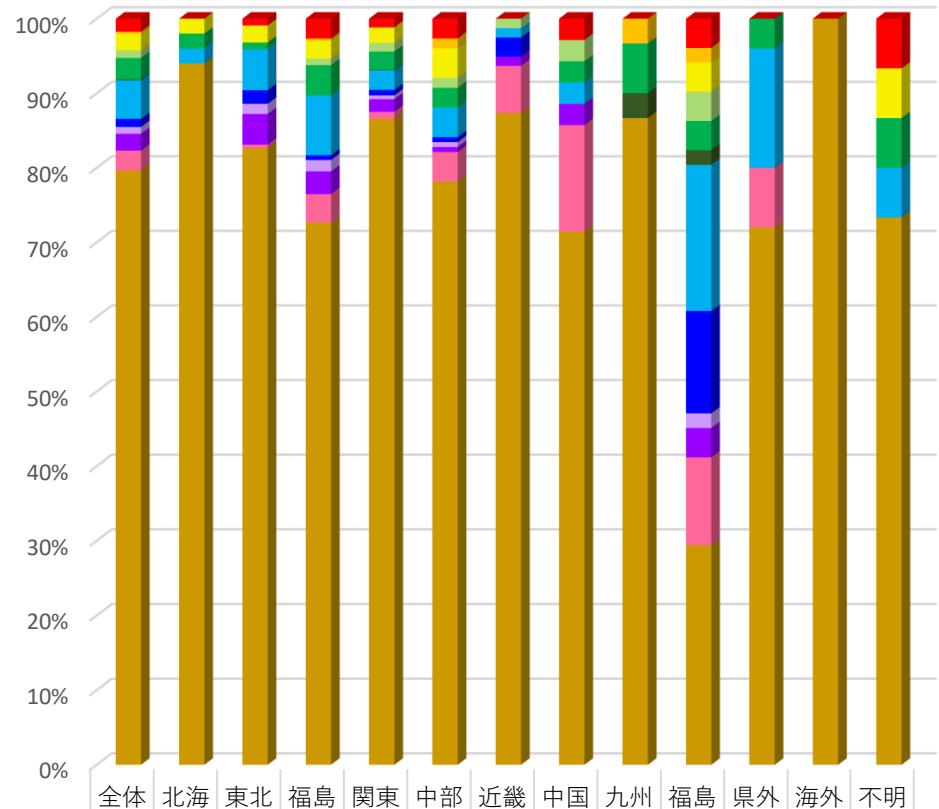
- ・初めの頃は福島産のものはなるべく購入しなかった。最近ではあまり気にせず買っている。福島の野菜はやわらかくておいしい。くだものは甘くおいしい。ふるさとの産物に本人自身が考えてしまうことに怒りを感じる。
- ・東北北部～神奈川 or 静岡できれば愛知
- ・パルシステムとかコープで測定しているものは食べる

【県外→福島】

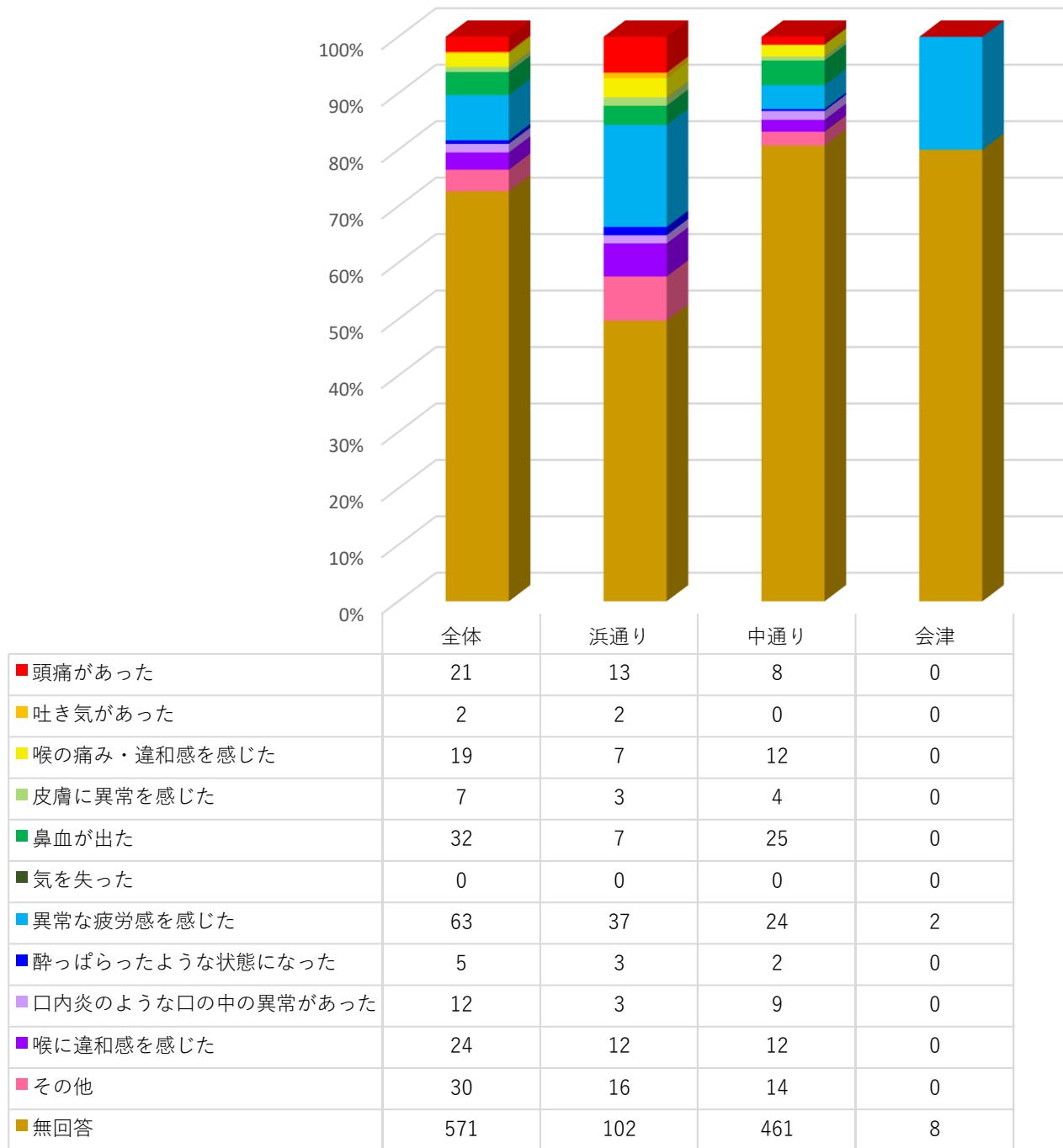
- ・産地よりも、品目と産地の組み合わせ。測定結果の3点で◎東北の貝は買わない◎シイタケ etc のきのこも（福島以外は実はあまり測定されていない。逆にこわい）

- 同じ野菜なら県外を選ぶ

Q10. 福島原発事故後、約 10 日間の間にからだに感じた変化 複数選択可 (回答者及び家族も集計に含む)



症状 (Symptom)	全体	北海道	東北	福島	関東	中部	近畿	中国四国	九州	福島→県外	県外→福島	海外	不明
頭痛があった	42	0	2	21	11	4	0	1	0	2	0	0	1
吐き気があった	7	0	0	2	1	2	0	0	1	1	0	0	0
喉の痛み・違和感を感じた	53	1	5	19	19	6	0	0	0	2	0	0	1
皮膚に異常を感じた	24	0	0	7	11	2	1	1	0	2	0	0	0
鼻血が出た	69	1	2	32	23	4	0	1	2	2	1	0	1
気を失った	3	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0
異常な疲労感を感じた	124	1	12	63	25	6	1	1	0	10	4	0	1
酔っぱらったような状態になった	26	0	4	5	7	1	2	0	0	7	0	0	0
口内炎のような口の中の異常があった	22	0	3	12	5	1	0	0	0	1	0	0	0
喉に違和感を感じた	54	0	9	24	16	1	1	1	0	2	0	0	0
その他	64	0	1	30	9	6	5	5	0	6	2	0	0
無回答	1909	47	181	571	825	118	69	25	26	15	18	3	11



鼻血

【東北】

- ・回数はわからないがしおりゅう出た（買い物だったり、外に出る時が多くかった気がする）

【浜通り】

- ・1回 3名
- ・2、3回
- ・数回
- ・3回

【中通り】

- ・3回

【関東】

- ・2回 5名
- ・数回
- ・1回
- ・10回
- ・5回 2名

【九州】

- ・1~2回
- ・3~4回

【地域不明】

- ・3回

その他

【東北】

- ・肺炎とインフルエンザで入院
- ・気分が沈んでいた
- ・大きな吹き出物が顔に出た
- ・不安症状
- ・眠れない
- ・38度の熱が出て丸一日寝込んだ
- ・妊娠中、お腹の張りが強かった

【浜通り】

- ・下痢、目がかすむ、生理がとまる
- ・下痢、生理こない
- ・下痢 2名
- ・乳児から90代の世話と水くみで体調の記憶なし
- ・目の充血
- ・真白な便が出た
- ・咳がひどくぜんそくのようになった
- ・お腹がゆるい

- ・常にお腹がゆるい
- ・めまい(地震のせい?)
- ・避難すべきかどうか迷い不安
- ・公務員としての震災後、各避難所対応で疲れる

【中通り】

- ・神経が高ぶった
- ・首の周りが重苦しく感じた
- ・熱を出した
- ・鼻水、発熱
- ・心臓に違和感、圧迫感
- ・花粉症の様な状態
- ・脱毛
- ・腰痛、風邪、高血圧
- ・不眠
- ・不安感
- ・くしゃみが出た
- ・鼻水が止まらなかった
- ・妊娠 2 か月だったので不安でした
- ・無気力

【関東】

- ・この年の 1 月に生まれたが、世の中の動きの変化を察知したのか、とにかくぐずっていた。生まれて 2 か月くらいの年齢的なものなのは不明ですが。
- ・口角ヘルペスが 1 か月続く
- ・精神的に疲れた
- ・不安
- ・目が痛くなった、夏以降に鼻血、今まで経験したことのない止まりにくいもの
- ・流産
- ・避難をしたので 10 日間特になし
- ・覚えていない
- ・髪の抜け毛が増えた
- ・発熱 2 名
- ・不安神経症、食欲不振
- ・多過食
- ・2013 年原発性、首の悪性腫瘍で転移、甲状腺ガン発症ステージⅢB、手術後良好
- ・悪寒
- ・黒い点が出来た。目の痛み
- ・アレルギー悪化
- ・鼻水 2 名

- ・計画停電でやや緊張気味
- ・私はだんだんと顔がかゆくなり、ゴールデンウイークに那須に遊びに行った時からかゆみがひどくなった。娘はキャベツ等の葉物を食べると口の中がかゆくなつた。
- ・新宿区で異臭がした
- ・ハイテンション
- ・足がむくみゾウの様にパンパンに。ホメオパシーで放射能の影響との診断。治療を受け良くなつた。
- ・精神的不調（不安、不眠）
- ・咳が続いた。ホコリのせいかも
- ・朝ニュースを見るたびにひどくなつてるので1月間は気持ちが最悪でした。
- ・下痢
- ・眠気
- ・いわきに帰省した折下痢をした。以来便が治つた。
- ・3月15日に仕事で東京上野を数時間歩き、その後明らかに数ヶ月体調が悪かつた。
- ・怪我が治りにくかつた。打ち身の内出血がいつもよりひどかつた。2ヶ月ほど咳が止まらなくなつた。
- ・歯が痛む

【中部】

- ・妊娠中だった
- ・無気力
- ・事故20日後東京で2泊中、鼻血止まらず
- ・ムネが苦しく、精神不安定
- ・砂ばくのようにヒリヒリした
- ・2013年1型糖尿病発症

【近畿】

- ・乳が痛かったが、4ヶ月後に乳首にダニがつき、真っ黒な血を吸ってくれてから痛みが消えた
- ・遠方故に気にしていない
- ・本人、夫 体に異常はないけれど心配して過ごしていました
- ・不安からか、いつもは仲が良いのに、つかみ合いのけんかをした
- ・ニュースで心配が続いた

【中国・四国】

- ・何もなかつた
- ・特ないよう感じた
- ・重度うつ、パニック症状

【九州】

- ・体の異状は特に感じなかつたが精神的に不安定だった
- ・福岡にいると感じないが、玄海原発、川内原発のことがあり不安である
- ・下痢が止まらなくなつた

- ・九州宮崎在住
- ・ゲリ 2名

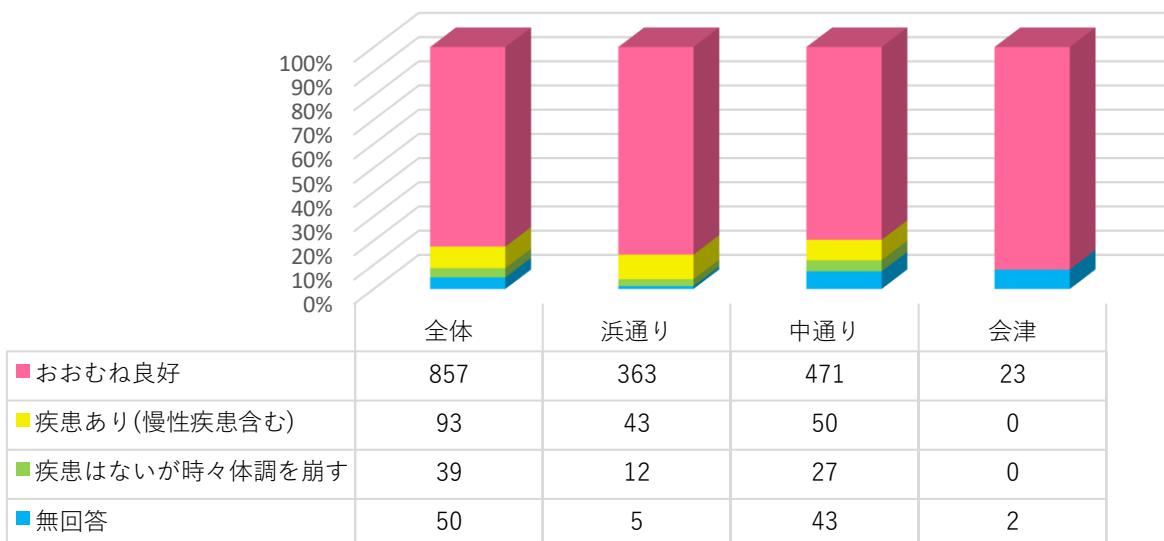
【福島→県外】

- ・ねむれなかった
- ・せき、発熱
- ・地震の余震のせいか
- ・手のひらのしびれ
- ・脈拍が常に早かった
- ・咳

【県外→福島】

- ・夫は自衛官のため、勤務先の仙台市のまま。3人だけ実家に避難
- ・避難所で脳梗塞になった

Q11. 福島原発事故前の健康状態はいかがでしたか。慢性疾患がある場合はお書きください。（回答者及び家族も集計に含む）



【東北】

- ・高コレステロール・血糖値高め・クレアチニン高め
- ・高コレステロール
- ・血尿
- ・糖尿病

【浜通り】

- ・高脂血症
- ・すい炎(震災前から)のちにすいのう胞 IPMN ができる、頭痛(年齢のせいかもしれない)

- ・花粉症
- ・糖尿病
- ・喘息 4名
- ・アレルギー性鼻炎
- ・狭心症
- ・切迫流産

【中通り】

- ・糖尿病 2名
- ・高血圧 2名
- ・C型肝炎
- ・脳梗塞
- ・過呼吸
- ・皮膚疾患、かゆみ発疹

【関東】

- ・脳出血、化学物質過敏症
(チェルノブイリ原発事故後、ソ連欧州を旅し半年ほど、その後抜け毛がひどくなりました。上記の疾患も出ました)
- ・前後入院中
- ・高血圧症 7名
- ・胃潰瘍
- ・人工透析
- ・ぜんそく 2名
- ・アレルギー 3名
- ・慢性胃炎
- ・リンパ腫
- ・甲状腺機能低下症
- ・高脂血症 2名
- ・気管支喘息
- ・糖尿病 3名
- ・アトピー性皮膚炎
- ・腰部脊柱管狭窄症
- ・脳梗塞、間質性肺炎
- ・糖尿病、腎臓病
- ・心臓弁膜症、甲状腺ガン
- ・SLE
- ・COP
- ・腰痛、胃腸障害
- ・食道がん（関係はないと思うが原発事故後福島県高湯にある実家の別荘の片づけに行ったとき夫だけは山

の水道水を飲み外にも出ていた

- ・2011年3月11日は、回答者は母の介護のため長野県松本市で暮らしていました。家族(4人)は横浜市で暮らしていました。このため回答に迷う設問がありました。また子供たちは皆成人になっていましたので、子どもの保養については学童期の子がいればと考えて回答しています。

【中部】

- ・心臓疾患
- ・やや血圧高め(薬は不要)、帯状疱疹は1年に1度程あった
- ・浜松は遠くはなれているので、健康状態には変化はなかったと思います
- ・透析中

【近畿】

- ・不整脈(心房細動) 定年前の超過勤務による過労によって起こったと思われる
- ・アトピー性皮膚炎
- ・糖尿病
- ・アトピー性皮膚炎
- ・縁内障、口内炎
- ・縁内障

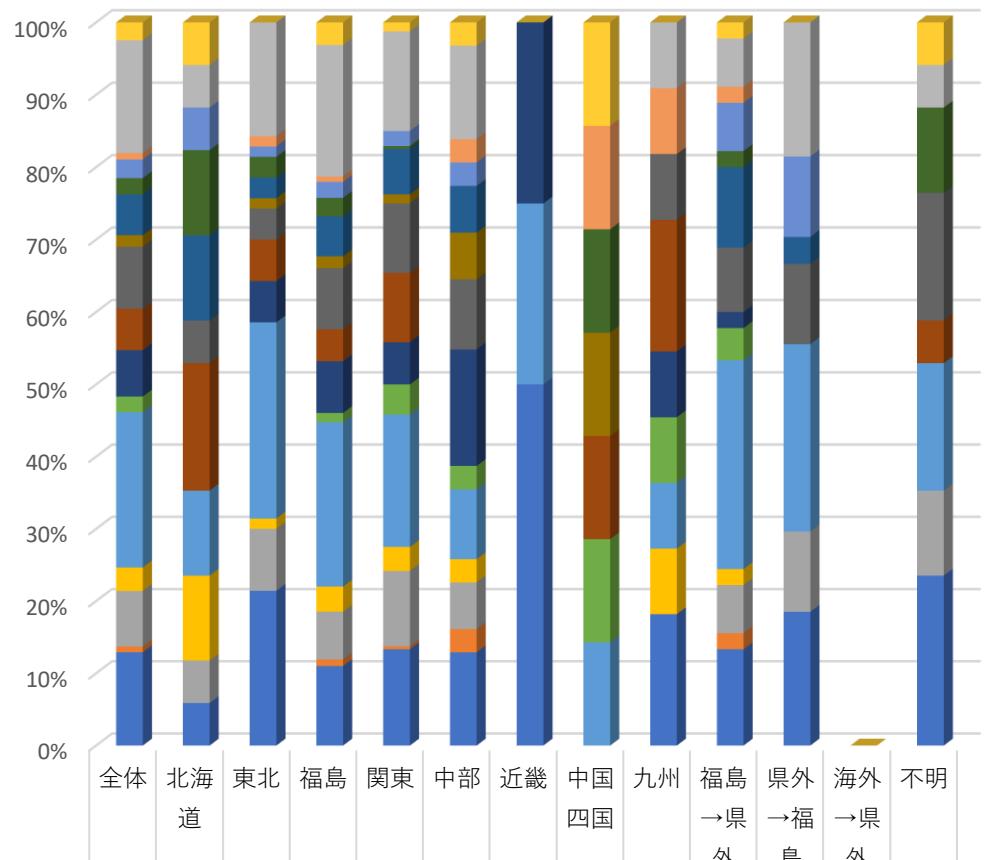
【九州】

- ・甲状腺機能障害

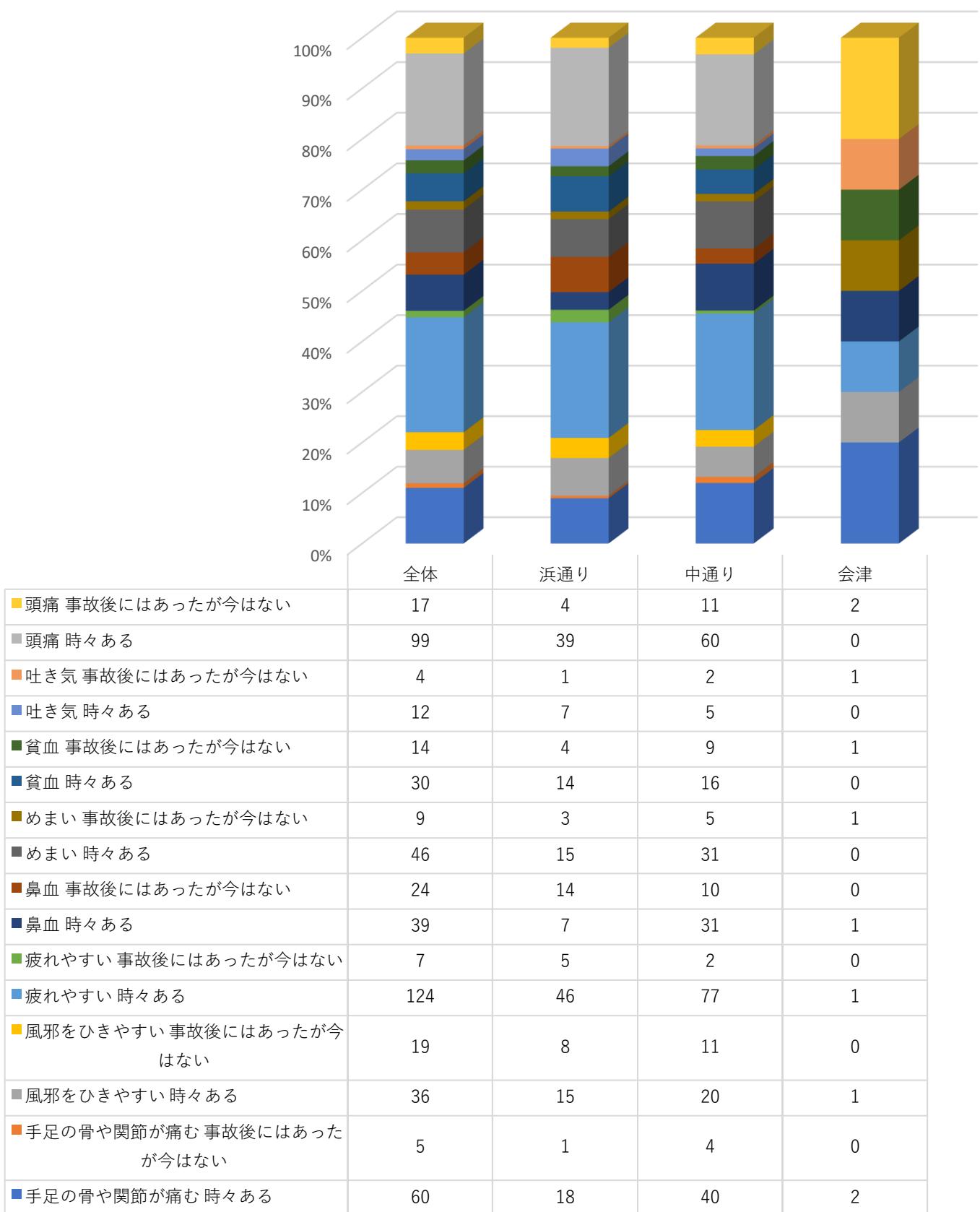
【福島→県外】

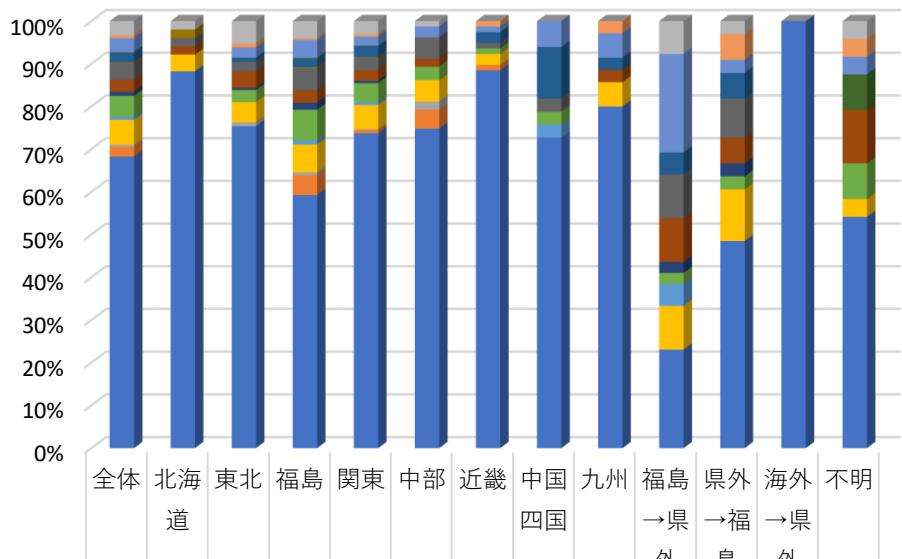
- ・アトピー
- ・橋本病

**Q12. 原発事故以前にはなかったが、原発事故後に症状が出たものについて選択してください。複数選択可
(回答者及び家族も集計に含む)**

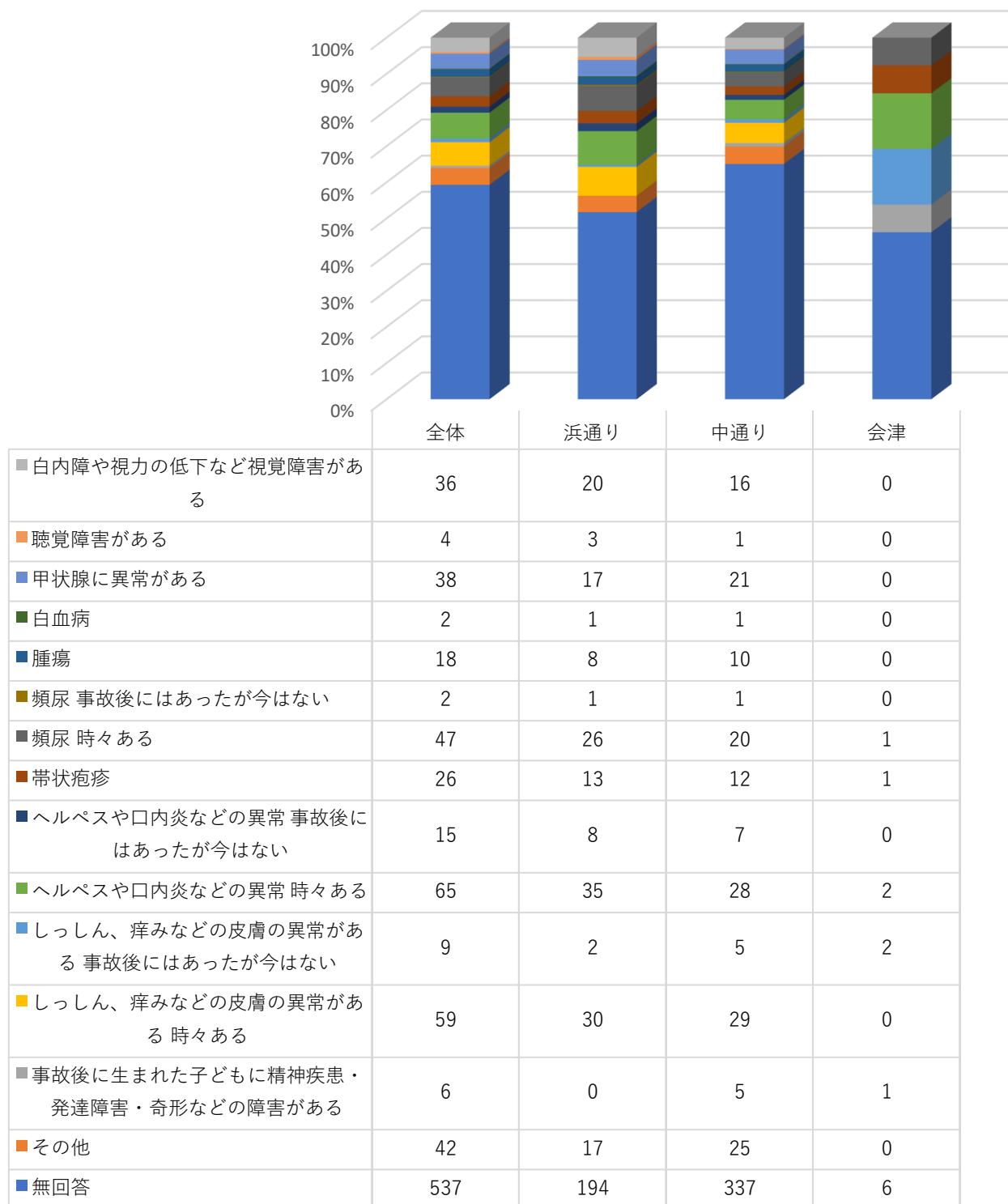


■頭痛 事故後にはあったが今はない	25	1	0	17	3	1	0	1	0	1	0	0	1
■頭痛 時々ある	158	1	11	99	33	4	0	0	1	3	5	0	1
■吐き気 事故後にはあったが今はない	9	0	1	4	0	1	0	1	1	1	0	0	0
■吐き気 時々ある	26	1	1	12	5	1	0	0	0	3	3	0	0
■貧血 事故後にはあったが今はない	23	2	2	14	1	0	0	1	0	1	0	0	2
■貧血 時々ある	57	2	2	30	15	2	0	0	0	5	1	0	0
■めまい 事故後にはあったが今はない	16	0	1	9	3	2	0	1	0	0	0	0	0
■めまい 時々ある	87	1	3	46	23	3	0	0	1	4	3	0	3
■鼻血 事故後にはあったが今はない	58	3	4	24	23	0	0	1	2	0	0	0	1
■鼻血 時々ある	65	0	4	39	14	5	1	0	1	1	0	0	0
■疲れやすい 事故後にはあったが今はない	22	0	0	7	10	1	0	1	1	2	0	0	0
■疲れやすい 時々ある	218	2	19	124	44	3	1	1	1	13	7	0	3
■風邪をひきやすい 事故後にはあったが今はない	33	2	1	19	8	1	0	0	1	1	0	0	0
■風邪をひきやすい 時々ある	78	1	6	36	25	2	0	0	0	3	3	0	2
■手足の骨や関節が痛む 事故後にはあったが今はない	8	0	0	5	1	1	0	0	0	1	0	0	0
■手足の骨や関節が痛む 時々ある	131	1	15	60	32	4	2	0	2	6	5	0	4





	全体	北海道	東北	福島	関東	中部	近畿	中国四国	九州	福島→県外	県外→福島	海外	不明
■白内障や視力の低下など視覚障害がある	84	1	11	36	29	2	0	0	0	3	1	0	1
■聴覚障害がある	16	0	2	4	5	0	1	0	1	0	2	0	1
■甲状腺に異常がある	83	0	5	38	20	4	1	2	2	9	1	0	1
■白血病	5	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	2
■腫瘍	54	0	2	18	23	0	2	4	1	2	2	0	0
■頻尿 事故後にはあったが今はない	4	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
■頻尿 時々ある	98	1	5	47	28	8	1	1	0	4	3	0	0
■帯状疱疹	72	1	8	26	24	3	0	0	1	4	2	0	3
■ヘルペスや口内炎などの異常 事故後にはあったが今はない	23	0	1	15	5	0	0	0	0	1	1	0	0
■ヘルペスや口内炎などの異常 時々ある	123	0	6	65	41	5	1	1	0	1	1	0	2
■しっしん、痒みなどの皮膚の異常がある 事故後にはあったが今はない	19	0	0	9	7	0	0	1	0	2	0	0	0
■しっしん、痒みなどの皮膚の異常がある 時々ある	145	2	10	59	53	8	2	0	2	4	4	0	1
■事故後に生まれた子どもに精神疾患・発達障害・奇形などの障害がある	13	0	2	6	2	3	0	0	0	0	0	0	0
■その他	57	0	0	42	7	7	1	0	0	0	0	0	0
■無回答	1713	45	159	537	691	119	69	24	28	9	16	3	13

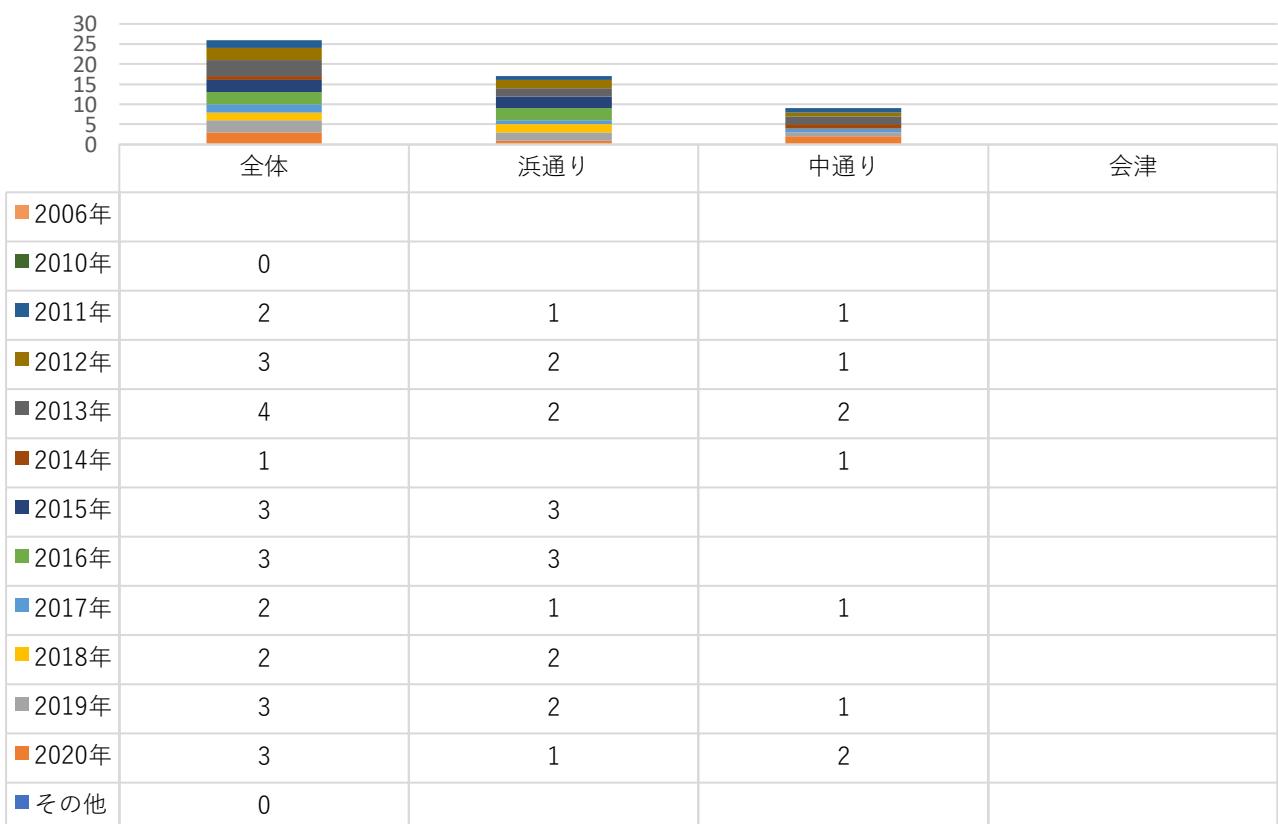
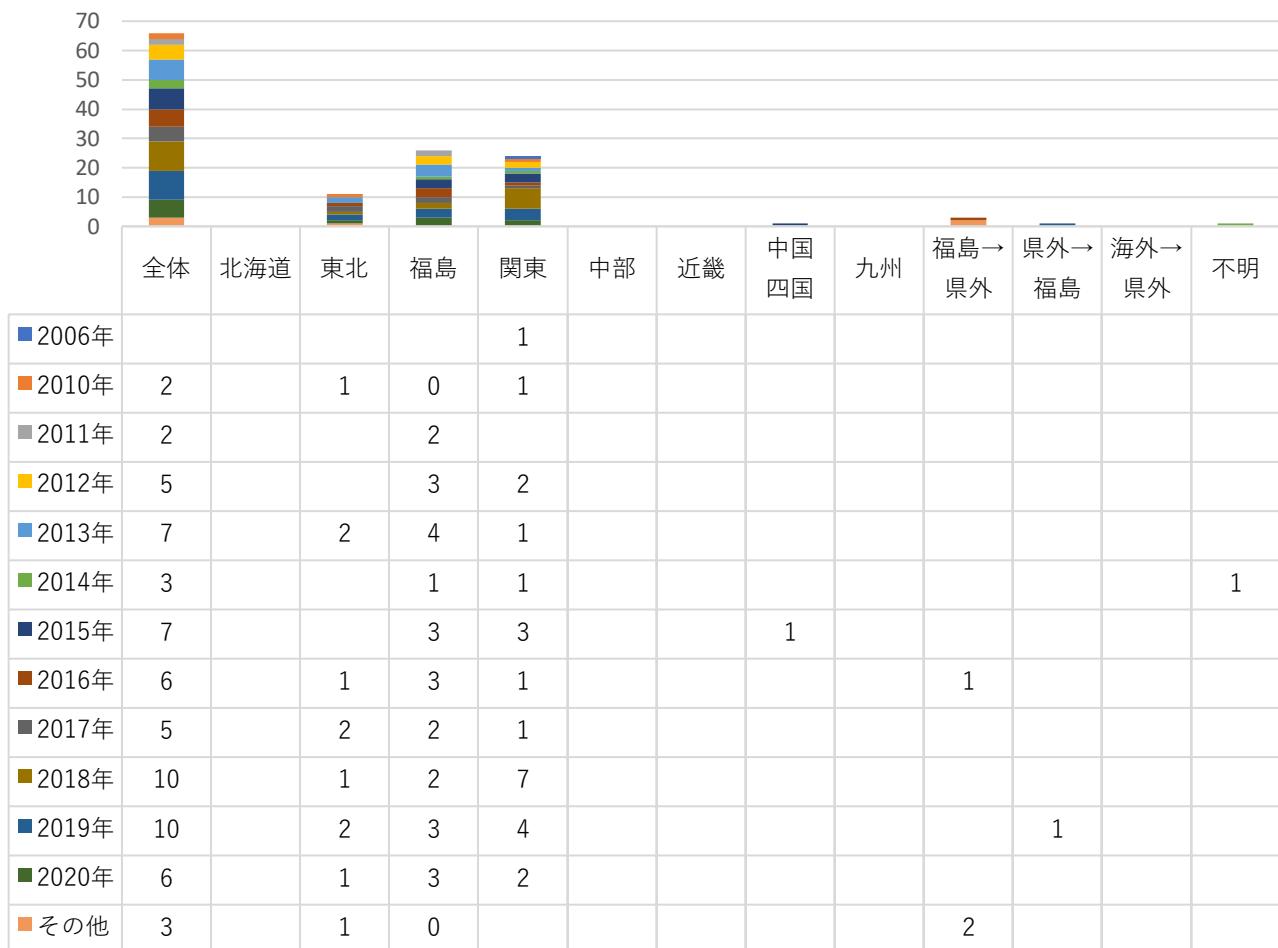


鼻血

【関東】

子どもに鼻血ができる

白内障や視力の低下など視覚障害がある

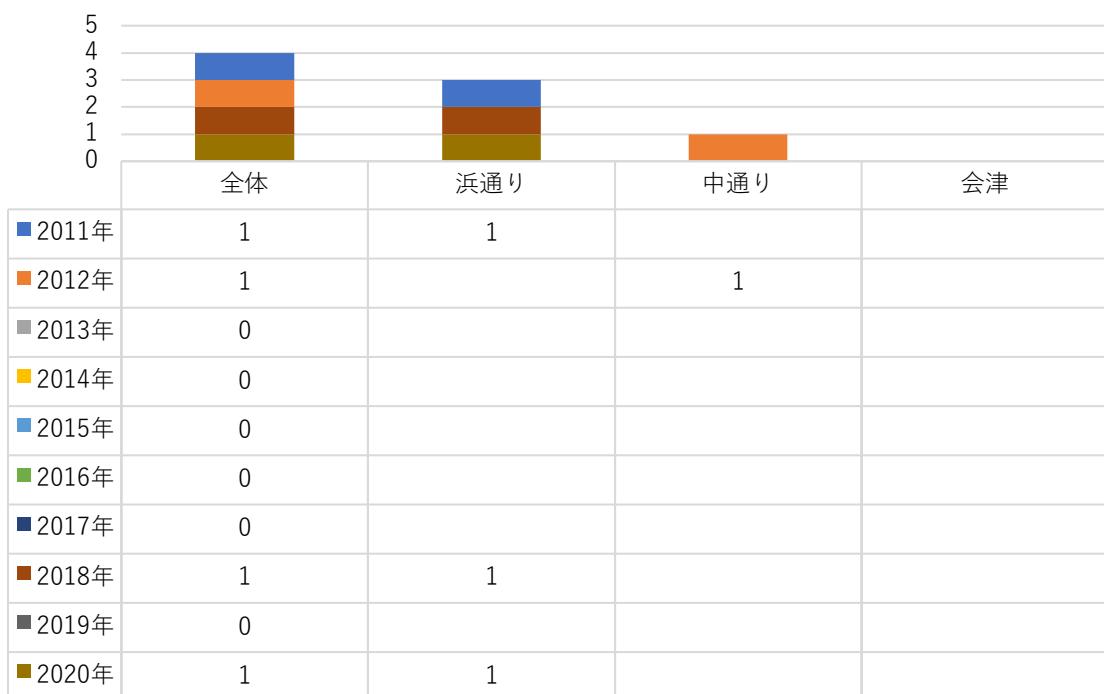


その他

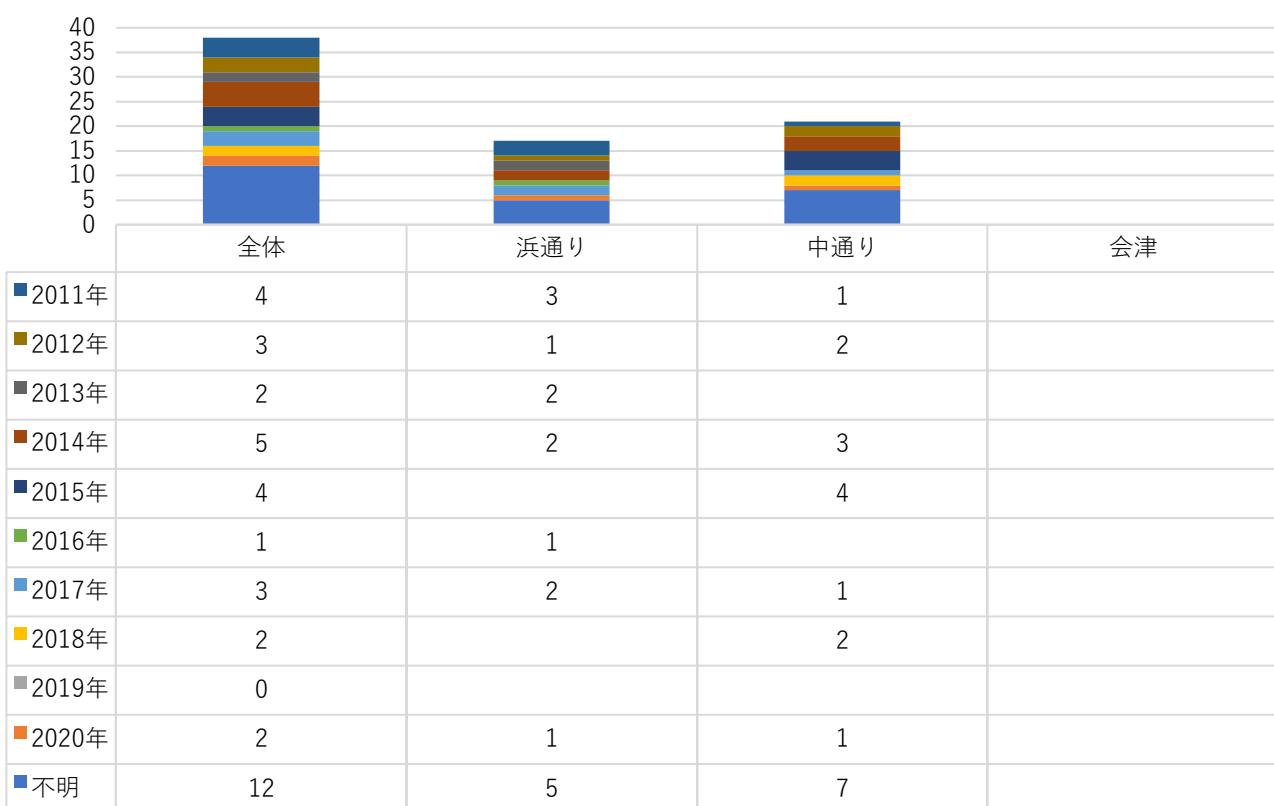
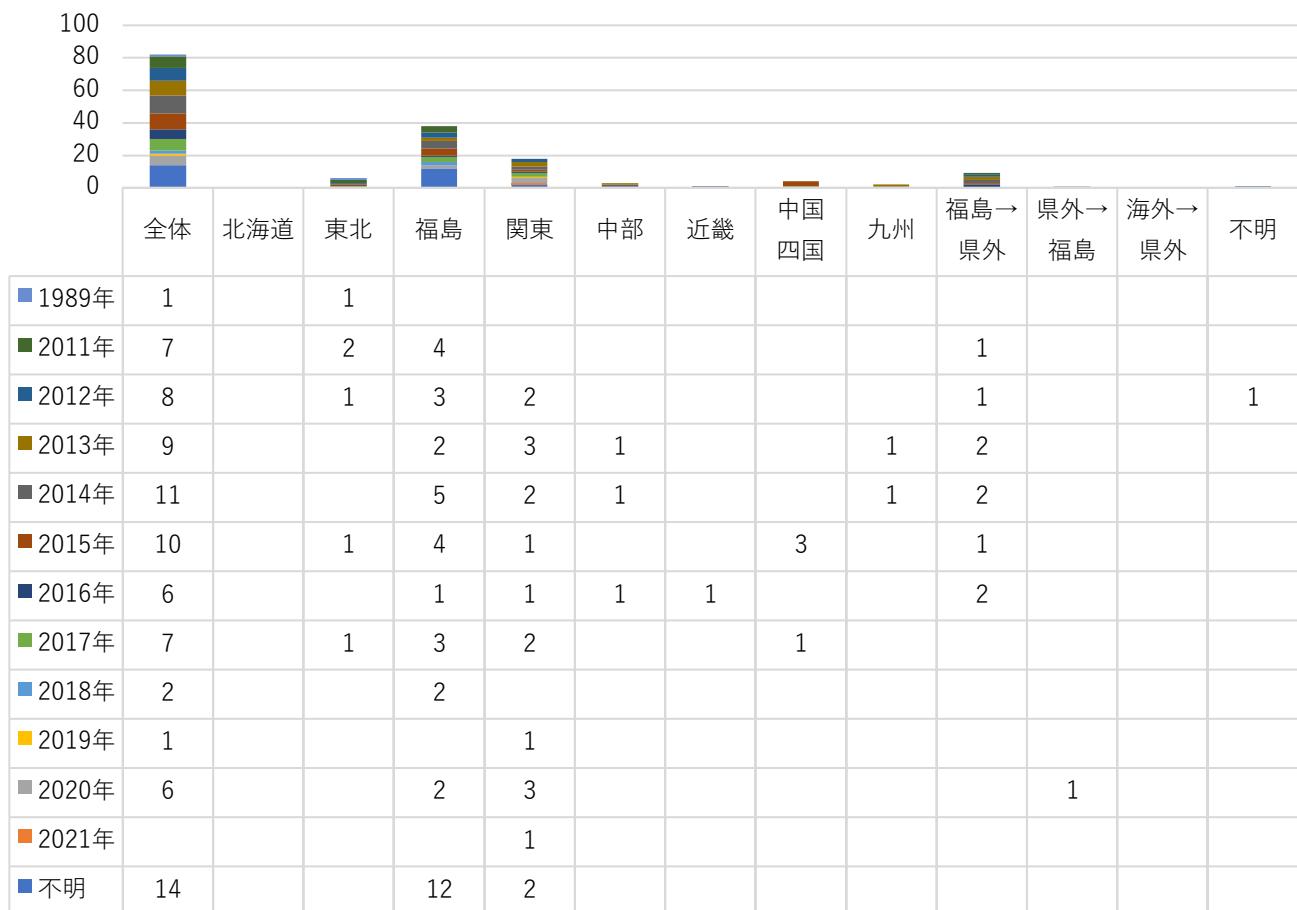
【東北】

- ・元々は縁内障があったが 2020 年 8 月頃急に悪化してほとんど見えない
- ・震災前から

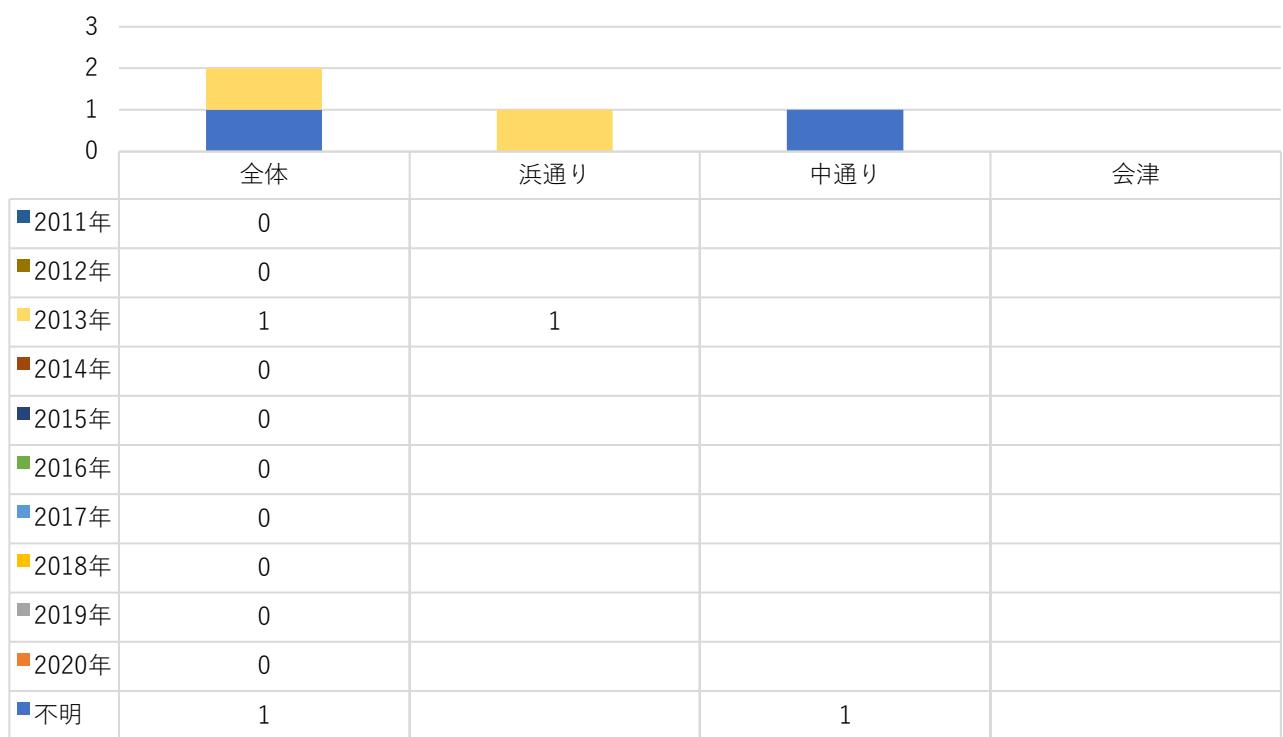
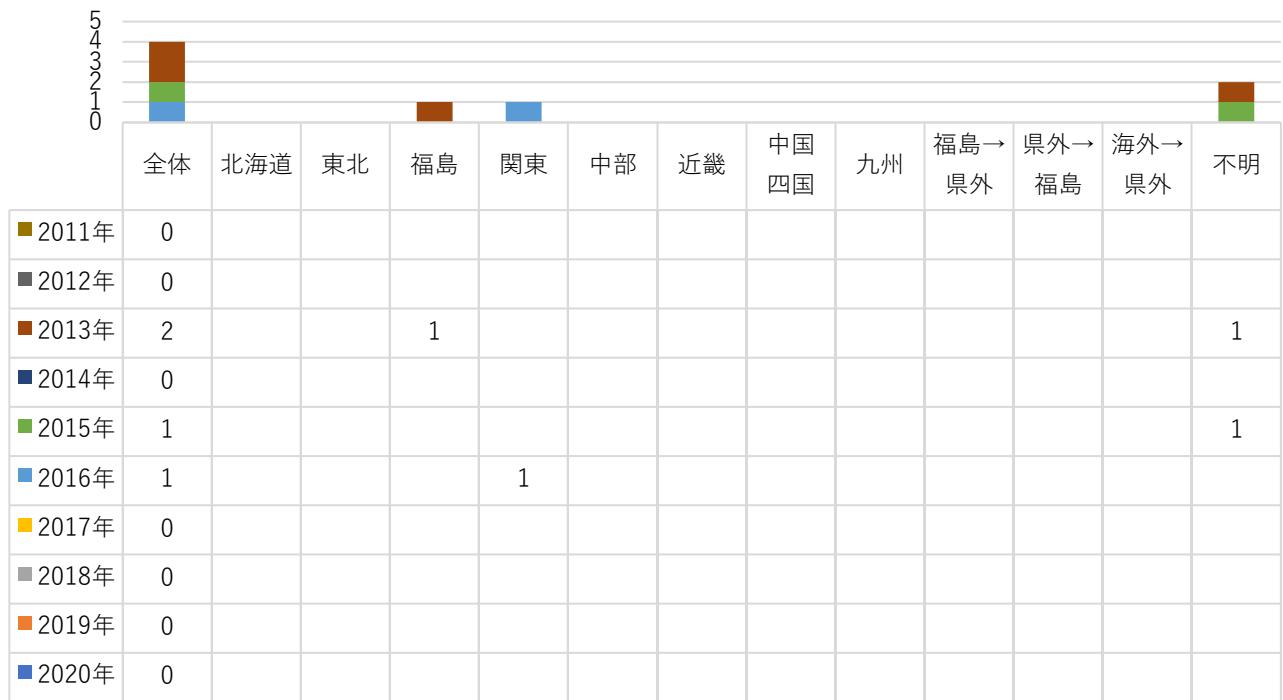
聴覚障害がある



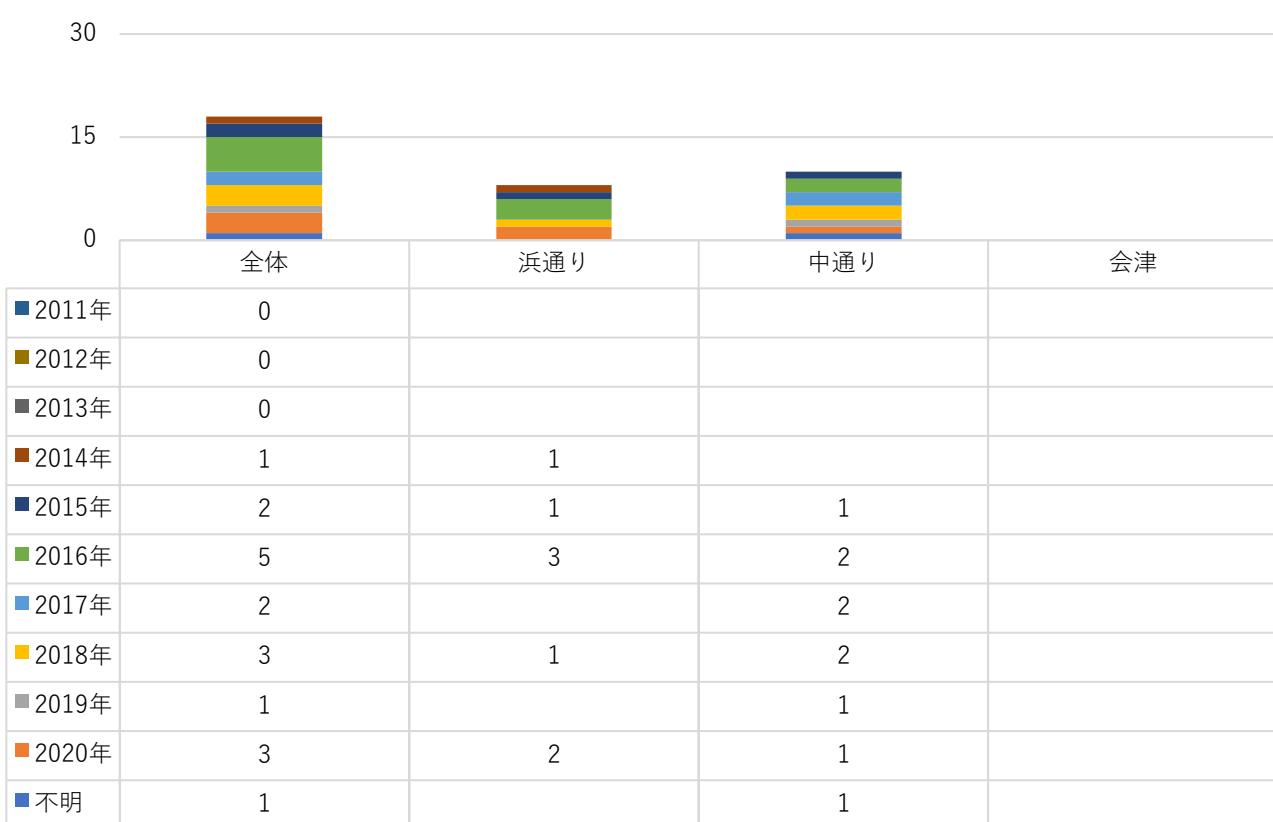
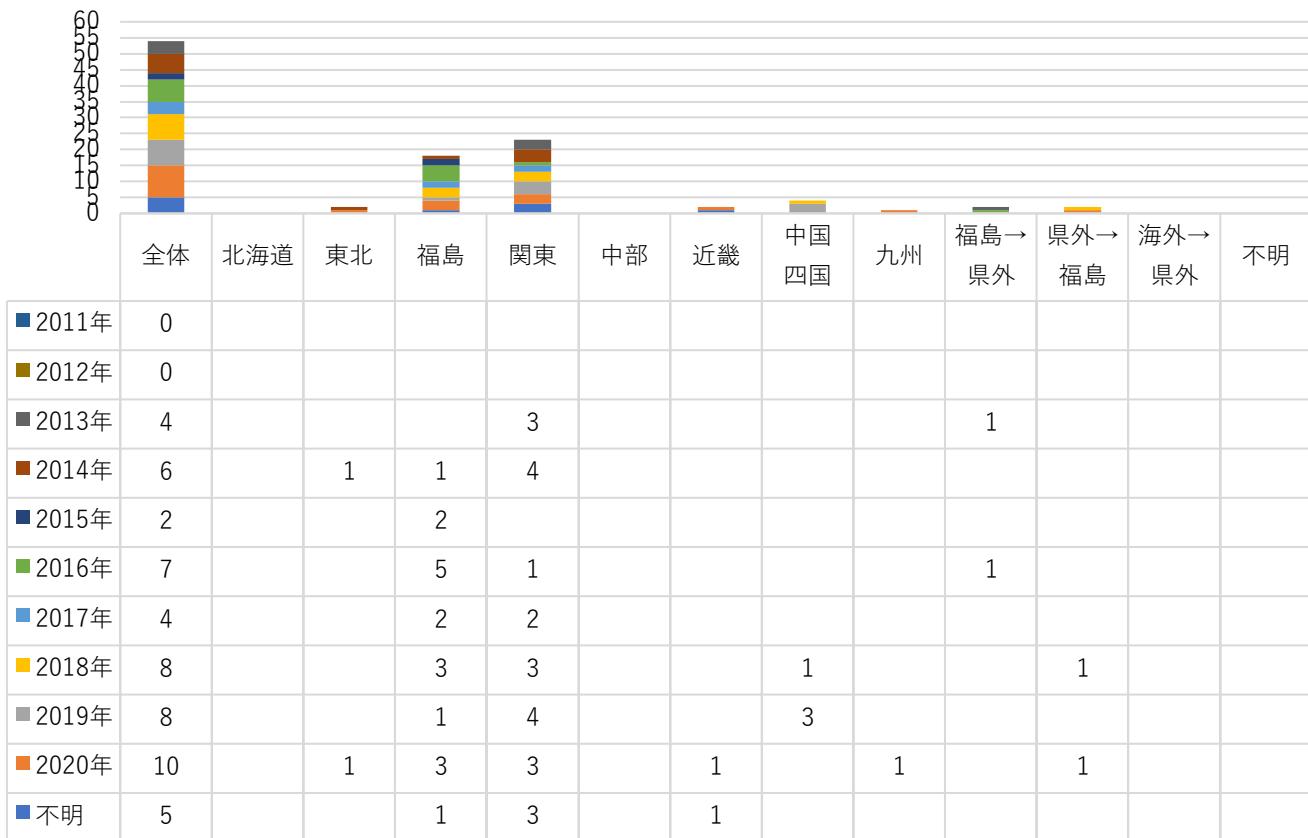
甲状腺に異常がある



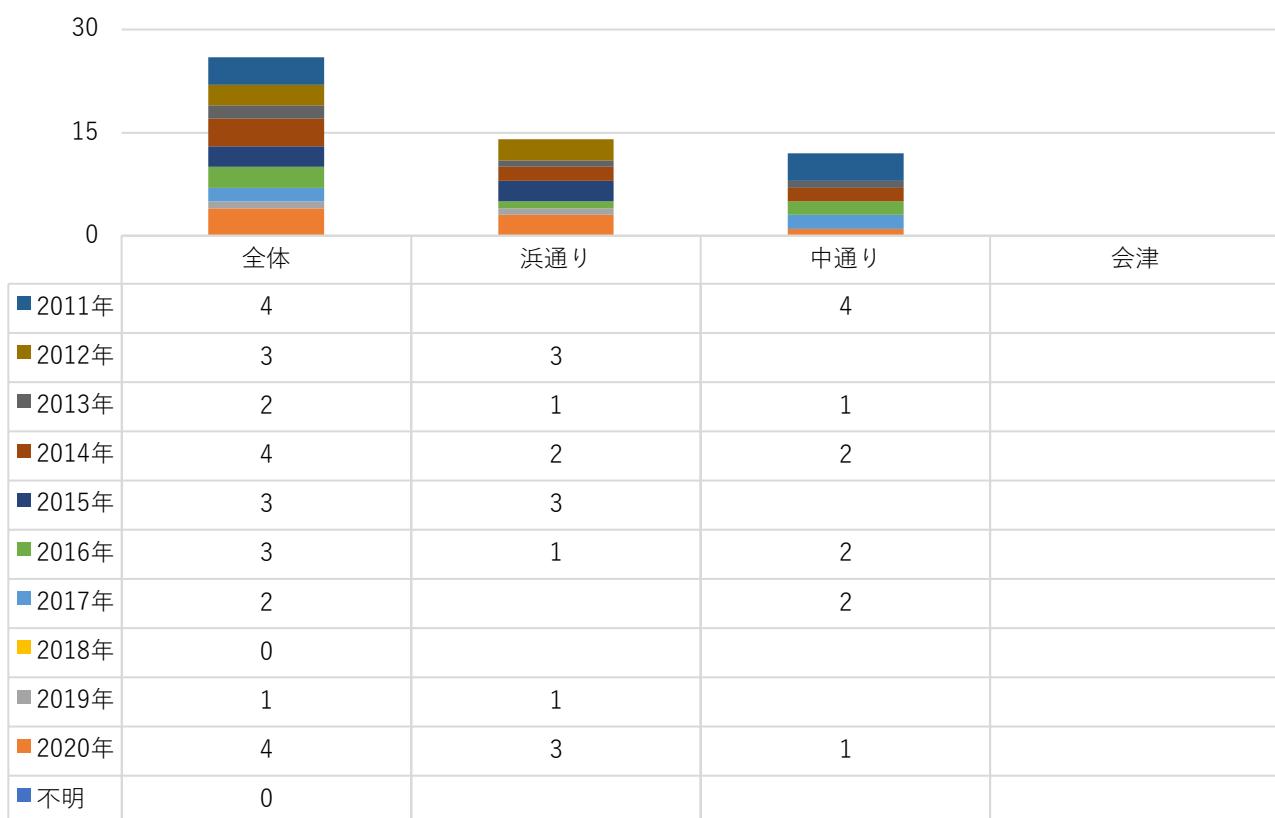
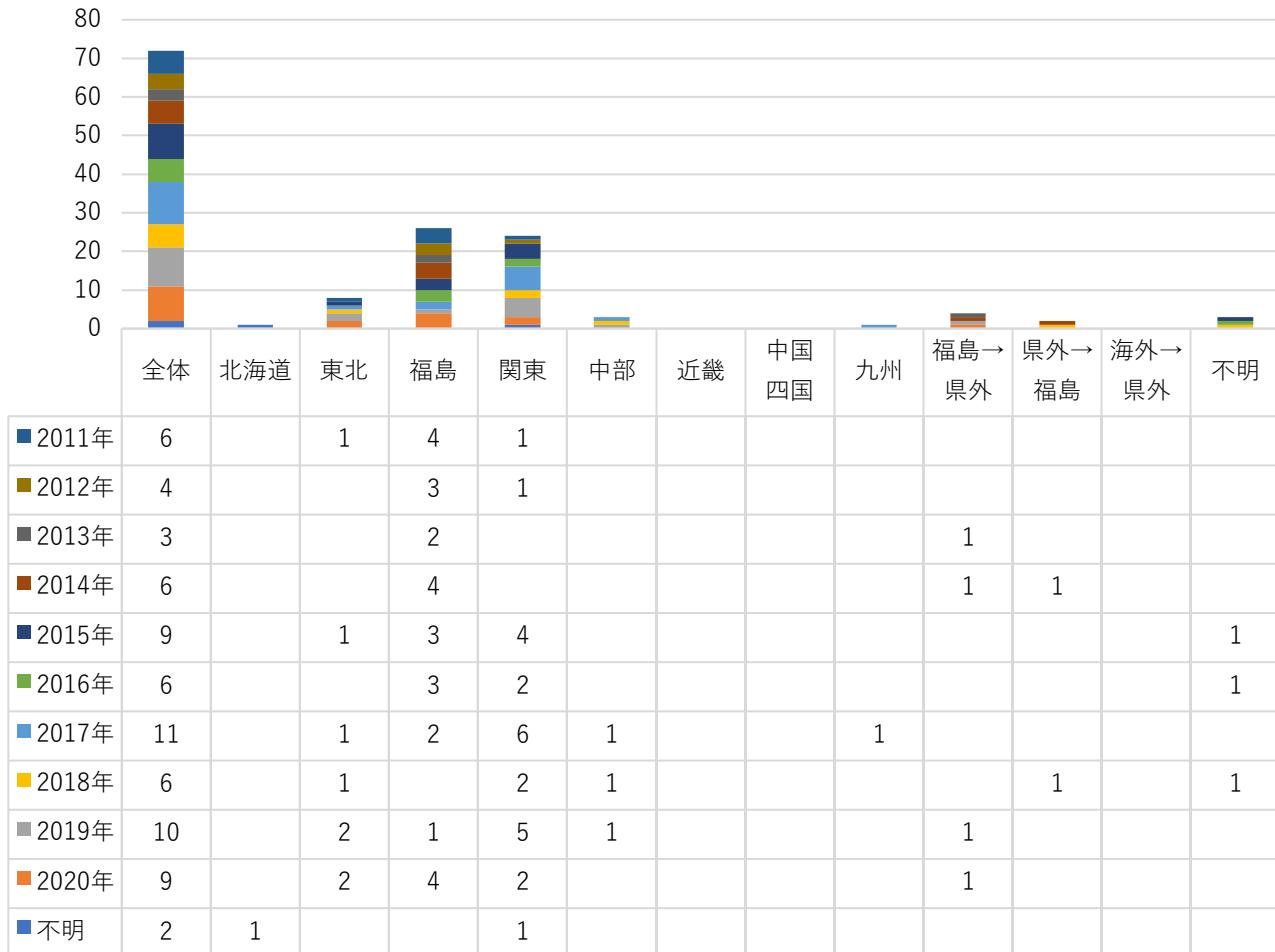
白血病



腫瘍



带状疱疹



事故後に生まれた子どもに精神疾患・発達障害・奇形などの障害がある

【東北】

- ・発達障害 2013 年生まれ
- ・2018 年生まれ発達遅れ（現在 4 歳）
- ・自閉症スペクトラム症 2 名

【中通り】

- ・子宮内不育症
- ・35 週で生まれ低体重児
- ・ファロー四徴症、肺動脈閉鎖症、低身長
- ・ADHD が疑われる
- ・心臓病
- ・出生前に(直前)前例のない肺の異常、皮フの異常があった。未だに診断も病名もつかないが、今のところ元気に育っています。

【関東】

- ・2017 年に生まれた次男。Short 症候群という疾患がある。今は主だった症状は現れていないが今後症状が出てくるらしい。糖尿病、感性難聴、縁内障、低身長、生歯遅延等々。常性染色優性遺伝子
- ・軽いが停留睾丸(2015 年生)今は移動している。
- ・鼻血はそれまで経験したことのないもので、半年に 1 度 3 回ほど。
- ・胆道閉鎖症
- ・ドーラベ症候群、SCN1A のミスセンス変異による軽度知的障害
- ・歯がエナメル形成不全

【中部】

- ・ADHD(アスペルガー)多動
- ・ADHD(アスペルガー)こだわりがつよい

【福島→県外】

- ・2012、1 月頃落ち着きがなかった

その他

【東北】

- ・事故後アトピー性皮膚炎(2020 年 8 月)
- ・寝ている時など心臓が短時間(数秒)止まる感覚有
- ・加齢によるものです
- ・アレルギーが酷くなった。喘息気味になった
- ・元々レントゲンや薬剤には過敏だったが余計過敏になった様な気がする。副作用がひどくなったような気がする。

【浜通り】

- ・セキが長期間続き、肺の一部に炎症
- ・白内障や視力の低下などの視覚障害がある- 2020年11月頃発症
- ・甲状腺に異常がある-2013年10月頃発症
- ・甲状腺に異常がある-？？今、病院予約中
- ・自己免疫疾患-平成26年8月
- ・事故後、4~5年後2回たおれた(低血圧によるもの？との判断)
- ・原因不明の全身のリンパ節の腫張(2回)
- ・不眠
- ・不眠、腰痛
- ・知力の低下
- ・味覚障害(2011年~2016年頃)
- ・生理がこなく、薬にて生理が来るよう治療した(当時中1、服薬高2)
- ・アレルギー性鼻炎
- ・しばらく喘息(2011年~2012年)
- ・乳ガン検診にひっかかった
- ・第三子が13トリソミー疑いで死産しました
- ・気管支拡張症
- ・下血-事故後にあり、今はなし
- ・ぜんそく(2011/6/4産)
- ・心室中隔欠損症(2020/9/7産、12/1に発覚)

【中通り】

- ・検診で3年前より白血球が少なくなってきた
- ・うつ病
- ・脱毛、器官が弱い、高血圧、胃炎、脳梗塞
- ・ワーキングメモリー不足
- ・不明熱、下痢、イライラ、発達障害、新生児仮死
- ・喘息の再発、2012年10月頃から慢性的な倦怠感、身体痛（下肢）
- ・小児喘息、アレルギー
- ・5年前がんで亡くなる
- ・咽頭がん、卵、魚卵、猫アレルギー
- ・地下鉄、エレベーター、映画館がダメだったが今大丈夫
- ・背骨弯曲、車に乗ると酔う
- ・過呼吸、スギ花粉になった
- ・はげ
- ・髪の毛の脱毛
- ・車に乗ると酔う

【会津地方】

- ・帯状疱疹-5回位発症
- ・事故後に産まれた子どもに精神疾患・発達障害・奇形などの症状がある-肺動脈狭窄症、斜視(2012.2.2 生まれ)

【関東】

- ・心筋梗塞(2018年10月)
- ・心筋梗塞(2019年10月)
- ・下痢多発
- ・脱毛、脳出血、化学物質過敏症
- ・乳がん(6年前)
- ・偏頭痛(半年前から)
- ・手足口病、不整脈
- ・胸の苦しみ、脱毛
- ・体部白癬腰(2015年)
- ・糖尿、高血圧、脂質異常
- ・認知力の低下、脳梗塞、高血圧、心不全
- ・心臓弁膜症、弓部動脈瘤手術、臓機能低下、慢性心不全
- ・手の皮ふが突然紫色になる部分があり、消える
- ・顔や首、腕に紫色のアザのようなものが突然できて消える
- ・食道がん
- ・食物アレルギー
- ・2011年4月に流産
- ・不整脈
- ・下痢が続いた。喉の痛み。足がむくむ+痛み。怠い、やる気が起きない
- ・鼻がずっとたれる感じがする
- ・好中球の減少・異形リンパ球有
- ・2015年子宮頸がん発症して2018年死亡
- ・心臓に疾患
- ・2014年長男が産されましたがグレーと判断されました。(現在は特別クラス待ち)
- ・身体のある部分が痛む事があった
- ・脳梗塞4回 2019年に死亡
- ・結膜炎、粉瘤、鼻穴の出来物
- ・うつ病
- ・落ち着きがない、集中できない
- ・喘息、生後10か月
- ・アトピー、目が悪い、落ち着きがない、時々鼻血。北風吹いた時によく出る。
- ・2013年1月ごろ甲状腺に異常を発症
- ・膠原病
- ・糖尿病

- ・少々やる気が少なくなった
- ・甲状腺機能低下

【中部】

- ・1型糖尿病発症(2013年)
- ・2015年脳出血でたおれた
- ・高血圧、心臓弁膜症
- ・この質問に回答すると、すべての体調変化(加齢によるものなども)が原発事故のせいにみたいになっちゃいますよね
- ・ムネの苦しさが約7~8年続いた
- ・下痢
- ・アトピー発症
- ・肝臓脾臓障害・投薬
- ・心筋梗塞(1年後なので相関関係は不明)

【近畿】

- ・鼻血 事故後3年間続いた。(3/24~4/2 福島から気仙沼でボランティア)
- ・腫瘍 事故後2~3年後に手術
- ・心房細動手術(2013年)
- ・心臓手術(2017年)
- ・マムシに噛まれ入院(2019年)
- ・心臓手術(2020年)

【中国・四国】

- ・心筋梗塞(1年後なので相関関係は不明)

【九州】

- ・上記は痛むというより同じ姿勢を長く続けると固まる感じ、加齢ゆえと思うが
- ・下痢 2名
- ・2011年~2年間位、食品アレルギーがひどかったです
- ・2012年~歯が3本抜けました
- ・熱咳で入院したことがある

【福島→県外】

- ・事故後一時期すごい眠気があったが今はない
- ・2012年、円形脱毛症発症。部分ウィッグ着用。現在は完治。発症13歳
- ・突発的な発熱
- ・気づかれする
- ・のどの出血、せき
- ・今年、シェーグレン症候群と認定

- ・発達障害のけいこうがある
- ・完全型房室中隔欠乏症
- ・低体重
- ・発達障害
- ・気管支喘息
- ・橋本病
- ・気管支喘息
- ・腎臓結石
- ・血小板減少紫斑病
- ・けっべき症
- ・上皮細胞に甲状腺腫瘍

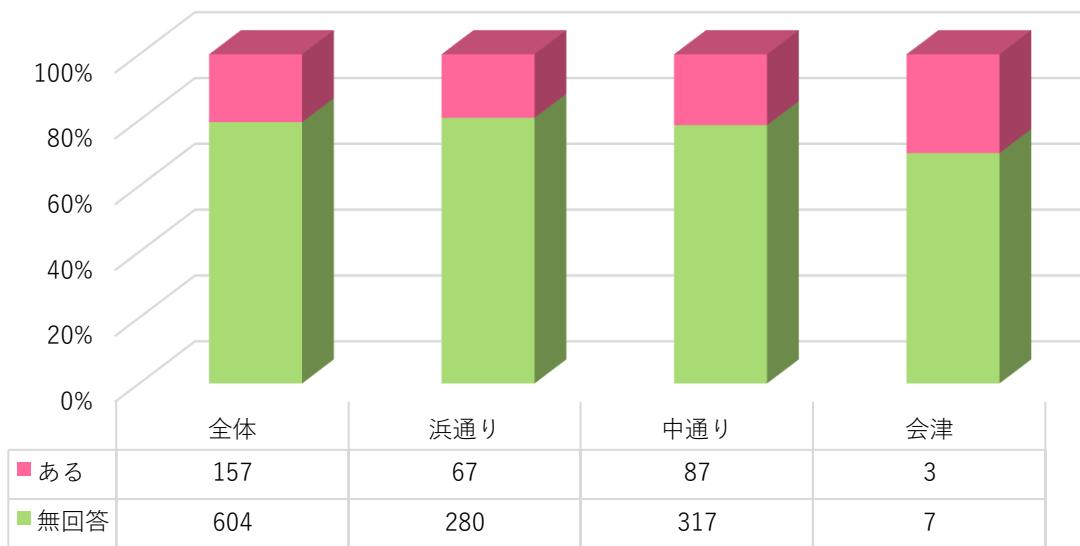
【県外→福島】

- ・精神的恐怖

【地域不明】

- ・SAPHO 症発症

Q13. 原発事故後から現在までに入院したり、通院したことがありますか？ある場合は、時期と症状(病名)をお書きください。(回答者及び家族も集計に含む)



【北海道】

- ・白内障(2019年)
- ・肝臓結石(2020年)
- ・鼻血(2015年)、硬膜下出血(2015年)
- ・高血圧、頸部ヘルニア(2014年)、若年性パーキンソン症候群(2016年)
- ・胆のう炎(2011年)
- ・脳梗塞(2011年)
- ・子宮がん(2011年)
- ・前立腺腫瘍(2014年)

- ・白内障手術(2020年)
- ・椎間板ヘルニア(2018年)

【東北】

- ・原因不明の腰痛(28歳)
- ・熱性けいれん 2年に1回位(1~5歳)、インフルA(5歳春)、インフルB(5歳冬)
- ・甲状腺(35歳)
- ・SAS(2012年)
- ・乳ガン(2014年)
- ・結節性甲状腺腫(2012年)
- ・肺炎、インフルエンザで入院(2011年)、2013年6月病院で死亡
- ・口内炎(口の中にガン)通院、入院(2017年)、2017年8月死亡
- ・心筋梗そくで死亡(2013年)
- ・ガン(2014年)
- ・膀胱癌(2014年)
- ・左膝良性軟部肉腫(2020年)
- ・心室細動(2016年)
- ・骨折(2020年)
- ・軽い脳出血(2012年)、重い脳出血(2015年)
- ・逆流性食道炎(2013年)、高コレステロール(2015年)
- ・小腸えし(2018年)
- ・出産(2011年)
- ・大腿骨骨折(2013年)、肺炎(2020年)
- ・小腸 GIST(2020年)
- ・左大腿骨頭すべり症(2018年)
- ・脳内出血(2017年)
- ・帯状疱疹(2017年)、うつ病(2017年)、帯状疱疹(2019、2020年)
- ・肺炎(2015年)
- ・メニエール症候群(2019年)
- ・胆石症(2012年)、高コレステロール(2018年)、糖尿病(2020年)
- ・腸閉塞(2014年)、半月板損傷(2018年)、慢性胃炎(2020年)
- ・腸ポリープ(2020年)
- ・原因不明足の痛み(2020年)
- ・左卵巣のう腫(手術)(2012年)
- ・ソケイヘルニア(2013、2014年)
- ・転換性障害(2018年)
- ・突然全身が動けなくなる(2018、2019、2020年)
- ・糖尿病、緑内障(事故ずっと前から)
- ・うつのような症状(2011年)
- ・虚血性大腸炎で入院(2015年)

【浜通り】

- ・肺炎(一部)セキ、発熱(37.5°C~)(2012年頃)
- ・ヘルペス(口、唇)大人になってはじめて(2011年秋頃)
- ・不整脈(2013年から)
- ・甲状腺のう胞(良性)(2012年頃)
- ・EV ウィルスによる発熱(2012年頃)
- ・近視(2020年頃)
- ・肺炎
- ・甲状腺検査で毎回再検査指摘
- ・白内障(2015年)
- ・自己免疫疾患(2014年)、縦後靭帯骨化症(2018年)
- ・顔面神経マヒ(2020年7月)、喘息(2020年11月)
- ・乳癌(2016年)
- ・右肩腱板断裂(2016年)、右肘神経移動(2018年)
- ・白内障(2011年)、蓄膿症(2011年)
- ・左乳癌(2020年)、甲状腺腫張(2017年)
- ・甲状腺のう胞(2011年)
- ・肺炎入院
- ・全身リンパ節の腫張(2015年)
- ・白内障(2016年)、関節の痛み(2021年)
- ・食道がん(2016年)、皮フのトラブル(2019年)、心臓腫瘍(2019年)
- ・年のせいもあるのでしょうか？今までにない年より病気が出ています
- ・精巣がん(2013年)
- ・胆のう炎(2015年)
- ・肺炎(2012年8月3日入院)
- ・じんましん、発熱(原因不明)2020年10月
- ・子宮全摘(病理は異常なし)2018年5月
- ・敗血症(2016年)
- ・鼻炎(2011年8月~2012年2月)、狭心症の疑い・高血圧症(2015年)、白内障(2017年)
- ・前立腺がん疑い(2019年~2020年定期的に通院)
- ・頭痛(2012年)、めまい(2016年)
- ・中耳炎チューブを入れた(2012年)、中耳炎癒着を手術(2013年)、アデノイド(2014年)
- ・膀胱炎何度も(2011~2012年)、カンジタ何度も(2011~2015年)、不安症うつ病(2015年~)
- ・腰痛(2016年)
- ・総合失調症(2014年)
- ・壊死性リンパ節炎(2018年)
- ・大腸ポリープ(2019年)
- ・味覚障害(2013年~2014年)
- ・胆のう炎(2014年)

- ・胃ガン(2014年)
- ・生理不順(2014年)
- ・肺炎(2012年)
- ・膿疱性乾癬(2013年)
- ・口腔扁平苔癬(2013)、舌がん(2016年)
- ・アレルギー性鼻炎(2011年)
- ・急性壊死リンパ節炎(2015年)
- ・のどの腫、痛み(2020年4月)、虚血性大腸炎(2013年11月)
- ・たんのうポリープ(2019年)
- ・目疾患(2019年)
- ・白内障(2012年)
- ・卵巣出血(2016年)
- ・貧血(2020年)
- ・高脂血症(2019年3月)
- ・片頭痛(2019年7月)
- ・痔ろう(2020年)
- ・尿路感染症(2013年)
- ・鼠径ヘルニア(2018年)
- ・白内障(2019年)
- ・逆流性食道炎(2011年)、関節痛、橋本病(2012年)、手術との悪化、背中痛・胸痛(2013年)
- ・脂質異常(2012年)
- ・骨折(2018年12月)
- ・ぜんそくを伴う肺炎(2013年)
- ・肺炎(2012年)
- ・かいよう性大腸炎(2015年)
- ・ヘルニア(2018年)

【中通り】

- ・白内障手術(2016年)
- ・歯周病
- ・大腸炎
- ・くる病(2013年)
- ・虫歯(2015年)
- ・中耳炎(2012年)
- ・うつ(2012年)
- ・白内障手術(2016年)
- ・脳こうそく(2013年)、脳こうそく(2015年)、たしちょうかいよう(2011年)
- ・シェーグレン症候群(2019年)
- ・骨折(2019年)
- ・白内障(2013年)

- ・川崎病(2016年)
- ・痔(2017年)
- ・脳こうそく(2012年)
- ・脳腫瘍(2014年)
- ・リュウマチ(2019年)
- ・心臓(2012年)→2014年10月死亡
- ・胃がん(2019年)
- ・RSウイルス(2013年)
- ・甲状腺癌(2019年)
- ・初期乳がん(2018年)
- ・慢性肝炎(2011年～2020年)
- ・慢性感冒(2011年～2013年)
- ・直腸がん(2018年)、急性すい炎(2019年)
- ・片頭痛(2012年)
- ・高熱けいれん(2013年)
- ・糖尿病(2012年)
- ・大腸がん(2019年)
- ・総合失調症(2019年)
- ・双極性障害(2017年)
- ・大腸ポリープ(2011年)
- ・心筋こうそく、脳こうそく(2015年)、咽頭がん(2019年)
- ・脳出血(2016年)
- ・甲状腺腫瘍(2018年)
- ・橋本病(2015年)
- ・小児がん(2020年)
- ・喘息(2015年)
- ・大腸ポリープ(2017年)、白内障(両眼)(2019年)
- ・内科、胃炎、コレステロール(2011年)、歯科、眼科定期
- ・じんましん(2016年)
- ・前立腺がん(2016年)
- ・バセドウ(2014年)、脳梗塞(2015年)
- ・総うつ病(2020年)
- ・不明、熱(2012年、2013年、2014年)
- ・整形(3か月に1回)、心療内科(1か月に1回)
- ・気胸(2014年)
- ・急性骨髓性白血病(2015年)
- ・気管支喘息(2020年)
- ・脳こうそく(2012年)
- ・胃がん(2015年)
- ・多発性神経炎(2012年)

- ・中耳炎(2011年～2014年)
- ・中耳炎(2013～2016年)
- ・ファロー四徴症、肺動脈閉鎖症(2013年)、中耳炎(2013～2018年)、虫垂炎(2020年)
- ・橋本病(2017年)
- ・子宮筋腫(2015年)
- ・アデノイド切除(2013年)
- ・流産(2012年)、子宮内不育症により入院早産(2016年)
- ・不整脈(2011～2014年)、不眠(2011～2018年)
- ・右大腿骨骨囊腫(2012年)
- ・マイコプラズマ肺炎(2011年)
- ・ぼうこう癌(2014年)
- ・アレルギー性鼻炎(2013年)
- ・アレルギー性鼻炎(2014年)、腰痛(2015年)
- ・マイコプラズマ(2017年)
- ・神経障害性疼痛、線維筋痛症(2015年)
- ・急性胆嚢炎(2016年)、悪性リンパ腫(2017年)、胆のう摘出(2020年)
- ・胆のう摘出(2016年)
- ・糖尿病(2019年)
- ・甲状腺ガン(2015年)、SLE(2016年7月、12月)、くも膜下出血(2019年12月)
- ・熱性けいれん1～3泊程、年1回入院(2011～2016年)
- ・PMS子どもへのイライラ(2016年)
- ・甲状腺(結節)腫瘍(2018年)
- ・子宮筋腫(2015年)、ぜんそく(2020年)
- ・気管支喘息(2017年)
- ・40年前からシェーグレン症候群
- ・甲状腺(2015年)
- ・甲状腺腫瘍(2015年)
- ・肺炎2回(2012年)
- ・乳がん(2019年11月)
- ・がん(2017年)
- ・骨折(2012年)、かかとの骨折(2014年10月)
- ・胃炎(2011年)、湿疹(2012年)、アレルギー性鼻炎(2018年)
- ・高血圧(2011年)
- ・鼓膜せん孔、副鼻腔炎(2012年)、めまい(2015年)
- ・鼻血が頻繁に出ていた(2014年～)
- ・出生前に前例のない肺の異常、皮フの異常があった
- ・乳ガン(2017年)
- ・肺炎(2011年、2012年)

【会津地方】

- ・生まれた時から(2012.2.2)-肺動脈狭窄症
- ・魚アレルギー、皮フ湿疹、痔(2011年頃)
- ・皮フ湿疹、風邪(2011年頃)

【関東】

- ・白内障手術(2013年)、心筋梗塞(2018年)
- ・甲状腺ガン手術(2019年)
- ・弁膜症手術(2019年)
- ・脳血管剥離(2018年)
- ・肺気腫(2019年)
- ・痔(2019年)
- ・乳がん(2016年～2017年)
- ・胃がん(2015年)
- ・左脳内出血(2008年)
- ・化学物質過敏症(1998年)
- ・胃がん(2018年)
- ・帯状疱疹(2019年)
- ・short症候群(2017年)
- ・大腿骨骨折(2012年)
- ・虫垂炎(2019年)
- ・喘息(2011年12月)、頸部リンパ節炎(2014年8月)
- ・適応障害(2011年)、狭心症(2019年)
- ・乳がん手術(2015年)
- ・脳梗塞(2020年)
- ・流産(2020年)
- ・乳癌(2019年)、変形膝関節症(2013年)
- ・乳がん(2019年)
- ・気管支ぜんそく(2010年～現在)
- ・上室性頻脈に対する電気的細却装置
- ・肺炎(2016年)
- ・帯状疱疹(2020年)
- ・腸閉そく(2019年)
- ・白血病(2016年)
- ・大腿骨骨折入院(2019年)
- ・乳がん(2014年)
- ・胃がん(2017年)
- ・熱中症下血(2014年)
- ・ウツ(2018年)
- ・がん(2012年、2018年)
- ・甲状腺肥大

- ・腸管大量出血(2018年)
- ・大腸がん(2017年)
- ・肺(2018年)
- ・WPWのためアブレーション(2019年)
- ・卵巣腫瘍(2014年7月)
- ・縁内障手術(2019年)
- ・心房細動(2019年)
- ・白内障(2020年)
- ・糖尿病による白内障(2015年)
- ・低音障害型感音難聴(2020年)
- ・膠原病(2015、2018年)
 - ・マイコプラズマ肺炎(2018年)、喘息アレルギー増悪(2020年)
- ・尿管結石(2013年)、胆石、胆のう炎(2017年)
- ・喘息(2017年)
- ・喘息(2012、2015年)
- ・胆どうへいさ(2013年)、胆汁性肝硬変(2014年)
- ・鼻るいかん閉鎖(2018年)、気管支炎(2019年)
- ・帶状疱疹(2015年)
- ・二分脊椎(9年前)
- ・皮フがん(2014年)
- ・そけいヘルニア(2014年)
- ・甲状腺水胞アリ(2013年、2016年)
- ・乳ガン(2013年)
- ・胸、心臓の苦しみ(2013年)、頭部脱毛(2014年)
- ・腰にゼニタムシ(2015年)
- ・せき柱管狭さく(2012年)
- ・白内障(2018年)
- ・急性胃潰瘍(2013年)、大腸ポリープ隔除(2013年、2019年)
- ・食道炎(2018年)
- ・生活習慣病(2013年～現在)、手の腫瘍ほくろ(2021年)
- ・脳梗塞→死亡(2014年～2015年)
- ・弓部動脈瘤解離、腸骨動脈瘤(2015年)、心不全(2015年～現在)
- ・心臓発作(2013年)→死亡
- ・骨折(2020年1～3月)
- ・蜂窩織炎(2020年)
- ・食道ガン(2016年)
- ・肺炎(2012年)
- ・咳ぜんそく(2016年)
- ・骨折(2017年)
- ・膵臓癌(2018年)

- ・白内障(2020年)
- ・感染症(2019、2020年)
- ・すい臓ガン(2017、2018年)
- ・脊柱管狭窄症(2016年)
- ・白内障手術(2018年)
- ・乳がん(2019年)
- ・心房細動(2017、2019年)
- ・悪性リンパ(2018年)
- ・白内障手術(2019年)
- ・帯状疱疹(2017年)
- ・高血圧(2019年)
- ・直腸ポリープ(2015、2016、2019年)
- ・甲状腺腫瘍(2014年)
- ・一過性全健忘(2012年)、眼内炎(2014年)
- ・甲状腺ガン(2019年)
- ・軟口蓋の癌(2012年)
- ・胃かいよう(2018年)
- ・甲状腺がん(2019～2020年)
- ・下肢静脈血栓症(2012年)
- ・子宮ケイガン(2015年)
- ・尿管結石(2014年)、白内障(2018年)
- ・甲状腺がん(2012年)、大腸がん(2019年)
- ・切迫流産(2016年)
- ・肺炎(2014年)
- ・肺炎(2014年)
- ・虚血性心疾患(2010年)
- ・帯状疱疹(2017年)
- ・うつ病 繼続(2014年)、ギランバレー症候群(2018年)
- ・肺炎(2019年)
- ・白内障(2018年)
- ・乳がん、甲状腺がん(2020年10月～)
- ・心房細動(2019年)、ぼうこうガン(2019年)
- ・症状わからず身体のある部分が痛みだす(時々)(2017～2019年まで)
- ・甲状腺がん(2018年)
- ・甲状腺がん及び首の悪性腫瘍(2015年)、黄ばん変性なんとかと白内障、目の病気
- ・脳梗塞(2017、2020年)
- ・偏頭痛(2019年)
- ・頭痛(2020年)
- ・胃潰瘍(2016年)
- ・アトピー(2010～2020年)、肉芽腫性口唇炎(2019年)

- ・白内障(2018年)
- ・心房細動(2015年)、子宮内膜症(2017年)
- ・脳梗塞(2013、2015、2018年)
- ・網膜剥離白内障(2013年)
- ・食道がん(2016年)
- ・気管支喘息(2017年5月、8月)
- ・前立腺ガン(2015年)
- ・足骨折(2015年)
- ・脳梗塞(2019年)
- ・子宮筋腫、子宮頸部上皮異形成(2012年)
- ・乳ガン(2011年)
- ・じんましん(2011～2012年)
- ・うつ(2011年)
- ・とびひ、アトピー(2012年)
- ・脱水症状(2017年)
- ・睡眠時無呼吸症候群(2020年)
- ・前立腺がん(2018年)、脊柱管狭窄症(2011年)
- ・甲状腺乳頭がん(2015年)
- ・皮フ炎(2012年)
- ・大腸炎(2014年)
- ・頭痛で入院(2018年)
- ・うつ(2014年)
- ・乳がん(2020年)
- ・うつ病(2012年)
- ・食道がん(2017年)
- ・小児てんかん(2020年)、弱視(2012年)
- ・低ナトリウム症(2020年)
- ・舌がん(2017年)
- ・腎結石(2020年)
- ・呼吸など弱くなった(2015年)
- ・脾炎(2014年)
- ・ヘルニア(2018年)
- ・不妊治療(2015～2020年)、けいりゅう流産(2020年)
- ・緑内障の疑い(2019年)
- ・前置胎盤による帝王切開(2012年)
- ・白内障(2019年)
- ・原因不明の高熱(2020年)
- ・心内膜炎僧帽弁置換(2012年)、不整脈ペースメーカー植込(2013年)、甲状腺微水癌リンパ節転移(2020年)
- ・体調不良(2012年頃)
- ・橋本病(2013年頃)

- ・肺炎(2011年)
- ・足のできものの除去(2018年)
- ・うつ病(2019～2020年)
- ・肺炎(2020年)
- ・食通アカクレア(2017年)
- ・大腸ポリープ(2019年)
- ・不整脈(2020年)
- ・前立腺肥大手術(2019年)
- ・糖尿病(2012年)
- ・頭痛(2016年)
- ・腸閉塞(2014年)
- ・前立腺癌手術(2018年)
- ・腸閉塞入院(2018年)
- ・黄斑前幕編成手術(2019年)
- ・股関節手術(2013年)
- ・子宮筋腫(2014年)
- ・子宮筋腫(2019年)
- ・バセドウ病(2020年)
- ・大腸ポリープ(2018年)
- ・乳腺腫(2019年)
- ・尿路結石手術(2011年10月)
- ・子宮筋腫(2014年)
- ・腎臓炎(2011年5月ごろ)
- ・切迫早産(2011年10月ごろ)
- ・子宮筋腫(2012年7月ごろ)
- ・ジストニア(2020年9月ごろ)
- ・うつ病(2017年)
- ・脳梗塞(2016年)
- ・アレルギー皮膚炎(2011年)
- ・橋本病(2017年)
- ・大腸がん(2019年)
- ・1年生までよく痙攣した。2020年11月にも。
- ・白内障(2018年)

【中部】

- ・脳出血(2015年)
- ・鼻血とまらず(2011年)
- ・縁内障(2014年)
- ・甲状腺腫(2013年)
- ・てんかん(2019年)

- ・狭心症(2019年)
- ・手足指関節炎(2020年)
- ・慢性すい炎(2010年)
- ・食道上皮内がん(2017年)
- ・大腸がん(2014年)
- ・心臓弁膜症(2017年)、前立腺肥大(2018年)
- ・心房ブロック(2020年)
- ・切迫早産(2011年6月)
- ・副甲状腺機能亢進症(2017年)
- ・偏頭痛、アナフィラキシーショック、ぜんそく
- ・心筋梗塞(2014年)
- ・直腸がん(2019年)
- ・甲状腺ガン(2014年)

【近畿】

- ・高血圧(1990年頃)
- ・急性虫垂炎(2014年)
- ・潰瘍性大腸炎(2012年)
- ・甲状腺乳頭がん(2016年頃)
- ・乳がん(2020年10月)
- ・副鼻腔炎(2017年)
- ・変形性股関節症で人工関節にした（左）2017年同じ（右）(2015年)
- ・大腸ポリープ憩室 2～3年後に手術 原発による影響は考えていなかった。2011年3月末頃、相馬で雨に打たれながら作業したこと有り。
- ・誤嚥性肺炎(2017年)
- ・脳梗塞(2013年)

【中国・四国】

- ・前立腺がん(2020年頃)
- ・虫垂炎(2018年頃)
- ・TIA(2014年頃)
- ・がん(2019年頃)
- ・甲状腺腫瘍(2017年頃)
- ・甲状腺良性腫瘍の拡大(2020年頃)

【九州】

- ・足 ガングリオン(2018年)
- ・大腸ポリープ(2017年9月)
- ・熱・ケリ・咳(2011年夏)
- ・骨折(2020年10月)

- ・下痢、脱水
- ・うつ
- ・脳腫瘍

【福島→県外】

- ・痛風、高血圧(2014年)
- ・熱性けいれん(2011年)
- ・PTSD(2011年)、橋本病(2012年)、うつ病(2015年)
- ・高血圧(2014年)、きかんしえん喘息(2014年)
- ・甲状腺B判定(2013年)、血小板減少性紫斑病(2015年)、生理不順(2014年)
- ・原発性出血大腸炎(2013年)
- ・甲状腺腫留摘出(2014年)、脳梗塞(2017年)
- ・シェーグレン症候群(2021年)
- ・完全型房室中隔欠損症、低体重、発達障害(6年前)
- ・甲状腺嚢胞(2011年)
- ・甲状腺結節経過観察(2016年)、子宮筋腫手術(2020年)、歯周痛通院(2017年)
- ・胃がん手術(2016年)、めまい(2020年)、うつ病(2011年)
- ・疲れがたまって起き上がりなくなり、郡山にいる時に2~3回、藤沢で1回病院で点滴加療(日帰り)しました
- ・骨折(2019年)、3歳の頃に事故を経験して以降、こちらに転居してくるまで突発的な発熱が度々あり、一番ひどい時は2016年で毎月1回のペースで40°C近くまで発熱がありました。(ほぼ必ず頭痛も)
- ・白内障(2017年)
- ・認知症(2018年)
- ・うつ病(2011年)
- ・肝機能悪化、人工透析をうける(2017年)
- ・前立腺肥大(2019年)
- ・高血圧(2011年)
- ・高血圧(2011年)

【県外→福島】

- ・熱性けいれん(2011年11月)
- ・チヨコレート膿腫(2020年)
- ・頻尿(2018年)
- ・耳がへいそくしたような症状(2020年)
- ・吐き気(2020年)
- ・胸にしこり(2019年)
- ・突然倒れる(2014年)
- ・腎臓がん(2018年)
- ・脳梗塞(2011年)
- ・ブドウ膜炎(2019年)

- ・頻尿(2020 年)

【地域不明】

- ・肋骨骨折、血氣胸(2020 年)

- ・腎盂腎炎(2018 年)

- ・臍ヘルニア

- ・血管(2015 年)

- ・2 ヶ月無健診(5 年前)

- ・帯状疱疹(2016 年)

- ・大腸ポリープ(2017 年)

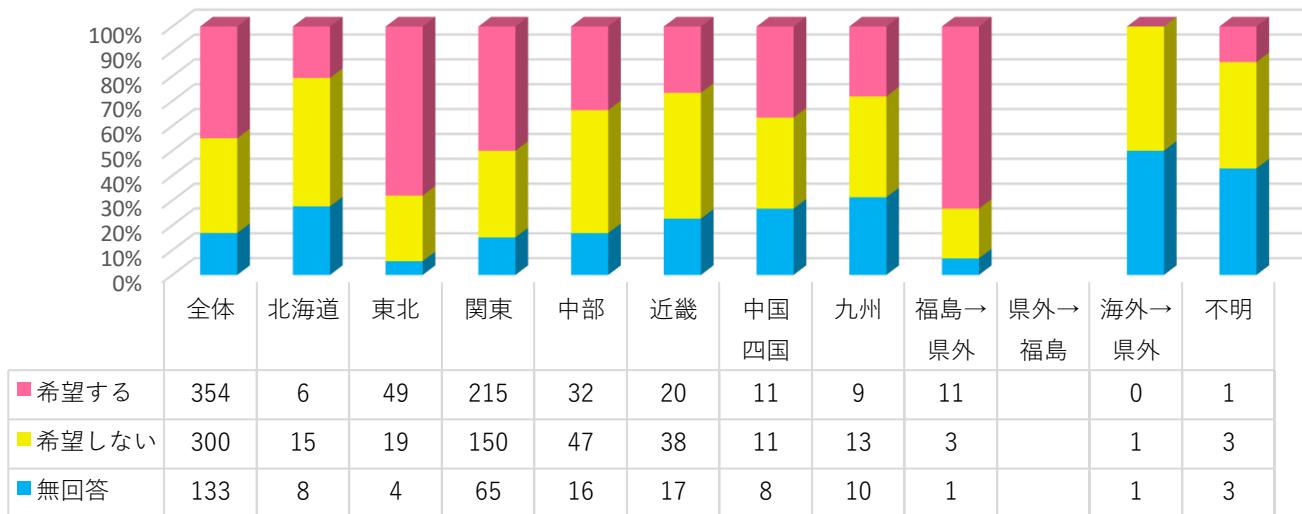
- ・SAPHO 症発症(2017 年)

※現在の居住地によって送付するアンケートの内容が異なっています。

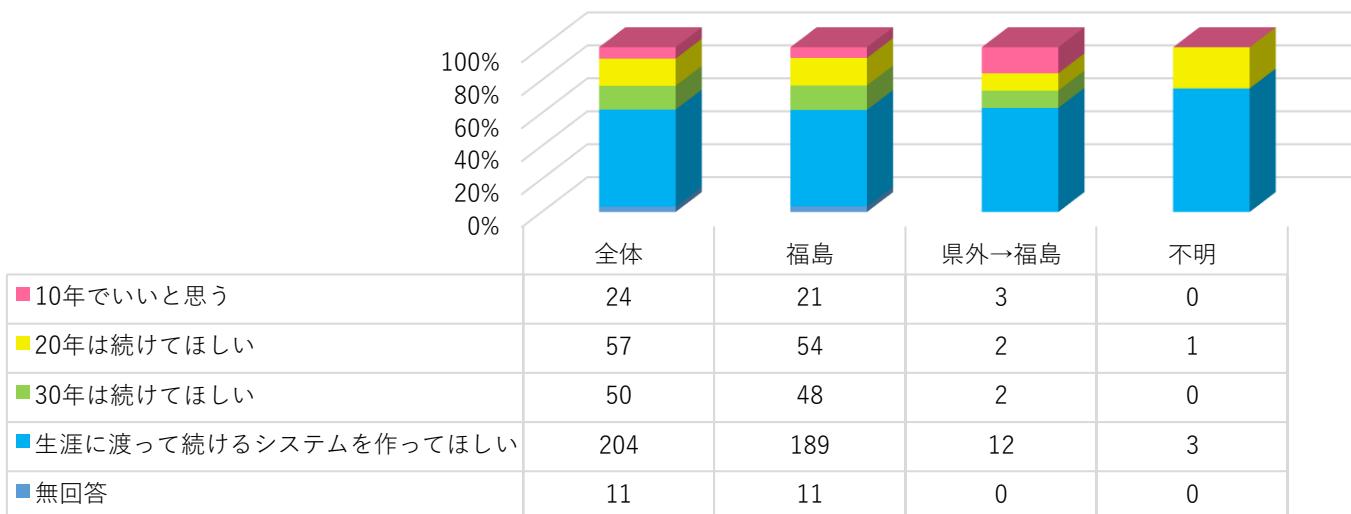
福島県外在住の方は Q14-1、福島県内在住の方は Q14-2 の設問です。

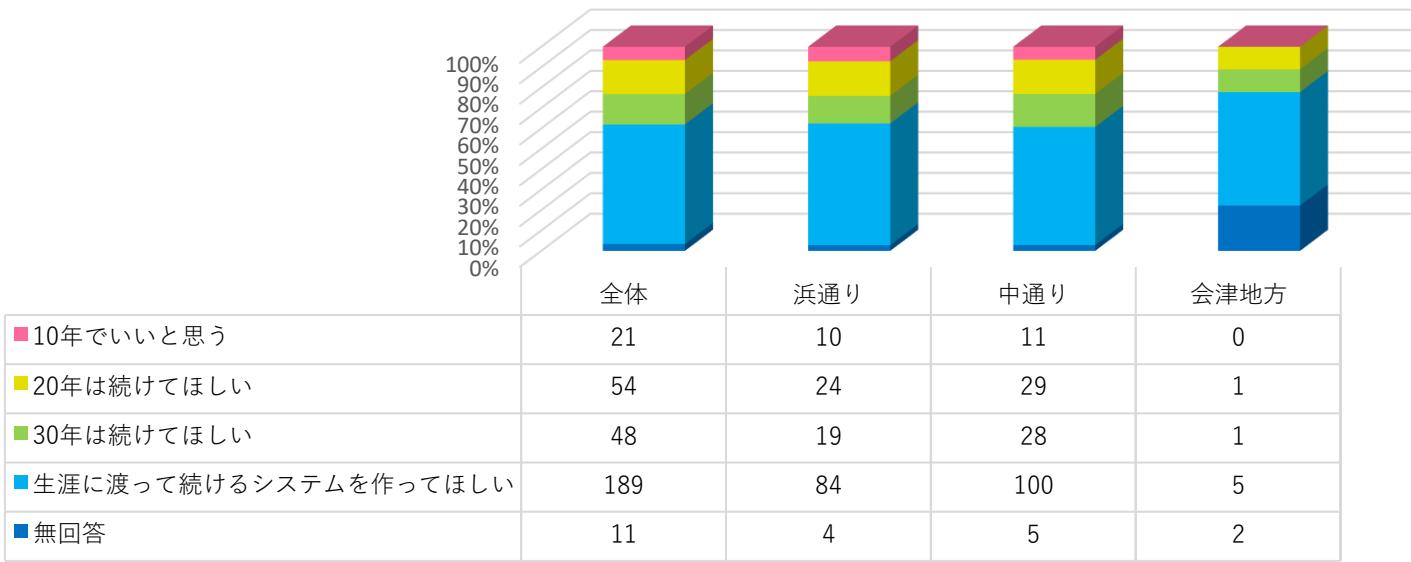
転居などの関係で現在の居住地と実際に送付したアンケートの内容とで相違がある場合もあります。

**Q14-1. 福島県で実施している甲状腺検診と同じ検診をあなたの地域でも実施することを希望しますか。
(県外在住対象)**



Q14-2. 福島県では、甲状腺検査は子どもたちの甲状腺の状態を把握し、健康を長期に見守ることを目的に実施していますが、事故後いつまで続けたらよいとお考えですか。(県内在住対象)





【中通り】

- 今までの検査で何かあった人のみ続ける。オペの必要のない甲状腺癌でも見つかって、癌と言われたらオペした方が…と思ってしまう。難しいと思う。たまたま身近にそういう人がいないので、言えることなのかなとも思う。
- 当時の子どものみ生涯に渡って続けるシステムを作つてほしい。

【関東】

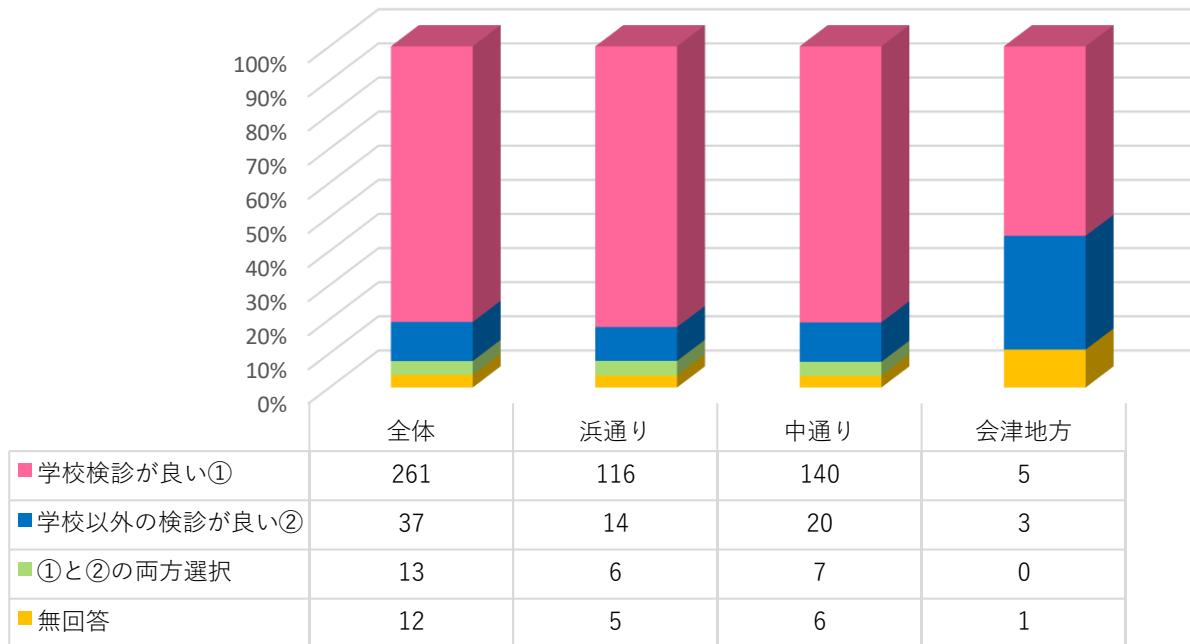
- 福島と同じは報告がないので嫌。検診してやって欲しい。
- 私の子供たちは社会人になっており、さほどの深刻さは感じませんが、小中学校の子供たちの健康については事故を起こした私たちの責任として全力を上げるべきだと考えます
- 3年から5年ごと（特に子供たち）
- 全国的に希望者には実施してほしい
- 日光市は希望者のみ実施中

【中部】

- 福島との比較で有効なら

Q15. 「(Q14で子どもたちの甲状腺検診を)希望する」と答えた方にお聞きします。小・中・高校生の検診は学校で実施することを希望しますか。(県外在住対象)

Q15. 現在小・中・高校生は、主に学校での検診で検査を受けていますが、今後も学校検診が望ましいとお考えですか。(県内在住対象)



【学校の検診が良い】と答えた方の理由

【浜通り】

- ・時間にムダがなく、父兄の負担が少ない
- ・保護者が連れていくのが仕事の為、難しい
- ・全員が受ける事に意味があると思う為

【中通り】

- ・手間が少ない
- ・授業の中でやってもらえるので
- ・コロナの心配などもありますが。全体データを残すという意味で必要(個々に検診だと行く行かないが個人判断・都合になってしまう)それと国・自治体の意識づけという点でも個々にしない方がよい。
- ・皆でうけた方が受診率が良いから。又、予約が各自だとはん雑な為。

【関東】

- ・結果通知は個別に

[学校以外の検診が良い]と答えた方の理由

【北海道】

- ・コロナのため学校では職員の負担が大きくなるので

【東北】

- ・行政機関が組織して欲しい
- ・先生の仕事を増やさない方が良い
- ・いじめ・差別につながらない注意が必要という点から

【浜通り】

- ・福島県立医大が信用できないから
- ・結果がわかりにくいと聞いたことがあるため
- ・高校生まで検診を受ければ大丈夫と思ってしまう。異常があっても説明を受けられない。
- ・学校での検査結果はわかりにくい、不親切、説明がないから
- ・細かくみてくれるから
- ・精度、継続などで学校では長年はムリ
- ・その場で状態を見る事が出来ると安心するから
- ・結果がよくわからない
- ・どちらでも良いが、学校(集団)検診は誤診が多い
- ・高校を卒業するので

【中通り】

- ・流れ作業的になってしまっていないか不安
- ・継続して検診できる
- ・学校も県外も受け、違った見方があったから

- ・毎年検査をしてほしいから
- ・成長と共に学校卒業を迎えるため
- ・丁寧に診てくれない、相談は受け付けないと言われた
- ・1人1人時間を取って調べてくれるから
- ・学校に通っていない子、セクシャリティーなどの個人的権利を尊重するため
- ・プライバシー保護
- ・流れ作業になりやすいのでは…
- ・丁寧に診察してもらえる
- ・集団はありがたいが見落としがないか、じっくり一人一人見てほしい
- ・学校によって差が出ないか(技師や医師)、学校以外だと受診者減る恐れ?
- ・学校が忙しく、子どもの負担が大きい
- ・学校での検診も効果はあると思うが、検診時間が短く心配であるから(負担が残る)しかしながら国、東電の責任の下、学校検診は続けていくべきだと思います。

【会津地方】

- ・プライバシーの確保のため
- ・詳細に調べているのか不安
- ・福島県の甲状腺検診対象は三女だけだが、進学のため県外に出たので、これまで3回の検査すべて関東圏の大きな病院で受けた。親も同席でき、個室で落ち着いた雰囲気で受けられた。学校検診ではとてもデリケートな検査にもかかわらず、プライバシーが守られているとはいはず、医療機関での保護者立ち合いのもと検査が受けられるのが望ましいと思う。事故当時 18 才以上だった子や事故後に産まれた子にも検査を希望すれば受けられるといい。長女と私は会津若松で行われたたらちねさんの甲状腺検診を受けさせていただきました。感謝いたします。
- ・1人1人丁寧に診てもらっているか不安

【関東】

- ・不登校児が対象からもれる可能性がある
- ・学業とは切り離して健康管理する方が良いと思う
- ・たくさんの症例がわかるため
- ・会社員でもうけられるように
- ・子どもや親の間で差別がおきないか?でも無関心な親も居るので学校の方が良いかも
- ・したくない人もいるかもしれない
- ・検診に立ち会った方がいい
- ・不登校の子どももいるから
- ・松戸では1年実施した町があった様に思います?希望する人に実施して欲しい
- ・学校医が甲状腺に詳しいという保障がない。法的にはどの科の医者でも良く検診が形骸化するおそれがある
- ・地域によっては被曝は一律ではないから
- ・教師などの対応でイジメになるので
- ・そもそも「県民健康調査」のデータの扱いについても疑っている

- ・放射能被害についての認識が違うので受け入れてもらえない為
- ・正確に検査できる
- ・学校に行かない不登校の児童もいるので学校、小児科など選べたら良いと思います
- ・学校は集団なので支障が出るかも
- ・結果により差別ができるかも
- ・ほぼ全ての子供たちが受診できる
- ・必要と感じる人のみでよい
- ・学校に負担がかかるので
- ・検診内容を詳しく知りたい
- ・信用できないため
- ・差別の目で見られる
- ・個々の心に響き方違う為
- ・原発事故に対しての親の考え方（気にするか、しないか）が違う
- ・希望者だけで良いと思うから。
- ・原発に対する意識の違いが大きく、今では気にしていない人が多いから。
- ・政府の策の通り栃木県は忘れてしまったり、なったことになっているようですが、症状として現れてなくとも今後のデータとしてしっかり調査をし、残していくべきだと思います。
- ・みんなが受けやすくなるから。
- ・学校検診は可能性が少ない
- ・不登校の生徒がいるほか、プライバシー保護の視点から
- ・より多くの人からデータも取り、東電事故は人災なので企業として、国として責任をとるべきだから。
- ・スクリーニングのように流れ作業的になりそうである
- ・希望者だけではなく全員の検診が必要だと思う。
- ・検診が受けやすい(時間等)

【中部】

- ・愛知県は全員対象ではなくてもいいと思ったから
- ・信用していない
- ・人によって考え方方が違う。個人情報の取り扱いが心配
- ・きちんとした意志、信頼できる子なら良いがそうとは限らないから

【近畿】

- ・第三者による、丁寧な診断が大事だと思うから
- ・差別の対象となる恐れがあるため
- ・避難してきた人が対象なので

【九州】

- ・九州地方は距離が遠く、時間の経過と共に記憶がうすれてきている為（残念ではあります）
- ・大分ではこのレベルでしょう。全国調査して福島の状況を明確にできる目的があれば学校ですね

【福島→県外】

- ・県外避難者の為、学校検診がない
- ・学校でできると親は楽だけれど、見えないところで（つきそえず）行うと子供は不安になると思うから
- ・あらぬ気をつかわれるのが面倒な為
- ・検診対象者が少ないため（私の家族のみ）

【県外→福島】

- ・精度、継続 etc で学校では長年はムリ
- ・学校卒業してしまうため
- ・大人になってしまったら機会がなくなってしまう
- ・全員が容易にうけられる
- ・原発事故時に福島県に現住所が無い人は学校で受けられない
- ・自由に行ける検診がよい

【地域不明】

- ・検診は学校でもよいが、学校に通っていない、いけない子もいると思う

Q16. 「学校以外の検診が良い」 を選んだ方は、 学校検診以外どのような方法が良いとお考えですか？

※Q15 で「無回答」と選択した方の分は上記の集計に含んでいません

【北海道】

- ・検診車を準備し地域を回る

【東北】

- ・行政機関が組織して欲しい

【関東】

- ・保健所
- ・近所の医院
- ・無料にして(市民団体など民間で行っている甲状腺検診に連れていく)
- ・訪問型
- ・尿や頭髪検査
- ・公費できれば行きやすいところ、どこでもいい
- ・レントゲン車のような移動検査で集団検診
- ・自治体で任意の検診に補助を出す
- ・市民向けの健康相談で
- ・自治体で任意の検診に補助を出す

【中部】

- ・2011年4月には生まれていなかった子供たち

【県外→福島】

- ・入学、卒業などや成人式 etc のときに案内 etc を送り、無料クーポンによる無料受診をすすめる。

【地域不明】

- ・子ども食堂などでお知らせする、学校以外でうけられる所を作る

Q17. その他、何かお気づきのことございましたらご記入をお願いします。

【北海道】

- ・健康については私、妻ともに気が付くことはありません。長女は 2009 年次女は 2013 年に生まれたので記載しました。

【東北】

- ・国の対応に疑問が大きい
- ・私は岩手に住んでいるが、ほんの数年前まで茸類が出荷できなかつたりしていたにも関わらず、放射能に関心がない人がほとんどです。そういう、私も心臓の異常に気づいてからいろいろ調べもしかするとセシウムの影響かもしれないと思い食品の産地に気を付けたり山菜やキノコ類は控えるようにしたら症状は改善されたのでやはり、セシウムの影響と思っています。
- ・生活クラブ岩手では希望者が行っています。
- ・市町村によって甲状腺検診を無料でやってくれる所と自費でやる所の格差が宮城ではあります。白石は福島と県境にありながら白石市では検診も何もしてくれません。表紙を見る限り福島県境の町と同等のセシウム量で福島県は全市町村でやる、宮城は自治体でというのはおかしいと思います。長男は 2011 年当時 4 歳でした。なので物凄く心配です。どうにかならないのでしょうか？
- ・私の住んでいる山元町は福島県との県境にあり西隣は角田、丸森と放射能の汚染状況もかなり心配でした。原発事故のあった場所から距離も近く事故当時の風向きによっては浪江の様な被害も考えられました。実際線量も高かったです。甲状腺検診などはとても興味があります。たらちね通信は送って頂けて感謝しています。今後もよろしくお願いします。
- ・このアンケートのようにお知らせとして甲状腺検診に日時、場所等郵送して欲しいです。先日、白石市で貴団体主催の検診を受けたとき喉が機械で抑えられて大変苦しく、終わってからも苦しさ、痛みが取れなかった。今は時々痛むが放置しても大丈夫なのか心配だ
- ・数年前切尔ノブイリ 29 年 (29 年だったと思う) という 40 分位の DVD を見たことがある事故から 30 年近く経っても人々の健康被害は治っておらず、子どもたちは血色も悪く絶えず健康の問題を抱えていた。福島の子どもたちがそのようにならぬよう切に願う
- ・希望する場合は検診できる体制はあってもいいと思う

【浜通り】

- ・専門的な知識が乏しいので(勉強不足?)…
- ・原発事故と甲状腺ガンの因果関係は無いとの判断材料である他県の子ども達の比較のための検査を実施させるべきである
- ・甲状腺以外の健康調査も行ってほしい。大人になれば定期健康診断があるが、就業するまではほとんど検査がないため。
- ・大学生などになり、県外に住んだ時、検査をしたくても県内に戻るのも時期によりむづかしく、県外での受診も平日の決められた場所、時間では受けられない。また、行けたとしても「原発事故の検査」のコーナーに行くので、好奇心をもって見られるのもイヤ。
- ・長女(24 才)は乳がん検診でしこりがあると言われたが、原発が原因ではないと言われたが心配です。
- ・子ども達だけでなく、大人でも何人もの人たちが甲状腺の異常で病院に通院しているのはおかしいと思い

ます。

- ・2011年検診後、南東北病院で血液、エコー検査を受けていて、現在は1年毎に。のう胞の大きさ、数が多く、将来は手術になるかもわからないので、不安です。
- ・当時は仕事で休みもままならない程、飛び回っており、自覚症状を感じる余裕はありませんでした。翌年個人的なことが一段落した頃から全身の筋肉痛、だるさ、身の置き所がないくらいの眠気に悩まされました。ひどい眠気は今はなくなっています。2015年頃から狭心症の発作が出たり、時々心筋梗塞を疑われたりで、内臓系とともに定期的な検査を受けています。「現在、小・中・高校生は主に学校での検診で検査を受けていますが、今後も学校検診が望ましいとお考えですか?」の件全員が受けられるという意味では学校検診は残しておいた方がよいのではと思います。(但し、精度の問題ありか?) その上で民間検査の窓口を広くして、気軽に受けられるように整備されていくといいなあと思います。"
- ・少しずつ心配していたことが日々の生活で忘れていました。子どもも産まれたばかりの年でもある為、あまり感じていないようです。ただ、後から出てくることもある為、私のように忘れている方にも思い出してもらって確認をすぐできるようなシステムづくりをみんなで作れればなと思います。
- ・土日の検査場所を増やしてほしい
- ・何より子どもたちの健康が心配ですので、甲状腺だけでなく、定期的に心・体の検査をして頂きたいです。
- ・現在はコロナ等あるので、病院にわざわざ連れて行きたくない。
- ・検診で甲状腺に異常があると診断された場合、「原発事故との因果関係の有無を認めない」との判断がされている報道を耳にすると今後子どもたちの健康に不安をもってしまう
- ・植物の変異がみられます(生殖細胞の変異)。タニウツギの花が小さくなり、まったく目立たない(咲いていることが分からない)。クレヌチスの花が小さく星がちりばめられたようになった(原種? 改良前に戻ったのかと感じました)。事故後3年程まで日本ミツバチが多く死滅し、ハチミツの収穫ができなかったことを聞きました。知人で耳のガンになり手術(相馬に実家のある方)
- ・福島県で生活しているので、生涯追跡調査が必要だと思います。

【中通り】

- ・事故の風化が著しいので教育機関でも子どもにわかりやすい方法で長期間に渡って教えてほしい
- ・学校の検診は「形」だけのような気がする
- ・食品の放射能を多く公開していただきたいです。会津のくまやきじなどいただいて食べるのですがわらびやなめこ、こごみなど測定しても検出されませんでした。
- ・微量の放射能を浴び続けることの影響は前例がなく、いわば実験材料なのかもしれない。それでも、この地に住み続けなければいけない住民のことなど国や県は真剣に考えようとはしていないと感じている。
- ・知人に甲状腺ガンで手術をした方(40代)がいますが、事故放射能影響との因果関係も分からず、自費で手術を受けた方がいます。実際は影響があったかどうか不明のまま、この点は自分のことのように不安を感じています。また、10年経つと意識も低下し、大丈夫だろう、おそらく放射能影響はないだろうと思い、徐々に自身の中で風化していってます。
- ・専門家が信じられない。どうせまたウソをつくのだろうと思っている。復興資金のせいか、県は国のいいなりになっていると思う。
- ・尿検査や血液検査もやってほしい
- ・私自身は娘と一緒に受けた検診で結節の指摘をうけたが、「ああ、がん保険が手薄だった」と思った経験がある。小児がんは社会保険で賄うことができるが「ガン」ではないが県民健康調査で何か指摘があった場合

を考えると、任意保険(子どもの。子どもが大人になった時の)ハードルを感じる。検診は必要だが、早期すぎる指摘で支障があることも感じさせられた。(県民調査は特にデータが残るので)要検査の通知があつたらと思うと生涯の保障について考えてしまう。

- ・学校でやらないと自分では予約をとってまで行かない。
- ・長期間の検診が必要だと思います。娘、孫たちの体調なども気になります。
- ・「治療しなくてもよいもの(小さいもの)まで見つけてしまう」と言われますが、見つけるのと知らないのはちがうと思います。見つけたうえで治療が不要とか、経過をみていくのでよいと言われる方が納得がいきます。可能性がある以上、検査する責任があると思う。

【関東】

- ・直接関係があるとはいえないが、千葉県在住の高齢(70代)者のガンがみつかりました。庭の植物の葉や野菜大きくなっています。(原発問題を扱った映画にそのような事が言わっていましたが、特にこの10年位はめざましい変化に思います)
- ・胃腸の内臓が被曝によって弱くなった
- ・バイアスのかかった診断ではなく、純粋に科学的に判断してくれるかが重要だと考えます。
- ・検診は県、国の予算或いは補助などの援助金を使うべきです
- ・国策として原発を進めてきたのであれば、検診も行政指導でされるべき。民間がボランティアでやるべきことではない。保護者が子供の健康を心配している/していないに関わらず、健康被害はどの子供にも出る可能性がある。全ての子供(事故当時)がもれなく受診できる体制を整えるべきと思う。
- ・甲状腺検診は全体との比較が必要だと思います。科学的な検証が説得力を持つと思います
- ・病気等の増減があった場合、公的な機関からの発表があるべきだと思う
- ・心配な人はどの地域にいても受けられるほうが良いと思います。自治体から費用の補助があつたらなお良いと思います。
- ・私は八王子市内にある市民測定室に参加して家の土の放射能を測定したところ、雨どいの下は 3000 ベクレルあり、そこから 50~100 cm周辺は約 10 分の 1、庭全体は 70~100 ベクレルあります。(2019 年測定)雨どい周辺は近づかないようにしています。
- ・葛飾では 2018 年から市民による甲状腺検診を始めました。2020 年はコロナ蔓延により会場が使えず見合せになっています。たらちねさんにも届け出のことでお知恵を借りたり、藤田先生にお話を聞いたりしています。
- ・現在、神奈川県小田原市に住んでいますが、甲状腺検査を受診(検診)可能な検診機関(医療機関)は神奈川県内にあるのか御教示していただきたいと思います。よろしくお願ひします。
- ・震災時、日立発の常磐線に乗車しており、大みかとひたち多賀駅の間で被災。電車内に閉じ込められた後、全員が下車をしてひたち多賀まで歩いた。その後夜までひたち多賀駅前の路上で過ごし、駅前ホテルで一晩過ごした。当時 4 才娘、1 才息子は被曝した可能性があるので心配している。
- ・群馬はもともと甲状腺機能障害が一定の地域で多くみられます。(事故前より)公衆衛生ではヨード関連が指摘されていますが、実際事故直後は前橋市(特に赤城山)も高い放射線量が測定されています。特定の地域はもちろん全国で子供たちの検診を定期的に継続的に行われるべきだと思っています。
- ・被曝した人には必ず無料で受診できる様にしてほしい。チェルノブイリを参考に(疑われる人も)成人しても影響がある人がいます。国の責任で見てほしい
- ・本来国が大規模な健康検査を行うべきです。隠れた体調不良者は数多く存在します。福島避難者の話には

多くありました。下血、意識を失いながら逃げた子供。千葉の知人は重度の水虫、甲状腺がんの方、食べて応援した若い官僚の女性は全身湿疹が出ました。私の周りを注意深く見ているだけでもいろいろ気づきます。私自身記憶力がかなり低下しています。長男、次男の尿から少量のセシウムが出ています

・甲状腺の検診で高名なのは渋谷区にある伊藤医院であるが同水準の医療レベルなら安心出来るが現状では違うと思います。診察する医師によって診断がまちまちになる事を懸念します。実際企業の健康診断で 3・11 以降だるさと原発事故を避けて診察する医師がほぼ全てです。(私の感想というか実感)

・私の回答ではありません参考にはならないと思いますが親戚が相馬在住で 3.11 当時私の実家(仙台市内)にしばらく同居した。又仙台長町に住む 50 代の従弟が血液のガンになり今は寛解状態と思われる。生活を一変させる原発は絶対反対です

・毎年もしくは 1 年おきに受けしていましたがコロナで受けられなくなってしまいました。娘は要経過観察の A2 判定なのでとても心配です。東京では放射線について心配してることを話すと今はもうない事の様に取られてしまいます。子供達が嫌な思いをせずに検査を受けられたら良いと思います。

・この資料をみるとテレビやニュースでは知らなかった事が多くもっとたくさんの人に知らせたい気持ちになりました。ユーチューブやネットなどで皆にもっと広げて下さい！ 終わった事の様に思ってる人もいます。子どもの 10 年、20 年後がとても心配でなりません。 福島県が学校検診をやめようとしていることに危機感を覚えます。唯一の調査を縮小されたら福島での他の疾病はもちろん、県外の汚染地域での健康被害はないものに無いものにされてしまいます。「県民健康調査」はこれまでのデータを過少評価せずに本来の目的通り若い人たちの健康を守るための誠実な努力と情報公開をしてほしい、そのうえで範囲を県外にも拡げてほしい

・私の流産、第 1 子の遺伝子変異と放射能は関連しているのかずっと気になっています。

・2011 年 5 月 7、8 日いわき市内で写真撮影していました。7 日は雨が降っているなか傘をさしていましたけど手の部分は濡れたのだと思います。その後 1 年くらいは手の甲の部分に炎症がおきました。かゆみがひどく見た目も悪いものでした。アトピーでは化学物質に過敏な体质ですが手の甲の炎症はその時だけです。鼻血は 2011 年の夏頃朝起きたときに鼻を触らないのに血が垂れてくれました。鼻血はその時だけです。

・2006 年頃に白内障を発症したが 2014 年～2015 年頃から急に悪化した。個人的には事故の影響があるのではないかと思っている。

・ホットスポットに住んでいます。特に影響を受けたという実感は体では感じられません。

・国と東電はもっと真摯に受け止めて対策をしてほしい

・福島県内検査実施機関における検査結果が正しく公表されているのでしょうか。子どもの甲状腺ガン発症と原発事故の関係がうやむやにされるのが疑問です。

・時間が経って忘れてる人たちが多いがまだこれから身体に変化があるかもしれない。今の不調が全て被爆が原因とは思わないが疑いのあることは忘れてはならない

・(質問の)14・15 については該当者がいないので想定です

・特に異常を感じたことは無いが、災害のあった時に多少の寄付行為をした。熊本地震、熊本地域の瓦 1 枚寄付行動。今回も国民の宝物子どもの健康を守る礎になれば！

・表紙の拡散地図を見てとても福島だけの問題ではないと思いました。若いこれからの中を背負う子どもたち一律に検査が必要と考えます

・特になし。私自身(トウカイムラ)もですが、広島のピカで病気になった人も元気に年をとる人もいます。知り合い(1 度手術しています)には 90 歳を過ぎて孫もいる人もいて皆元気ですよ。

・高校を卒業した子供、20～25 歳まで検査実施はした方がいいと思う。

- ・私の周りでも（立川市）障害児が生れています。やはり当時の放射能の害を知らずに椎茸などを食べ続けていたお隣さんの女子にお孫さんが最近誕生してダウン症と診断されました。このアンケートの問い合わせました。今ではダウン症児が増え続けているそうです。
- ・福島以外の栃木、千葉等の被爆者（特に小児）のその後の情報が少なく心配
- ・年長者の家族なので特に健康上の変化はありませんが10代以下の子供の健康状態については行政は東京、千葉、埼玉にも注視して欲しいと思います。
- ・職場が東京、住居が神奈川なので大きな揺れは恐ろしかったですが、物理的被害はほぼありませんでしたが無責任な「絆」や「自肃」報道には今も当時も釈然としませんでした
- ・小平から娘が住んでいる高田馬場へ行く為、中野駅で地下鉄に乗りかえる時何とも言えない鉄のような臭いがしました。中央線を降りたとき（3月21日ごろ）雨が降っていました。15日は東京にも放射能が降ったと思います。この時も空気がざらついていたと思います。
- ・私は東京に住んでおりますがこの地で原発の影響を強く受けているとは思っていないのです。
- ・10年も経過すると当時どうだったのかの記憶がありません。新聞やTVでは各地の放射量を発表していたが現地以外では既に過去の事と捉えられている様に感じる。原発の再稼働が代替エネルギーのない中で実施されるのは国策としか考えられない
- ・原子力発電は国策なので実情を出していないように思う。廃炉・原発のごみ問題等国民知らせた方が良い。事故から10年経ち風化してるとと思う。国も国策からの面子で原発再開を始めていると思う。事故での人体への害、食物も採れなくなる事も、その害が未来永劫続く事も。尊大な税金も掛かることも、はるかに自然エネルギーの方が経済的・安全ということも
- ・事故後は子育て中のママからとても不安という話をよく聞き、子供たちが大人になり次の世代への不安が少しでも排除される活動が大事だと感じます。
- ・10年のうち2年程（2013～2014年）は国外で暮らしていましたのでその影響はあるかもしれません。あとは年齢的にも体力的、身体的な病気が表れやすいので原発だけの理由とは限らないかも知れません
- ・学校でできたら良いと思いますが、時間がかかるので難しい所もあるかと思います。1年に1度くらいは近くでできたら安心です。
- ・できれば検診の料金負担を行政が補助してくれると助かるが、（うちは娘が3人いるので毎回3人分支払うのが少し負担なので）つくばあたりではなかなか難しいかなと思っています。
- ・甲状腺の検診により集めたデータが効果的な疾病的予防にリンクできる可能性が低く、不安な感情の上にしかならないのと他地域で積極的に検査しているのと同時に福島県のイメージを悪化させることが逆に良くない方向に向かうので、福島のマイナスイメージを早く低下させた方が良いのですべてのデータを集めをほどほどに。
- ・12月3日に参加した勉強会はとても参考になりました。質問者の中に乳児が白血病で亡くなったと言うのを聞いて「福島の女の子と結婚できない」と言った人の言葉を思い出しました。
- ・皆が忘れず、健康でいられることが大切だと思います。
- ・放射能の身体被害は徐々に出てくるので、見えづらい。加齢を思うことが多い。
- ・いつでも誰でも受けられることが望ましい。受けられる時間、費用など。
- ・今も故郷いわきで生活している親族、友人、その孫たちのことをいつも心配しています。原発再稼働に反対しています。こここのところコロナで少なくなりましたがでも夜公園に出かけています。
- ・かつての公害問題同様、原発事故は儲けるために行った企業が起こした事故です。みんな被害者であり保障されるべきであり、反対賛成かわらず、きちんとしてなかったものがあるのでそれを伝え続け責任を取

らせるべきである。

- ・周辺の植物に奇形がいくつも見られた。帯状化、葉の奇形(異常な大きさ、変形)、コスモスの中央から花弁。蛙、蝉、トンボ、鳥がいなくなった。カラスがゴミ収集場に来なくなった。スズメを見なくなった。春以降雨の夜に田んぼに隣接する道路を横切る大量のカエルがいなくなった。
- ・放射性物質は見ることができず不安があります。10年前は三女が7歳、地面から近い背丈だったため何らかの影響受けていないか心配です。
- ・幸い、私たちの家族は今のところ健康障害はありませんが、長期で見た場合どのような影響があるか心配です。
- ・一般住民に対しても検診があればいいと思う。無償、有償の場合は東電負担で安価ができるようにしてほしい。
- ・横浜市での被曝量、被曝時間から推定すればマスククリーニングで良いかと思います。晩発性の影響、発育への影響は長期間のデータを蓄積すべきです。
- ・廃炉もままならない中、子供たちへの影響を考え続ける必要があると思うので学校での検診を行うのがベストだと思う。特別なことではなく、普通のこととして(原発事故があったって事は皆に影響するってことを忘れないためにも)検診を行った方が良い。

【中部】

- ・福島県の子どもたちの中に多数の甲状腺ガンを発症している人がいる。政府などはこれは原発事故時に放出された放射性ヨウ素のせいではないと原発事故との関係を否定している。しかば、2011年4月以降に生まれ、放射性ヨウ素をあびていない小児の中にも多数の甲状腺ガンがみつかるはずである。しかし実施すれば殆どみつからないはずだ。こうなれば福島の子供たちのガンは放射能のせいだと結論される。政府と東電へ賠償請求や原発事故被害告訴を出させ、生涯にわたる医療サポートをさせられる。
- ・特に気になる病状には気づきません。事故直後にはどのような影響が身の回りにも出るのか気掛かりでした。国の汚染基準が事故前より緩くなっているのは気掛かりです。
- ・子どもについては検診が必要だと思います
- ・遠くはなれている(富山県)ので、全く日常かわらず生活しています。回答できないので失礼します。アンケート項目を読み、日常生活の大変な様子がよく分かります。みなさんくれぐれも御体大切になさって下さい。
- ・福島から離れている所に住んでいるので、理解が乏しく申し訳なく思います。
- ・原発事故がおきた近くに住んでいる人達の健康が心配です。子供達が
- ・健康調査の結果を長期間にわたり(年に1回とか)公表し、影響を調べ続けることが大切だと思う。福島県だけの問題ではないことを国民が思い出し考えていくことが必要。子どもたちの健康を守りたい。
- ・伊東市もプルームの流れで一時線量が高かったが、今は大丈夫なのか気になる。
- ・東日本大震災はショックすぎて精神が乱れて大変でした。でも地元(被災地)の方々の事を思うと悲しすぎます
- ・精神症状、神経症状があるようだと思う。ストレス性かもしれないが、うつっぽくなったり、認知障害も年のせいとばかり言えないように感じている
- ・静岡県浜松市ではお尋ね頂いたことに該当することがなく過ごしています
- ・避難してきた福島の方が甲状腺検診を受けられたら良いと思います。
- ・県外で遠隔地なので関心は薄れがちですが福島の子ども達の居住のために毎月カンパを送るだけの関わり

になっています。

・健康について：原発事故前での変化はありませんでした。震災後の行動について正直通常通りでした。原発に対して恐怖は発生しましたが他人事の感がありました。

【近畿】

・母親が長崎で生まれ、原爆の後【黒い雨】みたいな雨を経験しており、その地域の人々のがん発生率が高く、母親も悪性リンパ腫でなくなりました。いともガソルで亡くなったのが数名おり、私自身も甲状腺がんにかかり、放射能に遺伝性があるのか気になる

・表記のデータが驚いた

・福島事故後、1年の中葉在住の間は、東京湾までも汚染されている事実を知るにつれて恐怖があったが、これが京都への転居を早め、それからは徐々に薄れてきている。ただ、京都も若狭湾の原発をかかえており、注目、監視している

・遠方なのでほとんど影響を感じなかった。ただ、刻々と流れている情報に心が痛かった

・どこの医療機関でも、無料で受診できたら、受ける人も増えるし、もれなく広報周知してほしい

・甲状腺検診は、学校でした方がもれなくできると考えます。しかし、結果は個人に直接通知するようにした方がよい

・私は三重に住んでおり、影響はあまりないと思っていますが、息子達家族が千葉と埼玉に小さい子どもと一緒に住んでおり、こちらへ帰ってきてくれたら良いと思っています。やはり、東北、関東圏では全体的に甲状腺検診を学校で実施又は全員が受けられることを望みます。

・私は福島県に居住したことがないので答えられないことがわりとありました。息子がこの4月から福島の大学に入学し、おそらくずっと居住することになるので、何かできればと思い寄付しています。ずっと住み続ける息子（現在20歳）の家族・子どもにとっても良い方向にもっと進んでいくと良いと思っています。

・3/24～4/2 いわき・相馬・石巻・気仙沼を訪ね兵庫県の淡路阪神震災の被災児童が作ったこいのぼり（空の魚）を4連（各蓮50～60匹）を届けて泳がせるように設置した。自分の被災は想えていなかったが、相馬で雨に遭ったこと、帰宅後3年間鼻血が止まらなかったことは強く印象にある。

・震災が起きる前に東京電力（株）の首脳陣は福島の原発が大きな地震が発生すれば津波で被害を受けるという情報をもっていた。（東電の社内で担当者が津波が予測していた）のに安全対策を講じなかつたのは明らかであるので現在裁判中であるが、首脳陣は罪を認めるべきである。（娘が福島県立医大を卒業したので福島県等にお世話になりました。）

・福島原発事故が起きたときは、民主党政権下で官僚の協力や原子力保安委の協力も十分得られず右往左往していたように思うが自民党・安倍は高見の見物であった。しかし本当は安倍晋三の責任である。と、いうのは第一次安倍政権化で、共産党の吉井秀勝議員がこのような事故（電源喪失）が起きることに対して、対策を訴えていたにもかかわらず何の手立てもとらなかった。そして事故が起きると民主党菅直人首相の対応の仕方を追及していた。本来なら安倍の責任の方が大きい。刑事責任に問えるなら安倍を刑事被告人につけたいくらいだ。福島でもっと安倍の責任を！

・福島原発は京都において問題なく、サンマのセシウムだけが気になる所です。私は2月にコロナウイルスと思われる症状に悩み9ヶ月の症状があります。

・奈良に住んでいると意識は薄いが健康被害が全く心配ないということを証明されたこともない。子ども達がなんともないことを証明できれば良いのにと思う。

・国が動かない中、スタッフの頑張りを応援します。原発の問題はもう終わったように思っている人がほと

んどだと思います。実際はこれから数多くの問題が出てくるのにそのことは隠されています。

【中国・四国】

- ・日本列島(本州)の一番端である県ですので、あまり影響は感じませんが、県東部に原発を設置する動きがあるので、監視していきたい。
- ・日本全体、思っていなかった場所にもセシウムが拡散している事にビックリしています。原発については地球規模で人々が考えていくべき問題だと感じています。皆様の努力が他県の皆様にも届きますように。
- ・2011年6月～11月頃まで、宮城県の岩沼市に何度も行っていますが、土砂に放射性物質が含まれている様でした。その土砂を洗った水に濡れたためと直答は出来ませんが、気にはなります。
- ・本人及び家族(子ども5人夫)はおおむね健康です。

【九州】

- ・検診自体を減らす方向にあることを危惧しています。また、福島県だけでなく宮城等、近隣県での検診をもっとすべきと考えます
- ・他県(福島より遠いので)でお金を使うより福島県民の為に使ってほしい
- ・なぜ汚染水を順環させないのか？冷却しては又使えないのか？
- ・被災地から遠い所に住んでいるので普段意識せず生活しています。健康面も問題ありません。
- ・福岡在住のため、ほとんど答える内容ではありませんでした。「たらちね通信」が初めて届きました。他のNPO同様、年1回程度活動報告として送付されることを希望します。
- ・すみません。沖縄在住で、質問のほとんどに実感がなく、答えられません。
- ・絶対に子ども達に対する健康診断は国が責任もってすべき
- ・甲状腺のエコー検査は毎年うけています。先日の検査で結節の大きさが昨年の2倍になっていた為、再度検査予定です。
- ・福島から遠く離れた地に住んでいる為、実害はありません。しかし、みんなが忘れてしまうことの危うさを感じずにはいられません。原発再稼働に向かっていく日本であってはいけないのに・・・国民の意識をそのようにし向けている政府、マスコミの責任は大きいと思います。
- ・全県、全国での検診の必要までは感じないが、本来的には、たらちねの健診や放射能測定の活動は、国や自治体で行うべき事業だと思う。

【福島→県外】

- ・(質問の)14の「希望しない」を選択した理由は、福島県が実施している検診は、結果の説明が非常にわかりづらいと聞きます。
- ・生涯に渡って続けるシステムを作ってほしいが、それは絶対的に信頼できることでなければならない。県民健康調査は全く信用できないので、現在24歳の長男と22歳の長女にはこちらでの検査を受けさせたことはない。沖縄で年に1～2度甲状腺の血液とエコーの検査をしている(病院にて)
- ・甲状腺検診は全国民に実施すべきです。汚染された食料を流通させていますからいつ、どこでも被ばくの危険があります。
- ・福島県外の子どもたちにも広く検査を行って、福島と他の地域の比較をしてほしい。過剰診断なのかどうかなど。
- ・一応お知らせ(通知)が来るので受けてはいますが、はなから県の検診は信用していないので、事故後すぐ～今まで、自分で他の医療機関にて検診を定期的に受けています

- ・前に子どもが甲状腺検診を受けました。なかなか日時が合わず、2回目は受けることが出来ませんでした。毎年、必ず受けることが出来たら気持ちも安心します。
- ・検診は、大人も行うべき。検診の検査項目は増やすべき。結果やその評価についてはすべてオープンにして政府にそんたくしない専門家を入れて公正に研究するべき。先に結論を出すようなことは絶対にさせない。
- ・学校でみんなが、定期的に受診するというふうに定着して、取りこぼし無く甲状腺の状態を観察して行ってほしい。
- ・2年目、3年目に「ぽっくり病」で亡くなった人が沢山いたそうです。Cs や Sr が壊変して安定となっても無害なのでしょうか？ Pb や K が多い環境や生化学、栄養学上、どうなのが不安です。シミが目立つようになった（2011年4月頃）

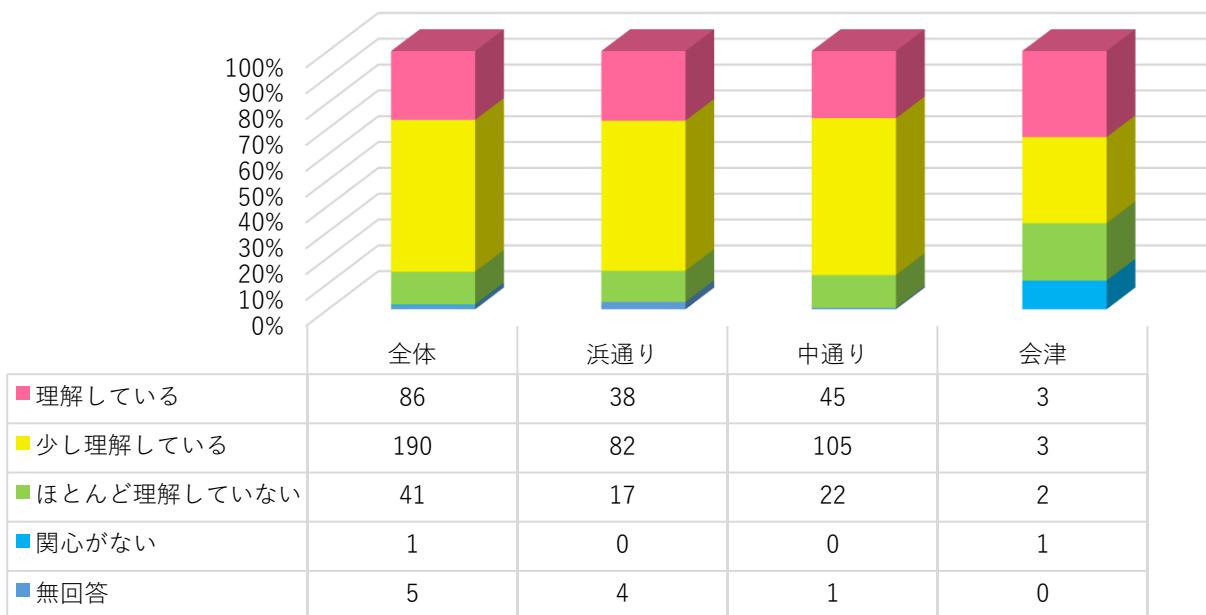
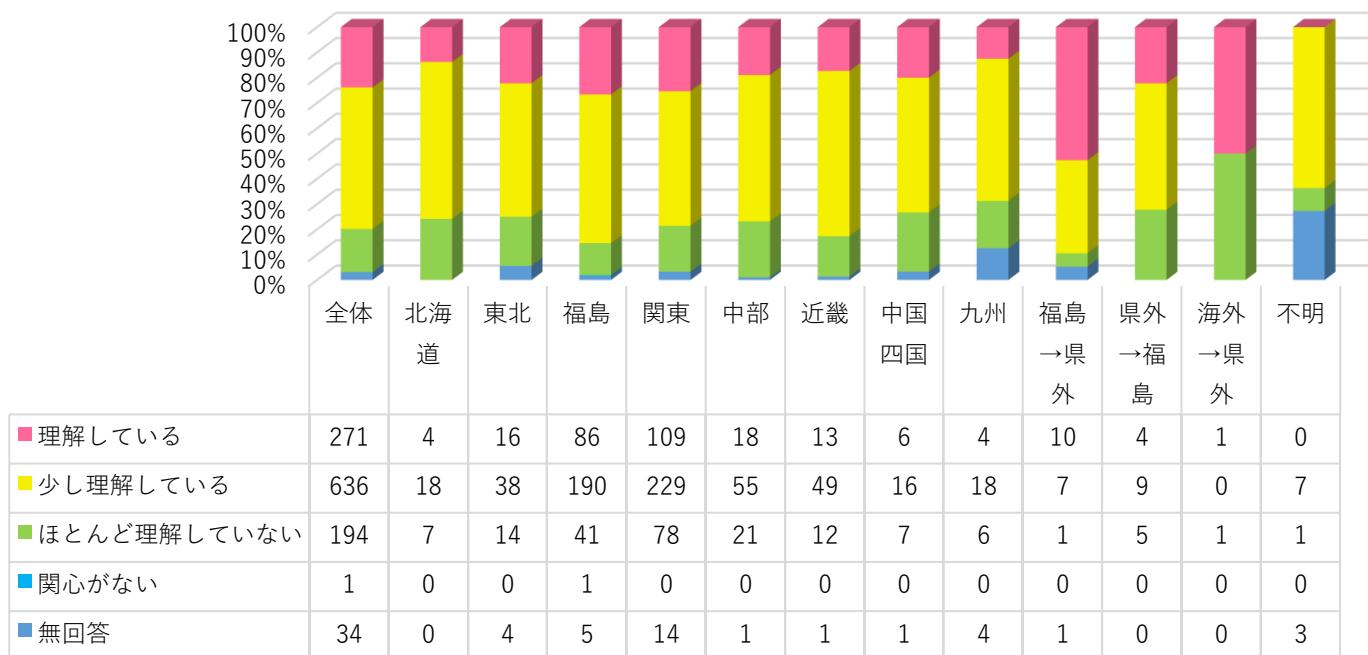
【県外→福島】

- ・学校検診の方が予約や日程調整など不要で楽です。安心です。しかし、地震当時、住民票が仙台だったため、対象外となり検査してもらえませんでした。（毎年の甲状腺エコー）電話で問い合わせ、地震当日に実家（飯坂町）に避難し、水×電気×TV も観れず、庭で砂遊び等を行ったことを伝えても検査してもらえませんでした。いわきより放射線の数値が高かったのでとても心配でした。こちらで無料で検査して頂き、安心できました。大変感謝しております。
- ・長男は震災当時、住民票が茨城県でした。しかし里帰り出産しており、福島市で被災しました。（生後1ヶ月でした）現在はいわき市に住んでおり、小学4年生になりますが、学校検診は毎年受けることが出来ません。理由は当時の住民票が茨城県だったからとのことです。いわきの学校に今は通っているのに、受けることが出来ないのは納得ができません。被災も福島でしているのにそれを言っても住民票がないという理由から受けません。そのあたりを考慮してほしいと思います。（住民票は今はいわき市です）
- ・リンパにしこりがたくさんあるのがわかり、とても不安です。震災当時、東京にすんではいましたが、実家がひさいし、すぐに福島入りし、しばらく行ったり来たりの生活でした。
- ・甲状腺検診は期間は長くなくても良いが、福島県以外の地域でも行った方が良いと思う

【地域不明】

- ・がん家系ではないが、おば（80代）いとこ（50代）東京在住2人とも（乳がん）、いとこは心臓疾患も併発手術。
- ・2013 友人、白血病（50代）死亡→三重県民→10万人にひとりの奇病と Dr に言われた。
- ・2019、友人の子、東京都民、突然死（31才）

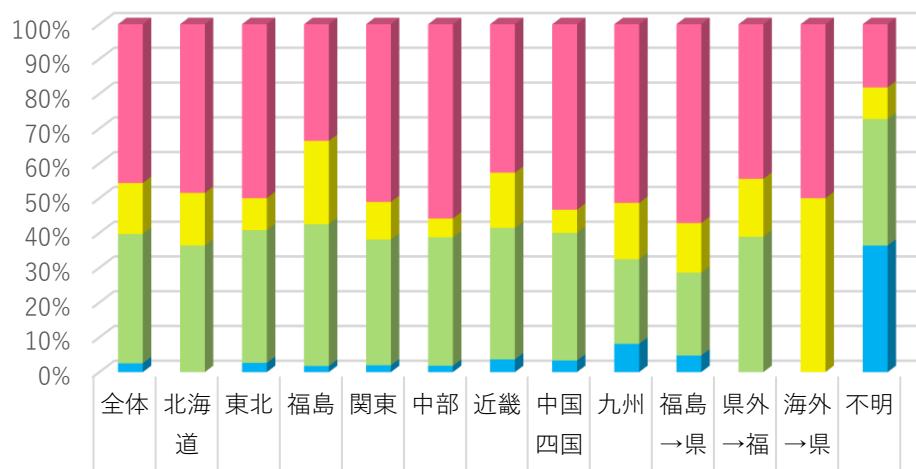
Q18. 「シーベルト」や「ベクレル」という言葉の意味について理解していますか。



【関東】

- ・すぐ忘れるので都度調べる(少し理解している)
- ・以前は少し理解したつもりだったが忘れてきた(ほとんど理解していない)

Q19. 福島原発の処理汚染水が海に流されることについてどうお考えですか。複数選択可



	絶対に流して欲しくない	流す以外方法がなければ流すしかない	環境への影響を考えると別の方法を考えるべきだ	関心がない	無回答
全体	561	16	38	0	31
北海道	116	5	38	0	0
東北	236	7	41	0	2
福島	62	50	83	0	6
関東	35	6	116	0	9
中部	16	13	167	0	2
近畿	9	31	41	0	3
中国四国	12	2	11	0	1
九州	19	6	9	0	3
福島→県外	12	3	5	0	1
県外→福島	8	3	7	0	0
海外→県外	1	1	0	0	4
不明	2	1	0	0	0



【関東】

- ・脳神経を犯すのではないだろうか？
- ・ただし、福島沖では流すべきではない。福島県以外の場所でやるべき。

流す以外方法がなければ流すしかない

- ・東京湾に流せば良い
- ・本当に政府が言うように何の問題もないと本当に広く証明されれば
環境への影響を考えると別の方法を考えるべき
- ・地中深く埋める方法が better と聞きました
- ・今のところ方法が見つからない

【浜通り】

流す以外の方法がなければ流すしかない

- ・最初に江戸前から!!!
- ・トリチウムのみならば

環境への影響を考えると別の方法を考えるべきだ

- ・トリチウム以外のものが入っているなら

その他

- ・国が無害ということならば遠洋において流すべき。福島県が犠牲になる必要はない。

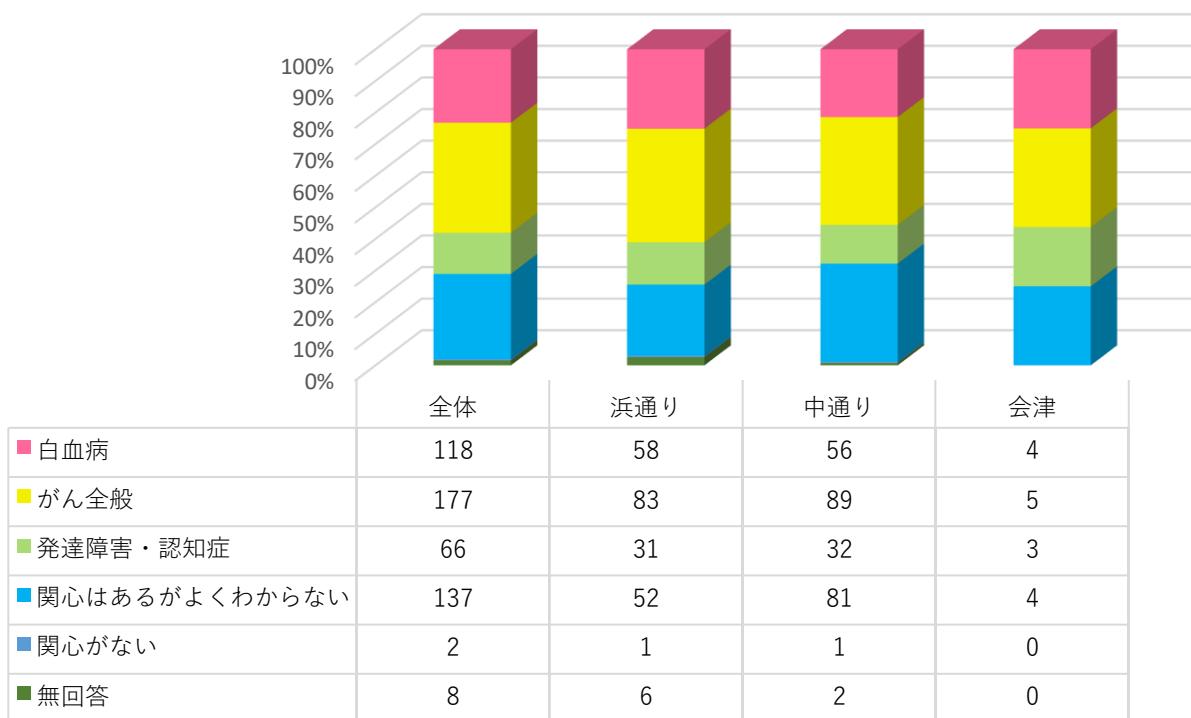
【中部】

- ・海外でも流していると聞いた。実際のトリチウムの数値を発表し、海外の例と比べ本当に害がないなら良いが、今はまだ不安なので福島原発の周辺に保受する土地を確保、やってやれないことはないと思う。土地がないとニュースで聞くがまだ危険なら絶対に流してはいけないと思う。ニュースで原発を見る映像があるが、場所がないというが、やる気がないだけ。今の10年分の保管キャパをあと倍用意すればあと10年保管できると思う。その間になんとかトリチウムの不安を下げる努力をして流れるなら流しても良いと思う。
- ・どうしてよいか、よくわかりません。

【近畿】

- ・阻止すべきだと思う

Q20. トリチウムの健康被害について気になることを選んでください。複数選択可



【浜通り】

- ・トリチウム以外の核種データがはるかに気になる。有機結合型の研究がいまだ結論なし(安定した結論に至っていない)
- ・発達障害・認知症-関連があるから選択肢にあるのでしょうか？ なにか裏付けがあるのでしょうか？

【中通り】

- ・トリチウムがクローズアップされるが、その他の核種、高い線量、危険なものも沢山含まれているのでトリチウムの害として出てくるものでもない気がして怖いです。

【関東】

- ・遺伝的障害
- ・パンフレットをみて少し理解した

【中部】

- ・初めて聞きました。

【近畿】

- ・東電の全資産を使って、トリチウムを真水にする研究をさせるべく、東電の責任を追及すべきだ。たとえ東電が倒産しようとも。(事故を起こした原発の電力会社が生き延びているのはおかしい！)

【県外→福島】

- ・①トリチウム以外の核種のデータがはるかに気になる ②有機結合型の研究がいまだ結論なし (安定した結論に至っていない)

Q21. 福島原発事故に関連することから精神的に不安に感じていることはありますか。



【浜通り】

- ・東電の補助金の差別にて相双地区住民は不安をかかえていると思います。南相馬⇨広野と相馬、新地の差が大きい。しかし皆市町村をまたいで仕事をしている。特に高速道路の無料か否かで、子どもたちの遠征にも影響がある。

Q22. 「感じている」と答えた方、何について不安なのかお書きください。

【北海道】

- ・廃炉までの被爆される多くの作業員の方、放射性廃棄物質の最終処分問題
- ・日本の将来
- ・北海道にも泊原発があり人ごとではない
- ・核燃料の最終処分所場
- ・3号機によるプルトニウム拡散燃料のだだもれ
- ・環境汚染・原発の再稼働・健康被害・被災者支援
- ・廃炉が進まない
- ・当時若かった人への影響、動物、魚、貝、海藻への影響
- ・事故を起こした側が事故をなかったことのようにしようとしている
- ・原子力に関する政策が暴走
- ・将来
- ・福島第一以外の原発再稼働のニュースをみると同様の事故の可能性はゼロでないのではと。
- ・子どもたちの将来について、健康を維持できるのか
- ・原子力発電そのものについての不安。核ごみの処理について考えが至らない状態でなぜ稼働しているのか
- ・健康問題、当事者の生活問題、社会的差別問題、精神的諸問題
- ・環境
- ・放射能流出の継続が不安。仮設住宅などが気がかり
- ・今後原子力をエネルギー源として利用すること
- ・今後どのように影響あるかわからないこと
- ・札幌でも環境中の放射線量が増加している
- ・原発を再稼働させている電力会社、国に対して憤りを感じるとともにどこかでまた同様の惨事が起きるのではという不安感。

【東北】

- ・将来への不安
- ・原発事故後一週間位外で炊き出しをしていたため、外にずっといた
- ・娘の引っ越し等で事故直後相馬に何度も行っており、甲状腺との関係
- ・他の稼働原発についての災害時の対応について
- ・放射能による健康被害が今後どの様に現れるか現れても政府は隠し続けるのではないか
- ・子どもたちの将来の健康
- ・子どもたちの健康被害
- ・風評と体の健康
- ・これから世代に申し訳ない原発を反対しながらも力になって来なかった。いつ事故が起きるか。核のゴミをどうするか
- ・このまま今の場所に住み続けていいか
- ・海の魚や海藻など
- ・遺伝子障害

- ・がんの病気の事
- ・ここで生活して病気にならないか
- ・子ども達への影響
- ・原発の廃炉の仕方
- ・わからないことが多過ぎて何が不安なのかさえわからない
- ・宮城県にも女川原子力発電所があり、再稼働に知事、女川町、石巻市共に同意したこと
- ・健康状態
- ・他の原発が再稼働されること。日本で原発中止にならないこと
- ・福島第1原発地域付近は人が住めない
- ・子どもの放射能に対しての健康被害、子どもの将来の結婚や孫の事
- ・将来の発症
- ・原発に依存してエネルギー
- ・台風、地震。何らかによる破壊、破損
- ・線量の高かった山元町に住んでいて健康被害について
- ・放射能による健康への影響
- ・先々の事を考えると何だか不安になる
- ・自分の住んでいるところにも被害があるのでは
- ・子どもが2011年6月生まれで成長と共に甲状腺に異常が出ないか
- ・女川原発の再稼働が迫りつつあるから
- ・地震発生や悪天候で建物等への影響がないか
- ・セシウム・トリチウムなど半減期が数十年と長いので知識が乏しく不安を感じる
- ・事故が収束せず汚染物質の始末の目途が立っていない
- ・被爆による健康被害がいつでるのか
- ・廃炉までの期間が気の長くなるほど遠いこと。作業が進むのか
- ・長い時間をかけて放射線が体に与える影響
- ・子ども達の体。将来
- ・現地への旅行等
- ・県をまたいでの影響、関東や他の地域はどうなのが。今はコロナ禍で忘れ去られている様だが忘れてはいけない問題だと感じる
- ・廃炉作業の遅れや事故などで放射能の拡散
- ・不安ではなく課題として。汚染の現状周知と廃炉の具体的な計画
- ・食べ物、山菜やきのこなど時々食べていいか

【浜通り】

- ・何時また災害があり異常事態になるかについて
- ・健康被害と食の安全について
- ・子どもが大きく大人になってからについて
- ・2011年に長男を出産したため子どもの健康が心配になる。最近感じなくなったなと思っていたが、次女が先天性心疾患となり不安がまたでてきた
- ・健康について

- ・大熊町も今復興に向けて住めるようにしているが大丈夫かについて
- ・子どもが震災についてTVや報道に過剰に反応することについて
- ・子どもたちの健康とこれからのこと(廃炉など)
- ・原発事故の放射能のかたまりがすぐそこにあるのだから
- ・いわきに住み続けて、子どもたちは大丈夫だろうか
- ・解体作業の事故、余震による津波について
- ・いつ病気になるか(ガンなど)
- ・健康。再び地震や津波があった時の事
- ・今後の子どもの健康面
- ・今後ガンになりやすくなってしまうのではないかについて
- ・また同じ事が起きるかもしれないという事
- ・子どもたちに影響がないのかについて
- ・10年後、20年後、30年後…子どもや孫の健康にどの程度悪影響が及ぶのかについて
- ・今後、子ども達、その先の世代にどのような影響ができるかについて
- ・いまだに収束しない作業中に、何事が起きての空気汚染について
- ・子ども達のこの先の健康について
- ・これからの健康障害、うつっぽくなる
- ・目に見えない物に対する有害なもの
- ・両親の不安を真近で感じているから
- ・また爆発しないか
- ・今後、20年、30年後の自分も家族もふくめ健康問題や結婚など
- ・将来的な健康
- ・被曝など
- ・自分やこの先の世代に生じる影響
- ・この先10年～20年後の体への影響について
- ・生活環境の安全性や健康被害
- ・避難された方達と地元住民の格差を今だに感じる
- ・がんについて
- ・生活について
- ・流入してきた家族との格差(補償金などにより子どもにお金をかけているように見受けられる)
- ・事故時の被ばくに加え、今現在も被ばくし続けている状況や体への影響
- ・子どもたちの将来への影響など
- ・娘の健康
- ・今後の健康被害
- ・廃炉にするのにも長い年月がかかることと、やはり汚染水の処理について
- ・自然界、動物界が破壊され続けている
- ・子、孫の将来的な健康に関する全体的不安
- ・今後の健康
- ・正しい知識がないことと、今後の生活についての不安
- ・遺伝していくのか、経済的格差

- ・なんとなく大丈夫かな？
- ・まずは子ども達に何もないか、時々ですがなんとなく
- ・自分達ではなく、子ども達が大きくなった時に何か悪い影響があるのではないかという不安
- ・空間線量は少なくなつて來てるが、山菜やキノコ類の汚染が高いことから子どもや孫達が戻って暮せる環境になく、自分達生き後の不動産等のこと、いろいろ
- ・健康状態がこれからどうなるのか
- ・内部被ばく
- ・子どもが大人になった時に何か病気が出るのではないかと
- ・子どもの健康
- ・食品の安全性と汚染処理問題
- ・現在も身体に影響があるのか
- ・生きること
- ・健康について
- ・震災後にうまれた子どもたちの健康について
- ・しょう来的な子どもへの遺伝
- ・将来的な大原発事故・放射能汚染について
- ・子ども達の将来に何かしらの病状が出ないか
- ・今後の人體影響と見えない放射能への恐怖感
- ・今後身体などに様々な影響を与えるのでは…と
- ・放射能がまだ残っていないか
- ・生活の全て
- ・また同じようなことが起きてしまったら…と
- ・孫達が小中学生だったので、今後身体への影響が心配
- ・放射性物質の状態
- ・将来何らかの病気になる不安
- ・地震があると原発は大丈夫なのか、また避難するようになるのか心配になる
- ・急に体に異状がでるのでないか？
- ・これからの将来、放射能の影響がどうなるのか
- ・全てを原発事故に引き付けることによって人生評価を誤りはしないかということ
- ・将来のがん発症について
- ・将来的な子どもの健康への影響
- ・現在の放射線量。魚介類がほんとうに安全か
- ・放射性物質による健康への影響
- ・廃炉
- ・廃炉のデブリの取り出し、見通しがない
- ・子どもが病気にならないか
- ・自分も含め、子どもや孫、子の健康と発達、自分の認知症など
- ・10、20年後…健康状態
- ・健康、生活
- ・数年検査して大丈夫だと国が判断して検査やケアを止めてしまうのではないか

- ・国、県、東電の無責任さのゆくえと自身の将来的な健康
- ・心身の影響や差別
- ・事故後、どういう病気等、影響があるのか不安
- ・このままいわきに住んで子供達は大丈夫かと考える
- ・子ども達の将来(進学や結婚、他の県に行って良く思われない気がする。知人がそれで結婚の話がなくなつた。相手親に福島の人とは×と言われた。あいさつに行った時言われたそうです。)
- ・子どもが進学や就職で他県に住むことになった時のじめとか
- ・今後の福島はどうなるのか？？ここに生まれ住んでいる子ども達は将来差別されるようなことがあるのか
- ・トリチウムを含む多種の放射性物質による健康被害
- ・将来、子ども達に悪い影響がないのか

【中通り】

- ・農作物の安全性
- ・子どもの将来
- ・子どもが将来的に健康が損なわれるのではないかと
- ・今後どうなるのか、身体に異常は起きないのか
- ・体への影響が不明確
- ・がんの発性の可能性、自分自身、子どもが産めるのかどうか
- ・食品、魚、ホットスポットについて
- ・甲状腺がんのことも含め、放射線の影響
- ・子どもの健康。(また、気にする割に、福島県産の野菜などを食べている事。)
- ・生活再建
- ・将来的に健康被害があったらと思うと怖い
- ・何事も無かったように魚介類を食べているが、半減期の長いストロンチウムが今後心配。若い人達の白血病の増加や関節の痛みを訴える人が増えていると思います。
- ・放射線能による汚染物と共に存していくこと
- ・高年令にて出るのではないか
- ・将来の疾病の可能性
- ・将来、病気などがでないか
- ・今後の健康
- ・また原発が爆発してしまったら、もう、福島では暮らせないから
- ・健康状態
- ・他県の人から、“福島”を軽べつされることに対する不安
- ・子どもが将来身体に異常が出ないか
- ・子ども達が出産した時に生まれてくる子に影響はないのか
- ・子どもの将来の健康
- ・これから先大丈夫か？ 影響ないか心配
- ・子供たちへの体への影響
- ・またもれるのではないか？ 子どもの将来
- ・子どもの将来 病気にならないか

- ・娘が当時の事を思い出す時 福島が他地域と差別されていると感じていたらしいこと
- ・健康被害について、もし被害が出た際に、原発由来と証明できるのか
- ・病気、環境
- ・子が小児がんになってしまったのは避難しなかった「自分のせい」が頭から離れない
- ・今でも何が正しいのかなやむ時があり
- ・病気になるのでは
- ・放射線の影響
- ・子どもの将来の健康への影響
- ・人間、動物、植物、全ての生き物の生態系
- ・地震等で新たに放射能放出されないか
- ・家族・自分の健康、食品に対する不安、公園にある立入禁止(汚染土が今もある)
- ・いつ放射線の被害で病気になるか
- ・将来、子ども達に健康被害が出ないかどうか
- ・体調の変化
- ・被ばくにより、何かしらの病気が発症しないかどうか
- ・健康
- ・今後の健康状態について
- ・電源や冷却水が中断し再爆発しないか心配
- ・少し体調が悪かったり、甲状腺の数値が高いと、がんなのでは…と
- ・慣れがこわい
- ・再度のメルトダウン二次災害、地表に積もる見えない放射性物質
- ・目に見えないので、政府が発表している事の信ぴょう性
- ・子どもたちの健康被害
- ・子どもをとりまく環境(食、遊び場等)・健康
- ・原発事故から10年経つが、今後健康被害は出ないのか
- ・子どもへの健康被害。特に甲状腺やガン。また将来結婚する際などに(福島県出身であることで弊害が出ないか心配している)
- ・現在も健康状態に影響があるのか
- ・身体の健康
- ・これから生まれて来る子ども達の事
- ・集中力がないとか発ガンとか、福島県民でそれが原因で結婚反対されたり、孫やひ孫時代に体に障害が出ないか
- ・我家室内の放射能は0.13～0.15より減らない、周りは山、長期的被ばくによる影響
- ・子どもの出産
- ・又、3・11の時のようになるのではないかと
- ・がんの病気
- ・これから10年後20年後に体に影響はないのか
- ・将来の子ども達への影響
- ・心身の健康(将来の)
- ・子どもの健康

- ・10年経過し、子ども達も大きくなつた、この先も国は子ども達を守ってくれるか
- ・子どもの結婚や赤ちゃんに影響がないか不安
- ・環境回復ができるのか。子どもたちの将来。
- ・今もそこに福島原発がある限り、恐怖を感じる。原発事故当時、小さかった子供達の将来に渡る健康
- ・事故直後は放射線について過敏になつていたが、年数を経るごとに慣れてきているのが正直なところだが、将来の子どもの健康はどうなのか
- ・何が起こるかわからない事に不安を感じている(ショックからまだ立ち上がれない)
- ・子どもの将来(健康、結婚、出産)
- ・子どもの将来が”福島”生まれで困らないか
- ・今後の健康
- ・将来の健康と原発(デブリ等)を完全に廃棄処分できるまで気がぬけない
- ・そもそも今も緊急事態宣言中だし、終息しておらず、その方法も分かっておらずまだ出ているということ
- ・またおきたらどうしようと考えている

【会津地方】

- ・時々、サッカーの遠征でJヴィレッジや相馬、いわきなどに行きますが、放射線の高さについて
- ・今後子ども達が大きくなつた時に「福島の人だから」という目で見られるのではないか?について
- ・海洋汚染について
- ・事故が起きたのに再稼働を進める政府に怒りと、事故はまた起きるということについて
- ・放射線の健康への影響について
- ・町が帰郷する方向の政策ばかりで、避難先の支援をしないことについて

【関東】

- ・再爆発
- ・健康、地球環境
- ・負の遺産をこのまま放置し、それが子ども達に影響するかもしれないこと。風化どころかコロナでふきとびそう!
- ・長期的な体内被曝の影響
- ・皆が余りに無頓着すぎる
- ・原発の再稼働へと国が動いてること
- ・原発事故を経験しても女川原発の再稼働を決めた宮城県の方針
- ・国が原発依存するを捨てないこと
- ・健康問題
- ・ホットスポットがどこにあるかわからない。農地と食品への影響
- ・からだに取り込まれた放射性物質がどんどん増えている
- ・再稼働する原発が出てきている事。又、それを容認する風潮
- ・人々の現在および将来の健康
- ・日本だけでなく、世界の子ども、若者たちの将来
- ・千葉の放射能、食品の安全、子ども達の将来
- ・地震が起きた時にまた同じような問題が起きるのではと思う

- ・子どものガン
- ・子どもの将来(食べもの、環境、その他生きていく為の全て)
- ・今はコロナ中心でメディアでは取り上げられているが、このまま日本という国が震災後の子どもたちの経過などを風化させてしまうのではないかと
- ・子どもたちの健康、見えない恐怖
- ・子どもへの影響
- ・放射線が人体に及ぼす影響、放射線を浴びた野菜や魚等の行政の対応
- ・特に子どもの健康への影響
- ・健康被害
- ・健康被害
- ・現在の工事の進み具合、工事にかかわる人たちの健康状態、果たしてどれだけの時間、労力がかかるのかについて
- ・時と共に忘れ去られるのではと。線量の高い所もあるのに帰る事をうながしている
- ・きのこや山菜など(天然の)まだ放射線量の高い食べ物が出回っていること
- ・今後も残る汚染と増え続ける汚染水がどの様に汚染を広げてゆくか
- ・肉や野菜の汚染について
- ・被曝した身体のこと、又、被災した地域や海、山の安全
- ・他の原発でも同様の事故が起こるのではないか
- ・環境、農作物、海産物 etc 食品、河川汚染
- ・原発事故後に発症した適応障害が治癒するのか
- ・事故原発が収束するまで作業の人々の安全がどのくらい守られているか、再び大地震があった時の現場の安全
- ・事故は終わっていない。放射能は出続けている。終束が見えない
- ・子どもの健康への影響
- ・福島の子どもたちの健康
- ・原発銀座の日本列島はこのような事故がまた起きるのではないか
- ・食品からの体内被曝
- ・大気、土壤、水の汚染が広がったという事は体内に蓄積していくということ。生命維持できるのか
- ・体や自然への被害
- ・重要と思われる事について検討をし、環境影響に関して調査研究されていない事
- ・健康への影響、原発の利用
- ・原発、核燃の再びの過酷事故、汚染された食物と空気
- ・先が見えない事、先の日本がどうなるのか
- ・収束が見通せない。他の原発の再稼働や核廃棄物処分問題
- ・女川原発が発動する。これからも何にも反省しないでどんどん原発が発動していくことに
- ・又大きな地震が来たら茨城に原発があるので心配だ
- ・原発がある事が不安
- ・原発の再開
- ・放射能又事故が起きないと限らないから

- ・何年後にどのような症状が出るのか、子どもの将来
- ・人体、環境への影響
- ・空気、土の汚染、海洋汚染等全般的な放射能汚染
- ・この事故を経験したこの国で原発再稼働の動きがあること
- ・原発の廃棄物の処理=海の汚染 etc
- ・地震の多い日本に原子力発電所は危険だと。
- ・健康、地球環境、地域の破壊
- ・健康、経済、政治
- ・自身の事よりも現地の人たちの健康。特に子どもたち
- ・永久に解決できない問題を抱えていることに対する不安
- ・目に見えないもので経験したことがないものなので
- ・核のゴミ、汚染場所のクリーニング、政府の原発行政方針
- ・今後の対応、未来も原発を使おうとしていることへの怒り
- ・再び事故が起きるのではないか
- ・収束廃炉に向かって着実な方策が立てられているとは思えないから。
- ・原発再稼働、再度の事故。
- ・汚染水問題、原発再稼働
- ・全国でまだ稼働している原発があり、何らかの事情で放射能漏れを起こすのではないかということ。
- ・ほとんど永久的に負の遺産を残すことになってしまったこと
- ・今後どうなっていくか。東海で同じようなことが起こったら…
- ・原発の存在そのもの。いつまた事故があるのかわからないこと。
- ・国の政策が本当に妥当であるのかがわからないこと。
- ・栃木県益子町は事故による汚染は比較的少ないが、今までほとんどなかった汚染がある事は確かで、土埃や灰、煙による内部被曝。
- ・原発の危険性。それにも怠らず日本が原発に頼り続けていること。
- ・日本すべてで原発使用を止めることに。
- ・がんの発症や認知症の発症率が高まっており罹患をするのでは。
- ・また事故が起きたら、もうどうしようもないと言う不安。食い止められない自分。
- ・入るまでの事故、健康管理
- ・放射性物質が長期にわたって自然や人体に影響を及ぼすこと
- ・食材の安全性。過去のものとしての風化。
- ・身体、精神への影響、自然環境と動植物など地球への影響
- ・破滅的危機の可能性がゼロになったわけではないし放射能処理無害化はほとんど不可能な分野。
- ・遺伝の変異、福島に戻れない(避難した方)の生活
- ・今後の原発事故。政府や電力会社の取り組みが不十分。教訓を生かさない。
- ・再び同じことが(地震)起きたらという不安。
- ・今後の健康状態、放射線による影響。
- ・汚染度の再利用や処理汚染水の海への投棄など、住環境や自然への悪影響など。
- ・がんの発症
- ・親しい友人の兄さんやお子さんが甲状腺ガンになったり、急死したりするのを家族も被曝による健康影響

があるのでないかと。

- ・特に内部被曝影響について。微量で長期間上がる放射能の影響。
- ・健康を害されていないか。
- ・国の無責任と国民の無関心が増えていくこと。
- ・長期的な健康不安
- ・将来の健康
- ・現場のコロナもあり、なんとなく不安は常に感じている。
- ・原発の事故がまたどこかで起きないか。
- ・人体の健康に対する影響
- ・福島以外にも日本には原発が多く存在していること
- ・他の動いている原発が、いつ事故を起こすか。核のゴミをどうするのか。
- ・皆さんの健康。心と体。
- ・晩発性の身体への影響「心理的な抑うつ感」「漠とした恐れ」「人間の愚かさ」「環境汚染」「核廃棄物への保管」など
- ・次世代への影響と過去の出来事になってしまうこと
- ・あれだけの事故を経験しながら、平然と原発は必要と口にする人が多いこと
- ・この先子どもたちの未来はどうなってしまうのか、食べ物、健康面
- ・地球の終焉の始まり
- ・地元の人に対する風評被害が不安になる時もある
- ・あれほどの大事故を経てなお、地震国日本の政府が原発の稼働していること
- ・食品の放射線汚染
- ・ずっと長い未来の空気、水、土壤などについて
- ・事故再発
- ・健康状態
- ・収束する感じがしない
- ・地震が起きたときに原発が崩壊するのでは？と
- ・津波だけでなく原発の直接被害のあった福島に在住する人の健康と記憶の風化
- ・放射能汚染による特にこどもたちの影響。地震、台風による影響。事故被害者の第二の生活や心身のこと。
事故収束作業の安全性、作業員の方々のこと
- ・事故処理、かかる費用や年月
- ・処理水を含め何も解決していると見えないので
- ・事故の核燃料の処理ができていないこと
- ・被爆の方々の健康と政府の方針
- ・健康への影響
- ・また爆発したらどうしよう。放射能の身体への影響がこわい。避けきれない問題であること
- ・将来的な健康被害
- ・又地震が来たらと不安に、またデブリのこと
- ・近辺の人々の健康。食品への影響。汚染水などの処理。政府や企業の対応のまずさ
- ・データや事実の報道がどこかで操作されていること
- ・土壤・海・空気の汚染による食べ物への影響。こどもたちへの影響。

- ・放射能はなくならないので樹から雨で流れ落ちたものが川へ海へと行き魚に入るなど食物について不安
- ・子どもたちへの影響。
- ・放射能汚染
- ・人体への影響。健康な生活への不安
- ・目に見えないのでどんな影響があるのかわからないこと
- ・汚染が広がることの不安
- ・国民の健康被害は長い時間を経て出るものがある
- ・子どもたちの正常な発達に害を及ぼす
- ・グローバルな環境改善
- ・気がつかないうちに健康を蝕まれているのではないかと不安
- ・まだ緊急事態のまま。解除されていない。放射性物質が出続けている
- ・放射性微粒子による内部被爆
- ・福島や北関東～全国の子どもたちの健康被害が次の世代にどう影響していくのか、日本の未来
- ・健康被害が増えていっても隠され、将来どうなっていくのか
- ・いつ他の原発で事故が発生するのか
- ・放射能による健康被害がどのような形で自分におよぶのか
- ・原発
- ・放射性物質の拡散について正確な情報が伝えられているかどうか
- ・除染した土をビニール袋に入れて敷地内に埋めている。放射線をどれくらい浴びているのか？ 今後の線量はどうなっていくのか？などいろいろある。
- ・埼玉に避難している原発被災者の破壊された人生は決して他人事ではなく流出し続ける放射性物質とそれに影響されること
- ・他の原発でも事故が起きる可能性があるのに原発再稼働
- ・廃炉作業が汚染水の為にいつ終わるのかわからない事
- ・とくに福島の子どもたちの未来
- ・子どもの身体への影響や将来の子どもの成長への影響
- ・関東など隔地での影響（数値等）発表がないこと
- ・家族、周囲の人々、汚染地域人々への健康影響
- ・社会の分断。不安を感じる者と復興を進めたい者との分断
- ・子ども達の事
- ・子どもたちの将来（健康面）環境への影響
- ・今後の健康について不安
- ・体に自覚症状のない病気が後になって急に出てくるのではないか。
- ・放射能被害
- ・若い人、子どもたちへの健康被害
- ・将来の健康状態
- ・内部被曝
- ・放射能による健康被害
- ・①CO₂排出抑制のため原発容認論が強まる、②原子力村ムラが隠然たる力を持ち続いていること
- ・大地が汚染されているのはなくならない

- ・パートナーが福島原発付近に仕事に行くかもしれない話が出た時の影響
- ・今の子ども達が子育てする時の環境。汚染水、海洋放出による将来日本が負うであろう責任
- ・海洋・地下水・山林汚染・汚染物質拡散
- ・海洋汚染と海産物への放射性物質の残留、摂取
- ・地震が発生するたびに原発から燃料が漏れだす可能性
- ・いつまた漏れるか、収まる方法がない。地震が来た時。食べ物の汚染。海の汚染。沢山ありすぎて不安。
- ・原発事故の原因が未だ解明されていない事
- ・事故に関して正しい知識を国民に伝えていない事から来る
- ・放射性物質の拡散
- ・国民に知らされぬまま、国が汚染水や土を捨てようとしている
- ・同じ事故が他でもおこるのでは
- ・健康被害
- ・人々の心から
- ・安全性
- ・事故を起こした原発の廃炉の道筋が不明。汚染された地域の除染がいつ終わるのか
- ・長女が血液検査で異形リンパ球が見つかった事、好中球がかなり減っていたので
- ・健康被害
- ・先が見えない
- ・再稼働を決めた原発はあり得ない。原発事故の処理が完全に行われない
- ・子どもたちの身体についてこの地球への影響
- ・放射能慢性疾患
- ・地震などによる事故。放射能の拡散
- ・放射能による人体への影響
- ・汚染の状況がメディアで伝えられず（コロナの為）、汚染の現状
- ・想定されていない、人間環境への影響
- ・また地震が起きて放射能が漏れたら、台風竜巻、テロで原発が壊れたら
- ・現在の技術では不可逆的である放射性物質を人類が使っていること
- ・今後子どもたちの生活する環境に対する影響
- ・人々の意識が原発事故から遠のいてしまう
- ・将来の世代に何か影響が出て来るのではないか
- ・事故が起きてからでは遅いが現状では無い事を望む
- ・若年層の方の将来（健康）
- ・汚染物質の処理、他原発での同様の事故の可能性
- ・土地に残存し続ける放射能とその生態にあたえる影響について
- ・これからの子どもたち、これからの日本、これからの地球
- ・終わりのないストレス
- ・食、野山で遊ぶとき、子どもの成長
- ・心身の健康及び廃炉費用などの国家財政の悪化による市民経済の悪化
- ・政府、東電の発表や情報公開が信用できない。終わりが見えないこと
- ・子や孫の世代に影響が出ること

- ・風評被害避難者の生活状態
- ・政府が正しい事を発表せず民間のデータやニュースでしか分からず東京に居ても不安です
- ・様々な病の発生、こどもへの影響（次世代含む）
- ・事故の被害がありながら政治的に隠蔽しようとする状態
- ・原発が次々再稼働すること
- ・正しい情報が伝えられていないので将来起こるかもしれないこと
- ・地震国日本と原発の安全性
- ・国が進めている帰省者、居住者の健康
- ・①地震のある度に福島（他の原発も）は？ ②現状の対応アルプス処理水など
- ・汚染により気づかない病
- ・水・土・空気、私たちが必要とする自然が壊れてしまっていること
- ・出続ける放射性廃棄物、使用済み核燃料の再溶融
- ・福島の食品の安全
- ・今後の健康状態にどのように影響するのか、又はしないのか
- ・娘を 1996 年に白血病で亡くしているので同じように苦しむ人を出したくない 原発がまだ推進されていること、事故の保障がされること、処理もきちんとしないで誤魔化していること
- ・二度目は喜劇（茶番）という評論思い出す
- ・原発事故が風化していくこと
- ・夫の実家が福島なので両親に影響がないか不安である
- ・F1 のような大きな事故以外にも小さな事故による放射線も今は今後も起き続けるのではないか
- ・事故から何を学び信じて良いのか？ タンク保管のトリチウム、デブリ廃炉までの先が見えない
- ・放射能汚染がどこまで広がっているのか
- ・放射能による影響
- ・食品、水の心配
- ・子や孫への影響
- ・最近私の周りの友人がガンで亡くなる方が多い
- ・海洋汚染と海産物への放射性物質の残留、摂取
- ・地震が発生するたびに原発から燃料が漏れだす可能性
- ・健康被害がいつ出るか、いつでも不思議ではないと思ってるから
- ・未来に害があるのではないかと思う
- ・子どもの将来
- ・汚染水のみならず福島第一はまだ収束していない。他の原発事故
- ・他の原発もいつかは同様の事故が起きるのではないか
- ・大気中、海への放出により環境に影響を与え生態系～人間へ悪影響が出る
- ・今後の生活、汚染水
- ・子どもの体調（今後の）
- ・子ども達の健康
- ・食べ物、空気、水の汚染
- ・汚染水を海に流していて蓄積され魚に影響がある、日本は地震が多く他の地域の原発も海に近い立地で不安ある、魚も食べたいし

- ・10年後、20年後に全ての世代の健康上の変化が顕在化するのではないか
- ・どの程度影響力があるのか？
- ・今でも人体に影響はあるのか
- ・生物全般に何か悪影響が出る
- ・現在二女は宮城県在住で来年2月に出産予定です
- ・再び大地震が起きた場合、メルトダウンしている放射性物質が危険なことになる
- ・廃炉処理の行方。原発ゼロに向かわない自民党政府
- ・子どもが将来大きな負担を受ける（最終処理）
- ・現場処理にあたる方々の健康
- ・放射能の数値がとても気になる
- ・事故はいつでも起き安定ヨウ素剤の配布すらなされない異常事態
- ・事故が起きたのに同じタイプの原発を欧州に売りに行ったりする政治全体
- ・放射能汚染による子供たちへの影響、事故処理ができないのに再稼働をすすめている
- ・2号機の放射線量が異常に高いことと他の原子炉
- ・子どもへの将来に渡る影響（健康や差別）
- ・もし自分や家族が健康に暮らせたとしても多くの人が病気になつたら日本の未来はない。原発問題という大きな弱点を抱えた日本が諸外国から様々な場面で不利に追い込まれるのではないか。
- ・放射性物質の処理
- ・完全な廃炉ができるか心配
- ・再び放射線を出す事故が起こるのではないか（地震や工事不備）、又は管理できずにもれている放射能もあるのではないか
- ・今後健康被害が出てくるかと考えると。未知で無知
- ・未だ完全な事故処理の道筋が立っていない
- ・将来、突然未知の事態にこの先会うのではないか？
- ・原発を再稼働する動きがあるので
- ・放射能汚染は未だ解決していないのに、解決したかの様に政治が動こうとしていること
- ・収束方法が見いだせない
- ・野菜・果物等の安全性
- ・次の世代にどの様に影響するのかが心配
- ・将来の子どもたちの発達
- ・事故後の原発のあり方
- ・「真」の情報不足
- ・四季の食べ物に含まれるセシウム等
- ・いつまたどこで原発事故が起きるかわからない
- ・将来若い世代の方に何らかの影響が出ないか
- ・子どもの将来の健康
- ・情報がオープンになっていないことで、実はどうなのか不明だし具体的な対応対処のあり方
- ・目にみえないので知らずに影響を受けてしまうこと
- ・将来なにか病気になるのではないか
- ・また原発事故が起きたら日本はおしまいになる。日本には住めなくなる。

- ・原発事故の影響について国ぐるみで隠ぺいされ 10~20 年後に大きな被害が出るのではないか
- ・日本が進むべき電力の方向
- ・これだけ地震が多く大地震の危険にさらされている。事故が起きるだろうということ
- ・このまま世の中は変わらないのかなと
- ・将来子どもたちに何か健康被害が出るのではないかということ
- ・放射能の汚染のひどいエリアに居住を誘導しているので住民健康被害
- ・再び事故、それと最終的に事故を解決できないこと
- ・本来なら放射線管理区域 (4 万Bq／m²を超える) にしなければいけない。地域に特措法を出して人が住み、農作物を作り大丈夫かのようにしている。子どもたちの将来は大丈夫か
- ・政府の原発政策 (依然原発をほぼ槩然と推進していること)
- ・季節ごとの体に良い自然の恵みを食する事が出来なくなっている
- ・原発の再稼働
- ・処理汚染水の処理
- ・子どもたちの健康

【中部】

- ・放射線が、放出され続けていること
- ・また同じようなことが起きるかもしれないし、子どもたちの未来
- ・人体への影響
- ・絶対安全とはいえない原発 廃炉にもいろいろな問題をかかえているのに原発からの退却がないこと
- ・食品を通した内部被ばくの恐れ
- ・原発の安全性しか知らされてこなかった事で対策が事故後にはない
- ・現在でも原発事故の影響が残るのに原発が政策として維持されていること
- ・再稼動、事故
- ・大きな原発事故だったのでどう影響があるか知らされていない
- ・日本・世界の未来
- ・食の安全と環境への影響
- ・汚せんされていることは明らかなのに、皆平気なこと、対策をしていないこと、コロナより重要ですのに!
- ・放射線による病気
- ・処理汚染水による海産物・魚など食べていいのか
- ・自然への影響、子どもたち(福島に限らずすべて)への影響
- ・正しい情報、国民を守る情報が届かないのではないか
- ・福島第一原発からの放射線(能)流出
- ・海産物の汚染 山の幸の汚染
- ・長期にわたる被暴(低線量)が、子どもたちの将来
- ・放射線被ばくの危険性、汚染がどこまで広がっているのか、海など環境汚染への不安
- ・日本の原子力政策
- ・食べ物
- ・福島又は、それ以外の原発で再び事故がおきるのではないかということ
- ・被爆した方々の今後の健康状態

- ・日本には、他にも原発が各所に在る事が不安です
- ・頻発する地震(昨夜 11/22 も茨城北部で震度 5)で、まさか?、又?、と不安になる
- ・福島の原発事故の原因が津波とされ、原因究明されぬまま次々再稼動されようとしている。プルトニウムは人間には扱えない。今後どう処理し減らしていくのか考えるべきだ。
- ・再び同じことを繰りかえさないか
- ・自然環境
- ・汚染水の処理が進んでいない。全国に汚染食品が出回っている。原発再稼働など
- ・近年、埼玉から愛知に引越して体の緊張感が全く違う。また近々千葉に引越すので今後の健康
- ・汚染が広がること
- ・志賀原発における事故、放射能もれ
- ・廃炉作業中の事故、除染土の再利用による拡散、放射能による健康被害
- ・ガン罹患
- ・福島だけでなく全国各地に原発がある、その一つでも事故を起こしたらどうするのか
- ・実家が茨城県取手市にあるがそのままで良いか
- ・農產品
- ・子の将来
- ・①廃炉のめどが立たない ②日本の対原発政策(原発廃止の方向性あいまい)
- ・まだ日本に原発があるので、ニュースで福島のニュースをきいた時
- ・健康被害
- ・福島で起こったことは、他の地域にも起こりうるので
- ・食材について不安がある
- ・放射線についてマンネリ化して、脅威に感じている
- ・もし、再び原発事故が起きた時
- ・放射能汚染、政府・東電の対応
- ・特に次世代への悪影響
- ・サイクルとして未完成な原発に頼らざるを得ないエネルギー政策について
- ・海水、空気は見えないが何らかの影響があるのではないか
- ・福井でも起き得るなあ。このまま原発への依存からは脱けられないのだろうな、という事
- ・自分自身は不安ではないが大熊町から避難されている知人家族のぬぐいきれない将来への不安を見聞きますと氣の毒であり不安である
- ・これから世代の方々の健康
- ・政府や東京電力などの情報公開
- ・子ども、孫の世代への影響
- ・正確な被害状況把握
- ・食物で放射能を接種しているのでは
- ・食物による内部被爆
- ・ヒバクが目に見えないため、子どもたちの体や将来について まだずっと冷やし続けなくてはいけない
- ・テレビでの影像
- ・狭い日本の国内で起きた事なので何らかの影響があるのではないか
- ・子ども達の健康を守ること(心身)

- ・日本全国の原発に何とも言えない不安を感じる
- ・本来あるべき姿にすべてがもどれるのかどうか
- ・今後、他の原発が再稼動すること
- ・放射能を出してしまったので、食べ物、飲み物、空気など何かしら影響がある
- ・事故前より放射線の汚染基準が緩められた事の影響
- ・近くの原発での事故による放射能汚染・核兵器による放射能汚染
- ・今後施設の処理をどうしていくのか
- ・自分や家族が少しづつ被ばくしていること
- ・子どもたちの健康
- ・特に感じているのは海の汚染です
- ・原発が存在し続けていること

【近畿】

- ・今後も放射線が同じ位かもっと同じ影響が出てくるのではないか
- ・福島をはじめとする関東の子ども達の心の状態
- ・単なる東電原発のみならず、日本中の原発事故の心配がある。特に関電原発一金間行動(キンカン)に行っている
- ・そもそも、2万年も残る有害物質ができるのを、発電に使うのはナンセンス
- ・子ども、孫の健康被害
- ・認識できる以上の長期間、継続的な責任を持って管理できるのか
- ・若狭の原発が同じ事故を起こす
- ・高浜原発が近いため、地震時の事故
- ・過ちをくり返さないか心配
- ・他の原発でも同じような事故がおこるのではないか、その可能性について
- ・月日が流れても、放射能の影響が、目にみえず、進んでいるだろうということ
- ・子ども達の健康全般
- ・他の原発でも同様の事故が発生する可能性
- ・どんな症状がでるのか知り、何に気をつけたらいいのか分からないこと
- ・チェリノブリのニュース等から放射能の人体への被害を心配する
- ・日本各地に原発があるが、それらが事故や地震などで壊れたら恐いです
- ・事故当時娘が(横浜在住)妊娠していました。その子は9歳、将来的に健康でいられるのか案じています。
- ・汚染水のこともあるが、本当は事故は治っていないから。
- ・地震があるたびに原発は大丈夫かなと思います
- ・どのように処理していくか
- ・未だに原発を動かしている事
- ・食物について
- ・食の安全には恒に不安
- ・生命の連続性
- ・現地の方々の苦しさ悲しさを、不安を理解しきれないこと
- ・残留放射能の身体への影響、土、食品(野菜、魚)から

- ・残留放射性物質の処理
- ・原発が再稼働(特に関西電力福井県で)している現実に対して、事故への不安
- ・事故当時盛んに言っていた半減期の話はどうなったのか。海や土の食物に蓄積しているのでは
- ・原発に関して、国際的にも安全面で劣っている
- ・長期に渡って続く環境汚染の影響
- ・地球の未来に悪影響を及ぼしているのだろうなという不安
- ・今、大阪に住んでいるが遠く離れていても健康の影響がないのか
- ・いつ収束するかわからないこと
- ・被ばくさせられた子達や住民方の、永久的な健康の心配が、心身に影響
- ・自分達の所にも放射線被害が来るのではないか
- ・大きな地震があると、いつも福島以外、他の原発もないところであるように祈りながら震原地を見る
- ・動いているいにかかわらず、何かの原因でまた原発事故が起こりうるし、政府の対応には期待できないこと
- ・正確な情報が出ず、判断の材料が極端に少ない、又終わったような雰囲気
- ・原発があるかぎり、どこにでも事故の可能性があること
- ・地震の多い島国の日本で原発を続けていること
- ・日本中空や海は流れているので放射能汚染している
- ・食べ物からの体への影響がいつまで続くのか
- ・子ども達の未来と今後も起こるであろう大地震に対する不安
- ・パンフに載っている子ども達をみると胸が痛む
- ・コントロールが出来なくなって再び大量に放射性物質が拡散される
- ・国の原発対策、裁判の行方

【中国・四国】

- ・放射能
- ・原発の使用済み燃料の処理方法
- ・原発はいつ事故を起こすかわからない。常に怖さを感じる。
- ・岡山へ東北から避難している人々の生活
- ・他の原発でもあり得る事故、汚染が消滅するのか
- ・長期的な自然、動物、人への影響
- ・放射能の影響が何らかの形で出るのではないかと言う事
- ・海の汚染の事(日本の他の原発について廃止すべきと思う)
- ・今後の環境について
- ・汚染水を海に流すのは嫌だし作業している人たちの危険性
- ・地球の未来の環境
- ・海やその他環境汚染は地球全体に影響があるのではないかと
- ・関東(東京、神奈川)に住む2人の子の健康
- ・忘れてしまうこと、うやむやになってしまうこと。何が安全で、何が危険なのかの判断。
- ・自分たちの子孫などの世代の病気
- ・日本は未だ原発推進に動いているため地元の安心が疑問。

- ・無理することができない、原発から出るゴミを未来に残すこと
- ・愛媛県内に原発があり、同様のことが起こる可能性がある。
- ・食品摂取

【九州】

- ・これからもっと顕在化していくであろう命全般（自然も含めて）の異変・この時代に生きている者としての責任
- ・食品への影響
- ・放射能汚染・子供たちの健康（大人も含む）
- ・放射線による健康被害
- ・未来の環境とかへの影響
- ・南海トラフの大地震が起きた時、四国の伊方原発がどうなるのか、その他の原発についても
- ・核と生物は共存できない
- ・健康被害。又は、それを心配した来日客減少
- ・汚染の拡散・汚染物質の処理
- ・近接地の原発の存在、風評被害（県産品の農水産、牛肉等）
- ・放射能の被害
- ・鹿児島に帰ってから甲状腺にのう胞（多）と結節があることが分かりました。脳腫瘍のOPEもしたので、常に体の健康状態について不安
- ・食べ物に不安を感じる、主に魚関係
- ・原発事故の記憶の風化と発電所再稼働容認への国や行政の動き
- ・子どもへの心身への影響。食物の汚染
- ・九州にも原発があります。必要ないのではないかということ
- ・近辺にある原発事故、原発の情報は信用できるのか
- ・地元にも原発がある（20キロくらいの距離）ので、放射能汚染は他人事ではないと思う
- ・今も原発事故が原因で生活に支障をきたしている方々の状況が改善されてなこと
- ・目には見えない被曝の遺伝的影響。人だけでなくあらゆるすべての生物
- ・結局丸い地球にあって逃げれる術はないと考える
- ・トリチウムや他の放射線物質の流出が続いている

【福島→県外】

- ・生まれ育った地域がカタカナで表記されたり、自慢できる県でなくなった
- ・健康状態よりも、子どもをないがしろにするこの国の政府と国民に対して
- ・健康への影響
- ・外部被ばくや内部被ばくによる晚発生障害
- ・事故をなかった事とし、汚染をかくし、原発推進する政府に怒りを感じます。
- ・最初～現在まで信用できない国の言動と、またいつか同じ事が起こってしまった時、あの時の事を教訓にできる程の解決策や対応策を講じていない事
- ・自分よりは生まれてきた子どもについてや、私の身体、この先の事
- ・ふるさとを失った（と思う）人達に、何と声かけして、寄りそったらしいのか？ 理性は「あきらめなさ

い」、感情は「あきらめずにがんばれ」、、、どっちが正しいか?????

- ・これだけの事故や被害がおきているにもかかわらず、政治家や市民の考え方がかわらないことがこわい。人間に対する不信感。
- ・健康について将来について子どもたちのこと
- ・東京電力も国もうそをつくから
- ・不安であると心のバランスを崩してしまい、正しい判断ができていない可能性もある。また、ストレスをかけた生活は、心身を痛めてしまう。そんなことを考えると、無関心で、心に負担をかけない人たちの方が賢いのかもしれない。どうしようもないことなら、情報を一切出さずに無いことにするのも有りなのかもしれない。しかし、気がついてしまえば心に蓋はできない性分なので、怒りでバランスを崩さないよう心がけていますが、正気を保っているのか、時折不安になります。
- ・終わりがないのに、全てが終わりにされていこうとしているから（賠償、1Fからの飛散、廃炉作業、除染）
- ・子どもの出身地がわからない
- ・移住したことが子ども達の成長過程に与える精神面の影響

【県外→福島】

- ・被曝線量の蓄積による異常の発生や原発自体の再メルトダウンや事故
- ・子どもの子どもに影響はないのか
- ・子ども達が大人になって影響が出るのではないかという事
- ・子どもの将来
- ・体調
- ・汚染された中で、普通に暮さなければならぬ事
- ・将来の健康に影響があるのか
- ・将来的な健康被害
- ・子どもへの健康被害、発達への影響

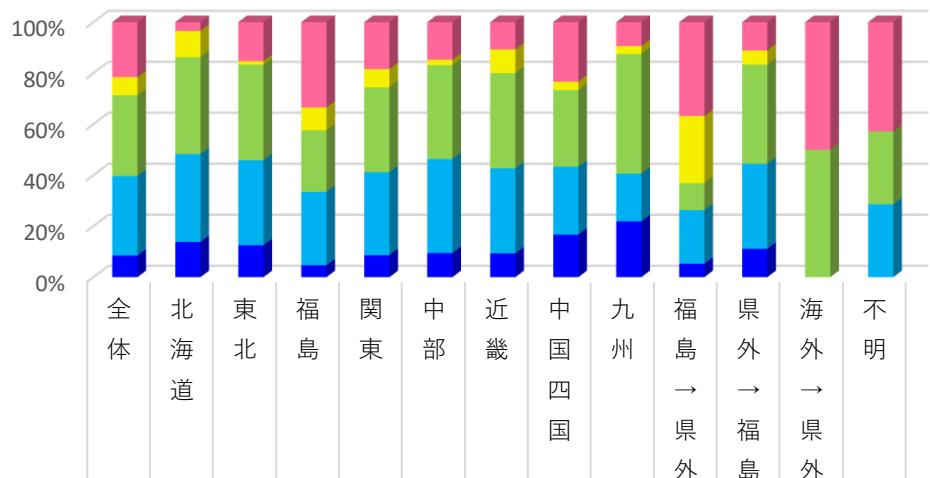
【海外→県外】

- ・今後の福島の方の生活が元に戻るのが難しいこと

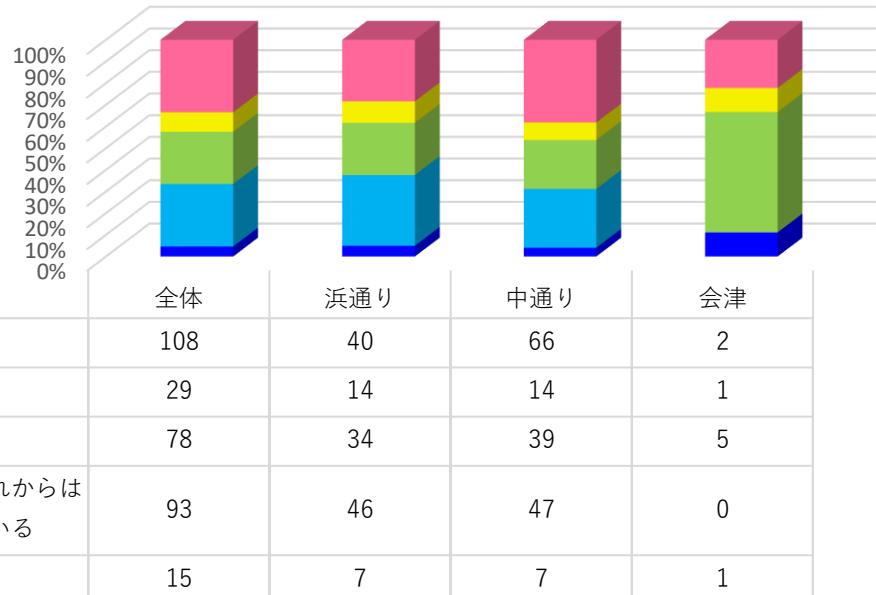
【地域不明】

- ・今後の健康（子ども、孫）福島の状況、事故処理 遺伝子に変異をきたしていないか不安
- ・いつ病気になるか確率を知りたい
- ・放射線
- ・食品に対して大丈夫なのか（福島県産のもの）
- ・周辺の状況が伝わる手段が少なく細くなつて詳細が判らないため

Q23. 現在までの本人や家族の心身の健康状態に、原発事故による環境汚染が影響していると思いますか。



	影響もあると感じる	影響もあると確信している	影響はないと思う	これまで影響はなかったがこれからはあるかもしれないと思っている	無回答
■影響もあると感じる	244	1	11	108	79
■影響もあると確信している	81	3	1	29	31
■影響はないと思う	358	11	27	78	143
■これまで影響はなかったがこれからはあるかもしれないと思っている	353	10	24	93	140
■無回答	96	4	9	15	37



【北海道】

- ・北海道は汚染から遠いのでどちらかといえば情報による心理的ストレス

【浜通り】

影響があると確信している

- ・二女が心配です(甲状腺検査で毎回再検査指摘)
- ・次男は当時の話を全くしない

【関東】

影響もあると感じる

- ・長女が特に食に対して敏感になっている
- ・ある意味影響がある。健康への意識が高まり以前より健全な生活になった。

その他

- ・コロナを含めてこれからが心配
- ・あるともないとも思えない

【近畿】

- ・原発は福島だけではない

【九州】

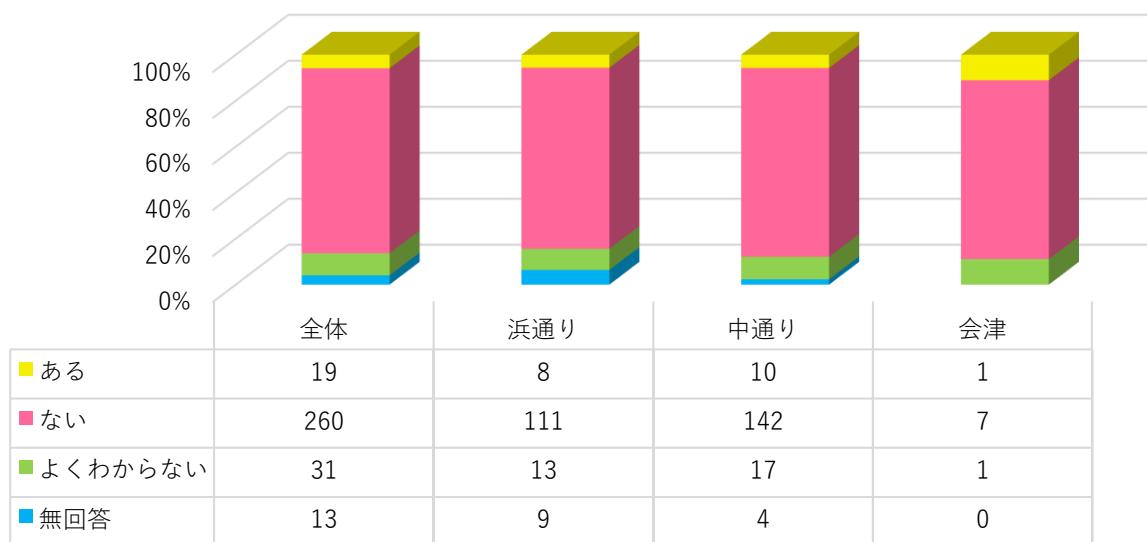
- ・潜在意識的には何らかの不安は有ると思いますが

【福島→県外】

- ・約2年間郡山で本人は一人暮らし、食生活も変わり不安もあり体調崩す
- ・精神面

Q24. 福島出身のお子さんに対するいじめや差別を感じることはありますか。(県外在住対象)

Q24. あなたやあなたの子さんに対するいじめや差別を感じることはありますか。(県内在住対象)



【東北】

ある

- ・身の回りではないが報道その他の情報からあることを知っている

【浜通り】

ある

- ・いじめや差別ではないが、ママ友とも温度差を感じる

よくわからない

- ・今は無いが当時はあった

【関東】

ある

- ・新聞報道などから
- ・練馬在住の被災者のお話を伺った限りでは

ない

- ・私の周りではない
- ・私の周りには
- ・健康を守っていかないといけない、特別感はあります
- ・聞いたことはある
- ・身の回りでは
- ・身近にない

わからない

- ・メディアの報道のみで身近に機会はない
- ・TV 報道であると聞いている
- ・見あたらない
- ・対象者がいない
- ・周囲にいないので
- ・実際身近では行っていない
- ・身の回りにいない
- ・ニュースでは見る
- ・直接感じる機会はない

その他

- ・一度ついたイメージは消えにくいです。
- ・身近に福島県出身のお子さんがいません。

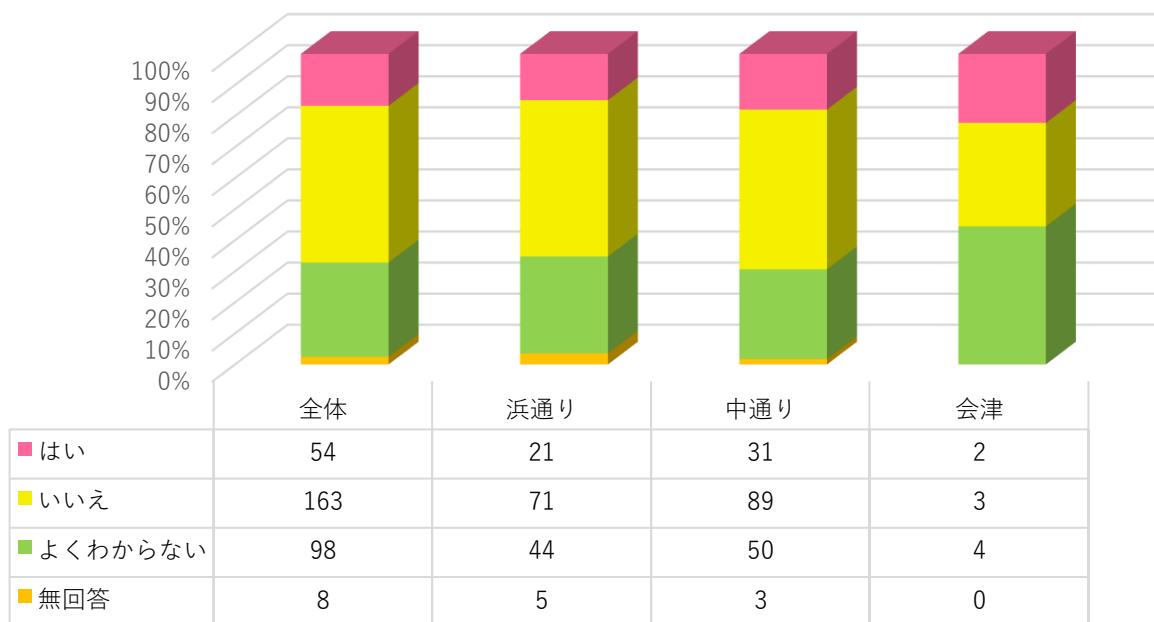
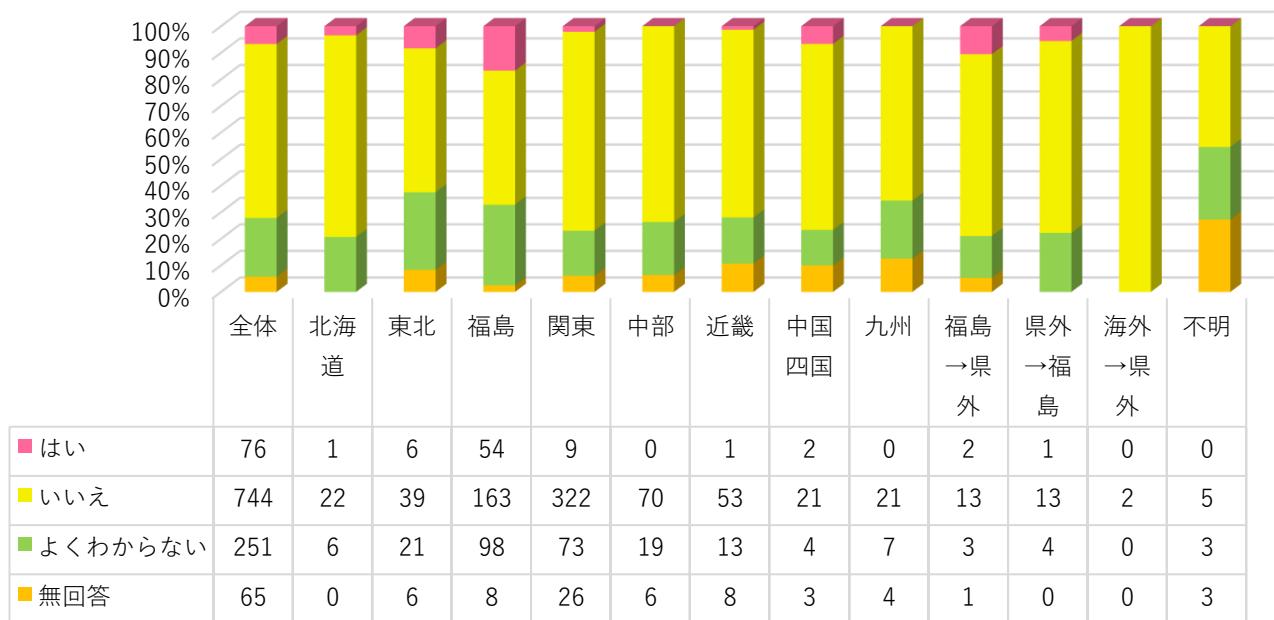
【近畿】

・福島の子どもたちの明るい未来を願っていますが、我が子が結婚相手を連れてきたときに、赤ちゃんに影響がないのか…感じてしまうのではないかと思う

- ・周りにいないので関係をもったことはない
- ・人による、行政、社会性による
- ・大阪ではあまり感じられない

Q25. 震災から現在までの間の公的機関からの対応は十分だと思いますか。(県外在住対象)

Q25. 震災から現在までの間の公的機関からの対応に満足していますか。(県内在住対象)



【東北】

いいえ

- ・自分には何もないが、被災した人々に対しては不十分だと思う

【浜通り】

はい

- ・北海道に二女がいるため、病院検査ができない

【関東】

いいえ

- ・全然だめ
- ・線量が高いのに帰還命令、政府はおかしいと思う、二次災害です

よくわからない

- ・公的機関を具体的に

その他

- ・充分すぎて依存する人が増えてる

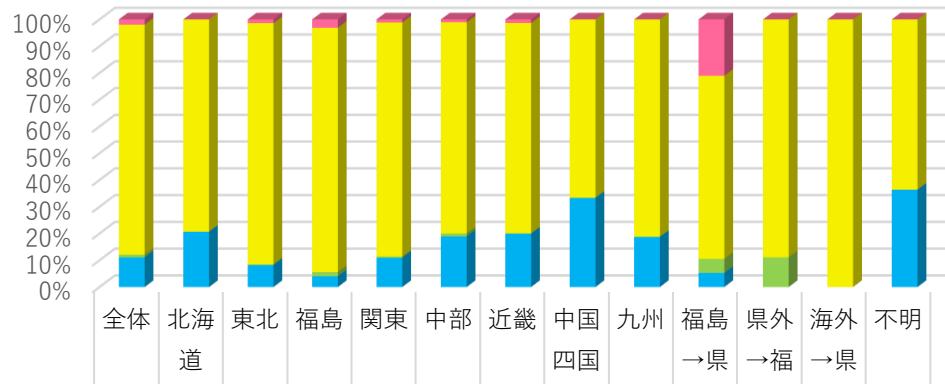
【中部】

いいえ

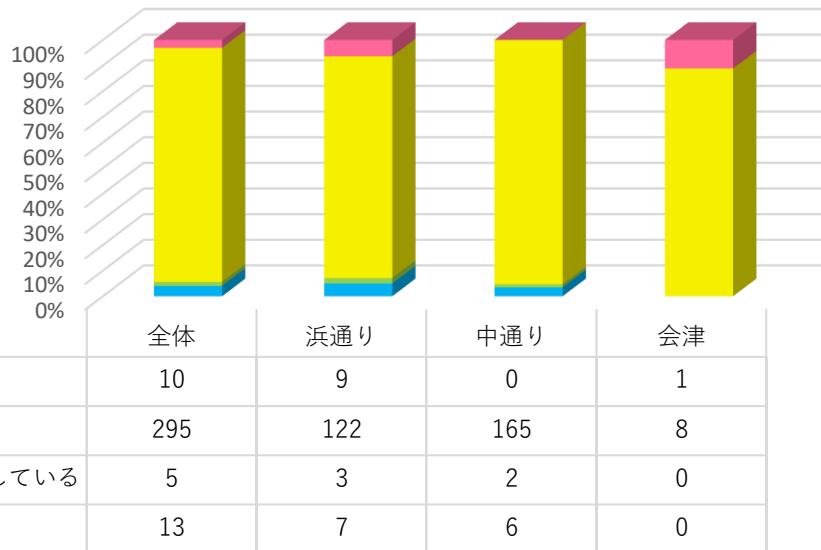
- ・避難訓練、ヨウ素剤など事故対策は手厚くなったが、再稼働容認なら意味がない

Q26. 東日本大震災以後、原発事故などに対する考え方の違いが原因で離婚や離別をしましたか。(県外在住対象)

Q26. 東日本大震災の地震・津波・原発事故が原因で離婚や離別をしましたか。(県内在住対象)



	全体	北海道	東北	福島	関東	中部	近畿	中国四国	九州	福島→県外	県外→福島	海外	不明
はい	22	0	1	10	5	1	1	0	0	4	0	0	0
いいえ	977	23	65	295	376	75	59	20	26	13	16	2	7
離婚はしていないが、別居をしている	11	0	0	5	2	1	0	0	0	1	2	0	0
無回答	126	6	6	13	47	18	15	10	6	1	0	0	4



【東北】

いいえ

- ・事故があった時もともと反原発だった私と夫の間で原発について言い合いになっただけ。今は夫も理解している

【関東】

はい

- ・別の理由で離別した。

- ・8年を迎える離婚を切り出され別居している

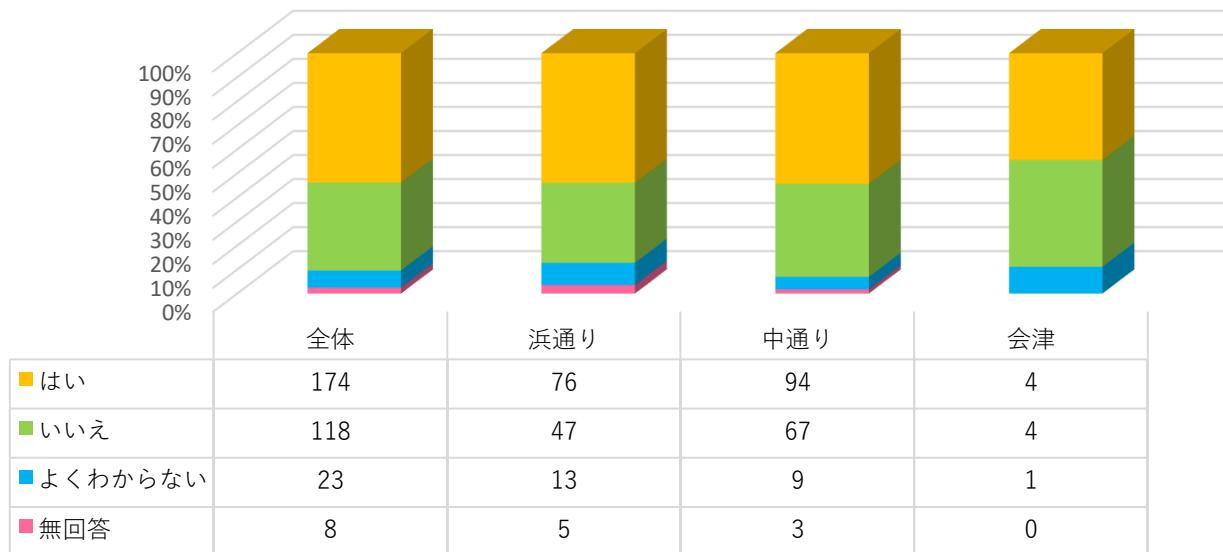
いいえ

- ・我が家は原発反対です
- ・独身です

【近畿】

- ・離婚はしていないが、別の心にある

Q27. あなたやあなたの子の活動エリアの放射線量について心配になる時がありますか。



【関東】

はい

- ・生協班か道路測定チラシで可視化、注意して拝見します。
- ・私は子どもがいません
- ・子どもはいませんが

いいえ

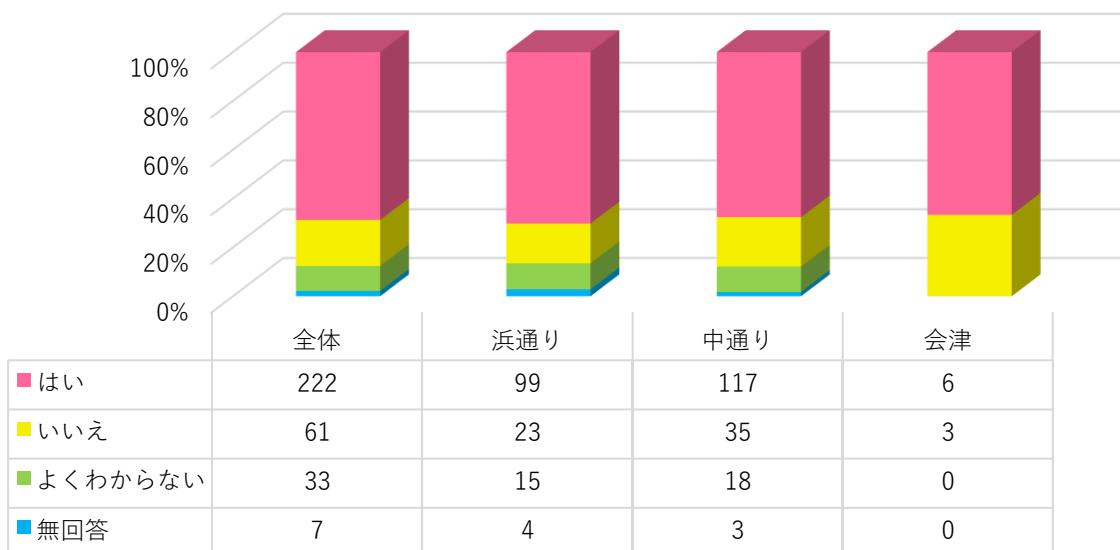
- ・今は無い 2名
- ・以前はかなりあった

その他

- ・去年 50 メートル位の公園で 400 ベクレル、前の入り口小川で 500 ベクレル、土手で 1000 ベクレル。

- ・長女・次女はたまたまずっと海外に、三女は原発後に沖縄に移住
- ・ずっと関心があるので、昨年有志の会の集まりに行きました。あるお母さんが地域の保育園の園庭の放射線量の測定をして、汚染土の扱いについて管轄の役所とやりとりをした話をききに行きました。「原子力ムラ」の圧力なのか何かわかりませんがこの問題はずっとタブー視されていますよね。それがよくわかりました。ただ彼女のお子さんは症状が出ました。今は治っているようです。

Q28. あなたやあなたの子の将来に不安を感じることはありますか。



【浜通り】

よくわからない

- ・県外の人がどう思っているかわからない

【関東】

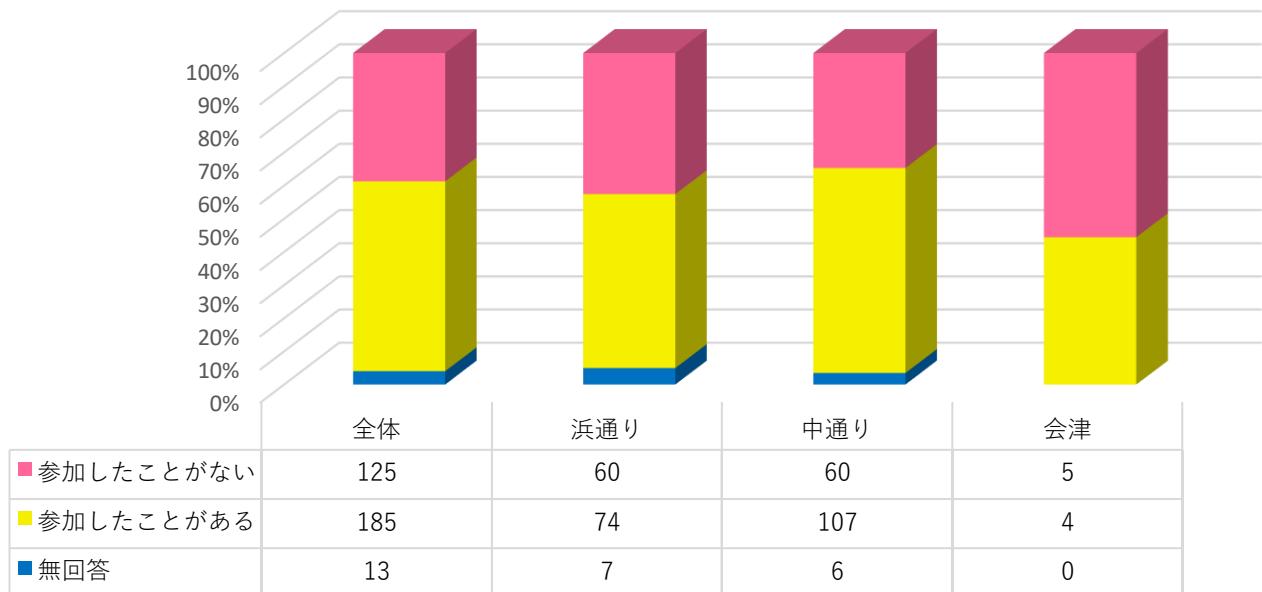
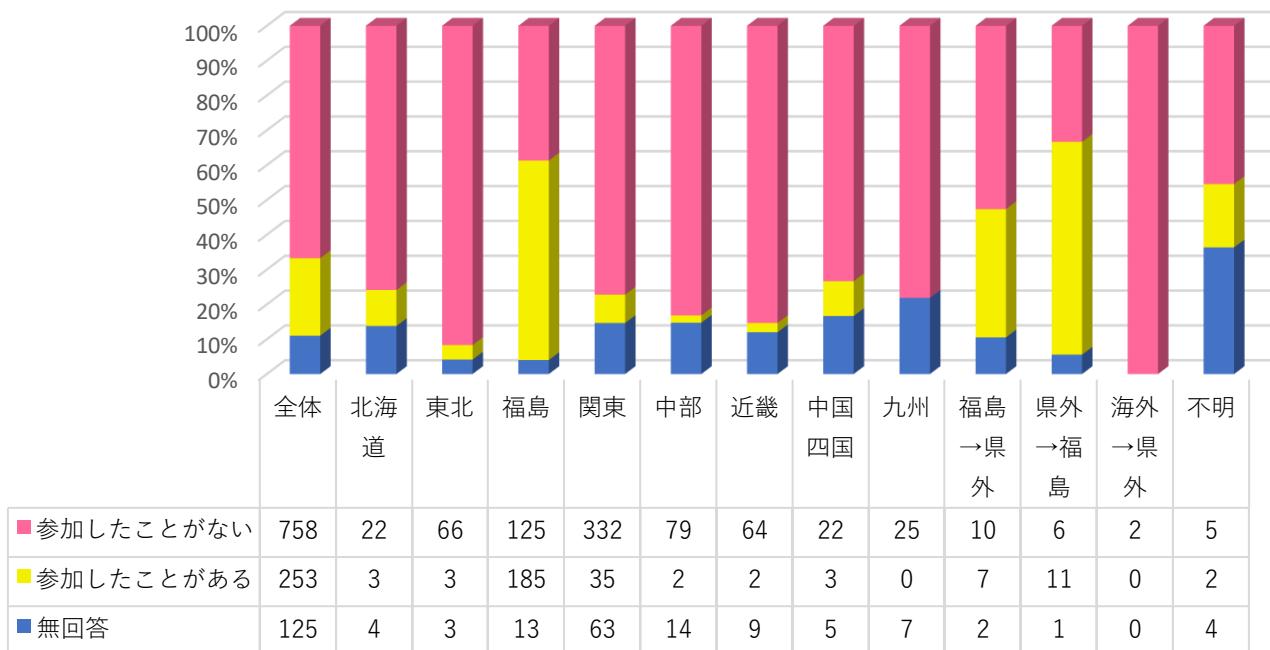
はい

- ・他の子ども達も同じこと
- ・私は子どもがいません

いいえ

- ・今は無い 2名
 - ・現在の福島の現状では特に問題ないと思う
- よくわからない
- ・将来どうなるか分からないが今出来る事をし、不安にならない生活を心がけている

Q29. 福島原発事故によるケアのための保養や自然体験活動にあなたやあなたのお子さんが参加したことがありますか。



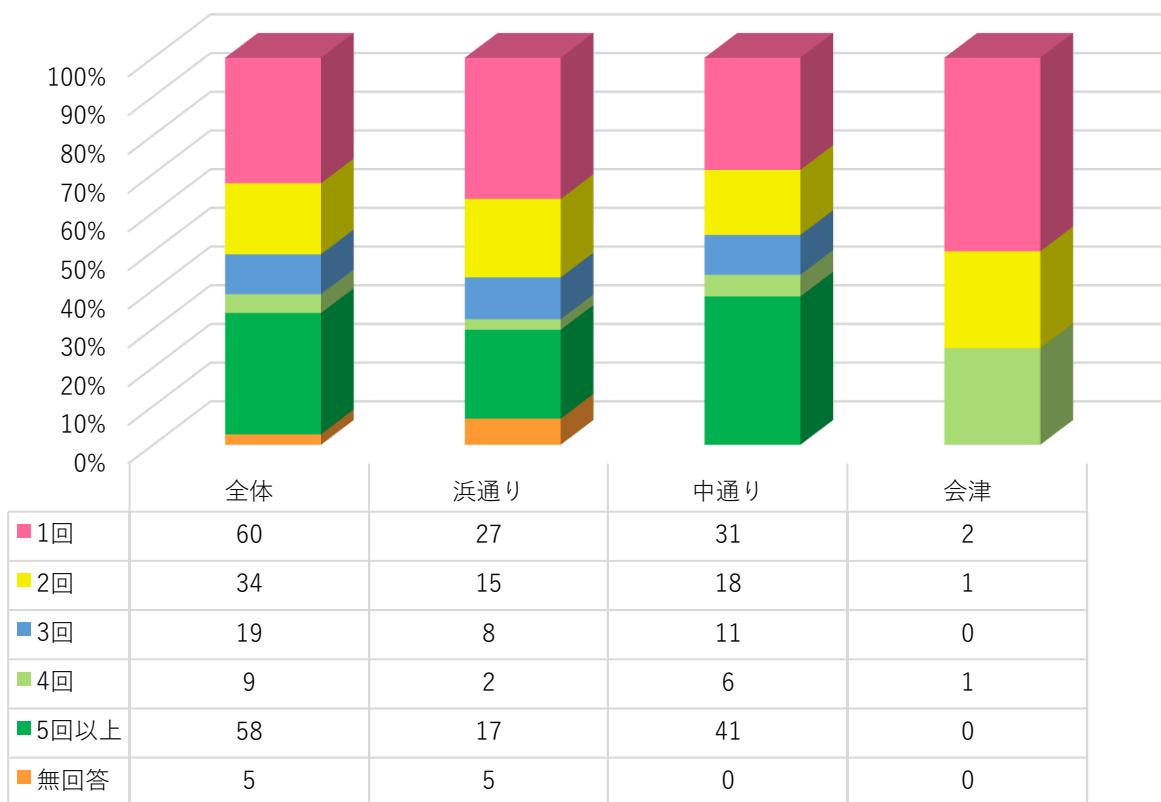
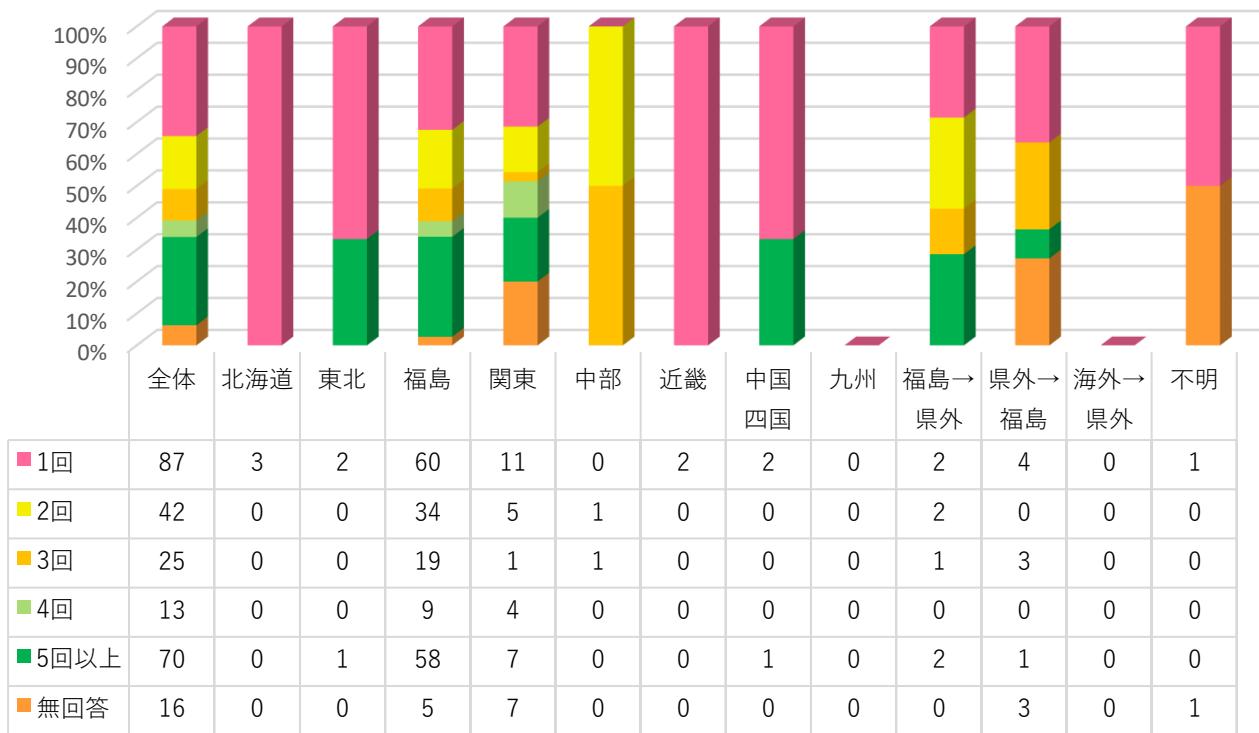
【中通り】

- ・長女が楢葉町の子ども達のボランティアに参加したことがある

「参加したことがある」と答えた方の参加した場所（横が現在の居住地、縦が参加した場所）

	全体	浜通り	中通り	会津
沖縄県	44	39	3	2
長野県	11	10	1	
北海道	9	7	1	1
新潟県	7	4	2	1
山梨県	6	4	2	
山形県	5	3	2	
神奈川県	5	2	3	
福島県	4		3	1
埼玉県	4	2	2	
東京都	4	1	3	
イタリア	4	2	1	1
京都府	3	1	2	
福井県	3	2	1	
岐阜県	3	1	2	
宮崎県	3	2	1	
その他	3	1	2	
青森県	2	1	1	
宮城県	2	1	1	
静岡県	2	2		
愛知県	2		2	
三重県	2	1	1	
山口県	2	1	1	
香川県	2	2		
福岡県	2	2		
シンガポール	2	2		
兵庫県	1		1	
岡山県	1	1		
岩手県	1		1	
秋田県	1		1	
栃木県	1		1	
千葉県	1		1	
富山県	1	1		
石川県	1		1	
広島県	1		1	
徳島県	1		1	
長崎県	1		1	
熊本県	1		1	
鹿児島県	1		1	
大阪府	1		1	
ドイツ	1		1	
ハワイ	1		1	

「参加したことがある」と答えた方の参加回数



【関東】

参加したことがない

- ・ボランティアでケアする側になったことはある
- ・保養をもう少し具体的に。意味がわかりにくい
- ・子どもがいないので無回答にします
- ・孫

参加したことがある

- ・支援スタッフとして参加 東京と藤沢 11~12回
- ・ボランティアとして福岡、長崎、広島 3~5回
- ・徳島、長野、回数は10回
- ・和歌山、四国（自分で企画実行している）
- ・大磯で保養を企画
- ・ボランティア
- ・世田谷（ボランティア）
- ・主催しています。南房総市

その他

- ・子どもなし 3名
- ・寄付のみ
- ・この子ども保養のアンケートは子ども対象ではありません

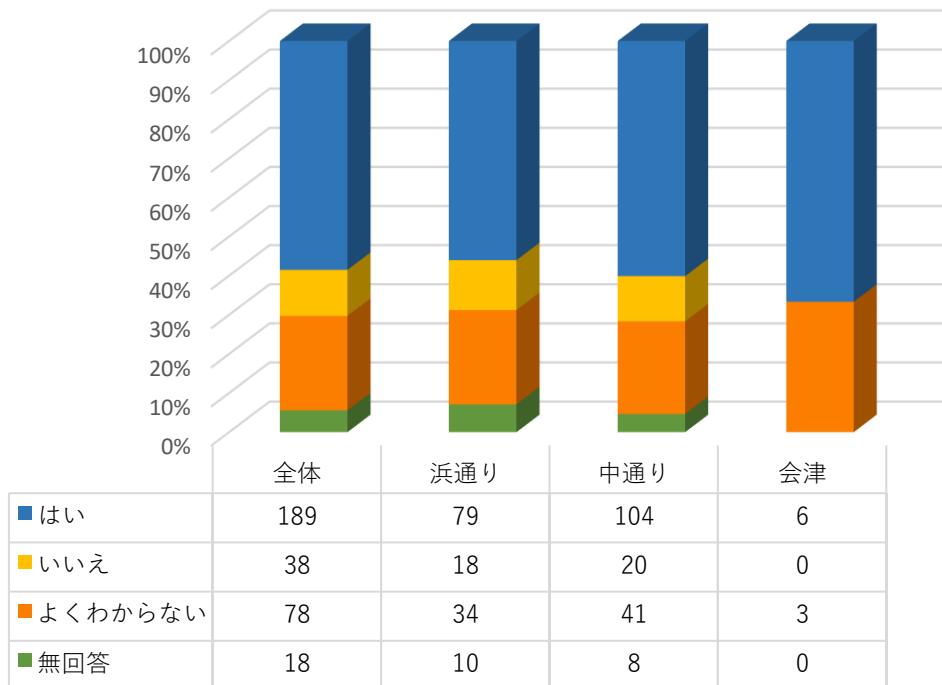
【中部】

- ・今でも放射能汚染の高い地域がある。そこに住む子どもには絶対必要。

【近畿】

- ・独身で子どもがありません
- ・福島から来られた親子に対して、アートワークショップをしてみんなで楽しみました。

Q30. 今後も子どもたちの保養は必要だと思いますか。



【浜通り】

いいえ

- ・保養は不要、体験活動は必要

その他

- ・有だろうが、受けられる人に限りがある

【関東】

はい

- ・絶対！ この子ども達というのは自分の子どもではなく福島の子ども達です
- ・子どもが大きくなって忙しくなっているので参加は難しい
- ・汚染の強い地域の子ども
- ・該当地域の子どもには必要

よくわからない

- ・対象者がいない 2名

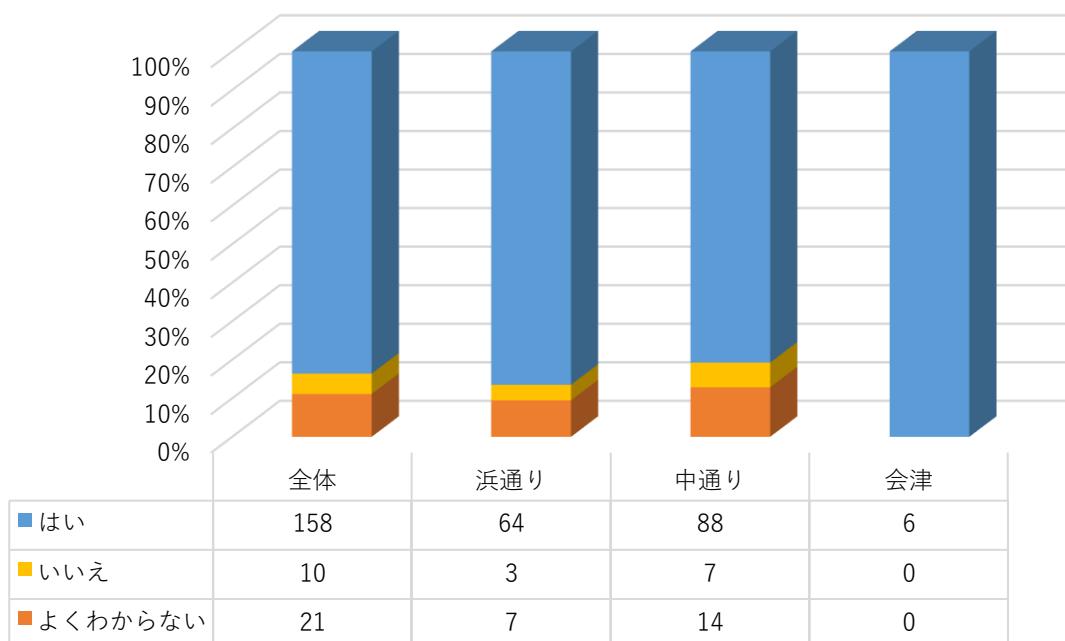
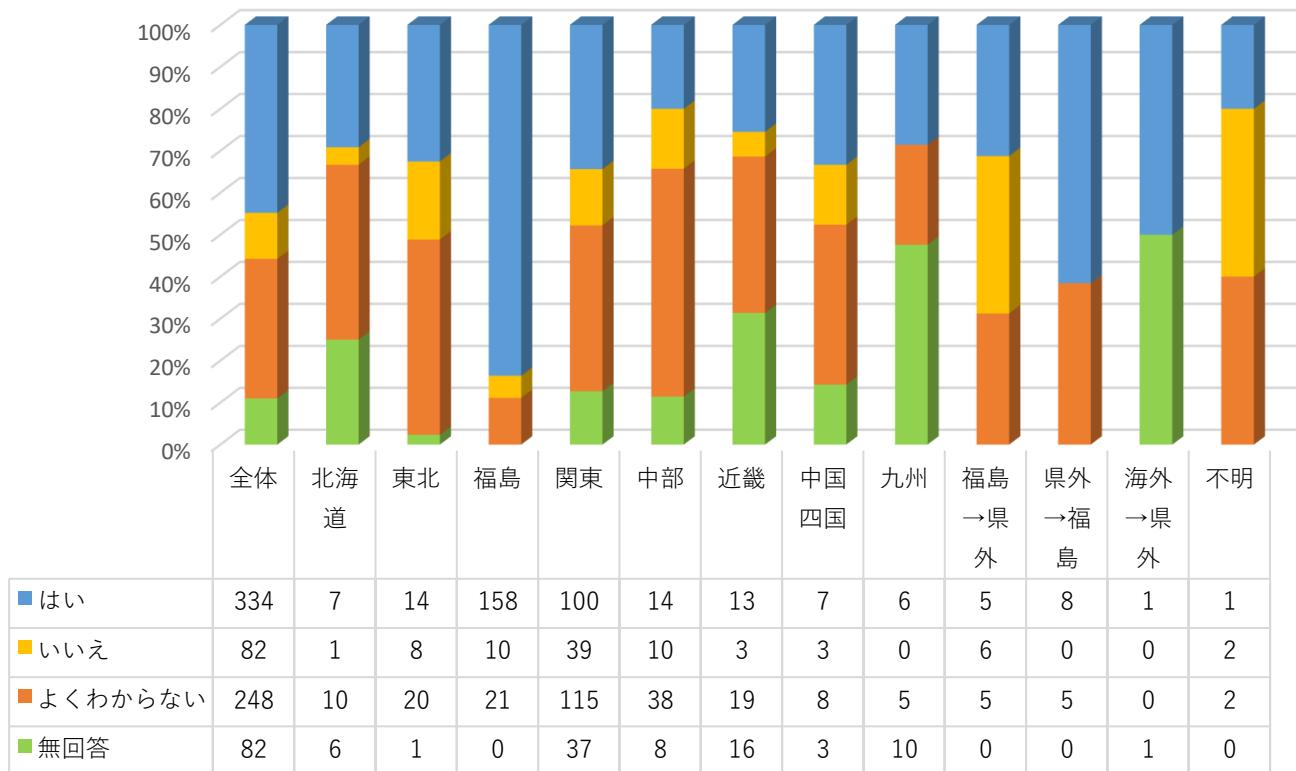
その他

- ・松本に疎開していたこども達には支援していました

Q31. 「はい」と答えた方にお聞きします。

保養や自然体験活動に参加費がかかっても参加を希望しますか。

※「はい」以外の回答をした方も記載があるので、そのまま集計しています



保養や自然体験活動の参加費の金額

	全体	浜通り	中通り	会津
無料	1	1		
500円	3	2	1	
1,000円	4		4	
2,000円	3		3	
3,000円	4	2	2	
5,000円	18	6	12	
5,000円～10,000円	7	4	3	
10,000円	46	21	22	3
10,000円～15,000円	1	1		
10,000円～20,000円	1	1		
15,000円	2		2	
20,000円	14	2	10	2
20,000円～30,000円	9	6	3	
30,000円	10	5	5	
30,000円～50,000円	3		3	
50,000円	6	2	4	
100,000円	1	1		
いくらでも	1		1	
場所や日数による	1		1	
必要な分	1		1	

【北海道】

- ・公的負担で行うべき

【浜通り】

はい

- ・米の兼業できなくなり、収入が下がった為苦しい

その他

- ・本来、東電が支出すべき

【関東】

いいえ

- ・国が負担すべき
- ・もっと必要な子どもが優先だと思うので
- ・保養より体が？

- ・私の子どもは大人になっている
- ・自治体で行うべきではないでしょうか。

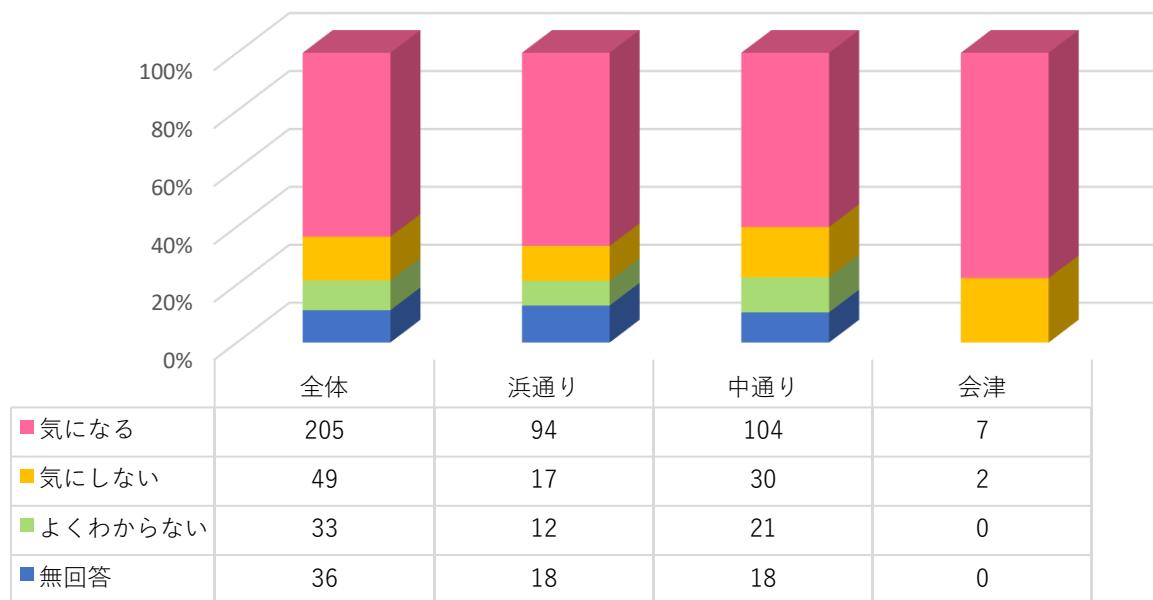
よくわからない

- ・保養は必要だから費用は公的な所から出すべき
- ・子どもたちが成人しているので
- ・丈夫か尿数値などして欲しい
- ・参加当事者ではないので
- ・血液検査で異常が発見されたから
- ・子どもがおりません

その他

- ・私は参加しないが、カンパする
- ・なるべく費用は助成してやっていただきたい
- ・私自身が保養というより保養の必要な方には無料で(公費で)やれるようになってほしい
- ・活動を希望する子どもたちの参加を支援したいと思う
- ・保養が必要な方たちのために必要
- ・カンパします
- ・本人が70代、子世代は40代！
- ・公費が望ましい
- ・子どもがいない
- ・自分の子どもはいないが、保養にはわずかでも寄付したい
- ・友人が保養ボラ継続して欲しいです
- ・私の子どもは大きくなり、行くことも嫌がっていたが本来すべきだと思う
- ・現在地域の小さな子どもはない

Q32. 保養や自然体験活動の実施場所の汚染や放射線量は気になりますか。



【浜通り】

気にしない

- ・福島県周辺でなければOK。費用を考えれば近でも可。(人数が多いほうがよりよい)

【会津地方】

気になる

- ・安全な所を考えててくれていると思うので

気にしない

- ・あまり気にしないが、線量が低い所にこしたことはないと思う。(県内でも会津などの低い所でも良いと思うが)

【関東】

気にしない

- ・国が動かないので気にして仕方ない

その他

- ・保養の意味を考えると当然

Q33. 保養や自然体験活動の実施場所にはどこがふさわしいと思いますか。

※都道府県順（横が現在の居住地、縦が保養や自然体験活動の実施場所にふさわしい場所）

保養の場所	全体	北海道	東北	福島	関東	中部	近畿	中国四国	九州	福島→県外	県外→福島	海外→県外	不明
北海道	381	20	18	149	133	19	12	4	4	7	12	2	1
青森県	59	1	6	28	16	4	1	0	0	0	2	0	1
岩手県	56	0	5	28	16	3	2	0	0	0	1	0	1
宮城県	26	0	5	9	6	2	3	0	0	0	1	0	0
秋田県	65	1	10	27	19	4	1	0	1	0	1	0	1
山形県	48	2	5	24	12	3	1	0	0	0	1	0	0
福島県	27	0	4	8	11	0	2	1	1	0	0	0	0
茨城県	16	0	2	4	8	0	0	0	0	0	1	0	1
栃木県	18	0	2	5	9	0	1	0	0	0	1	0	0
群馬県	16	0	0	6	7	1	1	0	0	0	1	0	0
埼玉県	12	0	0	6	5	0	0	0	0	0	1	0	0
千葉県	18	0	0	5	11	0	0	0	0	0	1	0	1
東京都	14	0	0	6	6	0	1	0	0	0	1	0	0
神奈川県	15	0	0	8	6	0	0	0	0	0	1	0	0
新潟県	69	0	6	35	17	2	3	0	3	1	2	0	0
富山県	98	0	6	32	36	11	2	0	3	2	6	0	0
石川県	98	0	4	31	31	15	6	0	3	2	6	0	0
福井県	76	0	3	32	20	8	3	0	3	2	5	0	0
山梨県	62	1	1	25	21	3	1	0	3	2	5	0	0
長野県	166	2	8	45	72	17	8	1	5	2	5	1	0
岐阜県	98	0	3	31	37	13	4	0	3	2	5	0	0
静岡県	58	0	1	22	20	2	2	1	3	2	5	0	0
愛知県	70	0	1	27	19	8	5	0	3	2	5	0	0
三重県	122	0	6	41	43	15	5	0	3	5	4	0	0
滋賀県	114	0	5	41	35	14	7	0	3	5	4	0	0
京都府	113	0	5	43	32	14	7	0	3	5	4	0	0
大坂府	113	0	5	44	33	13	5	1	3	5	4	0	0
兵庫県	123	1	6	43	35	15	11	0	3	5	4	0	0
奈良県	132	0	7	44	46	16	6	0	4	5	4	0	0
和歌山県	147	3	6	44	54	18	6	2	5	5	4	0	0
鳥取県	160	2	7	48	51	20	8	4	7	8	5	0	0
島根県	158	2	6	51	49	19	7	5	7	7	5	0	0
岡山県	166	3	5	52	54	18	9	5	8	7	5	0	0
広島県	165	3	5	54	54	18	7	5	7	7	5	0	0
山口県	154	2	6	53	45	18	6	5	7	7	5	0	0
徳島県	194	2	6	66	68	20	9	4	7	7	5	0	0
香川県	197	3	6	66	69	20	8	5	7	8	5	0	0
愛媛県	196	2	6	66	67	21	10	3	8	8	5	0	0
高知県	208	2	7	69	75	21	10	4	7	8	5	0	0
福岡県	251	5	9	88	81	23	14	3	12	8	7	1	0
佐賀県	247	5	9	87	80	23	13	3	12	7	7	1	0
長崎県	258	5	10	89	86	24	14	3	12	7	7	1	0
熊本県	261	6	11	90	84	24	16	2	13	7	7	1	0
大分県	258	5	9	90	85	23	15	2	13	7	7	1	1
宮崎県	268	5	9	93	90	24	17	2	12	7	7	1	1
鹿児島県	269	4	9	94	91	28	12	3	12	7	7	1	1
沖縄県	403	7	12	160	135	26	19	8	12	6	12	2	4

※回答数順

(横が現在の居住地、縦が保養や自然体験活動の実施場所にふさわしい場所)

保養の場所	全体	北海道	東北	福島	関東	中部	近畿	中国四国	九州	福島→県外	県外→福島	海外→県外	不明
沖縄県	403	7	12	160	135	26	19	8	12	6	12	2	4
北海道	381	20	18	149	133	19	12	4	4	7	12	2	1
鹿児島県	269	4	9	94	91	28	12	3	12	7	7	1	1
宮崎県	268	5	9	93	90	24	17	2	12	7	7	1	1
熊本県	261	6	11	90	84	24	16	2	13	7	7	1	0
長崎県	258	5	10	89	86	24	14	3	12	7	7	1	0
大分県	258	5	9	90	85	23	15	2	13	7	7	1	1
福岡県	251	5	9	88	81	23	14	3	12	8	7	1	0
佐賀県	247	5	9	87	80	23	13	3	12	7	7	1	0
高知県	208	2	7	69	75	21	10	4	7	8	5	0	0
香川県	197	3	6	66	69	20	8	5	7	8	5	0	0
愛媛県	196	2	6	66	67	21	10	3	8	8	5	0	0
徳島県	194	2	6	66	68	20	9	4	7	7	5	0	0
長野県	166	2	8	45	72	17	8	1	5	2	5	1	0
岡山県	166	3	5	52	54	18	9	5	8	7	5	0	0
広島県	165	3	5	54	54	18	7	5	7	7	5	0	0
鳥取県	160	2	7	48	51	20	8	4	7	8	5	0	0
島根県	158	2	6	51	49	19	7	5	7	7	5	0	0
山口県	154	2	6	53	45	18	6	5	7	7	5	0	0
和歌山県	147	3	6	44	54	18	6	2	5	5	4	0	0
奈良県	132	0	7	44	46	16	6	0	4	5	4	0	0
兵庫県	123	1	6	43	35	15	11	0	3	5	4	0	0
三重県	122	0	6	41	43	15	5	0	3	5	4	0	0
滋賀県	114	0	5	41	35	14	7	0	3	5	4	0	0
京都府	113	0	5	43	32	14	7	0	3	5	4	0	0
大坂府	113	0	5	44	33	13	5	1	3	5	4	0	0
富山県	98	0	6	32	36	11	2	0	3	2	6	0	0
石川県	98	0	4	31	31	15	6	0	3	2	6	0	0
岐阜県	98	0	3	31	37	13	4	0	3	2	5	0	0
福井県	76	0	3	32	20	8	3	0	3	2	5	0	0
愛知県	70	0	1	27	19	8	5	0	3	2	5	0	0
新潟県	69	0	6	35	17	2	3	0	3	1	2	0	0
秋田県	65	1	10	27	19	4	1	0	1	0	1	0	1
山梨県	62	1	1	25	21	3	1	0	3	2	5	0	0
青森県	59	1	6	28	16	4	1	0	0	0	2	0	1
静岡県	58	0	1	22	20	2	2	1	3	2	5	0	0
岩手県	56	0	5	28	16	3	2	0	0	0	1	0	1
山形県	48	2	5	24	12	3	1	0	0	0	1	0	0
福島県	27	0	4	8	11	0	2	1	1	0	0	0	0
宮城県	26	0	5	9	6	2	3	0	0	0	1	0	0
栃木県	18	0	2	5	9	0	1	0	0	0	1	0	0
千葉県	18	0	0	5	11	0	0	0	0	0	1	0	1
茨城県	16	0	2	4	8	0	0	0	0	0	1	0	1
群馬県	16	0	0	6	7	1	1	0	0	0	1	0	0
神奈川県	15	0	0	8	6	0	0	0	0	0	1	0	0
東京都	14	0	0	6	6	0	1	0	0	0	1	0	0
埼玉県	12	0	0	6	5	0	0	0	0	0	1	0	0

福島県内在住の方の回答（横が現在の居住地、縦が保養や自然体験活動の実施場所にふさわしい場所）

※都道府県順

	全体	浜通り	中通り	会津
北海道	149	60	86	3
青森県	28	11	17	0
岩手県	28	7	21	0
宮城県	9	1	8	0
秋田県	27	7	20	0
山形県	24	6	18	0
福島県	8	4	4	0
茨城県	4	1	3	0
栃木県	5	1	4	0
群馬県	6	1	5	0
埼玉県	6	2	4	0
千葉県	5	1	4	0
東京都	6	1	5	0
神奈川県	8	3	5	0
新潟県	35	9	26	0
富山県	32	11	21	0
石川県	31	12	19	0
福井県	32	13	19	0
山梨県	25	10	15	0
長野県	45	16	29	0
岐阜県	31	11	20	0
静岡県	22	8	14	0
愛知県	27	11	16	0
三重県	41	17	24	0
滋賀県	41	16	25	0
京都府	43	17	26	0
大阪府	44	17	27	0
兵庫県	43	17	26	0
奈良県	44	17	27	0
和歌山県	44	17	27	0
鳥取県	48	21	27	0
島根県	51	22	29	0
岡山県	52	21	31	0
広島県	54	22	32	0
山口県	53	22	31	0
徳島県	66	27	39	0
香川県	66	27	39	0
愛媛県	66	28	38	0
高知県	69	29	40	0
福岡県	88	33	53	2
佐賀県	87	33	52	2
長崎県	89	34	53	2
熊本県	90	34	54	2
大分県	90	34	54	2
宮崎県	93	37	54	2
鹿児島県	94	38	54	2
沖縄県	160	73	83	4

※回答数順

	全体	浜通り	中通り	会津
沖縄県	160	73	83	4
北海道	149	60	86	3
鹿児島県	94	38	54	2
宮崎県	93	37	54	2
熊本県	90	34	54	2
大分県	90	34	54	2
長崎県	89	34	53	2
福岡県	88	33	53	2
佐賀県	87	33	52	2
高知県	69	29	40	0
徳島県	66	27	39	0
香川県	66	27	39	0
愛媛県	66	28	38	0
広島県	54	22	32	0
山口県	53	22	31	0
岡山県	52	21	31	0
島根県	51	22	29	0
鳥取県	48	21	27	0
長野県	45	16	29	0
大阪府	44	17	27	0
奈良県	44	17	27	0
和歌山県	44	17	27	0
京都府	43	17	26	0
兵庫県	43	17	26	0
三重県	41	17	24	0
滋賀県	41	16	25	0
新潟県	35	9	26	0
富山県	32	11	21	0
福井県	32	13	19	0
石川県	31	12	19	0
岐阜県	31	11	20	0
青森県	28	11	17	0
岩手県	28	7	21	0
秋田県	27	7	20	0
愛知県	27	11	16	0
山梨県	25	10	15	0
山形県	24	6	18	0
静岡県	22	8	14	0
宮城県	9	1	8	0
福島県	8	4	4	0
神奈川県	8	3	5	0
群馬県	6	1	5	0
埼玉県	6	2	4	0
東京都	6	1	5	0
栃木県	5	1	4	0
千葉県	5	1	4	0
茨城県	4	1	3	0

【会津地方】

- ・汚染の少ない所
- ・放射線量の低い所ならどこでも良いと思う

【関東】

- ・温泉地で汚染が少ない土地
- ・福島から遠くない所で線量が低い所
- ・久米島は良いですね
- ・自然体験活動を具体的に内容がわからない。地域も選びにくいのでは
- ・コロナの状況による。寄付しているプロジェクトは猪苗代で再開
- ・今はコロナの事もあるので何処とは言いにくい
- ・なるべく西の地方、川崎でもやっているので支援しています

【中部】

- ・表紙の予測図を元に値の低い場所、地域が望ましいと考えます
- ・コロナを考えるとまだどこも難しい
- ・放射能、コロナと日々心配事は多いがあきらめず精神を強く明るく生きたいし生きてほしい

【近畿】

- ・自分の子どもには必要ないが、福島の子ども達には必要性の高い物だと考えます。2012年8月私が企画し、(アミンティ2000協会主催)いわきに避難していた高校生・明星大学生の計5人を招待して神戸ワーキングホリデイの1週間を行った。神戸の学生達と交流。

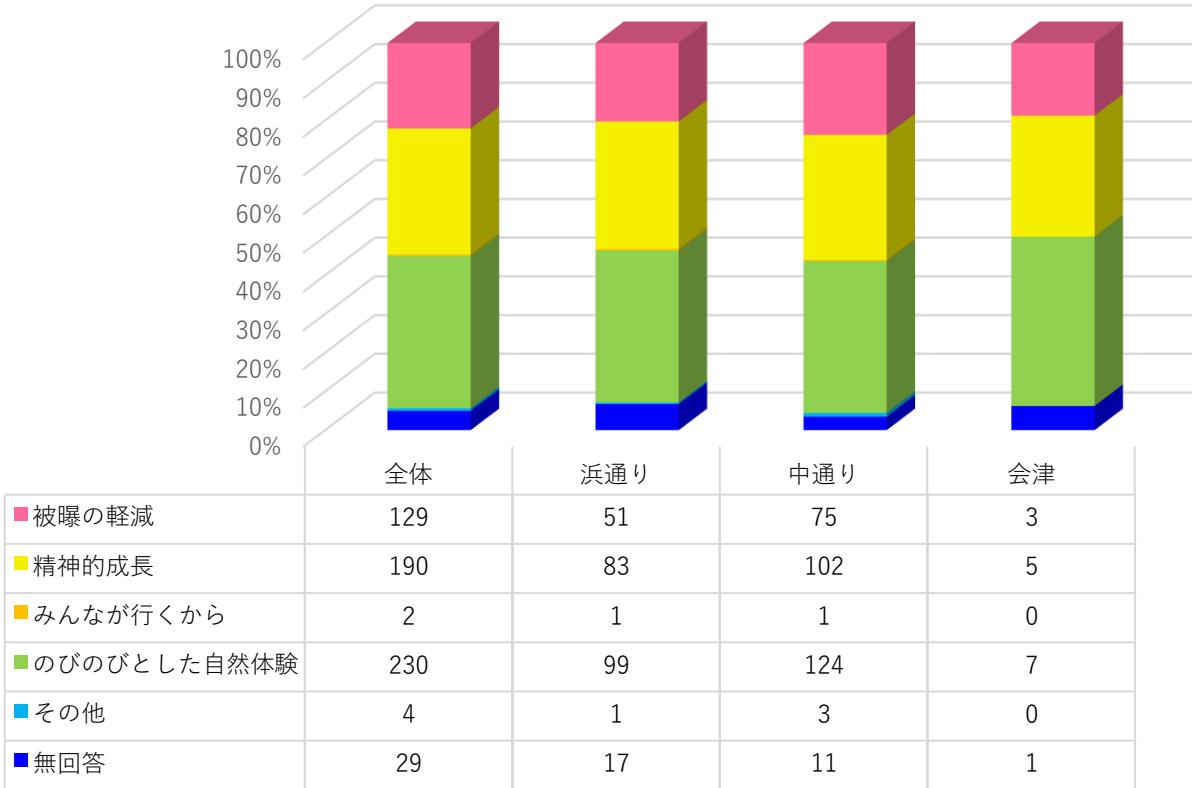
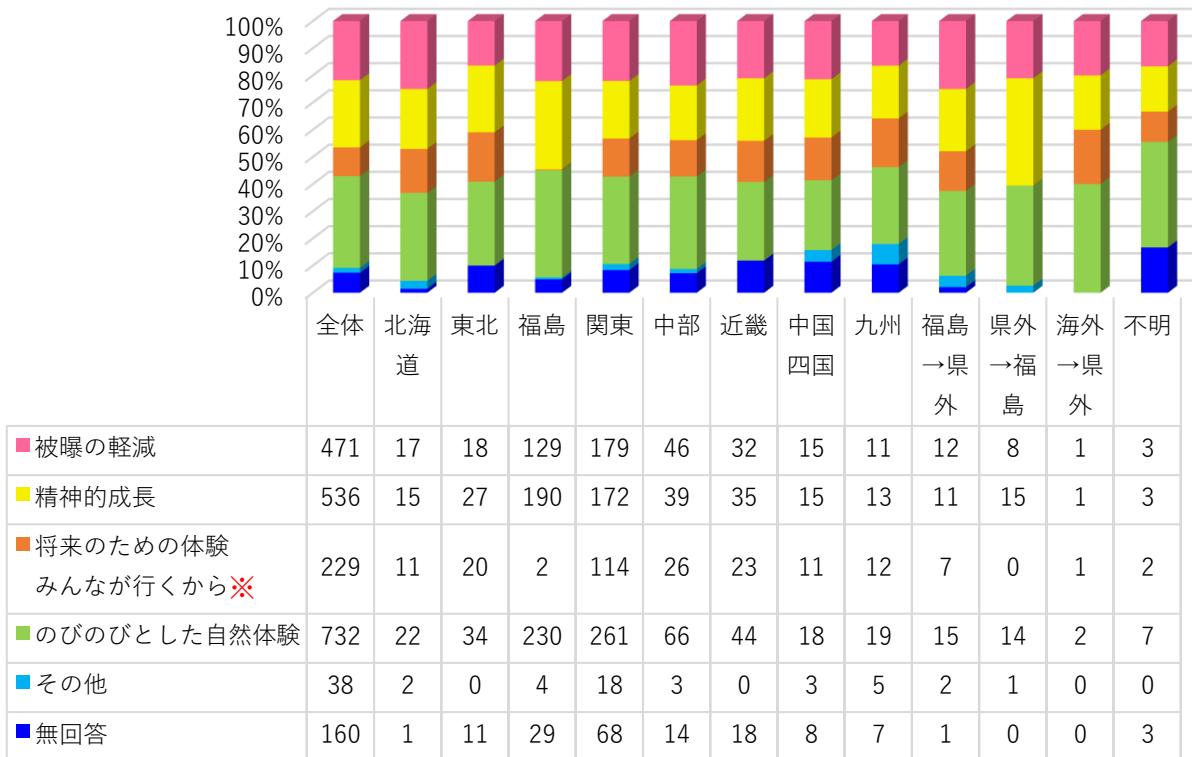
【県外→福島】

- ・福島県周辺でなければOK！ 費用考えれば近でも可（人数が多い方がよりよい！） 本来、国あるいは東電が費用を支出すべき
- ・今はコロナがあるのでよくわかりません

【地域不明】

- ・保養より引っ越し！

Q34. 保養や自然体験活動に求める成果はなんですか。複数選択可



※県内在住の方のアンケートのみ※部分の回答が「みんなが行くから」という選択肢になっています

【北海道】

- ・精神的ケア
- ・転地療養の観点もあってよいのでは

【浜通り】

- ・今は保養の必要を感じない

【中通り】

- ・精神的健康保持
- ・QOL の向上
- ・交流
- ・心の解放

【関東】

- ・人間交流
- ・島
- ・4歳 6歳小さい頃に放射能あり、外で大切な時期に自然のふれあいをさせられなかった。そのことを今更でも学び直す事で心豊かな子を…
- ・不安の解消
- ・中国山、地山梨県、ラジウム温泉、ウラン鉱山跡にも自然はあり放射能に対する正しい知識を持ってもらう
- ・地元を離れた視点
- ・プラスとして体験を風化しないための学習かな？
- ・ストレスから解放
- ・自然の大切さを学ぶ
- ・人との出会い、苦労の分かち合い
- ・心身のリラックス
- ・人との出会い気分転換
- ・分かりません
- ・休息
- ・被曝批判の機会
- ・専門家の意見を聞くべき
- ・友人をつくる
- ・他者や関心のある県外の人々とのつながり

【中部】

- ・こころのケア 2名

【中国・四国】

- ・遠方の人とのつながり

- ・不安感なく過ごす
- ・大人への信頼

【九州】

- ・相互理解
- ・他人への思いやり
- ・健康な心
- ・知識ではない五感の学び
- ・安心感

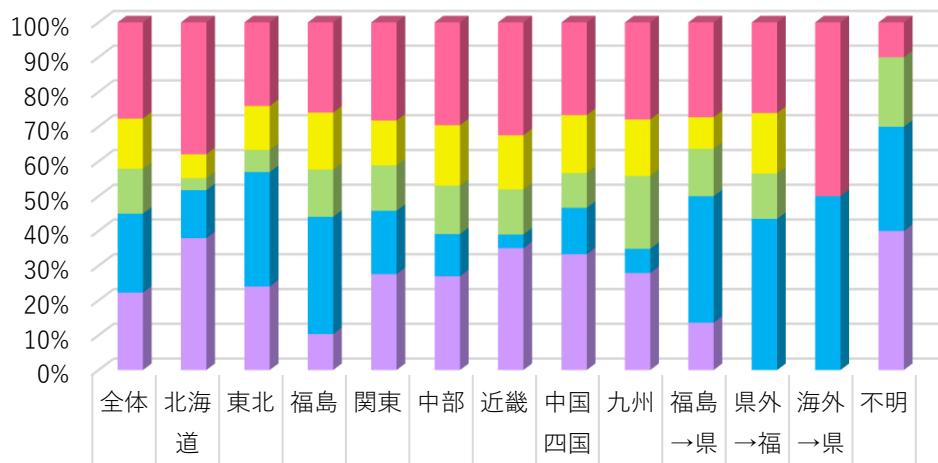
【福島→県外】

- ・心の解放
- ・生きる場所は様々あることに気づける

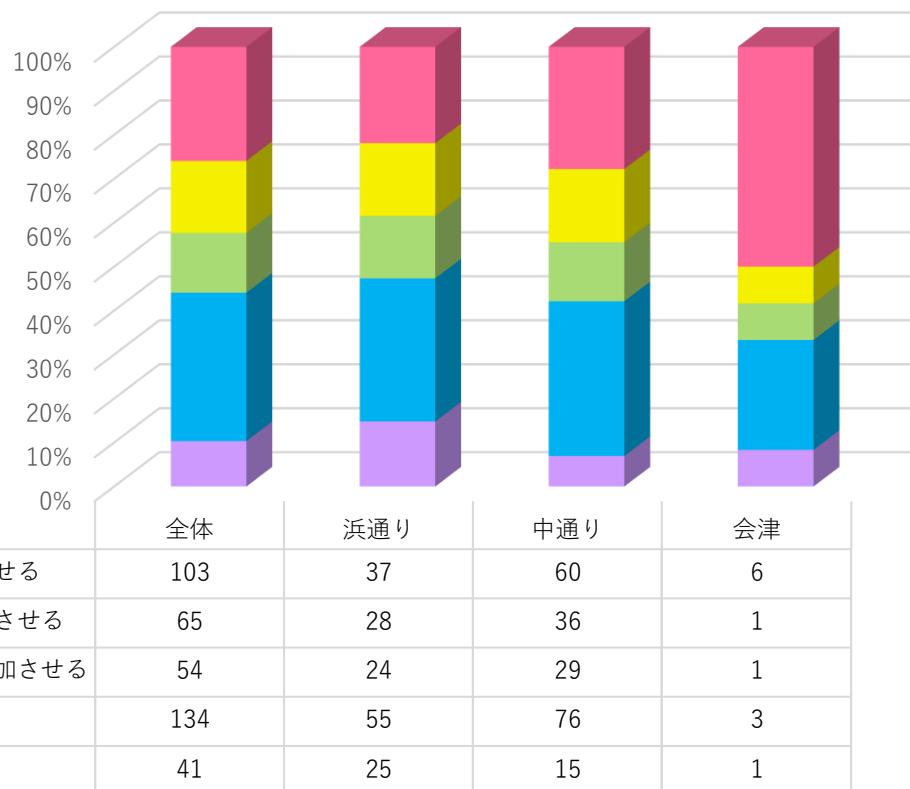
【県外→福島】

- ・①精神的ストレス、②データとしても重要③内部被曝

Q35. コロナウイルスの感染が拡大しています。その状況の中での保養参加についてどうお考えですか。複数選択可



■ 安全対策が出来ていれば参加させる	364	11	19	103	138	34	25	8	12	6	6	1	1
■ 実施場所や移動手段により参加させる	190	2	10	65	63	20	12	5	7	2	4	0	0
■ 参加人数やプログラムにより参加させる	170	1	5	54	64	16	10	3	9	3	3	0	2
■ まだ参加させたくない	299	4	26	134	89	14	3	4	3	8	10	1	3
■ 無回答	293	11	19	41	135	31	27	10	12	3	0	0	4



■ 安全対策が出来ていれば参加させる
■ 実施場所や移動手段により参加させる
■ 参加人数やプログラムにより参加させる
■ まだ参加させたくない
■ 無回答

【浜通り】

- ・感染状況の少ない所で
- ・今は外出するべきではないと感じている
- ・コロナの間は密室のような保養は参加したいとは思わない
- ・参加したい、させたい気持ちは大いにあります、高齢者と同居している為、今は難しいのかな…と
- ・今現在、すぐに参加というのは難しい状況と考えている
- ・都心ではなく、人口の少ない所で対策をしっかりとしていただけるなら参加させたいです
- ・感染が広がっている地域(時期)には行きたくない
- ・終息してから
- ・まだ不安です
- ・保養の数がずい分減っていて、開催してほしい
- ・日本中で拡大しているので今は保養参加については考えていない
- ・受け入れて下さる地域の方々の理解があれば参加したいです

【中通り】

- ・ひかえた方がよい

【関東】

安全対策が出来ていれば参加させる

- ・安全対策ができていればよい事です
- ・事前に必ず PCR 検査
- ・参加させてあげたい

まだ参加させたくない

- ・子どもがおりませんので責任ある回答が選択できません、自分が行くことを仮定すればまだ参加させたくないです

その他

- ・難しい
- ・子どもがいない 2名
- ・(質問)35 の拡大している⇒愚問 参加する参加させるの問いは?です。コロナウイルスの拡大中は参加しないもしくは自粛。主催する方が問題。何故そのような時に集団で集まる
- ・母親(妻)と子供2人(高3)(中3)は京都に自主避難しています。もうすぐ10年
- ・対象者がいない
- ・必要性を感じない
- ・コロナは全く気にしない
- ・対象者がいない
- ・アメリカでも大体100人の80歳が感染して薬がないから1人死ぬ。日本では10代1人も死んでいない。第一波の時より日本は資源が少ない。アメリカも他国でも感染者が爆発的に増えているのに死者数ほぼ変わらず、そんな安全なただの風邪を心配していない。ワクチンをすっ飛ばしたものは打ちたくない。
- ・コロナウイルスが実際どうなのか?今までのインフルエンザと比較して。

【中部】

- ・正しく恐れ正しく対処する
- ・長距離の移動そのものが規制されている時期はやむをえないが、なるべく人口の少ない自然の豊かなところで続けるのが良い

【近畿】

- ・我が子・孫を参加させるつもりはないが、福島の子ども達も（被害に遭った）大きくなっているのではないか。コロナの今、特に無理に実施しなくてもよいのではないか。
- ・コロナより放射線

【九州】

- ・感染拡大中なので移動はできない

【福島→県外】

- ・しばらく様子を見てから再開
- ・子どもは成人している
- ・他人にコロナを拡大させる可能性あり躊躇します

【県外→福島】

- ・不用意にすると反対する人間に難くせの理由にされる点もある
- ・今の状況下では控えた方がいいと思う
- ・今は行くべきではない
- ・今は控えたほうが良いかと思う

Q36. その他、何かお気づきのことがありましたらお書きください。

【北海道】

- ・近場で検討
- ・過密にならない状況で
- ・社会不安の中、集団活動でのストレスがあれば家族、少人数単位の転地ステイや自主生活も
- ・福島の皆さまの今も続くご苦労、ご心労いかがばかりかと思います。私の家は北海道ですが宮城船団でしたので震災で大型船は廃業しました。汚染水を含め核ごみと呼ばれるものの影響は地球の果てまで及ぶことを思うと慎重にならざる得ないと同時に自分たちを自分たちで守る発信は大切だと感じます。

【東北】

- ・アンケートに記入しながら、知らないことが多いと感じました。
- ・首都近辺ではなく災害から守れる場所で表紙の資料で数値が低い所が良いのではないかと思う
- ・福島に住んでいないから実情はわからない。わからなくて申し訳ないです。
- ・息子と娘はもう30歳代なので放射線の長年にわたる影響が孫に出てくるのではとても不安です
- ・宮城県白石市越河は福島県との県境なのにあの当時何の保障もなく放射線量は高く不安な日々でした。子どもたちの成長に伴い身体への異常が出ないか心配です。
- ・二男は小学入学前地震で入学が遅れ、中学卒業前に令和元年東日本台風で床下浸水を体験、入試に響いた。今年はコロナが白石高校で発生で休校と不運である。
- ・2012年5月14日（友人の家）で採取した土900mℓ容器EMF211型スペクトルメーター。放射性セシウム合算300.8Bq/kgでした。
- ・個別に実施している所との情報交換など連帯は必要ではないか
- ・スタッフとして開催。ある程度制限して開催したい
- ・アンケート対象ではなかったかも知れません

【浜通り】

- ・活動や生活の場は除染などされ放射線量が安全といわれる数値になっている。食の安全も双天と言われているが、少なくとも摂り続けることに不安は感じている
- ・事故後、大人は検査を受けられない事がずっと気にかかっていたので受けられてほっとしました。ありがとうございました。
- ・たらちねさんからの情報提供はとても役に立つので、今後とも協力させて頂きたいし、応援していますのでご活躍頂きたいと思います。
- ・子供の学校の友達や現在の近隣の人たちには避難者のことは隠している。子どもがイジメなどにあうのがこわいから。
- ・日本という国の展退が予想される中、廃炉作業は石棺で終えるだろう。（我々は明日の食物にさえ？する）
- ・感謝の気持ちです。スタッフさんもお体に気を付けてね！
- ・期間限定の子どもの保養が今の段階で必要・有効なのかわからない。献金など運用にあたっては他に有効な使い道があるのかもと思う
- ・あおる情報はよくないと思っていますが。
- ・小名浜地区に住んでいますが、市の方に庭の土壤線量測定には来てもらえませんでした。あの当時から不

安があり、庭の土には子どもたちを触らせられずに成長させてしまいました。小さい頃より砂遊びを知らずに…。とても悔いが残ります。球美の里での体験、子どもたちには良い思い出です。お世話になりました。
・近所に避難してきた双葉郡の子が多くいます。経済的に格差があり、子どもがバカにされる事もあります。避難＝気の毒とも思いますが、なぜこんな考えなのか、どうにかならなかったのだろうかと思ってしまいます。

- ・子供達の保養の為にご尽力頂きありがとうございます。子ども達を保養に預ける事がもし漁業の方々の営業のさまたげになるようでしたら、申し訳なく感じますが、それでも原発があの場所にある限り、子ども達の保養を続けて頂けたら幸いです。
- ・保養の場所はできるだけ遠くがよいと思っているのですが、今いる場所より少しでも安全な場所ならよいかなあと思っています。仕事をしていると、どうしても長くは休めないので近くでも数をこなせたほうがよいのかなあと今は思っています。
- ・現在においてもこの土地から出たいと思いつつ、経済的保障が得られず、動けないのがつらい毎日です。
- ・兄弟等で参加を希望した場合はなるべく一緒に参加させたい。
- ・放射能の被害にあった喉や肺でコロナにかかると他の人より悪くなるのか。
- ・「保養」は子ども達の自信を失わせ被害感情を育む温床になりかねない。子どもに広い視野と将来への希望、自己有用感を与えるような活動は必須であると思う。
- ・汚染水の処理方法及び原発のこれから運用については全国民の問題として考えて欲しい

【中通り】

- ・今は団体活動はすべきではないと思う
- ・他の場所に迷惑をかけたくない
- ・高校生の保養もあったら良いです。
- ・保養は難しいです。沢山行ってリフレッシュ・沢山遊びました。本当にありがとうございました。成長して中学生なのでなかなかいけない。震災でつらい思いばかりでしたが保養で助けてもらい感謝しています。心と体のリフレッシュにて今は元気に過ごせていてありがとうございます。今年も行く予定でしたがコロナでだめでした。
- ・子どもが保養に参加出来て良かったです。少しでも被曝が軽減できたことに感謝します。
- ・コロナ禍の保養は県外に行くだけで近所の目が厳しい。参加するときはひっそりと参加したいし感染防止対策がしっかり確保されていることが重要。
- ・コロナ禍の状況ではやはり移動することはしない方が良い
- ・ワクチン接種後は保養をしてもよいと思う。
- ・保養に行くことで子どもたちの精神的成长が見られた。家の子どもたちも高1、中1になりもう少し保養の機会を提供できればと考えています。
- ・放射線が目に見えないからと言って政府や県は被害を隠そうとしているのだろう。何がオリンピックだふざけるな！
- ・できるだけ感染人数が少なめなところなら良いと思います。また、東京などもできる限り移動で使わなくても良い様に東北の日本海側や北陸など
- ・10年は過ぎようとしているがこれから生まれてくる子どもたちがどんな状態で生きていけるのか？これからの原発事故はないのか？ 対策はないのか？ 不安でたまらない。
- ・保養は親の決断で決まる、お金に余裕がなければ出せないと思う。学校単位ですべき。保養という言葉は使わず体験学習会。いつものリピーターだけでは万遍なく子どもたちは守れない

- ・子どもを預ける以上連絡事務等をもう少し細やかにお願いしたい
 - ・行きたいが感染を考えると家で過ごした方が良いかと思う。
 - ・子どもたちの保養参加は当時はとても助かりました。親子ともどものびのび出来た思いがあります。今後も交流が続いてくれるといいと思います
 - ・子どもたち時々鼻血が出ます。頻繁ではないですが、震災後から始まったんです。頸部淋泄節でやや大きめ。検査結果は大丈夫と言われていますが心配です
 - ・コロナ禍の不安がなくなれば
 - ・この様なプロジェクトがあり、原発事故後 10 年が経つ今もなお、活動を続けて下さることはとても有難く思っています。自分が安心出来る所であり、心の支えとなって頂いています。
 - ・いつか参加させたいです。
 - ・コロナが拡大している時は動かないのが良いと思います
 - ・1 回夏に参加しました。スタッフは PCR 検査を受けてくれました。参加者、ボランティアを減らし三密を避けてなら可能ではないだろうか。
 - ・原発事故後 2014 年に祖父（脳梗塞）、2015 年に父（胃がん）、叔母 59 歳（胃がん）、で亡くしている。これも放射能が少しは関係あったと思います。祖母も原因不明の頭痛に悩まされています。
 - ・イタリア体験をさせたかったのでコロナが恨めしい
 - ・積極的に進めるべきではない
 - ・今年度はどこの保養にも参加していません。もう少し状況が落ち着ければ対策をして参加可能と思います。
 - ・コロナ渦の中保養を開催して下さり万が一感染者がでてその保養自体がなくなってしまうのが恐いです。
- 参加する側の対策や責任もある。
- ・参加させて頂きましたが大変良い経験になりました。次男三男も機会があれば参加させて頂きたいです。
 - ・現在のコロナウイルス流行を考えると福島県から出られない
 - ・子どもがいないのでわからない
 - ・コロナで保養自体が中止になっているのでコロナ対策をしたうえで保養を続けてもらえると嬉しいです
 - ・私はたらちねで甲状腺の検査をして頂いて腫瘍があるのが分かりました。現在は年に 2 回検査をして様子をみています。少しずつ大きくなっている様です。
 - ・今は行かなくてもよい。保養は急務ではないがコロナは進行中であり、色々な対策により子ども達がのびのびできない
 - ・国や県の対応が雑だと思う
 - ・今までの保養プラン実施に感謝します
 - ・感染拡大を防ぐために治療薬が出来るまでは参加できません
 - ・コロナで保養に参加出来ないので体内被曝が心配
 - ・当事者たちも重なる災害、震災により風化してきている。現状を真実を知ることのできるきっかけが欲しい。TV は「もう 10 年だし大丈夫」とか、真実を言うと「風評になる」でおさえこまれて間違った認識がひろまる

【関東】

- ・コロナ感染の畏れから実行を断念している。昨年まで実施していた保養プロジェクトをどのようにしたら再開できるのか皆で考えているが、何か良い案や福島の人たちのこちらへの希望を聞いてみたい

- ・ケアは身体はもちろんのこと心のケアも必要だと思います。成長するにつれて出てくる問題、差別に負けないように一人でかえこまないように。結婚とか出産など。
- ・娘は原発事故の事をまだ知らないが、保養や自然体験を通じて実際に体験した親子と触れ合う事で何かを学び成長してくれる機会になるかもしれない
- ・検診と同様、国、県、東電が予算を出すべきです
- ・特に事故後数年は保養の必要性を感じていたが、仕事もあり、かなわなかった。また、子供が就学前だったため子供だけで参加させることも難しかった。事故の4年後から毎年民間の甲状腺検査を受診して経過を見ているので現在はそれほど必要性を感じていない。
- ・経済を回すことよりコロナ退治に全力を傾けてほしい
- ・現住まいの環境では保養の必要を感じないので利用はしないと思う。が必ず必要としている方がいると思うのでコロナ禍であっても続けてほしい。
- ・私自身や私の子ども、孫は東京にいるので切実な保養の必要は感じていませんが、保養させるとしたらとしてお答えしました。(勝手に旅行はしています)
- ・多くの困難が重なり過ぎていると思いますが、中でも最悪なのが行政の悪化だと思います。特に安倍政府以後の対策はひとすぎると感じます
- ・地下水の研究者ですが、井戸水の網羅的、時系列的調査を行う考えはありますか
- ・コロナは感染症です。終息がある程度予測されます。放射能は永遠です。精神的な事なら理解を深め、環境に馴らすことも必要です。実際にメキシコあたりの放射能はかなり高いレベルのところもあります
- ・今現在は夫婦2人だが、長女夫婦、長男夫婦の孫達が心配である
- ・子供はいないので、いたらという前提で回答しました。子どもが苦労する事が一番かわいそうだと思います。息抜きの為にものびのびすごせる場所も必要だと思います
- ・このアンケートは東京に住む者(被曝しなかった者)に対するものではないので解答はむずかしいです。非被曝者として応援を少しでもしたいとは思っております。
- ・コロナの恐怖はワクチンを売る為の政府の策略です。コロナよりガンの方や放射能の方がずっと心配です。できれば福島の子ども達の為に毎月2000円位なら寄付したいです。
- ・自分は遠くの人間と感じていて福島の現実を余りにも知らないと思う
- ・3.11を忘れずに子どもの未来のために少しでも協力します。
- ・継続していくのはご苦労もあるかと思いますが少しでもお手伝いできる事があればと思いクラウドファンディング等を通じて寄付を続けていきたいと思います
- ・受け入れる側だと思っているので(質問)29~35はよくわかりません
- ・アンケートの難しさ！　出来る範囲での記入になりました
- ・保養キャンプを実施する側です
- ・沖縄でも地所によっては放射線量が高い場所があります。北海道でもそうです。私は家庭の中を外気処理した空気を取り入れるという事が大事だと考えます　原発事故の影響がどうかわかりませんがガンになる人が増えているような気がします。
- ・なるべく線量の低い県や西日本の自然の豊かな地域が良いと思いますが回数多く生きやすい近場の保養可能なところもあった方がたくさんに人に利用してもらえると思います
- ・万が一感染した場合被曝してるとなお一層重篤な病状になるのではと心配。しかしながら保養も必要だと感じる
- ・原発処理汚染水を他に方法がないという理由で海に流すのはおかしい。地球を汚している

- ・人が集まるのが難しい子どももユーチューブをよくみるので「たらちね」が子どもでもわかるユーチューブを作ってほしい
- ・保養や体験があるのを知りませんでした。もっと広く告知して欲しい。それと、子供たちの自覚も大切なので正しい知識をもつ学習も兼ねて体験活動にしてほしい
- ・本件アンケート自体福島以外の人々の意識集約には向いている。従って有意の統計が取れるとは思わない
- ・保養の効果（体内の放射性物質を減らす）が分かっているのに公的に行なわれていないのはおかしい。事故後 10 年を前にして政府に期待すら持てないのが悲しいです。そんな中で保養活動を続けておられる方々に感謝しています。
- ・必要な金額が出てプランを出して頂けたらさらなる寄付も考えます。
- ・神奈川に住んでいるからあまり感じる事がないが 60 歳だから小さい子どもは必要です
- ・充分にリスクを回避して行うメリットは保養しないデメリットより大きいと思う
- ・自分たちより被災地より放射線量の多い地域の人たちを支援したい
- ・医療における放射線利用についてどのような評価をしているか聞いてみたい
- ・現在自分の子どもは成人した。今後の活動は正しい知識と心の平静を保てる保養と訓練の目的がいいと思う
- ・コロナは気にしていない
- ・お子さんにとって良いことはすべて行うことがいいと思います
- ・家族で血液検査をした。理由は岡山にある三田医院の先生が好中球の数が減っている子どもが多いと言っていたからです。実際受けてみたら本当に低かったので放射能の影響だと考えています。
- ・どのくらい被爆しているかわからないので当分続けて行くといい
- ・子どもはもう大きいので参加することはないと思う
- ・放射能もコロナウイルスも検査をしなければ存在をつかめないので「知らぬが仮」にならないように積極的にチェックすることが必要だと思います
- ・今は成人なので回答は想定です
- ・原子爆弾を落とされ人体実験。3・11 に放射能まかれて人体実験。2020 年コロナウイルスをばらまかれ人体実験。
- ・詳しいアンケートでより広く深く身体的環境変化のデータが集まりますね。ご多忙なのにこのような取り組みに感激しています。くれぐれもコロナに負けずお元気でご活躍下さいますようお祈りしております。
- ・福島第一事故の風化が進んでいるのが心配でなりません。又チェルノブイリ事故から政治がなにも学んでいないのも不安です。（宮城できのこから高濃度の放射能が出たとか）離れており実感はなかなか難しいけれど自分がそこで子育てをしていたらと思うとたまらない気持ちになります。政府、行政は現実を客観的に捉え対応して欲しいです。でも今は貴法人を応援します。よろしくお願いします
- ・高学年になると参加が少なくなると聞いたことがあるが優先度を上げて参加して欲しいと思う 神奈川は離れているので健康に影響はないが、福島は気になります
- ・事故が忘れ去られようとしている今、第二の福島が起きないか地震の度に思っています
- ・現在自分の子供は 2 人とも成人した。今後の活動は正しい知識の教育と心の平静を保てる保養と訓練の目的がいいと思う。
- ・職員に女性しかいないのですか？子どもたちの命と未来を守るために見守っていきたいです。今 75 歳なので死ぬまで続けたいと思います。
- ・たらちねに少しですが支援しているのでこのアンケートを送って頂いたと思います。事故当時関東地方の

シュタイナー学校の生徒や親が西へ移住したことを聞いてます

- ・自分が保養に参加（させる）立場では考えませんでした
- ・屋外で遊んだり活動することは子どもにとっては非常に大切だと思う
- ・地元の市民活動「福島の子ども保養プロジェクト東大和」で星空キッズツアーin 清里に4年前くらいから参加している。今年もコロナ禍の中でしたが私は待機組でした。報告書同封
- ・子どもがいないのでよくわかりませんが、子どもたちがやりたいこと正しい事をするのが良いと思います。
- ・全ての子ども達が平等に参加できることを望みます
- ・電気があるのが当たり前と考えて70年、原発により色々考えさせられ福島の人々に心痛めています。出来る限り協力したいと思っています
- ・応援しています。私はたまたま影響の少ない所にいますが、情報の政府による隠しつぶり（民主党、自民党問わず）にあらゆる問題について疑心暗鬼になっています。コロナも科学的な事実を知って適切な行動をしたいだけなんですが…。
- ・保養に参加させたいと思っても障害がある子どもたちは受け入れてもらえない場合が多いと思います。できれば障害がある子どもとその兄弟姉妹のみ参加できるプログラムがあるといいと思います
- ・現在コロナウイルスで全世界が非常事態の中になりますが、個人的には那須塩原にいる限り2011年の時の方が対策しようもなく外にも出られず、本当に生活が厳しかったので、今、その感覚があつて耐えられているのだと思います。
- ・1ページ目のセシウムベクレル数値の低い場での保養や体験。
- ・子どもが10年前福島で働いていたこともあり特に関心が向かった。現在母子とも健康に過ごしているので安心している。
- ・できれば放射線量の少ないところが良いのだろうが、日本のどこでも少しはあるのかもしれない。となれば近いところで線量の少ないところに回数多く費用の軽減をはかっていくのも良いのでは
- ・川崎ではこの時期休止しています
- ・311のことが10年経過し国策が相変わらずクリーンなエネルギーとして出す炭素エコと言う作られたイメージが国民の中に浸透していることに危機感を持っています。さらにどうせ廃炉に25年もかかるならその間に原発を使えという指示発想がまかり通って他人事になってしまっていることを危惧する。
- ・いつもありがとうございます。私は一人暮らしですが、お子さんのいる方はたらちねの存在に助けられているでしょう。コロナ渦の中どうぞ皆様もご自愛ください
- ・こういうこと（データを取り、記録に残すこと）は大事だと考えます。応援します。
- ・日本全体が忘れようと意図的かどうかは分かりませんが、しています。ほぼ永遠に消え去らない放射能汚染なのに。また原発再稼働を容認する立地地区を放置して、他の生活の手段を手当てしなかった行政、それをまとめる国は一体何をしてきたのだ。日本人の我慢強さにも呆れます
- ・原発を抱えている限りは起こりうる事故。今回の事故のフォローをすることで初期対応の大切さを忘れないようにしたい

【中部】

- ・名古屋在住で当事者意識があまりありません
- ・あのとき孫と2人で座敷で体がゆれていきました。実際に災害に遭われた方の思いはどんなか私に出来る限りの事をこれからも協力させて頂きます。以前日経新聞に全国の放射線量が表として出ていましたが、ある時ふとなくなってしまいました。政府の圧力か新聞社自身か私はとても残念でした。

- ・今後たらちねの皆様の活動をささやかでも応援したいです
- ・福島は何度か訪れたことがあります、好きな場所です
- ・現地の大変さがよく分かりびっくりしています。がんばってください
- ・子どもの時期の体験はその人にとって重要ななるべくさせたい。自分は子どもなしだがボランティアなど子どもたちと会っています。
- ・小さい子どもは我家にはおりませんが、もしいたらと考えました
- ・表紙の日本地図のような一目でわかる分布図、近年のものが見たい。日本独自で調べていないのだろうか
- ・私は富士山のすぐ近くで生活しておりますが、表紙のセシウム分布図を見ると、富士山の所かな？ 山梨県の一部が大変高くなっていますね。自然豊かな所ですから自然体験に良いかと思っていましたが、これを見たら考えてしまいました。
- ・福島や高線量が検出される地域にお住いのお子さん、ご家族の保養は国にやってもらいたいくらいです。
- ・地元の皆様の悲しみを少しでもいやせれば
- ・コロナは気にしなくて良い
- ・保養受け入れ側の団体に協力している立場で回答させていただきました

【近畿】

- ・金銭的な問題(スタッフ・保養)もあると思うが、できれば希望者全員がごく低料金で参加できるを希望。全国的にカンパを募ることに広報周知にも要るのはお金かね…
- ・やってしまったことは仕方ないが、ケアだけは日本国民として参加する
- ・2011、NHK で安斎果樹園を知り毎年おいしい果物を送って頂いています。エルコーポで子どもの保養の呼びかけが有り応援しています。遠くから応援しているという形で申し訳ないです
- ・100 種ほどの放射性物質が出ているのに報道されない

【中国・四国】

- ・政府は真実を隠していると思う。広島で原爆を受けた人たちと同じ目にあってほしくない。
- ・徳島県海陽町は現在コロナの影響はなく自然の中で安心して過ごせる施設もある
- ・コロナ禍の中であっても防護対策をしていればあまり心配はないと思う
- ・最近は自主避難の話を聞かなくなりました。孤立感が心配です
- ・子供の保養については、国にその政策を取り入れるよう求めたい。少しでも良い成果が望めそうな環境に子供たちをおくべきこと、それが国の責任では

【九州】

- ・保養より留学の方がベストと思っています。保養先は原発から遠いところがよいけど、日本はほとんどすべて近くにあるから厳しいです。
- ・あまり気にしない
- ・子どもがいないので実感がない
- ・私は九州に住んでいるので、福島の現状を TV やラジオなどで伝えきくだけですが、原発の事故からかなり時間が経っているのにまだまだ支援が必要な状況にあるということを認識する方が少なくなっていると感じます。支えたい気持ちを風化させたくないと思います。皆さん大変だと思いますががんばってください！！
- ・遠隔地のため、適当なことが書けません

- ・コロナ、コロナで原発事故のことが忘れられている気がする。放射能とコロナの2重の被害、精神は苦痛をすべての国民が共有すること
- ・公的機関の参加
- ・表紙の汚染マップを見て愕然としています。全国に散在する原発に恐怖も感じます。そのように思いつつも電気に頼る生活、処理場のない核廃棄物、子孫に対し余りにも大きな負の遺産を残してしまった
- ・福島県からの保養受入の訪問を確保し、交通費の負担もと思い、そちらの方にも登録しましたが、ある一人の福島県内の女性の様子から、もう直接福島からというのでは不可能なのではと感じています。そちら県内の状況を是非知りたいところです

【福島→県外】

- ・我が家は保養は必要性を感じないが、必要のある子ども、親の要望はあると思われる（その視点で答えました）
- ・「無料」に慣れてしまうことの弊害
- ・支援する側とされる側の温度差を感じます

【海外→県外】

- ・不育症で漢方医にかかっており、「元気な子が生まれて来ない場合が原発事故後に増えている」と感じておられました。日本の子ども達皆が元気でいられますように！

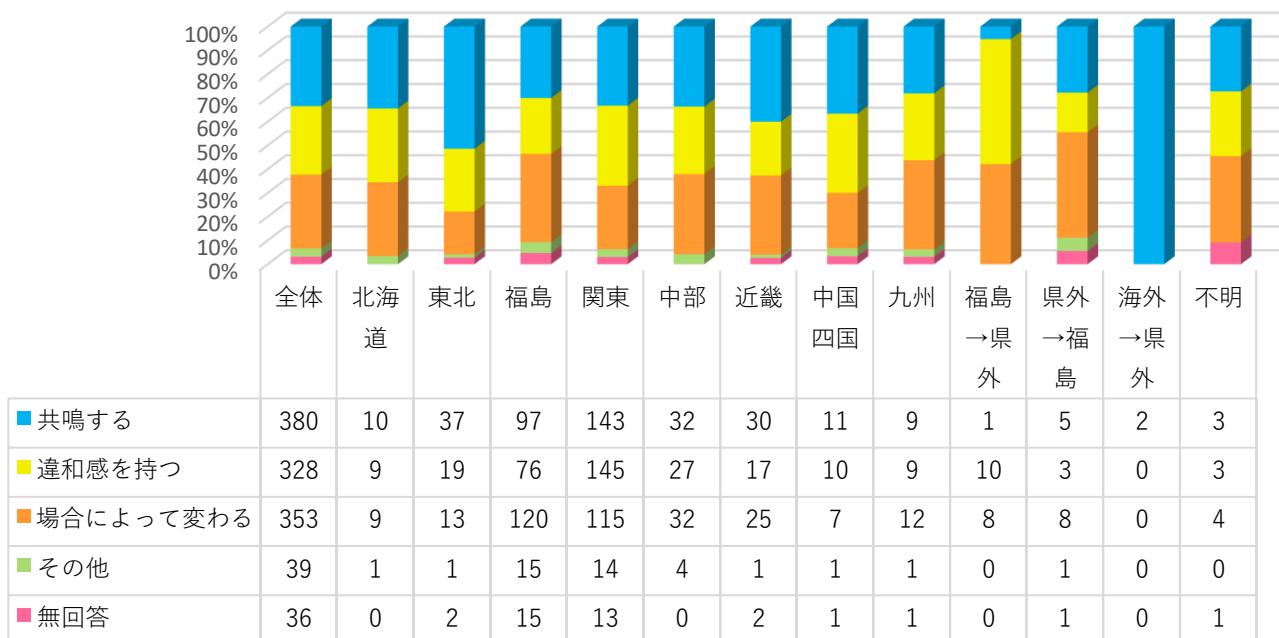
【地域不明】

- ・移住が最優先と思う！

【原発と世の中の動きについて】

Q37. 震災後、福島県内では「絆」という言葉が重く受け止められ、県民の標語のようになりました。そうしたキャンペーンについて、県外からみてどのように受け止めてこられましたか。(県外在住対象)

Q37. 震災後、福島県内では「絆」という言葉が重く受け止められ、県民の標語のようになりました。絆キャンペーンについてどのように受け止めてこられましたか。(県内在住対象)



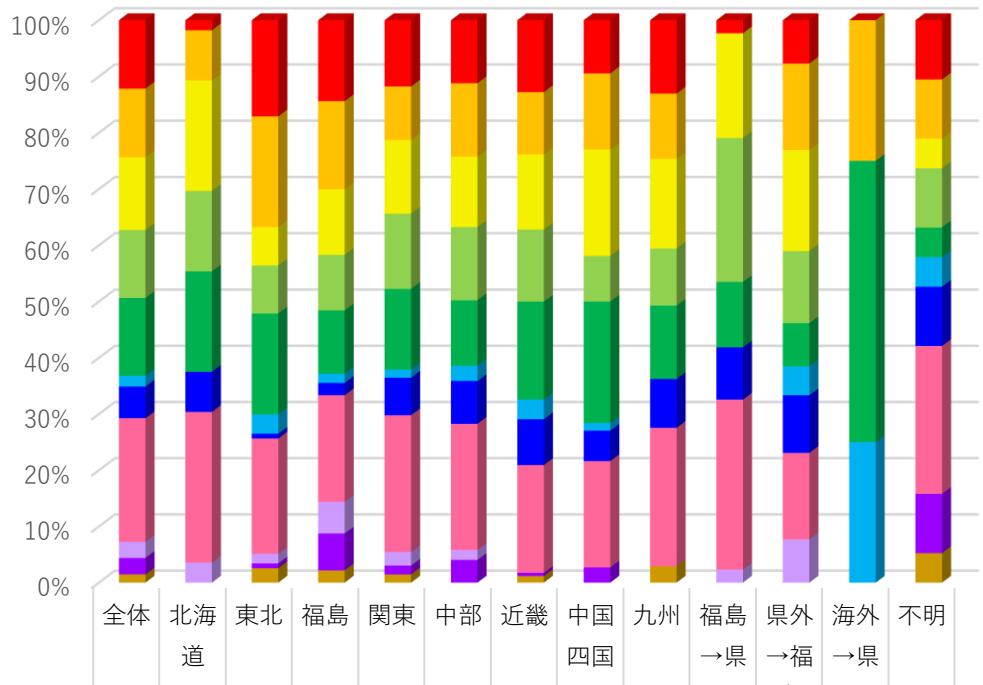
【関東】

- ・個人の自由意志をないがしろにされる
- ・責任のあるものを罷免する
- ・本当に絆があれば、この民間の活動は必要なかったのでは？
- ・為政者が都合よく使うのは反対

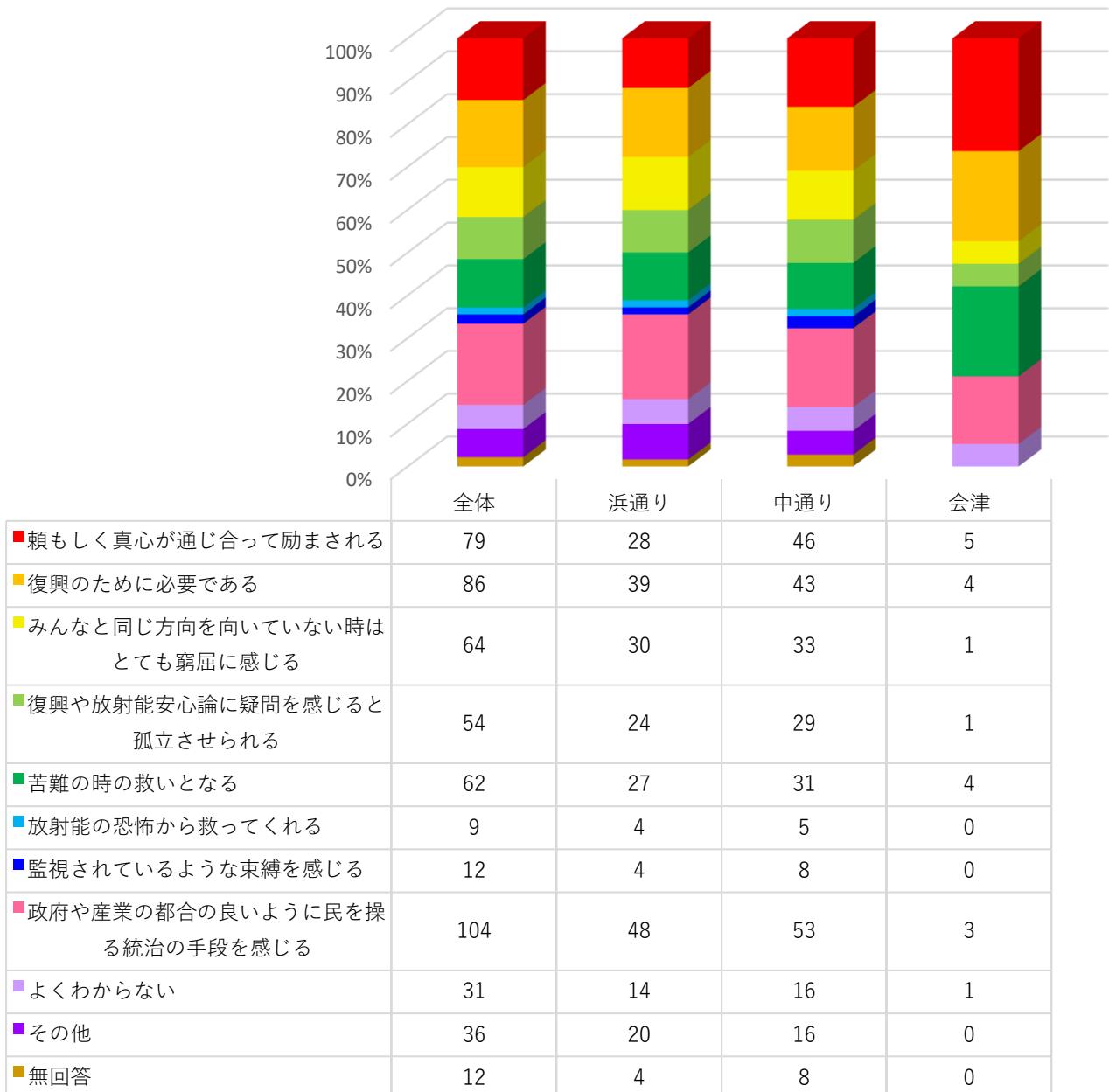
【近畿】

- ・「絆」→外部の者が使っていると思っていた。「県民の標語」は知らなかった

Q38. なぜ、そう感じますか。複数選択可



	全体	北海道	東北	福島	関東	中部	近畿	中国四国	九州	福島→県外	県外→福島	海外→県外	不明
■頼もしく真心が通じ合って励まされる	266	1	20	79	97	25	22	7	9	1	3	0	2
■復興のために必要である	267	5	23	86	78	29	19	10	8	0	6	1	2
■みんなと同じ方向を向いていない時はとても窮屈に感じる	283	11	8	64	108	28	23	14	11	8	7	0	1
■復興や放射能安心論に疑問を感じると孤立させられる	264	8	10	54	110	29	22	6	7	11	5	0	2
■苦難の時の救いとなる	303	10	21	62	118	26	30	16	9	5	3	2	1
■放射能の恐怖から救ってくれる	42	0	4	9	12	6	6	1	0	0	2	1	1
■監視されているような束縛を感じる	123	4	1	12	55	17	14	4	6	4	4	0	2
■政府や産業の都合の良いように民を操る統治の手段を感じる	481	15	24	104	200	50	33	14	17	13	6	0	5
■よくわからない	63	2	2	31	20	4	0	0	0	1	3	0	0
■その他	64	0	1	36	13	9	1	2	0	0	0	0	2
■無回答	32	0	3	12	12	0	2	0	2	0	0	0	1



その他

【北海道】

- ・言葉と行動が 180 度違うと感じます
- ・必要とされる概念ということは理解している
- ・強制、強要するものではなく暮らす人が日々の生活の中で心の奥から結びつくものが絆ですよね。行政が頻発すると誤解を招くのかと思います。
- ・事故を起こした権力者は被害者に十分対処しない、責任を取らない
- ・現実的解決が求められているのにそれを精神論にすり替えるそのための「絆」キャンペーンです。実際に日本の解決方法。
- ・「絆」が悪いのではない

【東北】

- ・福島県民の標語なのですか？東北(特に岩手、宮城、福島)全体で使われているものだと思っていました。
- ・一言でくくる問題ではないと思います。
- ・誰が言い出したのかわからないがみんなで頑張ろうという気持ちとしてとらえている
- ・風化には困るがその言葉に縛られることが精神的負担になることもあると思う
- ・現地の方々がいう時と政府等がいう時は立場が違うから仕方がないのかと思う
- ・やたら絆を連呼され、強制の様に感じます。宮城でも何かと使われ嫌な言葉になりました
- ・絆という事で家系図を調べるきっかけとなった
- ・その言葉によって政府・産業の責任等がカモフラージュされる様に感じられる

【浜通り】

- ・「がんばっぺいわき」などのキャッチフレーズもですが、これ以上どうやって頑張ればいいのかと辛くなつた
- ・言葉だけがひとり歩きしているようで
- ・何かあれば「絆」でなんとかなるという考えが甘いと思う
- ・言葉だけがひとり歩きしている様に感じる
- ・建前、表面上として(復興のために必要である)
- ・何にでも(スローガンや俳句)入れれば良い雰囲気
- ・個々の状況、価値観がかなりちがうので「絆」という言葉でスルーできない
- ・絆ということばは原発のみじゃない
- ・いわきの人はみんなもう安全だと思っている
- ・一人一人の小さな単位では心細く、何か皆の心を元気づけ一つにまとめるような言葉は必要だったと思います。10年近く経った今はそれも薄らいで来たように思います
- ・その時々により自分に都合良く受けとるようにしている

【中通り】

- ・人それぞれの考え方受け止めに差を感じる。
- ・連帯の為の言葉であり、悪用されるのであれば使うべきではない
- ・人と人との絆はもちろん大切だけど、それを前面に押し出して本当に安全か？わからない作物を買ってくれというのはどうなのか？言えないと思う
- ・テレビの影響
- ・色々な所で関りが必ずある
- ・同調圧力により民事刑事責任を逃れようとする洗脳にしか思えない
- ・自分の気持ちによって変化する
- ・言い過ぎだと感じます。
- ・当時は真っ白で何も考えたりできませんでしたが今となってはという感じです。
- ・県民だけが繋がっても（痛みを感じてる同郷同志の励ましではなく）広く問題解決するに至らない
- ・深く考えた事がなかったので何とも思わない
- ・避難市町村ばかりに目も金も行っている
- ・人によって「絆」のイメージは違っていいと思う

- ・復興という言葉で補助金をいつまでも貰っていても自立できなければ、いつまでも本当の復興にはならないと考える。子ども達が成長した時に差別を受けるようなキャンペーンはやめて欲しい。補助に頼らない地に足の着いた生活基盤を作れるような子どもに育って欲しい
- ・その時々で通じる場合もあり、何でも絆は違和感
- ・福島とそれ以外にわかる言葉かも
- ・不公平を感じる

【関東】

みんなと同じ方向を向いていない時はとても窮屈に感じる

- ・脅迫感
- ・現首相が言う通り、自助と共助ばかり求めて公助が足りていない
- ・当事者でないのでわかりませんがこういう面があるのかも知れませんね。(政府や産業の都合の良いように民を操る統治の手段を感じる)
- ・水俣と同じように周りを気にして本当のことを言えない状態だと聞いている
- ・私も絆Tシャツなどを着ている。お互いさま、だったり、つながり等、他の言葉を使った方が本当の意味を皆お互いに理解したり、共感できるのではないかと思う
- ・みながみな同じ足取りでは歩けない
- ・絆もコロナのおかげでゆるくなっています。国民全員が絆の重みを持つべきです
- ・苦難の時こそ人ととのつながり大切
- ・その場にいないとわからない。人によってもちがう。子育ても同じ。実感がわからない
- ・標語のようになったことを知らなかったから
- ・絆という言葉を辞書で調べたら語源は家畜をつないでおくひもの事でした。びっくり
- ・失礼、キャンペーンを知らない
- ・実家は福島です
- ・上からの言葉のように思う時、感じられる時、すごく嫌な気持ちになります
- ・政府や産業の都合の良いように民を操り、政治の手段を感じるそういうこともあるかも
- ・誰がどういう目的で「絆」キャンペーンをやりだしたのか、かと言って今だに調べてはいませんが
- ・人々の絆に任せ国は責任放棄（ただ働かせる感じ）
- ・県外ではその事実は知られていない県外避難者が疎外される感じ
- ・みんなの意識が薄れていくのが残念
- ・縛り・右ならい・強制を感じ好きではない
- ・浜通りの市町村に人が戻っているとは言えず「絆」などありもしない
- ・人によりけり
- ・原発再稼働に矛盾を感じる
- ・同調圧力ではないかと思う時がある
- ・実態をひなんしている人から聞いた
- ・「絆」本来の意味がすり替えられてしまった
- ・共同体意識を持たせ自由意志の束縛になる
- ・多様な人、多様な意見を認めるときの呪いにすら聞こえる
- ・共に助け合う心が必要

- ・反対の感じ方があることがわかりなるほど…と思った。そういう考えもありだと思った
- ・だれが言い出したのかどういう場合によく言われるのかがはっきりしない
- ・日常平時における「絆」がなくなっていることの方が問題
- ・助け合いは必要、ただ救いは人それぞれ、絆という言葉が時と共に形骸化していると感じる
- ・現代人には絆という言葉が必要です
- ・戦前の取り組みを連想させる（戦後生まれですが）
- ・本当か？真心が感じられない
- ・精神論で片づけられがち
- ・上の理由とは全く逆で政府による分断を防ぐため
- ・横つながりの絆は良いと思うが押しつけは良くない
- ・本当は何が必要、かつ、しなければならないかという具体的なことが絆というわけのわからない言葉で消えている
- ・原発事故の本当の責任を追求しようとしてない
- ・当事者の中から自然に出てきた言葉なら良いが
- ・都合の良いキャッチコピーでまとめようとしている
- ・県内だけでなく国民全体が絆、頑張りましょう
- ・実感を持って使うなら共鳴するがキャンペーンや標語は違和感のみ
- ・災害地の住民にとっては必要な言葉だと思う
- ・助け合いや支え合うことは必要かつ強制や同調圧力もあるかも。公助の隠れ蓑にならないかな
- ・本当の絆の意味が伴っていないから
- ・政府や産業の都合の良い可能性も感じる
- ・被災者や国民の内側から聞こえてくる「絆」よりも政府やマスコミから「絆」を強要されているように感じたから
- ・放射能の汚染という現状から目をそらさせる為の政策だと思う
- ・いじめや差別なくす方向になったのならいいが？
- ・言葉で誤魔化される感じ
- ・絆という鎖でしばられる様な気分になる
- ・絆を大切にしている団体や個人もあれば、まったくの自己中も多いのでいろいろだなあと。
- ・事故後、親族友人の間に分断が起き、今も修復されていない。
- ・数字のマジックや政策や御用学者や企業にうまく騙され絆をズタズタにしているのはそっち側なので、みんなが被害者、それを言い続けたい
- ・単なる言葉では
- ・意識的に使われるのは良いと思う。辛い時なので。連帯と絆とは違うと思うが良い面もあり
- ・最初(当初)は共鳴していたが今は汚染を無視する手段に見える。

【中部】

- ・響きの良さに本来必要な公共策の遅れがごまかされてしまうのではと思う時がある
- ・同調圧力の一種になり得る。食傷した
- ・生き方の多様性を認めたうえでつながっていると感じるのはいいと思うが、一つの考えにならなくてはいけないというのは嫌である

- ・絆という言葉で本質を惑わされているように感じる
- ・色々な場面で多用され、それが本当にふさわしいのかわからない
- ・日本人としても考えたい
- ・現在の政権から風通し悪いので、不安を感じる
- ・菜の花プロジェクトに支援させていただいております。
- ・言葉が一人歩き。わざわざ言葉で表わすことの違和感を感じる。
- ・関わりが希薄になっているのが変だから

【近畿】

- ・絆は押し付けるものではない
- ・一人一人の多様性を守ることができない
- ・使われる場面に、使う人によって違う
- ・コロナでも同様だが、戦時中【隣組】のような相互監視を強いる空気を感じる。不気味だ
- ・兵庫県の大震災の時に丁度私は神戸中央病院に勤務していて大いに震災の被害を体験していました。

【中国・四国】

- ・本質的な絆ではなく言葉遊びに感じた。
- ・わざわざ言うまでもなくあるはずのものであるのに、わざわざ取り上げるのはないものだったのかな

【九州】

- ・一斉にかけ声でやるあり方に危険性を感じる
- ・協力や助け合うという行動につながる
- ・絆でムリヤリつながらせようとして、政治の無能をかくそうとしている
- ・「国や電力会社からの分断を許さない」という意味では使われていない言葉だと思う
- ・現状認識と問題点に対するきちんとした対応こそ必要だと思う
- ・「絆」とは誰から言われてつくるものではない。ましてやオカミからの号令で！それ以前に国、東電がしっかりやることやって！

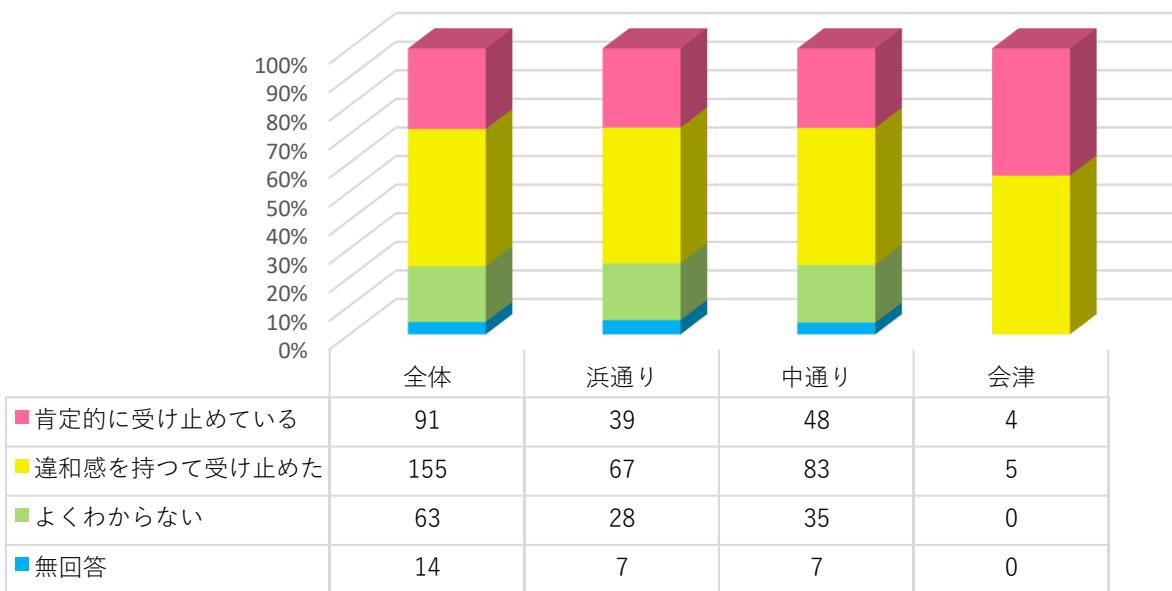
【福島→県外】

- ・絆を強調したり歌でごまかしたりするのは良くない
- ・純粋に人々の間に絆があれば良いのですが。。。『絆』の語源は家畜をしばると記憶してしています
- ・震災当初など、争いが多く（郡山にいる時）正直、そういうものは感じられませんでした
- ・福島にしばりつづけるための合言葉のよう
- ・絆をネットで調べると、二つの意味が出てくる きーずな（ーづな）【×絆/×縊】の解説 1、人と人の絆のことのできないつながり。離れがたい結びつき。「夫婦の一」 2、馬などの動物をつないでおく手綱。1、家族で意見が違う場合、切るのが一番平和かな、2、福島県に県民をつなぎ止めておきたいからこの言葉を選んだのですかね。絆より、愛憎に満ちてしまった。原発事故後の人間関係。愛とか、平和とか許しか、違う言葉が相応しい。
- ・戦時中の愛国正義の恐怖を感じる

【地域不明】

- ・うさんくさい
- ・作られた言葉のように感じた。言葉の操作を感じる

Q39. 原発事故が起きてから、放射線被曝被害の実害を意味する「放射線被曝」という言葉よりも、実害はないけれども被害があるようなイメージとしての「風評被害」という言葉が多く使われてきました。そのことについてのあなたの受け止め方はいかがですか。



【浜通り】

・ 実害はないけれども被害があるようなイメージとしての「風評被害」という言葉←この表現に違和感を持ちます。「風評被害」とは本来安全とされているのに危険であると認識され経済的被害を受けることですね？

肯定的に受け止めている

・ 表現の一つとして仕方ない

【関東】

肯定的に受け止めている

- ・多いにあったと思う

違和感を持って受け止めた

- ・風評被害はいちばん卑劣だ

- ・実害を無視する

その他

- ・風評被害は悪い

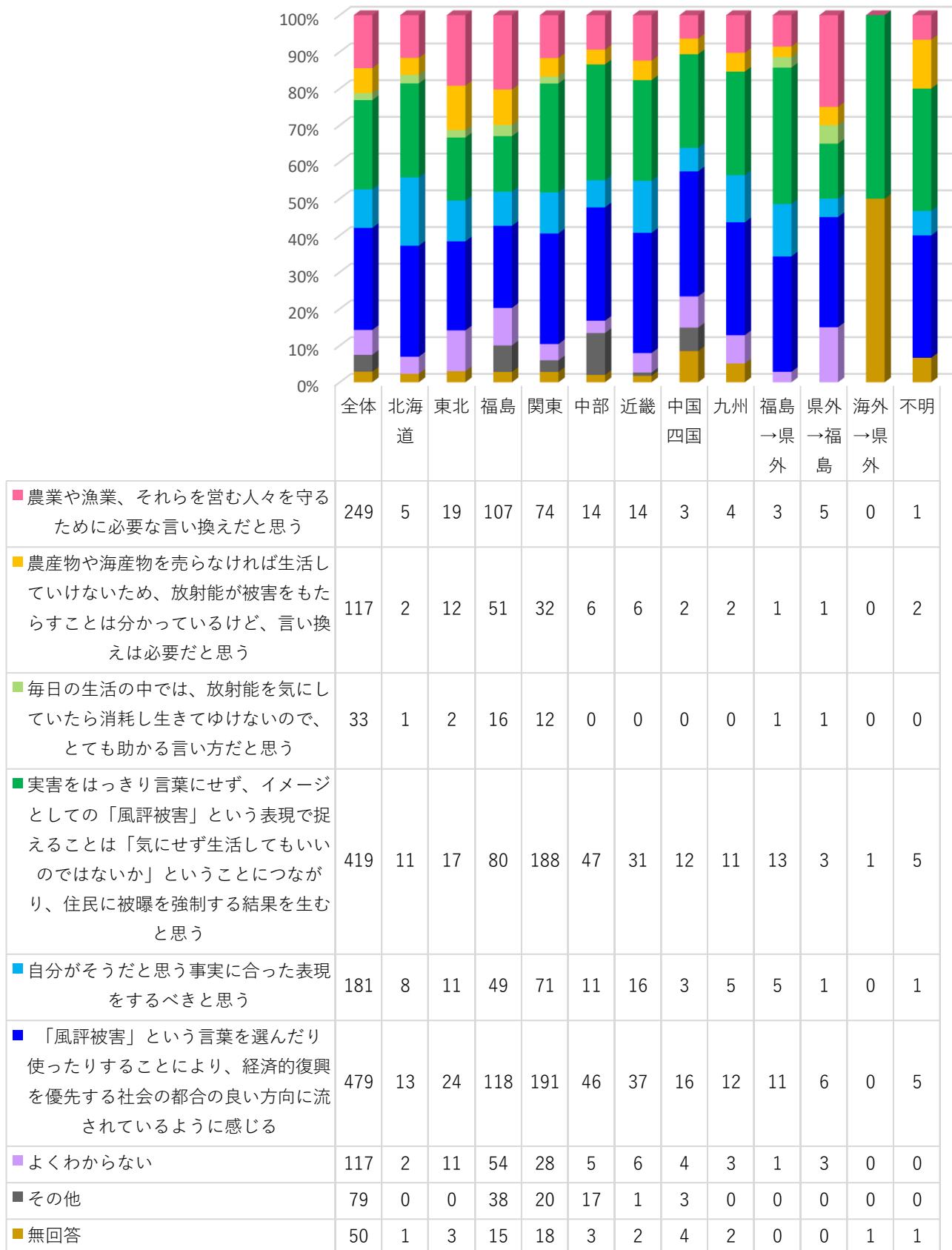
- ・質問の意味がよくわからない

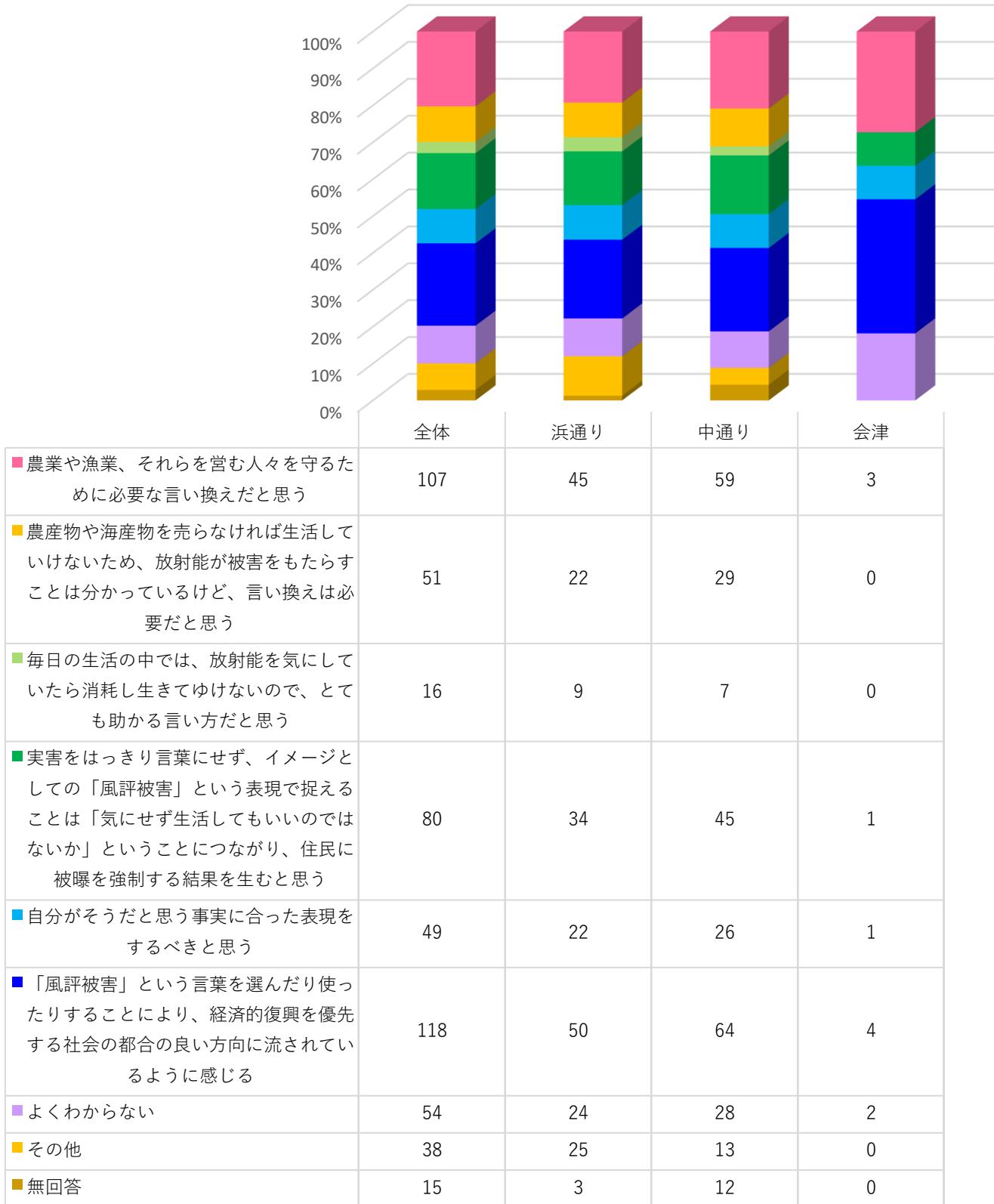
- ・風評被害ではなく実際に放射線被曝があると思う

【近畿】

- ・実害の定義が、普段使う言葉と異なるためわかりにくく

Q40. なぜそう受け止めましたか。複数選択可





その他

【北海道】

- ・良くない言葉かもしれない。でも被曝に対してもっと敏感になるべきだ。風評被害というより現実の宣伝は必要。原発に対しての廃絶を願う。ごまかしや汚染水を海に流すのはダメだと思う。現地の人には悪いが完全閉鎖しても良いと思うくらい原発被害はこの選考もありえる。
- ・実害を覆い隠すために使われているような気がします
- ・農林水産物、配売料、価格、売上の変化的統計データを示すべきだと思う。商品の測定値も。言葉の受け止めに終すれば（気持ちこころの）事になり事実を受け止め判断に支障が出ないか懸念あり
- ・実害を風評と政府・電力会社が言い換えている。一種のフェイクと思う
- ・実際自分の体にどれくらい影響があるかわからないという不安もありつつ、何か応援を形にしたいという気持ちもあって揺れている。私の場合自分に子どもがいるわけではないので何か影響があっても自分だけで終われる。影響のあるDNA残さないという気持ちがあるので風評被害という言葉によりシンパシーを感じる
- ・実害があるかどうか現時点で証明されないものにも使われる事で不信感がある
- ・実害がいつどのように出るかは分からずその中で実際に実害があったかのようなデマ情報が流れるなど、風評被害は被害としてあったためそれ以外の表現（単語）が見つからない。この表現を使う以外ない。今は風評でも何年後かに実害になる可能性を含めて
- ・放射能汚染・被害は厳然たる事実です。事実を隠ぺいするから風評が生まれます。事実を正しく知らせること、そして知ることが何よりも大切、その後の判断は個々人に任せるべきです

【東北】

- ・風評被害も確かにあると思うが、被曝の実態がきちんと公に出ない方が問題である
- ・事実はそうでないのに気分的に害があると考えて農作物や海産物を買わないという行動を困った事を考える
- ・風評被害は正しく被害です。きちんと補償されるべきです
- ・実害がないものを風評被害と表現していると理解していた。実害があるならそのように説明すべき
- ・一言で風評被害と言っても本当に大丈夫なのかという思いは残りました
- ・福島産だという事で単純に原発の影響ありだと思い購入をしないと思われるから
- ・原発事故もコロナ拡大も風評被害で沢山の人々が苦しんでいるので、なのに自治体や政府は何もしてくれず政治家の都合だけなので
- ・何かにつけ風評被害を口にし安全安心という言葉だけで丸め込まれている様な気がします。どう安心でどう安全なのかをきちんと言るべき。生産者さんの中ではきちんとしてる方もいますね
- ・丸森町は風評被害もあり距離的に福島県と同じなのに宮城県という住所の為補償の差別があった
- ・風評被害ではなく実害の被害。「被害はない」という意味で使われていることがおかしい
- ・風評被害は払拭できるが実害は払拭出来ない。風評被害という言葉によって実害をうやむやにしている感じ
- ・現実で実態としてあることを基にしなければ対応対策はできない。していない・できないから風評になる
- ・風評被害という名の差別

【浜通り】

風評被害という言葉を選んだり使ったりすることにより経済的復興を優先する社会の都合の良い方向に流されているように感じる

- ・真実をもとに対策を考えるべき

自分がそうだと思う事実に合った表現をするべきと思う

- ・~~自分がそうだと思う~~客観的に評価し得る事実に合った表現をするべきと思う

その他

- ・風評という言葉で事実をごまかしたり、かくしたりしているように感じる
- ・ある時期まではそれでもよかったが、現在はその言葉はちがうと思う
- ・このアンケートを記入前はよくわからなかったが、40の選択肢を読み、なるほどと納得させられた
- ・原発事故以前はお中元などに貝焼や干物を贈っていたが、いわき物は贈らないようにしている。家族もほとんどの近海ものは口にしていない。被曝を認めないことが反対に消費をさまたげていると思う
- ・実害はありました。水と土の中にいる昆虫のむごたらしい状況を目りました
- ・そういうことばは負のイメージが強くあまり使いたくない
- ・メディアの取り上げ方あまり良くなかったのではと思う
- ・子ども達の未来に風評被害があったり、体に異変がおきない様にしてほしい
- ・その言葉だけで他県から解かりもしないのに阻害される。結局は他県から悪目で見られている
- ・自分は他県出身なので、やっぱりできれば口にしたくないと思うのはあたり前だと思うのです。いやと思う気持の表れが風評被害だと思う
- ・アベさんが世界に「放射能汚染はコントロールされている」と発表し(2013年頃)海外の団体や政府に近い企業が次々と支援をストップしたらしい。支援するとまだ危ないと思っているのか、とつぶされてしまうから支援はもうできないとか
- ・放射線被曝による「実害」をイメージだけで課題に評価して「実害はないけれども実害である」というような言い方をする人々が存在する。それに対し正当な「実」の評価を促すことは必要であると思う
- ・風評被害というのは農作物や魚など放射線の数値などを測定して値が0などと、OKなのにそういったものを“福島県産だから”などという理由で買ってもらえないことと認識していたため
- ・放射線被曝被害をうやむやにしている。被ばく被害のおそれがあるから風評被害が生まれる
- ・実害を風評といいかえることはうそがあるし気持ちが悪い
- ・果たして風評なのか実害があるのかは断定できないのでは…と思う
- ・国は正しい数値を公表すべき
- ・セシウム137、地表より約5cmのところに滞留、樹木が吸い上げ、枯葉に移動、落ち葉となる。つまり土壤汚染が続いている(森林総合研究所より)
- ・風評被害ということで、我家(主人の親)も田畠を手離しました

【中通り】

・風評被害を受けている以上それは実害です

・単に「言い換え」というだけの問題なのか?気休めの為の言葉なら意味ない

・風評ではなく実際に健康に害があるから。風評だからと子ども達に地元の食材を使った給食を食べさせることは許せない

・いろんな思いの人がいると思う。嫌でも福島から出れない人は沢山いると思う

- ・被害はないと言えないと思う。農林漁業だけではなく、この地に住んでいる住民にも見えないものも含め精神的被害はあると思う
- ・コロナでのこともそうだけど、今までと同じ状況ではやっていけないのだからその状況に合わせて自分たちが工夫して変わらなければと思う
- ・風評？意味が分からぬ。実害ばかりですよ。聞いて呆れる
- ・よくわからないことで風評を作るので数値は逆にきちんと表示して誤解を解くことが大切だと思う
- ・福島＝にならないで欲しい
- ・存在しないセシウムが食品から検出され体内に取り込まれているのだから間違いなく実害である
- ・県産品の実害がある以上このような嫌な言葉でも使い続けるしかない。時間がかかるが忘れてはいけない原発事故の被害です
- ・人に対して使うことは必要かと思いますが、原発事故後により福島県内をはじめ近隣県も確実に実際に汚染されており経済的な面を優先するがために何に対しても風評被害と発することは良くないと思います。放射性物質に立ち向かい苦労を重ねて農業や畜業を営んでいる方もいる中、そういうたよりの方の努力が周知されれば風評被害といわずとも購入者も理解してくれるのではないかと思います
- ・会津のように本当に風評被害とごっちゃになったのでただ紛らわしい。被曝は被曝で良いと思う
- ・実害を消してしまう言い方だと思う
- ・実害もごまかせる
- ・風評ではないから、その表現は適切でないと思ってる
- ・風評と実害があいまいに思われる。風評も被害として実害では？
- ・私は遠く離れているので実害は少ないとと思うが現実に作品（生産物）を出している方にとっては風評とは迷惑な言葉だと思う。検査をしても風評という事によって敬遠される
- ・都合のいい言葉
- ・選択肢が偏っている
- ・実際には両方の被害があると思います。それでも生きていくためにはたとえその害が言われてもこの地で生きる事にチャレンジして行かなければと考えます
- ・福島の復興を願うが実際は選んで食べている
- ・真実を受け止めている人と、風評とだまされている人に分断を生じさせている。狙いもあると思う

【関東】

農業や漁業、それらを営む人々を守るために必要な言い換えだと思う

- ・言え換えと思わない事実です
- ・しっかり数値を知れば見える事。わかることは沢山ある。風評、雰囲気という言葉に安全なもの、そうでないもの全てまとめられてしまう

その他

- ・風評とは実害がない時に使用する言葉でないのか？
- ・風評はそこに放射能があることを否定する言葉だから、使ってはいけない
- ・コロナもそうですが、見えない物 数値を変えるとコントロールされてしまう物、偏見のある物はむずかしい。健康被害にあわないように正しく恐れて正しく対策をとるために努力が必要なのだと感じます
- ・実際に被曝していないなら風評、被曝したケースはきちんとすべき
- ・風評被害というおまじないの言葉を使うことにより、本当に自分の言いたいことをカモフラージュする為

に使われていることばとも聞いている。フクシマで生活し続けなければならない人々の苦悩を感じる

- ・数値で明確化すべきだと思う。言葉のいいかえでは何が本物なのかわからない
- ・個人的には実害があるか無いかはっきりしないものを風評と表現しているにすぎない。ただ、イメージも商品にとっては大事な価値なので、実質実害なのではないか
- ・事故から約 10 年その間の被害者への政府の対応を見ていると政治というのは何のためにあるのかと心から憤りを感じます
- ・放射線被曝と風評被害は別のものだと思っていたので、単に言いかえだとしたら消費者をだましていると思う
- ・風評被害は何もわからずあそこのものはあぶないという思い込みにつかう言葉でその他にいる人に対して無神経な方である。そのためどれだけ被害にあったか？はっきりここにこれだけの被曝がありますと明確にした方がよい(改善される)
- ・原発事故の加害責任をゴマカスものだ
- ・データに基づき、できる限り測定してきけんなもの、安心できるものと科学的な根拠を示すことにより判断できる。この言い方はすべて信じられなくする
- ・食品の放射線基準値を福島原発事故後、疫学的知見をふまえずに国が変えたことに極めて強い違和感がある。東京五輪に向けて安全を装うための雰囲気づくりとしか思えない
- ・本当に安全なのかわからないから
- ・現実には風評被害ではない事も多い！食べて協力はまちがいだと思う
- ・風評だけでないことは無視してはいけない
- ・風評とはうわさという意味。ごまかしに過ぎない感
- ・放射能汚染の事実に基づき、測定して表記し(食品や環境など)科学的に対処することを妨げる言葉になっていると感じます。生産者や住民をほんとうに守ることになっていない
- ・実害のないものがイメージで避けられていることによる被害と理解している
- ・風評被害は有ってはならない
- ・被曝と風評は全く違う。根拠のない風評被害には腹が立つ
- ・本来の意味での風評被害というのも、もちろんあり、非常に残念に思うが被曝している事実を風評被害に置きかえて被害じたいを小さくとらえるイメージが先行し、イメージ操作と感じた
- ・後者は前者の言い換えではありえない
- ・本当なら国が総力をあげて福島の人たちを移住させ安全な所に住ませ。充分な生活保護をするべき、どうしても移りたくない人はしょうがないが、その人以外は全て他の県に移し、自然に放射能が無くなるまで何百年かかるとも封鎖するべき、オリンピックなどやってる場合じゃなかったと思っています。本当に福島の子ども達が心配です。
- ・コロナウイルス感染についても同じように原発事故以来、情報操作されているなど強く感じます。福島に住んでいたことがあるので多くの知人友人が福島で生活している現在や、やむなく（帰宅困難地域）群馬で生活してる友人などが語る言葉を受け止めるたび、政府やマスコミの”復興五輪”といったスローガンに絶望すら感じます。
- ・様々な産物（農業、漁業）や地面の残留放射能を多種必要な期間測定しデータを評価したうえで国民に示すことなしに言葉が一人歩きしている傾向があった。また一つの背景として政府側の出す様々な情報の信頼が失われていたこと也有ったのではないか。例えば初期のスピーディーのデータ隠し
- ・事実から目をそらさせようすることは不信感を生む。本当に検査している物が信用されなくなる。水俣

の時と同じ被害者が自分を肯定できないことになる 風評被害は事実を明らかにしないから疑心暗鬼になる。厳しくても事実を明らかにすべきで復興の為にはもっと別の方針を

- ・風評ではなく実態から選択をしていく。誰かが関わっているからではなく、事実を知る方がいいのでは
- ・風評被害ではなく実害があるのに風評と言うほうが悪いとしている
- ・本当の姿を隠蔽。事実と向き合う事から始まると思います
- ・原発事故を矯小化しようとする姑息さを持ち合わせている
- ・補償逃れと感じる。実害を認め差別をしない
- ・現実を受け止めないといけないし国民は支援しいないといけない。耳ざわりの良い言葉ばかり吐いているだけにしか思えない
- ・実害ではないという証拠もなく東電が被曝を隠す言葉ではないか
- ・私は現在埼玉県に住んでますが、福島県出身です。なので原発事故に対してはとても当時も今も心配しています。コロナもそうですが人は未知のものには恐怖感をいただきます。なので真実を皆に知らせるべきだと思います。風評被害や差別意識というのは無知な人々が生み出したもの。そんならないようにしていくべきだと思います
- ・実害について放射線量の測り方、現在の基準に不安を持っている。新型コロナウイルスと同じで目に見えないからこそ、不安を取り除くために安全を選択する
- ・福島の農産物は今は安全と言われているが心配。福島市内は除染したが山や別荘地の除染は簡単なもので(側溝の掃除 etc)安心できないので年一回の掃除以外行ってない
- ・正しい情報や考え方に基づき数値を測り公表した上で個々が判断して選択できる様に整備すべきであり、食品のトレーサビリティと共に数値も分かり易くさせる事が風評被害がなくなると思います
- ・実際の被害、危険性を無かったことにして被害を全国に拡げる
- ・責任の所在をばかし、一般市民を分断する言葉だと感じます
- ・風評ではなく実際汚染される物も多く含まれていたから言葉として間違っている
- ・風評被害・誹謗中傷は世の常。放射性物質の半減期・影響を学習する機会を作り広く知らしめる
- ・科学的医学的に本当に正確で信用できる情報が見えない。政府行政の言うことは今は信用する気になれない。本当はどうなっている？？
- ・見えないものへの不安。言い換えれば安全神話のように確かな証拠が無いのにさも安全なように勘違いする
- ・4~5年前からもっと前か神奈川県に住む友人に福島の被曝被害の実態をはっきりすべきと言うと福島の人は風評被害で大変なのだから黙っていた方がいいと意見でした。その人は南相馬に定期的にボランティアに行っていた
- ・千葉県北西部地方はホットスポットとしてマスコミにしばしば登場、農産物販売にも影響したが作物の大部分は後に風評被害だったことが判明した
- ・「風評被害」という言葉でも受け取り方は様々。言葉より中身（実）だと思うが言葉にしないと多くの人は伝わらないし…
- ・福島県産と十把一絡げに避ける風潮はまだあります。実害をきちんと把握することが将来への責任だと思います。今できる事は今やらなければと考えています
- ・適切な安全数値を発表してもマスメディアや自治体が真摯に受け止めて報道しないことに問題がある
- ・農産物、魚介類を測定して問題ないと証明されているが。でもそんなイメージで避けるのは良くないと思うが政府を信用できないので何を信じたら良いのかわからない

- ・真実がはっきりしないことに対してイメージ先行が過ぎる表現
- ・風評被害が事実だから
- ・オリンピックよりまず被害にあった方のためにお金を使うべき。最低の政府です
- ・風評ではない実際の被害もあるのにすべてが受け取り方次第とされてしまう
- ・被曝を直視していない政府。農業水産業が豊かな福島県の根本的な復興の道筋が全く見えていない
- ・風評被害という言葉で苦しむ人がいる。国やメディアは言葉だけでなく行動してほしい
- ・あたかも放射能の数値は問題でないかのように言葉だから。そのことで、数値を問題視することをタブーとする力をもってしまったと思う
- ・2012年から毎年福島県を訪れ空間線量を測定していますが浜通り、中通り、会津では値が大きく違っているにも関わらず福島県産というだけで消費されなったり逆に帰還区域でも除染されていない所はいまだに放射線量が高いため
- ・本当の風評被害であれば助けてあげなければならないが、そうではない場合にも風評被害という言葉が使われている気がする。何でもかんでも風評被害という言葉を使っていいとは思わない
- ・原発事故は福島県だけの問題ではないと思うがより現実の問題として捉えられるのは福島県の方々だと感じます。今後も原発事故の危険性に対する発信をお願いします
- ・知りたいのはスーパーで売られているものの放射線量です。安全とか風評被害だと言うのならその事實を買う時にエビデンスとして知りたい。本当は福島県産の果物、野菜を買いたいです。でもただ安全だと言われても信じるは難しいです。利害の無い第三者機関が調べた情報が欲しいJAは信頼していない。出荷前に線量を測ってそれで選別しているのならその仕組みも明確にしてスーパー等に張り出し事實を前面に出していくだけなら自分で判断して買いたいと思います。応援もしたい
- ・行政、自治体は実態を正確にデータで示すべき。消費者はそのデータを元に判断すれば良い
- ・放射能の影響を心配する人VS生産者対立構造を生みだす権力者の造る言葉だと思える福島帰り、浪江町や富岡町を通過しましたが測定機がピーピー高くて復興にはまだこれからと思いました。被災者は諦めずに声を大にして訴えて下さい。応援しています
- ・こういう事故の時、必ず出てくる言葉だから信用出来ません
- ・実害なのに風評被害と言って責任をうやむやにしている
- ・離れている所から恐縮ですが、これが必要な面もありでも全てを覆い隠す便利な言葉として使われる気もしています。あいまいな答えが多くてごめんなさい。勉強します
- ・日本を守ってくださりありがとうございます。こういった方々がいるお陰で情報を知る事ができ感謝しております。応援しています
- ・私は「風評被害」も原発さえなければなかったのだから「風評」でなく「原発」被害だと思ってる
- ・「風評被害」という言い方が現実と被害をかくす（みえなくする）言葉だったのかと初めて認識しました。
- ・対象者には保障すべき国民を誤魔化すのはまちがえ！
- ・事実がはっきりしないことに対してイメージ先行が過ぎる表現
- ・本当の事を住民の方々に伝えてあげて欲しい。そのうえで生活を選択するのは住民の方々だし、その選択を全力で支えるのは私たちの務めだと思う
- ・3月のお彼岸に家や近所のヨモギを摘んでヨモギ餅を作っていましたが2011～2013年頃までやめました最近又再開しました。家だったか近所か土壤検査もして頂いた事がありお世話になりました。ご無沙汰していましたのにアンケートを頼まれるなんて…。嬉しかったです。コロナなんて考えてもいなかったです
- ・実害をなかったことにしてしまう虚偽をなす人と何かを共にすることはできない

- ・風評ではないものまで風評にしてしまってうやむやにしている
- ・全てを「風評被害」としてしまうことで本当に危険なものと本当は安全なものの区別がつかない。結果「全て危険」としてとらえてきた
- ・これも国の誤魔化しです。本来なら農漁業者に国が賠償をしなければならないのに、この言葉ですり替え多くの人が洗脳されているように思います
- ・風評被害という言葉が使われることで誤解が解けるのは良いことだと思う
- ・感情さえもコントロールしようとしていることに怒りを感じる
- ・この言葉を生む実態が見えないのでどの様にでも解決出来てしまう
- ・データを常に示せば「風評被害」は減ると思うが将来出て来る未知の影響を考えると放射線被ばく（実害）だけでは表現出来ないと感じます。
- ・本来の被害の現実（情報、データ）が科学的に開示されていれば風評か真かも被害かこっちで判断できる。真の被害を隠すから風評被害が起きるんだと思う
- ・あまりにも曖昧過ぎる表現に感じる
- ・情報を正しく伝え、そのうえで何がどう安全なのか（又は危険か）知ってもらうべきだ
- ・被曝の基準値を震災後変更したので震災前の基準では NG のもの。被害はあると考えているので仕方が無い
- ・言葉で真実を誤魔化そうとしているかんじかする（政府）
- ・農産物等の放射線量は継続して測定していくべきだと思う。
- ・世界的に評価の高い酒蔵の日本酒が売れなかったり、たいして美味しいけど お取り寄せナンバーワンになったりするスイーツがあったりで世界の人が購入意欲が上がるポイントがよくわからない。ただ農作物に関しては産地が福島と言うだけでアウトです、いまだに。数値はエヌディーなのに。と言うことで貴 NPO 団体の数字 のあぶり出しにより迷惑する人もいるのかもしれないまあほどほどに。12月3日に参加した勉強会はとても参考になりました。質問者の中に乳児が白内障で亡くなったと言うのを聞いて「福島の女の子と結婚できない」と一体
- ・「事実」をはっきりさせ対策が打てるものは打つと言う行動が必要。 放射線被害で農業漁業産物が売れないと政府はその保証をすべき
- ・根拠のない評価であっても背信する人も存在する。あることが国境被害と言う表現の実態と思う。
- ・実造の被害を隠蔽する
- ・むしろ事故を起こして公害事業として国民から手を叩いて喜んで大店女性が何回もできるようにしますます被害者を増やし、そこに人を愛し、経済を悪化させている 1 部のゼネコンや 東電が不正に流すだけで、大 5 時から 7 時受けても出来るような無駄なお金を捨てている。
- ・事実を事実として受け止めることを怖がり、隠す行為は歪曲だと思う
- ・この言葉を使わなければ良いのではないか。風評を気にしないでいきましょう
- ・風評被害という言葉は簡単な言葉で、その状況を表現しているかもしれないが、それが良い表現か疑問あり。根拠がないことに対して悪評を流すことに対して心理的にも経済的にもダメージは大きい
- ・震災後の春休み、運動部の駅伝、福島の原発事故からほど近くい行われることになり、私は、安全だとうデータもないのに子どもを走らせるわけにはいかないと抗議し、学校からは心配性な親と見られてしまいました。が、正しい情報正直な数値は子どもを守るために必要です
- ・実際に放射能による被害があるので風評という主語をあいまいにした言葉は使うべきではない

【中部】

- ・土壌の入れ替えなどで実際に汚染をなくしている農家もあると聞きますが、「風評被害」という言葉は逆にその様な努力をしている農家、漁業家がいても購入する側が客観的に判断するのを妨げていると思います。結果的に福島周辺のものを買わずにおります
- ・言い換えとは思わず、実際に風評と思っています
- ・福島第一原発の危険性をあいまいにする人目につかないようにする言葉だと思います
- ・風評被害という言葉はごまかしに感じる。測定値が低ければ食べ、高ければ適切に破棄し、生産者に補償。悪いのは政府、自治体だ！
- ・ほんとに風評だけで実害がないのか、実害あるのに風評と表現しているのか分からぬ。ウソくさい
- ・風評とは根も葉もないうわさの類だと思うが、実害をいんぺいして風評と言うことがとても嘘くさくて許せないと思う
- ・風評被害の使い方を都合よく使っている。日本からの食品などの輸入について海外事情を知れば日本人は政府に利用されているにすぎないと分かる。危険だから食べてはだめ。風評ではなく実害
- ・風評ではない
- ・ごまかさずきちんと測った測定値をきちんと公表し、危険性の判断が出来るようになれば実害かイメージだけかがわかるので風評にはならないと思う
- ・質問に何を答えて良いのかわからない、事実は事実として受け止めて、そこから出発しなくては駄目です。化学的な根拠をしっかり見つめて何をどうすべきか考えたいと思います。
- ・そこに住む人達にとっては大変な事です
- ・風評被害という言葉で原発の被害を隠している
- ・農業、漁業の方々は大変だと思う。今回のコロナもそうだけどきちんと調べて大丈夫ということを判らないと不安はぬぐえない
- ・よくわからないことが多いのですが現地からの発信や実際のことを受け止めていくようにしています
- ・今の時代、正直さが信頼につながると思っていて、本当の情報を与えるべきで、よくわからないから風評が信じられやすいと思う。又、日本では大勢につく人が多い
- ・本当の風評なのか事実としての危険性を判断する材料が乏しい
- ・根拠がないのに「～だろう」で行動する。風評被害？
- ・本当に風評被害の場合は、それを検証し伝えるべきだし、放射線被害があるなら、国と東電が保障すべきです。
- ・農林水産物は出荷前に検査をしているので食べても問題ないのに、店頭では福島県内産が選ばれない、言わぬ悪い評に風評被害と考えていました。でも、設問から察するに実害があるということでしょうか。自分の現状認識が間違っているかもしれません
- ・言葉が一人歩きするのではなく、事実を認識し、現実的にどうするかを一人一人がきちんと決められることが大切

【近畿】

- ・第三社機関がきっちり計測した値を、消費者もわかりやすい形で伝えれば解決すると思う。放射能汚染がないことが、100%保障されれば喜んで福島産のものを食べたい
- ・あまりにも福島のことが日本国内で置き去り(無関心)になっているように感じる(特に西日本)
- ・本当は何が問題なのかを考えないで、全てが危険と思うことに対する被害を考える

- ・実際に風評被害といえる状況があるのではないかと思ったから
- ・元々、自然界に存在している放射線もあるし、各々の產品について量的にその被ばく量度合いが許容範囲かどうかよくわからないので、正しいか正しくないか判断できない
- ・事実があるときは、風評を使うのは誤りだと思う
- ・実害か否かを十分検証すべき。実害はしっかり無害になるようにすべき
- ・本人が肯定すべき事項なので、表現は肯定的にとらえている
- ・大切なのは、実際に影響があるか否かなので風評被害に流されてはいけない
- ・原発ある限り、絶対事故は起きる。他人事ではない。ただ、その地に居たというだけで、根こそぎ人生が狂わされ、以前の生活に二度と戻れず、誰も責任取らない超理不尽がまかり通す。被災者をいじめ差別するなんて人間失格！自分が同じ目に遭うまでわからんとは、想像力ゼロの日本政府と同じ穴のムジナ
- ・食品の安全基準の数値が高すぎる。100Bq/kg では内部被ばくを考えたらあまりに危険。それを放置する政府もメディアも異常だと思う。さらに、土壌自体の汚染を正確に調べなければ、空気・水から被ばくは計れない
- ・事実に面を向かわないために、根本的に対策が取れず、結局被害を長期的に見て大きくするし、国や東電の責任をあいまいにするものになっている
- ・根本的な解決につながらない方策をとるから、この言葉でごまかさなくてはならなくなる
- ・実際に生活している人たちがより安全に健康に未来の子ども達にどのようにつなげていけばいいのか教えてほしいと思います
- ・いつも真実が知りたいと思っています
- ・風評とは根拠がないことになりますが、事故により放射能が出てしまったのですから、風評というのはあり得ない思います
- ・福島全域が同じ状況では無いと思う。危険からは身を守りたいですが危険でないものを同じように扱う事は違うと思います
- ・客観的事実を一切公表せず（あるいは調査していない）無かったことに対する（したい）人たちの圧力をこの言葉に感じる

【中国・四国】

- ・西日本では東日本産と言うだけで売れなかつたりしたから
- ・風評ではなく実害があるのにそれをごまかそうとする言葉に感じています
- ・不安があって当然と思う。自営業の人と違う見方になってしまふ気がしていいづらい。(生活がかかっているから)安全と保障されていれば、ひどく避ける事はなくなると思う。検査結果の説明を含め

【九州】

- ・噂、風評被害を流したり信じる者が悪いとされ、実害を与えた者の責任が問われなくなりがちだから
- ・漁業は気にしないといけないと思います
- ・風評被害を出さないために、安全であるという事を根拠を示していかないといけない
- ・自分で判断すればいいと思っている
- ・実害を表す方が better
- ・実際の被害を外敵に軽視させる正・負の効果はある。しかし、生産者については死活問題となるため、検査データや安全性を公表し、製品にも支持すべきである。定正を行い、社会を正するのは政治と自治

- ・放射能被害ということを口にすることができないような、目に見えない圧を感じる
- ・「風評被害」は主に生産者側の被害。「放射能被曝」は、生産者も含めた日本中の消費者の被害。そのように受け取めているのですが、正しいでしょうか？「うわさの害」と「実害」の違いなので、大変ややこしく難しいと感じます。事実に基づく情報は大切ですが、生産者側も守られなければなりません。真実をベースに被害を受けた方々をサポートできる仕組みがあればと思います
- ・政府発表に信頼性が欠ける事が多すぎるためこの言葉に異和感があります
- ・被曝を当事者の自己責任の問題にする言葉で、加害責任の所存を追求させない効果を生んでいる「風評被害」は薩摩川内市も同様の事故があつたら同じく流通してしまうだろうと思う。民が官に先行して問題点をあいまいにしている。原発事故によってどれくらいの影響があるのかをきちんと知ることこそ大切だと思う

【福島→県外】

- ・常に魚や野菜、米、空気、樹木、土、海その他の正しい放射能の値を測定し、新聞、テレビなどに他の場所と比較し公表されることにより、安心度が増す
- ・農家、漁業などの一次産業の方の努力に対しては頭が下がります。本当に大変だと思います。しかし、人々の故郷への想いが、政府の思惑（事故被害の矮小化）に利用されていると感じています。実被害の良いごまかしにもなっているのできちんとした助成や取り組みこそが必要だと思います
- ・やはり、この言葉はイヤでした。差別を感じます
- ・この問題を聞いて始めて、実害の有無から、目をそらされてしまいそうで、好ましくない事だと感じた
- ・被ばくによる社会的、経済的被害があつても、認めない、賠償しないという加害者側の決意表明を感じている。福島で生きる人にとっては、被ばくという言葉の重みをどのように受け止めていくのかをどうしていくのかはその次の問題として考える必要はあると思う
- ・風評という言葉を、福島県知事（さとうゆうへい）が最初にニュースで言葉で出した時。おずおずとした感じで、嘘をごまかす気弱な子どもの様な口調だったことを覚えている。その後は、被害はほとんど風評という言葉に置き換えられた。ネットで検索すると ふう - ひょう (- ヒヤウ) 【風評】の解説・世間であれこれとりざたすること。また、その内容。うわさ。「風評が立つ」
- ・10年一昔。最近は風化させていく傾向が強い気がする。しかし、原発事故後は、放射性物質が身の回りに振りまかれた中での生活しているので、ウクライナやベラルーシほどでないにしろ、健康被害は今後、顕著になっていくように思われる。実害を風評と置き換える事に怒りを覚える。*F1 のアルプスを通した処理水が、トリチウム水と報道されるのが腹が立つ。処理水の中で、一番毒性の強い物の名前を出すべきだと思う。そして、アルプスの性能のアップを検討してもらいたい。しかし、海水で薄めて、海に流すのと、そのまま流すのと、何の違いがあるのだろう。きちんとお金をかけて、陸上保管をしてもらいたいです
- ・風評被害とは、実害のない側の話で、福島の実害は少なくともありました。*いわきのマルトでチェルノブイリ産のレタスが売れるのでしょうか？
- ・「風評」という定義の前提には対象物が絶対的安全でなければならない。風評という言葉は事故後1ヶ月以内に使われ始めましたが汚染状況すら分からぬのに何故その言葉が使えるのか？

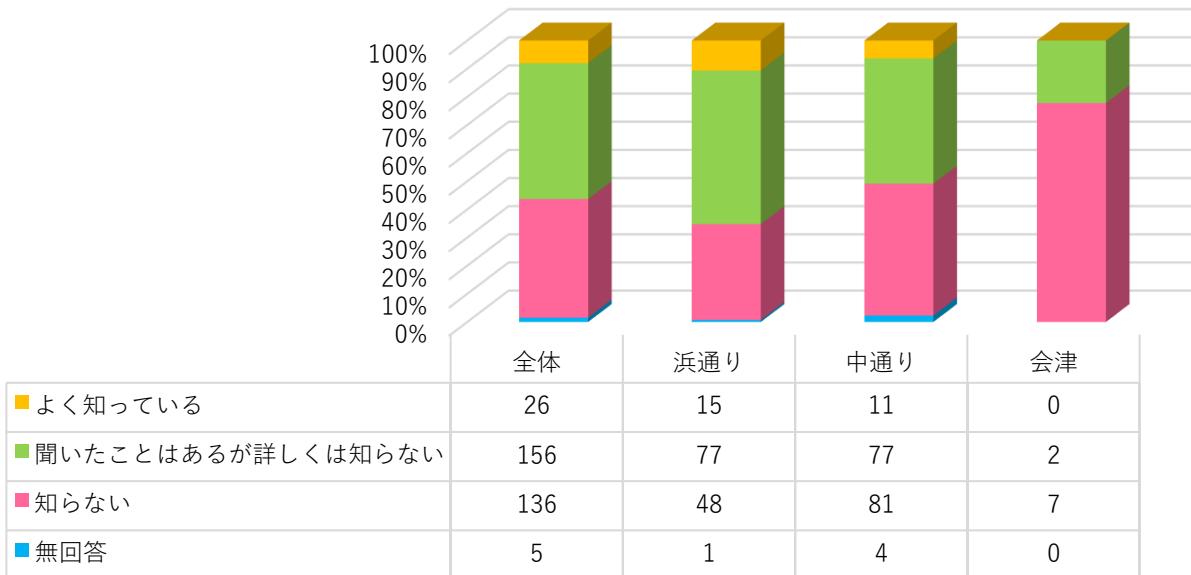
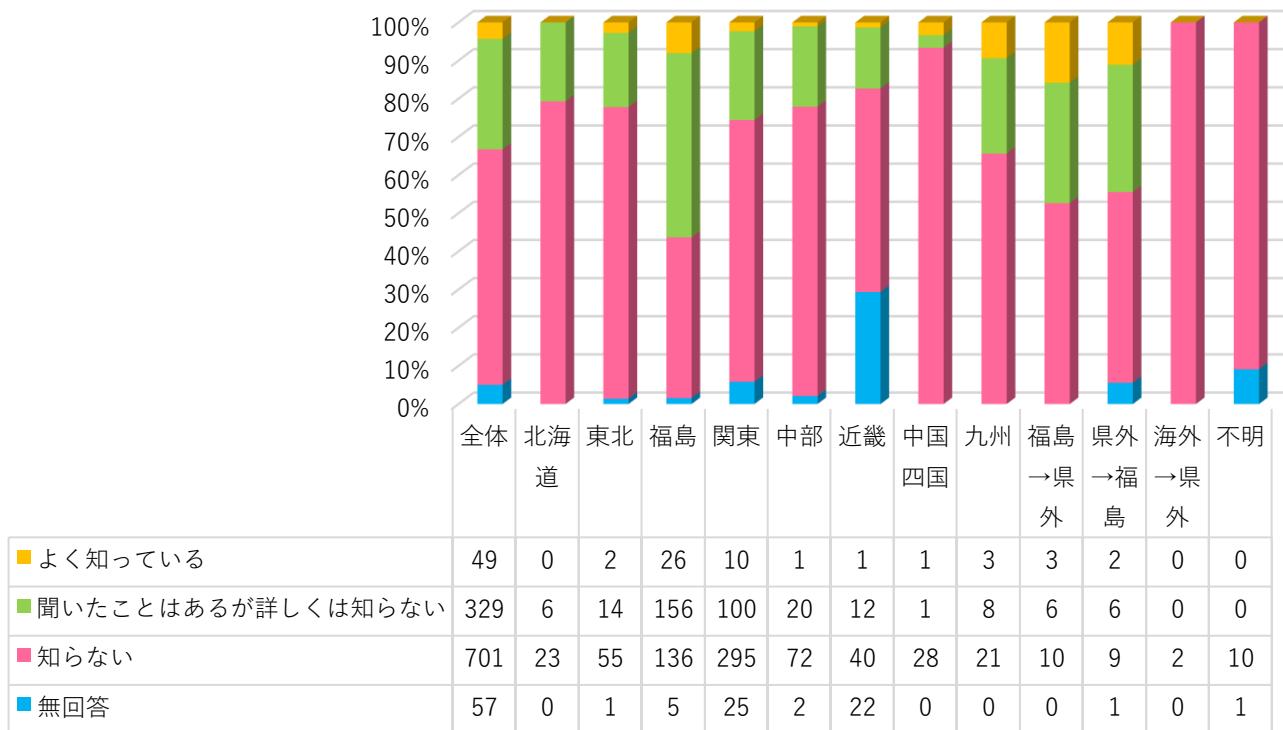
【県外→福島】

- ・まったく非科学的で、定義もまちまちを"科学"とは？
- ・言い換えという発想はなかった。根拠に基づいた安心の確保が大切。風評という言葉だけがマスコミによって1人歩きしているように感じ良いイメージはない

【地域不明】

・ 真実・科学が伝わっていないと思った。正しく伝わっていればおこらないのにといつも感じています

Q41. 福島原発事故の廃炉技術の促進と廃炉作業の人材育成・確保のための「福島イノベーションコースト構想」について知っていますか。



【関東】

よく知っている

- ・やめさせろ
- ・よく知っていると言えるかはわからないが

聞いたことはあるが詳しくは知らない

- ・Webを見ましたが分かりにくくて途中で読むのをやめました
- ・評判の悪い伝承館はこの事業ですね

その他

- ・名前は知らなかったがそういう事を計画していることは知っています
- ・原発事故現場要員の労働者は全員国家公務員として採用すべきだ
- ・また国民を騙してろくでもないことに無駄にお金をジャブジャブ使っているのでは?とよく思えない

その他意見

【北海道】

- ・全般的に該当しません。このような項目での調査であるならば原発事故周辺、被爆者を対象に調査されることをお勧めします。

【東北】

- ・2011年秋の自宅前の土（カリウム除く）表土5cmサンプリング 1.771 Bq/1kg (134+137)
- ・福島イノベーションコーストは必要なことだと思う
- ・ありがとうございます。当方厳しい状況にあり寄付出来ず申し訳ありません。手許にある限られた状況で何かと子ども達を成長させようと頑張っています
- ・私は福島出身です。将来が気になります。貴団体の活動、大変重要と思います。力は及びませんが応援しております。宮城でも村井知事が原発の再稼働を進めています。長い戦いになりますが共に頑張りましょう

【関東】

- ・小田原でも 2011 年には茶葉から規制以上の放射能が検出される。又身近な子育て中の家族が関西へ移住するなどはありましたが自分自身の心身に変化を及ぼす程のことはなかったので該当する項目のみ回答します
- ・20-11/25 (TE後裏面ページを主体に記入)
- ・年齢的にアンケートの対象から外れているかと思いますが書けるところをのみ記入
- ・設問に対する選択肢の設定が適切でない。不足してるもののが多かったです
- ・時間がなく確認したら期限がだいぶ前に過ぎてましたね。もしある可能ならとおくりました。様々な活動有難く感謝しております
- ・アンケートには普通のコピー用紙を使った方が良いのでは？
- ・昭和 26 年生まれ高 3 まで伊達郡国見町 アンダーコントロールとウソついたアベ君は許せない！68 歳男
- ・陰ながら応援しています。頑張りましょう
- ・私は東京の人間で福島へは寄付をさせて頂いているだけなのでアンケートに役に立ちません申し訳ありません。ですが今後も応援させていただきます
- ・よくわからず、遠くから見守ってる感じで申し訳ありません。一日も早く平常生活復帰できます事をお祈りしております
- ・大変ありがとうございます
- ・いつもありがとうございます。どうぞよろしくお願ひいたします
- ・支援者の立場なのでアンケートにふさわしいでしょうか
- ・東京にずっと住んでいます。パルシステムの会員です。少しだけサポートしています。十分なお答えができず申し訳ありません。原発は絶対反対です
- ・東京新聞に週一で原発事故の現状ニュース見てます
- ・東京在住の為福島県の実態がよくわかりません。デモなど行ったりしてはいましたか。私は 25 歳から原発反対の思いがありましたので友人らに啓蒙してまいりました
- ・いつもお疲れ様です。ありがとうございます

【中部】

- ・あまりお役に立てずすみません。スタッフの皆様もくれぐれもご自愛ください。
- ・これだけのことが起き、収束できてないのに、多くの国民は便利性を求め、国は経済ばかりを考え、どこかおかしい！常に考えています
- ・福島だけの問題ではないと思います。なんとかしたいと思いますがなかなかできていません応援しています
- ・福島原発事故は原発の安全神話が嘘だった事。全く政府の言う事に矛盾を感じず鵜呑みにしていた自分に責任の一端があると思っています。美しい日本、国土が人々が踏みにじられ、それが今既に海洋汚染を引き起こしつつあり、そのものを破綻しかねない状況です。被災された地域の皆様方への支援は元より将来の荷う子ども達の健康を守らなくてはいけないと思っています
- ・皆さんのご活躍を期待しています。力不足ですが、応援できる限り応援したいと思っています。現在思う事は放射線被害が福島、東北一帯だけに納まらず、全国に広がっているのでは！と不安を募らせていました。時折全国の線量を確認する事はあるのですが。

【近畿】

- ・できれば協力したい。情報ください
- ・國による放射能汚染の実害について検証が足りず、そうなっているのは産業重視のためだと感じるから
- ・チェルノブイリはもっと遠くに避難している
- ・生産できない人たちに保障するべき
- ・国は安全でないものを安全としている

【九州】

- ・直接被災した訳ではないのでほとんどの項目にあてはまりませんが、福島は日本全体の問題と思っていますので活動は長く応援したいと思います

【福島→県外】

- ・廃炉技術を高め日本でノウハウを確立し、海外の廃炉にも役立ててほしい

【地域不明】

- ・東京都民でやれ！
- ・本来は国がすべき活動をされていてすごいと思っています。国民に寄り添っていないことに腹立たしく思います。チェルノブイリで事故が起った時、いずれ日本でも起こるのではないかと不安に思っていました。そして福島で。。。つらいです。遠くから応援していきたいです

以上